

可きなり。各運動、例へば咳嗽の如きも水銀柱を高きに追ひて誤果を招致す。確測には肛門の方よし。疑はしき場合、例へばヒステリー性の詐病 Simulation、續け様に咳嗽する者又振顫患者等にては肛門にて検温すべく、又腋窩にて検温が不可能なる場合にも肛門にて検温す(意識濁濁者、甚しき衰弱状態、精神障礙、小兒等)。肛門にて検温する際に検温器が糞塊中に包皮せられざる様に注意すべし。検温器には油又は脂肪を塗り置き、先づ掃除浣腸 Reinigungsklyisma をなして後に、其の検温器を肛門に送入す。

腋窩にて検温する際には寒暖計を 10—15 分間、而して直腸にては 5—10 分間置く。口中又は腔中にて検温するを得。兩者の中、口中検温の方を選ぶ可し。検温は 1 日に 2 回、朝 8 時及午後 3 時になす。然れども必要に應じては、即ち體温が頻りに動揺する疑ある場合には、1 日に 4 回又は 2 時間毎に検温す。検温によりて得たる數字は連續曲線として記入するが最もよし。

### 第 3 項 常體温

健康者の直腸にて常體温は攝氏 36.99—37.15 度なるが、腋窩體温は 36.4—36.8 度あり。37.0 度までは常温とせらる。多血質の人にては普通體温が 36.6—36.9 度あり。纖弱なる貧血性の人にては時に 36 度以下なる事あり。斯かる常體温の低き人にては 37 度は既に熱とす。

體温は 1 日中にも曲線を描く。朝よりも夕刻に高し。多量に食物を攝れる後、體動後及温浴後等には絶對安靜時よりも體温は高し。最低は朝 2 時より 6 時の間に於て、最高は夕刻 5 時より 8 時の間にあり。一般に然し健康者にての時々の動揺は 1 度より大ならず。就牀安靜 Betruhe、其の他に於て 1 日中の體温動揺は起らず。

### 第 4 項 熱性體温上昇 (febrhafte Temperatursteigerung)

體温の各病的上昇を熱として示す。此の熱は各の場合に於て繼續時間、高さ、規則的な事に相異なり。是等の経過の追究は診断に大切なり。

Wunderlich 氏に従ひ次の熱階段 Fieberskala を區別す。

虚脱體温 Kollapstemperatur	攝氏 36 度以下
準熱體温又は微熱 subfebrile Temperatur	37.5 度より 38 度まで
輕熱 leichtes Fieber	38 度—38.5 度
中等熱 mässiges Fieber	朝 38.5—39 度而して夕刻 39.5 度
高熱 hohes Fieber	朝 39.5 度而して夕刻 40.5 度
過高熱性體温(過高熱)hyperpyretische Temperatur	41.5 度以上。

極めて稀なる場合に 45 度、或は夫れより高し。

熱性體温の 24 時間中の経過は常體温曲線と同様なる高さの動揺を示す。動揺が只著明なり。發熱者又は發熱傾向を有する患者にては攝食、筋運動等にて健康者よりも容易に高き動揺を示す。一般に熱性體温は朝に 1 日中最も低く(緩解 Remission)、夕刻に 1 日中にて最も高くなる(増悪 Exacerbation)。1—2 の疾患例にては、殊に結核の場合には逆状態を見る。即ち顛倒型 Typus inversus が来る。

病勢増悪は屢悪寒に結合す。非常に迅速に高く上る場合に惡寒戰慄 Schüttelfrost が来る。酷しき寒冷感を覺え、全體は振顫し、齒は(がちりと鳴りて)合はず(Klappern)。此の際に皮膚は蒼白となりて冷し(皮膚の血管は收縮し、爲に體温は鬱滯す)。此の皮膚は惡寒戰慄の終りに熱くなる。體温が迅速に下降する場合には他方に強き發汗 Schweissausbruch が来る。

日差 Tagesdifferenz (1 日中の最高と最低との差)の大きさによりて相異なる 3 熱型 Fiebertypen を分つ。

稽留熱 Febris continua=日差が 1 度より高からず。

弛張熱 Febris remittens=日差が 1 度より高し。

間歇熱 Febris intermittens=日低は常域内にして、日高は甚しく高し。短時間繼續する熱發作(發作 Paroxysmen)が短時間の無熱間隔(無熱 Apyrexien)と交代す。

再歸熱 Febris recurrens=1—2 日發熱し、1—2 日無熱間隔を有す。

稽留熱は主として格魯布性肺炎、多くの急性發疹症、第 2 期にある腸空扶斯、時に結核等の場合に於て来る。

弛張熱は第 3 期にある腸空扶斯、急性多發性關節炎及腸性關節炎、化膿性疾患、種々の臟器の結核、主として肺結核等の場合に見る(盜汗を伴ふ消耗性熱)。

間歇熱は化膿性疾患、粟粒結核の場合に於て、マラリアには特異にして熱發作とマラリアプラスモヂウム(球形胞蟲の孢子母細胞 Schizonten)の新播散 Neuaussaat とは共に落ち合ひて、其の時に熱を發す。依つて毎日、又は 3 日目毎に反復して發熱す。

再歸熱は再歸熱病 Febris recurrens に特異なり。本症は Obermeier 氏波菌(螺旋菌) Spirochaeta にて起る。

特別なる熱行に次の 1—2 階期を分つ。

増進期 Stadium incrementi (體温上昇)之は惡寒戰慄を伴ふ事あり、又伴はざる事あり。



極期 Fastigium, 又は Acme と稱す。之に次ぐが不定期 amphiboles Stadium にして、此の時期には體温は不整となり、解熱前に時に特に高くなる(分利期前變動 Perturbatio critica)。

減退期 Stadium dekrementi (Defervescenz, Fieberabfall) には體温は1日中には大量發汗と共に急に下降するか(例へば格魯布性肺炎), 即ち分利的(分利 Krisis)か、或は又、渙散的(渙散 Lysis)に平易に又は弛張しつつ漸次2-3日を要して下降す。

最後に急性傳染病には潛伏期 Inkubationsstadium を區別す。即ち感染の瞬間と第1病徴の發現間を指す。前驅期 Prodromalstadium とは特に急性發疹病の場合に發疹(發疹期 Eruptionstadium)の出現に先行する所の第1病時現象の時期を云ふ。

#### 第5項 常下體温 (verminderte, subnormale Temperatur)

體温は常界 36.4 度下に下降する事あり。觀察せられたる最低體温は 22 度なり。

##### 1. 常下體温は急性傳染病の場合に見る。

(イ) 分利的熱下行の場合には同時に脈搏數と呼吸數とが相當して減ず。熱下行は 34 度以下になる事あり。而して1日或は2日後に常態に復歸す。

(ロ) 虚脱の場合には分利に反して體温は甚しく下降し、血液循環の同時性衰弱を來す。従て脈搏數は急に増加し、脈は漸次小さくなる。高度の皮膚蒼白を伴へる血壓降下、甚しき衰弱状態及全身の脱力が來る。脈曲線と體温曲線の交叉が特徴なり。虚脱は一過性にて體温は上り、脈搏は絶えて瀕死 Agonie となり、遂に死す。

2. 常下體温は又一過性に大量の失血の場合に(外方に或は内方に胃腸管内に、窒扶斯、胃潰瘍、十二指腸潰瘍等)、同様に慢性疾病状態特に心臓及肺の慢性疾患の場合に來る。此の場合にも虚脱は來る。

3. 稀に繼續的に常下體温を見る。例へば精神病者に之を見る。

### 第2節 病原體の一般的證明

細菌の證明が大切なるは既に述べたり。證明し得ば、診断は確定す。細菌は證明せられずして尙確診を下し得る場合あり又、菌あるも疾患の重さを診断し得ざる場合ある事を忘るべからず。

#### 第1項 顯微鏡的検査

(イ) 懸滴検査 (Untersuchung im hängenden Tropfen) にて細菌の生活現象、運動性、凝集性等を知る。臨牀診断には時に此の検査法を利用す。

操作 懸滴検査にて中央に凹を有する載物硝子を使用す。其の皿狀の凹の周圍をワゼリンにて圍む。灼熱せる白金耳 Platinöse を以て細菌を有する1滴の液を清淨なる覆蓋硝子の中央に置く。培養又は固形材料なる時は先づ生理的食鹽水、無菌ブイオン又はペプトン水を覆蓋硝子上に持來る、次で此の中にて新に灼熱せる白金耳にて取り分けたる材料の微量を攪拌す。次で覆蓋硝子下面の液のある所が載物硝子の凹所の中央の所にある様に置く。次で其の標本の顯微鏡的検査をなす。

(ロ) 染色乾燥標本の検査 該法は臨牀的方面に應用域が廣大なり。該法は喀痰、糞便、膿、尿等の細菌を採求するに應用す。之には次の規則にて製れる染色塗抹標本 gefärbtes Ausstrichpräparat を用ふ。

被檢材料の塗抹 清淨なる覆蓋硝子か、又は載物硝子に可能的に薄層に材料を塗る。塗抹は白金線か又は白金耳にて可能的に薄く注意してなす。状況によりては、例へば喀痰を検査材料となす際には、其の喀痰を2枚の載物硝子間にて、壓平して其の硝子を互に引離す。此の際に材料が均等に硝子上に分布せるや否やに就きて注意すべし。

標本は完全に空氣乾燥 (lufttrocken) すべし。適度に加熱して標本の乾燥を速むるもよし。此の加熱乾燥にはブンゼン燈の上に塗抹側を上方に向けて標本を支持し、標本と焰との距離を 3-5 厘ならしめて、焰を硝子に觸れざらしめ、硝子が熱せざる様に注意す。著者は焰の下端部にて側方より近く、塗抹面を焰に向けて塗抹標本を把持して乾燥す。斯くすれば標本を過熱する事は決してなし。焰上にて適度に温めながら塗抹標本を乾燥せん事を試みなば失敗を経験す可し。

固定には塗抹標本を3回だけ焰中を通過せしむ。此の際に標本の塗抹面を上方に向く。焰中を通過する事によりて標本の蛋白含有物質は不溶解状態になる。焰を通過するにも、標本を過熱せざる様に注意せざれば塗抹材料が燃焼す。血液塗抹標本のマラリアプラスモヂウムの如き、又はベスト桿菌の極染色 Polfärbung の如き、特に微細なる點まで明かにせんとする細菌標本は焰中固定をなさずして検査すべきなり。斯かる特別なる目的を有する時は標本を純アルコールか又はアルコール及エーテルの混合物中に 15-20 分間漬けて固定す。

染色後の水洗 導水 Leitungswasser にて染色後の標本を水洗 (Wasserspülung) す。此の際に水線は少しく傾けたる標本上に落つる様にし、塗抹層上に直接水線が落ちざる様にす。

濾過紙にての乾燥 染色標本を洗滌せば 2-3 枚重ねたる濾過紙間に其の標本を挟みて



軽く外側より壓迫す。

**油浸検査** 載物硝子標本ならば、其の上に直接に Cedernöl の 1 滴を落して遮光板 Blende を開きて油浸装置 Ölimmersion 下に観察す。或は又、載物硝子上に 1 滴の Kanadabalsam を落し、其の上に覆蓋硝子を置きカナダバサルサムが薄層となる様に軽く押しつく。次で Cedernöl を落して油浸接物レンズにて観察す。覆蓋硝子標本は必ず載物硝子上に Canadabalsam にて封じて顕微鏡的に検査す。

(ハ) 血液標本の検査 血液標本の検査は薄層に於てするか、又は厚き乾燥標本にてなす。採血法並に血液塗抹標本の製法は血液病診断の部に於て述べ置きたり。

(ニ) 染色法 細菌染色には鹽基性 Anilin 色素たる Methylenblau, Gentianaviolett, Fuchsin 及 Bismarkbraun 或は Vesuvin 等を用ふ。是等は細菌及細胞核を濃く染め、他の細胞成分を染色せざるか、又は強くは染色せず。此の鹽基性色素にて染色性の悪しき細胞成分は酸性 Anilin 色素例へば Eosin の如きにて對比染色をなす。

色素は水溶液として (略 2%)、之を直接又は稀釋して染色に用ふ。水アルコール溶液として用ふ。之を製するには、略 5% の色素を有する濃厚なるアルコール溶液を貯へ置き、使用に臨みて 4 倍量或は夫れ以上の水にて稀釋す。一般に濃厚染色液にて短時間染色するよりも比較的稀き染色液にて比較的長時間を要して染色すれば優良標本を得易し。

一般に應用せらるる染色法

1. **Löffler 氏のアルカリ性 Methylenblau 溶液。アルカリ添加は液の染色力を高む。**

處方 飽和メチレン青アルコール溶液 30 粒  
0.01% のカリ滴汁 100 粒

2. **Ziel 氏 Carbofuchsin 液又は Carbolgentianaviolett 液 5% のカリ滴汁の添加は染色力を高む。**

處方 Fuchsin 1.0  
(又は Gentianaviolett 1.0)  
アルコール 10.0  
石炭酸水 5.0  
蒸留水 100.0

本液は保存に堪ふ。本液は 3—4 倍に稀釋して使用せられ、1—2 分間に於て結核菌以外の細菌を染色す。

3. **Giemsa 染色法** 血球染色の部に述べ置きたり。本染色は マラリアプラスモヂウ

ム、波菌及睡眠病原體 Trypanosoma の染色に適す。

4. **Anilinwasser 染色法** (Ehrlich 氏の Gentianaviolett 液又は Fuchsin-Anilinwasser 液) Anilinwasser の添加は染色力を高む。本液は保存に堪へず。製造後 2—3 週間を経ば本液は更に新に製造すべきなり。Anilinwasser 染色液の代りに保存に堪ふる Carbolgentianaviolett を使用する方が利益なり。

處方 Anilin purissimum の 5 粒を蒸留水 100 粒にて強く振盪し濕潤濾過紙にて濾過す。水様透明なる油滴なき濾液に濃厚なる Gentianaviolett 水溶液又は Fuchsin 水溶液の 11 粒を加ふ。良く混ぜる液を今一度濕潤濾過紙にて濾過す。而して其の濾液に *Lenhartz* 氏に従ひ保存力を高むる爲に純アルコールの 10 粒を加ふ。

特殊染色法

一定種の細菌は嚴定色素に對して特殊親和力 spezifische Affinität を有す。最要なる特殊染色は *Gram* 氏染色と結核菌染色となり。

1. **Gram 氏染色** 此の染色の特徴は Gentianaviolett にて染色せる細菌を沃度カリウム液にて所置する點にあり。此の際に沃度と Gentiana との化合物が生ず。此の化合物に對し種々の細菌は種々異なる親和力を酒精の後洗滌時に現す。此の親和力を有する、即ち染色をなす細菌を **グラム陽性 grampositiv** と稱す。

操作 1. Carbolmethylviolett 又は Gentianaviolett にて約 2 分間染色す。2. 次で標本を  $\frac{1}{2}$ —2 分間 Jodjodkali 液中に漬く (純沃度 1.0, 沃度カリ 2.0, 蒸留水 300.0)。Jodfarbstoff 形成によりて黒染す。3. 純酒精にて青色煙が出でざるまで、而して標本が肉眼的に無色に見ゆるまで所置す。4. Vesuvin (Bismarkbraun) の 2% 水溶液又は Fuchsin にて後染色す。之はグラム陰性細菌を可見ならしむる爲になさるるなり。5. 水にて洗ふ。

*Gram* 氏染色は細菌の最要なる鑑別方法にして、不明細菌の決定に際しては、必ず此の染色法を実施して細菌の検査をなす可きなり。グラム陽性細菌は此の染色にては紫色に著色し、グラム陰性細菌は褐色 (Vesuvin) に又 Fuchsin にて赤く著色す。

グラム陽性なるは 1. 葡萄狀球菌 2. 連鎖狀球菌 3. 肺炎球菌 4. 4 疊球菌 5. 實扶的里桿菌 6. 脾脫疽菌 7. 破傷風菌 8. 結核菌 9. 癩病菌 10. 豚丹毒菌 11. 鼠屬敗血菌 12. 放線狀菌 13. 酵母 14. 馬鈴薯桿菌 15. 鼻硬化菌(毎にあらす)等なり。

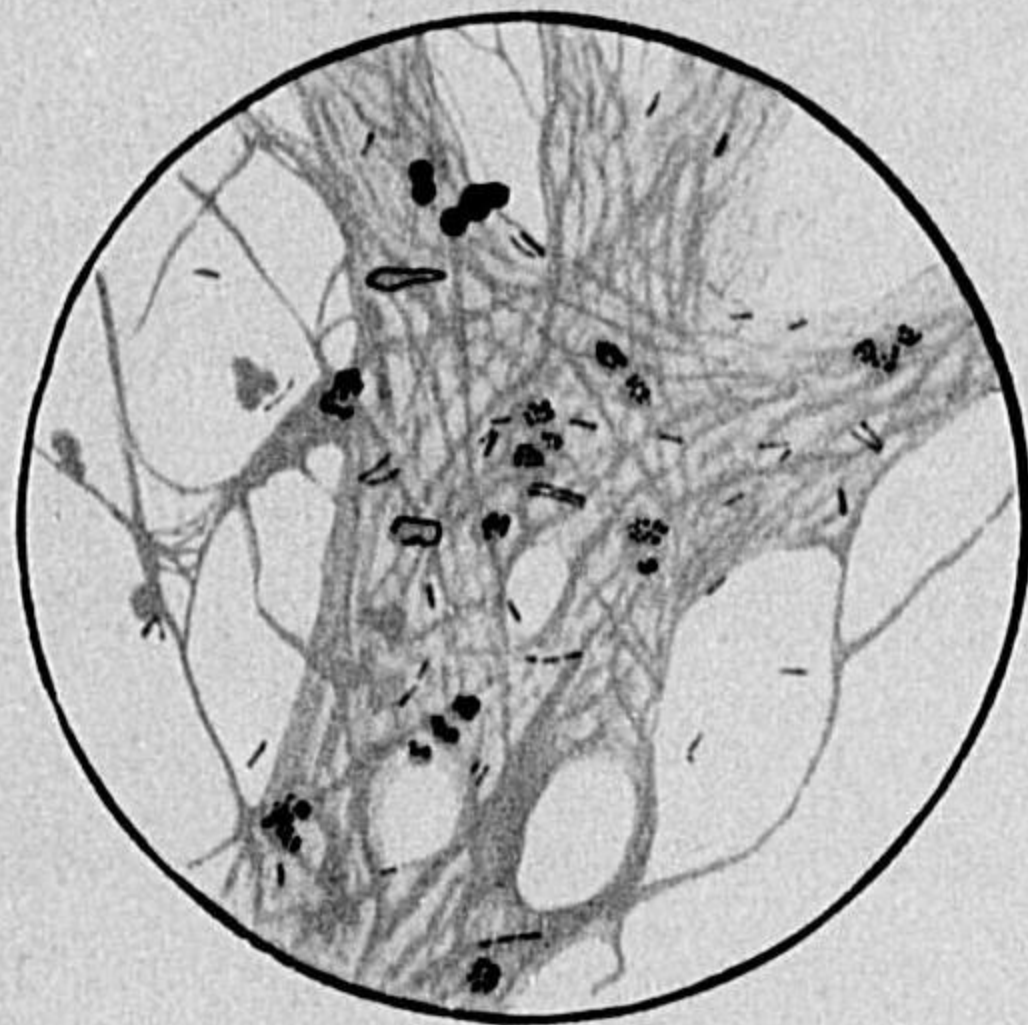
グラム陰性菌は 1. 淋菌 2. 腦膜炎菌 3. 假性腦膜炎菌 4. 加答兒性球菌 5. マルタ球菌 6. インフルエンザ桿菌 7. 空扶斯桿菌 8. 大腸菌 9. 綠膿桿菌 10. 馬鼻疽桿菌 11. 軟性



下疳の桿菌 12. ペスト菌 13. 虎列羅桿菌 14. 虎列羅弧菌様弧菌 15. 赤痢桿菌 16. パラ  
窒扶斯菌 17. 鶏虎列羅菌, 豚疫菌, 家兎敗血症菌, 18. 悪性浮腫の桿菌 19. *Friedländer*  
氏肺炎桿菌 20. 再歸熱波菌 21. スピロヘータパリダ, 22. *Bordet* 氏百日咳菌。

2. 結核菌及耐酸性桿菌の染色 人類及動物の結核菌は染色が困難なり。其の原因は此の菌が蠟様物質よりなる包皮を有するにあるが如し。然し此の菌が1度染色せらるるや他の細菌又は組織と異なり酸によりて更に脱色する事は困難なり。第2の對比色を作用せしめれば組織及非耐酸性微生物は後染色に使用せられたる第2色を擇りて着色し、耐酸性細菌は第1色即ち先づ染まれる色を保持す。

第 351 圖



多数の結核菌を有する喀痰の塗抹標本  
Ziehl-Neelsen 氏染色法による

**Fraenkel-Gabbet 氏方法** 1. 濃き Carbol-fuchsin にて加温しながら蒸氣を發生するまで2分間染色し, 2. 脱色及對比染色をなす。之に要する液は Methylenblau 2.0, Alkohol 50.0, 硫酸 25.0, 蒸留水 100.0 よりなる。本液は後染色色素と脱色酸とを有す。標本は脱色後弱青色に見えざる可らず。然らざれば對比染色時間を長くす。3. 水洗。

本染色法は最良にして, 迅速に染色を済ますを得。然し *Gabbet* 氏染色にて染色せざる桿菌が時々 *Ziehl-Neelsen* 氏染色にて染色す。極めて稀に本法にては結核菌外の耐酸性桿菌が Fuchsin にて染色せるままに止まる事あり (恥垢菌 *Smegmabacillen*)。故に尿及糞便の結核菌の染色には *Ziehl-Neelsen* 氏方法に據る可きなり。結核菌の絶對的確定は動物試験 *Tierversuch* に據るの他なし。

上述の方法にて喀痰, 尿, 糞便, 腦脊髄液等中の結核菌を染色するを得。喀痰なれば黒

**Ziehl-Neelsen の方法** (1) 濃厚なる Carbol-fuchsin を以て温めながら蒸氣を發生するまで  $\frac{1}{2}$ —1 分間染色す。(2) 5% の硫酸中にて2—5秒間脱色す(尿及糞便標本中の結核菌染色には20%の硫酸を用ふ)。(3) 70%の酒精中にて洗ふ(脱色が迅速ならざれば更に酸を1滴滴下して酒精にて洗ふ)。(4) *Löffler* 氏の Methylenblau 水溶液 (1分染色液+3分水)にて5—10秒間後染色す。(5) 水洗す。(6) 乾燥して Xylolkanadabalsam 中に包埋す。成績 結核菌は赤く, 總ての他のものは青く染色す。

底の扁平なる皿上に夫れを擴げて, 適當なる所(レンズ, 膿部)の數箇所より少量の喀痰を解剖針にて取り分け, 2枚の覆蓋硝子間か, 又は載物硝子間に塗抹す。其の標本を空氣中に乾燥して後に數回焰中を通過せしむ。次で染色す。糞便中の結核菌は *Strasburger* 氏集菌法によりて集め, 標本を製して後に染色す。即ち糞便の粘膿性の部分を又は下痢便の少量を遠心管内に分取し, 之れに水を加へて良く攪拌し遠心す。然すれば食物殘渣は管底に集まり, 上水層は細菌にて白く濁す。此の白濁水層の分を他の遠心管に移して之に酒精を加へて遠心すれば細菌は管底に集まる。此の沈澱細菌にて標本を製す。尿及腦脊髄液を遠心して, 得たる沈澱を標本に製して染色す。

**Antiformin 法** 種々あるも *Uhlenhuth* 氏の方法が最良なり。本法は有らゆる物質(血液, 喀痰, 組織等)の結核菌の證明に適す。Antiformin は總ての有機物質及細菌を速かに溶解して單に耐酸性桿菌のみが固有の形を保持し, 染色性を有し, 且生活力をも保持するを得。泌尿生殖器結核の場合には本法が大切にして, 不潔材料(尿)を Antiformin にて所置して, 其の材料を海鯨の腹腔に注入すれば, 其の海鯨は結核にのみ罹る。

**Uhlenhuth 氏 Antiformin 法** 15—20% の Antiformin 液中に材料を溶かす。即ち Antiformin に等量の材料を加へて 10—12 時間攝氏 37 度に置いて後に酒精を加へて遠心す。

**マラリアプラスモヂウムの染色法** 血球の *Giemsa* 氏染色と同様になせば可なり。マラリア寄生蟲が稀少なる時は *Hegler* 氏の増殖法 *Anreicherungsverfahren* による。1—5 粒の血液を 10—20 倍容量の 3% の特に濾過せる醋酸液と混じて 10 分間後に遠心す。液を捨てて沈澱に今1度新鮮醋酸を加へて更に遠心して, 生ぜる沈澱を載物硝子上に塗って普通のマラリアプラスモヂウム染色法をなす。

**波菌の染色法** 検査せんとする場所, 例へば硬性下疳をエーテルガーゼにて拭き, 次で刀にて注意して削りて掃除す。此の際に強く出血して目的物を捕へ難きにより注意を要す。硬性下疳の中央部より邊部に向ひて少量の血性組織液が出づるまで削る。其の液を清浄なる載物硝子上に又は覆蓋硝子上に塗抹す。次で火焰にて其の塗抹標本を固定す。

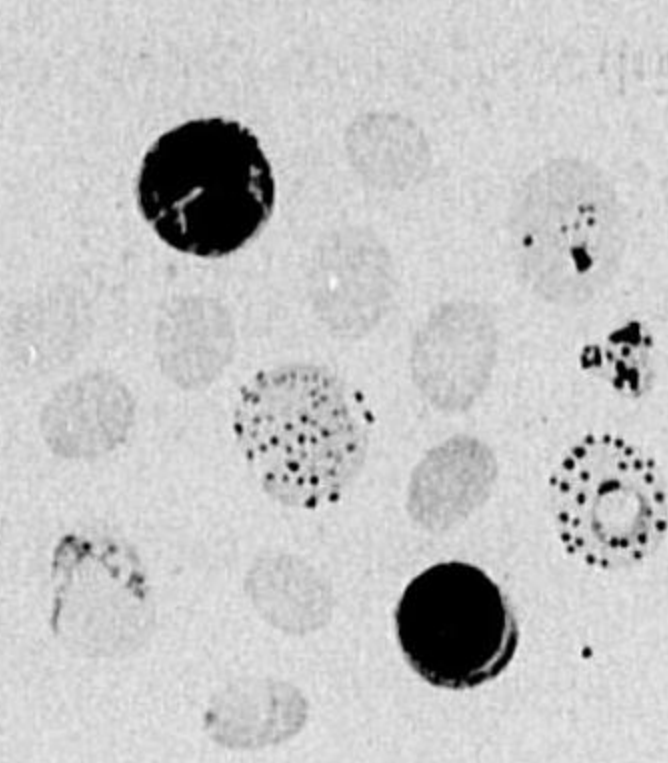
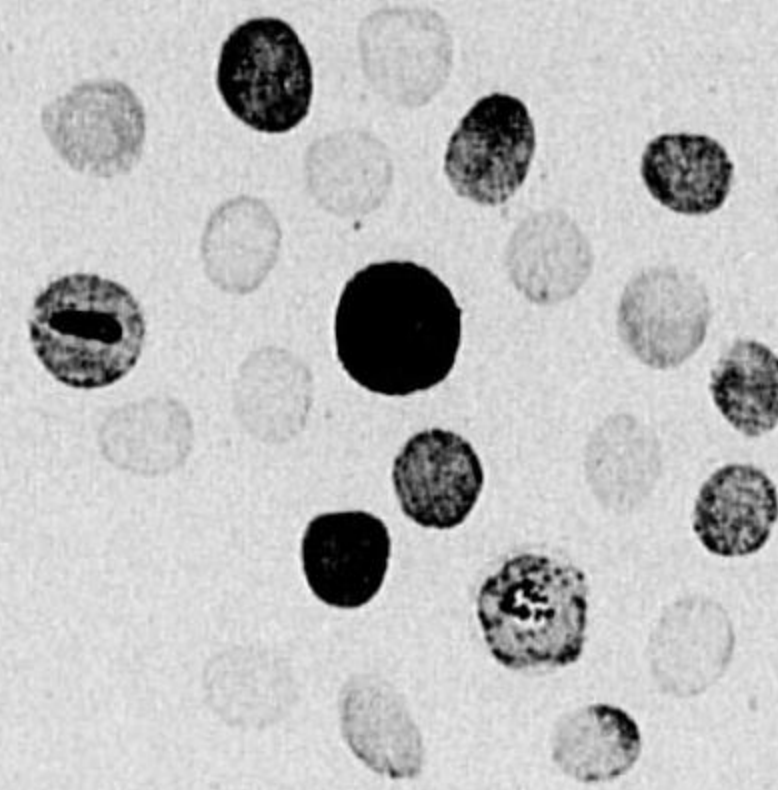
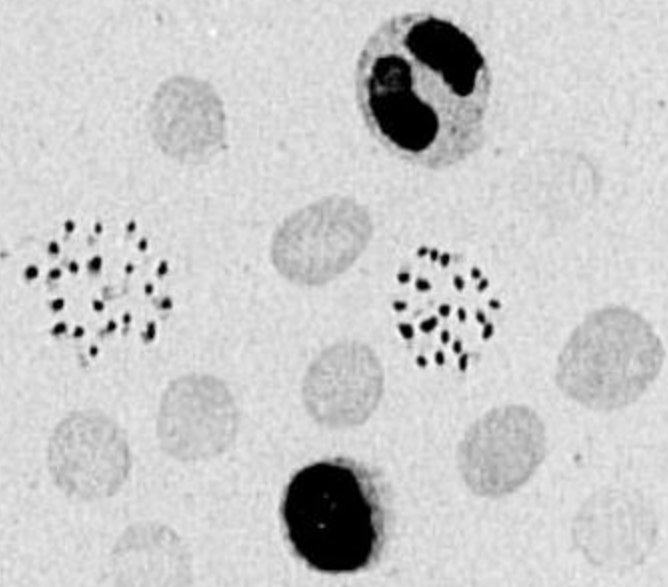
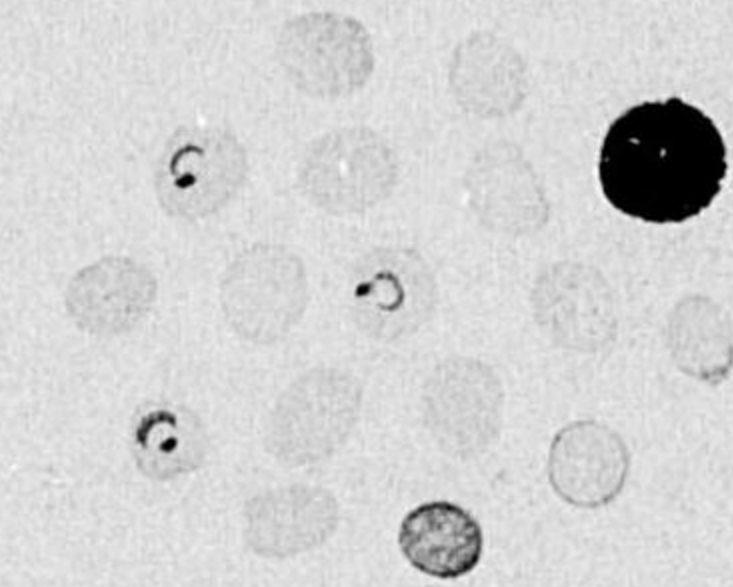
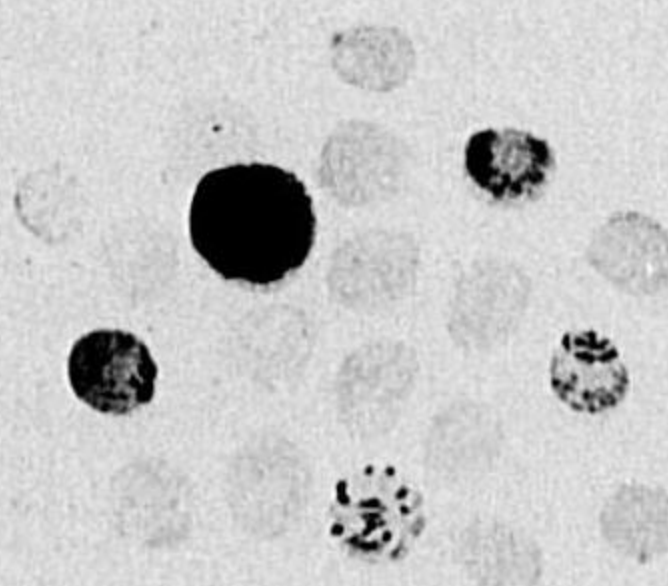
**Burri 氏の墨汁法** 上の如くして得たる血清の1滴を良く液状になれる支那墨と共に載物硝子に塗りつけ, 之を覆蓋硝子の稜にて載物硝子上に塗擧ぐ。30 秒間を経ば標本を乾燥す。油浸装置にて觀察す。波菌は銀色に輝きながら一様に褐色なる地より浮出づ。本法が最良なり。

*Giemsa* 液を以てする染色。 *Giemsa* 液は 20 粒の水に 20 滴を落す。此の稀釋液を載物硝



第 352 圖

(ギムザ染色)

(1) 3 日熱マラリア原蟲  
發育中途にあり。3 日熱原蟲  
に特異なる赤血球斑を見る。(2) 3 日熱マラリア原蟲  
右 未完成雌配偶子  
左 遊離雌配偶子(3) 3 日熱マラリア原蟲  
右は尚包被せらる。  
左は分裂形(4) 3 日熱マラリア原蟲  
環狀體(5) 4 日熱マラリア原蟲  
左 遊離性雌配偶子  
右 未遊離性雌配偶子  
大分裂形(6) 熱帯マラリア原蟲  
大なる熱帯形環半月狀又は  
幼蟲形配偶子

子上に上せ、火焰上にて水蒸氣が発生するまで温む(煮沸にあらず)。染色液を捨て、更に新しき染色液を同 1 標本上に上せて温む、斯くの如くする事 3—4 回に及ぶ。次で標本を水洗して乾かす。標本は良く染色す。赤血球及波菌は此の時に明紅色より暗紅色に見ゆ。波菌は赤血球の近くに多數に見ゆ。

#### 天然痘膿疱中の原始小體 Elementarkörperchen (Paschen 氏小體)の表示法

1. 覆蓋硝子の角にて膿疱を破り。
2. 出づる組織液を覆蓋硝子を稜を少しく押し付けて此の上を受取り、血液の塗抹標本を製するが如くにして標本を製す。
3. 空气中乾燥。
4. 載物硝子を蒸溜水又は生理的食鹽水を容れたる硝子容器中に 5—10 分間沈む。
5. 載物硝子を立てて乾かす。
6. 全く乾燥せば其の標本を純酒精中に 1—24 時間又はメチール酒精中に 5—15 分間置く。
7. 標本を乾燥す。
8. 良く濾過せる *Löffler-Beize* を其の標本上に灌ぎ、銅板又は火焰上にて蒸發するまで加熱す。
9. 次で其の標本を注意して蒸溜水にて洗ふ。
10. 次で其の標本上に *Ziehl* 氏の *Carbolfuchsin* (稀釋せず、注意して濾過す) を上せ、銅板上か、然らざれば火焰上にて蒸發するまで標本を加温す。
11. 次で標本を蒸溜水にて洗ふ。過染せば純酒精又は 5% の *Tannin* 液中に短時間沈めて、直ちに蒸溜水にて洗ふ。
12. 標本を濾過紙間にて乾かす。

此の方法によりて天然痘の第 1 發疹日に既に又發疹が顔面、前額に可見なる時は丘疹より純培養に此の原始小體が證明せられて、之によりて診断が確定せらる。

#### 猩紅熱の場合の *Doehle* 氏白血球包體 Leukocyten einschüsse

空氣乾燥塗抹標本を 96% の酒精又は昇汞酒精にて固定し、之を 10 分の蒸溜水及 6 分の *Michaelis-Azorblau* の混合液中にて染色す。染色時間は 6—24 時間とす。染色後標本を水洗す。細胞核と包體とは青く著色す。血液標本にて白血球中に此の包體が多ければ猩紅熱を診断して可なりと *Doehle* 氏は云ふ。此の包體が猩紅熱の診断に價値あるは論なきも、唯然し肺炎の場合にも此の包體に酷似せるものが白血球中に證明せらる。



## 第2項 培養 Züchtungsverfahren

病的細菌を正確に證明するには純粋培養によりて其の細菌の特異なる状態の比較差別をなさざる可らず。

培養によりて固有の病原菌を他種細菌より顯培するにあり。顯培するを得れば分離するを得。培地にて糞便内空扶斯菌又は赤痢菌を培養するには排泄直後の糞便を使用すべし。

**培地 Nährboden** 液状培地と硬質培地とを使用す。硬質培地は Petrischale 中に培地を注ぎて扁平層に凝固せしめて製す。培地の各種は細菌の鑑別に使用せらる。即ち一定の細菌は一定の培地上に全く特徴ある生育をなす。

**液状培地 flüssiger Nährboden** としては血清、腹水及水腫液等に葡萄糖ブイオン(質扶的里診断)を加へて用ふ。馬鈴薯、殊に培養ゲラチン(10—15%のゲラチンを有する培養ブイオン)は一定の細菌を培養するに用ふ。

**特種培地あり** 例へば空扶斯菌、バラ空扶斯菌及大腸菌を鑑別するに用ふる培地が夫れなり。

**遠藤氏フクシン寒天培地** 之は 3.0%の寒天を1時間蒸気釜中にて滅菌し、其の100 珪に 1.0 瓦の乳糖、フクシン末 0.01 瓦、亜硫酸曹達 0.19 瓦及無水炭酸ソーダ 0.1 瓦を加へて 10 分間煮沸せる後に使用に供す。之を Petri 氏シャーレ内に薄層となす。培地の貯蔵は冷暗所に於てす。本培地上に稀釋糞便尿、又被檢材料を塗布す。而して後に此の培地を 24 時間 37 度の孵卵器中に置けば大腸菌の聚落は酸形成によりて赤色を呈し、空扶斯菌の聚落は無色に止まる。大腸菌の聚落が密生すれば培地は瀰漫性に赤色を呈するに到るを以て、被檢材料の稀釋度は適度ならざる可からず。

遠藤氏培地が空扶斯菌の證明には最も廣く使用せらる。

**著者の eosinsaures Methylenblau 寒天培地** 苛性曹達にて弱アルカリ性になせる熱き 3%の普通の寒天培地の 1000 珪に 0.3 瓦の eosinsaures Methylenblau を加ふ。其の 10 珪宛を各試験管に分配し、蒸気釜にて攝氏 100 度に 1 時間滅菌す。本培地を加温溶解して Petri 氏シャーレに容れて平面培地となす。本培地上にて空扶斯菌は紫色の纖弱なる薄き聚落を形成し、大腸菌は綠色の厚き聚落を形成す。培地中の色素は聚落に集まる傾向ありて培地の瀰漫性變色なく、空扶斯菌の聚落の發見は容易なり。本培地の使用に當りても材料の適當なる稀釋が大切なる事は勿論なり。

以上の他に v. Drigalski 及 Conradi 氏の Lackmusnutrose 寒天培地あり。

**血液培養 Blutkultur** 血液中に病原體を證明せんには大量の血液を要す。其の血液

を直ちに寒天に混するか、又は先づ硝子球を容れたる密閉硝子瓶中に移して、容器を振盪して凝固物を分離す。此の凝固物を去れる血液の 1—3 珪を溶液状となるまで加温せる而して 46 度まで冷却せる寒天に加ふ。而して良く混じ、此の混合物を Petrischale に移す。次で其のシャーレを内容と共に孵卵器中に置く。

血液中の空扶斯菌及大腸菌屬の培養には Kayser 及 Conradi 氏の推賞せる牛膽汁を用ふるがよし。屠牛所にて屠牛より取出せる膽汁にグリセリン及びペプトン各 1%の割合に加へ蒸気釜にて滅菌し濾過して用ふ。牛膽汁の 5 珪に略 2 珪の血液を加ふ。此の加へたるものを 12—24 時間孵卵器中に容れたる後に遠藤氏培地又は著者の培地に植う。此の方法にて葡萄狀球菌も血液より培養せらる。

## 結核菌の培養證明

本邦人中には結核に罹病する者他國人に比して特に多し、従て結核殊に肺結核の診断を容易ならしむる手段を構することは種々の意味に於て吾々内科醫の緊要事ならずばあらず。東北帝國大學にて熊谷袋藏氏指導の下に鈴木氏の考按せる結核菌培地は近頃優秀のものなる由なれば次に其の培地を紹介す。

## 鈴木氏結核菌培地製法

## 鈴木液製法

銀杏(外皮を去りたる果肉)	2.5瓦
味の素	1.4瓦
0.85%食鹽水	100.0珪
以上を滅菌容器内に容れコツホ釜にて1時間煮沸し、直ちに室溫に放冷濾過す。	
銀杏液	100.0珪
グリセリン	6.6珪
1%ゲンチアナビオレット酒精溶液	4.5—6.0珪
卵液	200.0珪

先づ銀杏液にグリセリンを加へ色素を平等に混じ、豫め外殻を滅菌し置きたる最も新しき鶏卵白 4 個分に卵黄 1 個の割合に滅菌的に混和攪拌せるもの 200.0 珪を平等に混じ、滅菌ガーゼを以て濾過し、次で滅菌試験管に取分け、次の如くして滅菌す。

第 1 日	攝氏 85 度	30 分間
第 2 日	“ 75 度	20 分間
第 3 日	“ 75 度	20 分間



次で 24 時間 37 度の孵室内に放置し雑菌の混入なきや否やを確めて使用に供す。

此の培養基を用ひ喀痰、尿、膿、脊髄液及血液より結核菌を培養することを得。此の培養基上にては結核菌聚落は盛上ることなく、凹陷す。3—4 日にて既に聚落を證明するを得。

銀杏液に葡萄糖 24.0 瓦を加へ、グリセリンを除くもよし。又グリセリンと葡萄糖とを共に用ふるもよし。

**窒扶斯診断に使用せらるる Mandelbaum 氏の菌絲反應 Fadenreaktion** 2% の枸橼酸ナトリウムを含有する普通の無菌培養ブイオンの 15 錠中に痕量の窒扶斯菌を植う。Wright 氏の毛管ピペット内に先づ診察患者の血液を取り、次で直ちに其の血液 10 倍量の上述のブイオンを同じピペット内に取り、ピペットの毛管端を溶閉し、4 時間孵卵器中に置く。細菌が不動性となり菌絲を形成せば反應は陽性なり。短桿菌が自由に運動し居れば反應は陰性なり。對照を用ひて此の反應を検するは勿論なり。此の試験は窒扶斯診断の目的に用ふるを得。

### 第 3 項 動物試験的細菌分離及病毒検査 Pathogenitätsprüfung

培養によりて得たる細菌を用ひて病原試験 Pathogenitätsversuch をなし、之によりて一定の細菌に對して細菌學的診断を確定する爲に特徴ある症狀を起さん事を試む。

此の際に各動物は種々の細菌感染に對して鋭敏度を異にす。例へば海狸は結核菌、コレラ菌、破傷風菌、實扶的里菌に對して最も鋭敏なり。鼠は肺炎菌に對して、家鼠はペスト菌に對して、家兎は葡萄狀球菌及連鎖狀球菌に對して、犬は悪性浮腫の病原に對して、驢は馬鼻疽菌に對して、鼠及家鼠は脾脫疽に對して夫々鋭敏なり。

各動物の此の鋭敏度を診断と純粹培養とに使用す。例へば肺炎患者の喀痰を鼠に植う。即ち肺炎患者の喀痰を生理的食鹽水にて洗ひて表面に附着せる細菌を洗流して、其の喀痰の約 1.0 錠を皮下に注入す。喀痰中に病原的肺炎菌あらば、鼠は約 24 時間内に死し、其の心臓及脾臓の血液は肺炎球菌の純培養を有す。

喀痰、膿、滲出液等より結核菌を得るには、夫れ等のものを皮下又は腹腔内に植う。2—3 週後には、其の動物の淋巴腺は結核菌を有す。或は又、其の動物は全身結核 allgemeine Tuberculose に罹る。

### 第 4 項 検査材料の採取、検査材料中の最要細菌

検査材料を採取する際には外部より侵入し來る他の細菌を可能的に防ぐ爲に既定規則によりてなさざる可からず。

**検査材料の採取** 口腔、鼻腔、咽頭、生殖器等の苔又は分泌物を滅菌白金耳にて採る。時にアングナ、實扶的里等の場合には針金上に固定せる滅菌金屬性種痘針 Metaltupfer を使用す。此の金屬性種痘針は滅菌密閉試験管内に入る事を得。斯くすれば材料が乾燥する事なし。此の乾燥せざる事が腦膜炎には大切なり。

喀痰及糞便は患者より直接に滅菌容器中に出ださしむ。

尿は導管にて滅菌容器中に採取す。

滲出液、濾出液、腦脊髄液及膿は滅菌注射器にて吸引して採取す。

### Widal 氏の凝集試験 Agglutinationsprobe

**血液** オブソニン検査、マラリアプラスモジウムの證明、再歸熱波菌の證明等の場合には血液は少量にて足る。故に耳殻か指尖かを穿刺して、其の穿刺孔より出づる血液の少量を直ちに覆蓋硝子か載物硝子に塗抹すればよし。又必要ならば小管内か毛管内に貯ふればよし。血液より細菌を培養するには又、補體結合反應 Komplementbindungsversuche 等をなすには比較的大量の血液を要す。採血方法は血液病診断の部に於て述べたり。

**検査材料の細菌** 血液中には主として連鎖狀球菌、葡萄狀球菌(敗血症)、肺炎菌、窒扶斯菌、ペスト菌、脾脫疽桿菌あり。

**喀痰中** 結核菌、肺炎球菌、放線狀菌、馬鼻疽菌、インフルエンザ菌、ペスト菌、葡萄狀球菌及連鎖狀球菌あり。

咽頭粘膜に證明せらるるは實扶的里菌、連鎖狀球菌(猩紅熱アングーナ)。

紡錘狀球菌及波菌(プラウト・ヴァンサン氏—Plaut-Vinzent—口峽炎、鷺口瘡菌、腦膜炎菌及肺炎菌、インフルエンザ桿菌等なり。

鼻腔分泌物には癩病菌が證明せらるることあり。

眼瞼分泌物には肺炎菌、淋菌、インフルエンザ菌(?), 實扶的里菌等あり得。糞便中には窒扶斯菌、バラチフス菌、赤痢菌、コレラ弧菌、赤痢アミーバ、結核菌、ペスト桿菌、大腸菌及多數の他の細菌中の何れかを證明することもあり。

尿及生殖器の分泌物中に有るは淋菌、結核菌、大腸菌、葡萄狀球菌、連鎖狀球菌等なり。

腦脊髄液中に有るは腦膜炎球菌、結核菌、連鎖狀球菌、葡萄狀球菌、肺炎菌等にして種々の腦膜炎時には他の細菌も存在する事あり。睡眠病の場合にあるは Trypanosomen なり。

肋膜液中にあるは連鎖狀球菌、肺炎菌、結核菌等なり。

腹腔液中に有るは結核菌、連鎖狀球菌、大腸菌及窒扶斯菌、淋菌等なり。



## 第3節 免疫 Immunität

身體は異種蛋白に對し又、其の高分子性解造物質にて造抗原の特質を有する物に對し、從て又、細菌及其の Protein 物質に對して種々異なる抗體を以て反應す。

細菌は尙 1 列の特種物質を産生し、之に對し身體は更に其の産生物質が造抗原なる間は特殊に反應して種々異なる抗體の總和を生ず。此の關係を説明せるものに有名なる Ehrlich 氏の側鎖説 Seitenkettentheorie あり。

## 第1項 抗毒素

抗毒素 Antitoxine の意義は防禦物質及治療物質として供用せらるるにあり。

## 第2項 凝集素及沈降素

凝集素 Agglutinenen とは液中に浮遊せる細菌をして塊狀に聚球せしめて器底に沈降せしむる所の血清中の物質を云ふ。此の凝集素は Gruber 氏によりて発見せられ、而して Widal 氏によりて一般臨牀診断に使用せらるるに到れり。臨牀上には凝集反應 Agglutination (Gruber-Widal 氏反應) は空扶斯、パラ空扶斯、コレラ、ペスト等の診断に大切なり。此の反應は物理的現象にして試験管内にて起る。

凝集反應の検査術式 此の反應は肉眼的に、又顯微鏡的に檢するを得。之には少量の血清又は血漿を使用す。生活桿菌を利用せんとせば必ず若き 24 時間寒天培養を有せざる可らず。

肉眼的反應 1 列の試験管中に検査血清を漸次稀釋して 1 坵宛を入れる。例へば 1:10, 1:50, 1:100, 1:200 等、1 試験管中には對照として 0.85% の食鹽水の 1 坵を容る。之に 10—20 時間の寒天培養より 1 白金耳の菌量を採取し、其の中より少量宛を各試験管に壁に沿ひて加ふ。斯くして均等なる菌浮遊液を得。

斯く内容を入れたる試験管を 37 度又は室溫に置く。陽性反應の場合に液には 3—7 時間後には多少透明となり、細菌は硝子管底に聚球して沈む。此の反應を判斷するには凝集鏡 Agglutinoskop を用ふ。

顯微鏡的反應 之は上述の反應を唯顯微鏡下に見るに止まる。凹所を有する載物硝子と覆蓋硝子とを用ひ、懸滴にて検査するなり。

空扶斯の場合の反應の價値 1:50 の稀釋度にて凝集反應が起らば漸く反應は陽性なり。然し數年前に經過せる空扶斯にも此の反應が起るにより警戒を要す。空扶斯の豫防注射をなせる者にて餘り長時間を經過せざる者にも此の反應は陽性に出づ。故に豫防注射をなせ

る者にて凝集反應を空扶斯診断に應用せんとせば、此の反應が被檢患者の發病當初よりも強稀釋度の血清にて起るに到るを確めざる可らず。空扶斯の豫防注射が普及せる今日にては患者の血液中の空扶斯菌を證明して診断を確定すべきなるも、反復して豫防注射をなせる者にては一般に全經過が軽くして不定形なる上に、血液中の空扶斯菌が培養によりて證明せらるる時期は短し。他方に確に空扶斯症例にて時に全經過中を通じ凝集反應が起らざる場合あり又、發病より 2 週間後に到り漸く凝集反應が陽性となる場合もあり。

發疹空扶斯診断に用ふる Weil-Felix 氏の凝集試驗 發疹空扶斯患者及本症に罹りて治癒せる者の血清は其の 1:200 より 1:30000 の稀釋度にて變形菌を凝集す(本菌を Weil 及 Felix 兩氏は發熱發疹空扶斯患者の血液並に尿より培養せり)。凝集は 5—8 病日に起る。時に尙後れて起る事あり。夫れより急に凝集力は強くなり、解熱後には急に減ず。1:200 稀釋の下に起れる凝集にては尙診斷的價値少なし。

プロテウス菌の X<sub>19</sub> の生菌を得、O 型菌、H 型菌に就て比較するに H 型菌の凝集價は低く。O 型菌は第 2 週病日の後半、特に下熱の頃又は恢復期に著明に高度の凝集價を示すこと多し。24 時間培養菌を用ふるは言を俟たず。

肺炎菌肺炎の診断 略痰内菌に肺炎菌血清を加へて顯微鏡下に觀察す。血清によりて略痰内菌が腫膨すれば加へたる血清に相當する肺炎菌なる事を決定し得るなり。多くの格魯布性肺炎例にては略痰菌に Fränkel の肺炎双球菌を證明するも、今日は肺炎菌を 1—4 型に分つ(1—7 型にも分つ)。

## 第3項 オブソニン

オブソニン Opsonine とは細菌を變化して白血球より容易に食食せらるる様にする所の血清中の物質を云ふ。オブソニンは健康者の血清中にあり。疾病の際には特殊の傳染病原體に對してオブソニンは減ず、治癒に向へば一過性に増加す。これに Wright 氏の診斷法は根據を得たり。不明の疾患の場合に 1 つの既知の傳染病原體に對して著しく少量のオブソニンあれば、其の疾患は其の病原體に原因する事が眞實性を帶ぶ、又 1 細菌に對する 1 血清の著しく高きオブソニン含量は其の血清所有者が其の細菌を原因となせる疾患を經過せる(經過する durchmachen)を知る。

オブソニン検査をなすには、試験管内にて白血球、血清及細菌を一定の比例に混ず、すれば試験管内にて喰菌現象が起る。白血球は細菌を食食す。管内の混合物より染色標本を製して 100 個白血球と及其の中にある被食細菌を算ふ。斯くして得たる平均數を Wright 氏は食菌數 phagocytäre Zahl と命名す。患者血清の食菌數と正常對照血清の食菌數とを



對比して正常血清のものを1とせばオプソン係數 Opsonindex が得らる。之が1より小なるか又は大なるかが診断上に意義を有す。

大谷氏の血漿食菌促進作用を應用せる窒扶斯早期診断法あり。

#### 第4項 殺菌物質及過敏症

コレラ菌をコレラ菌にて所置せる動物の血清と共に海猿の腹腔中に入れるれば菌は壊滅して、此の細菌消化に際して毒物(内毒素)が遊離する事を R. Pfeiffer 氏が發見せり。之より後れて Bordet 氏は細菌の此の種の壊滅現象は細菌を新鮮なる特殊血清と共に試験管内に入れるれば観察し得る事を唱へたり。新鮮なる特殊血清が不完形の蛋白に出會ふも毒物が遊離する事は Weichardt 氏の試験によりて明かなり。體液による消化なるにより腸外消化 parenterale Verdauung と稱す。此の消化の場合に働性物質は加温によりて容易に互に分つ事を得る2個の物質よりなる。其の1つは耐熱性なる免疫體 (Ehrlich 氏の接合體 Amboceptor, Bordet 氏の Substance sensibilatrice, Metschnikoff 氏の Fixateur) にして、他の1つは熱に對して不安定 (thermolabil) にして攝氏の 56 度にて破壊せらるる物質なり (Buchner 氏の Alexin, Ehrlich 氏の補體 Komplement)。接合體は特殊のものにして免疫の際に體内に増加す。補體は非特殊性にして到る所の體液中にあり。兩者は相寄りて始めて作用し得るものなり。兩者が合して先づ造抗原 Antigen を捕ふ。感染が特に進み居らざれば全存細菌を消化して疾病をして治癒せしむ。反復して體外蛋白を輸入すれば(例へば臨牀にて大量の血清の反復注射の如し)腸外消化によりて種々異なる毒物が遊離す。此の毒物は多様の過敏症 Überempfindlichkeit (Richt 氏の Anaphylaxie) を起す。此の過敏症は血清病 Serumkrankheit と稱して臨牀上に大切なるものなり。腸外消化に歸す可き過敏症の臨牀的徴候下に近來1列の症狀が羅列せらる。枯草熱、花粉蛋白、子痢、ゲンチチウム蛋白等。ツベルクリン反應の如き細菌性過敏症は特殊のものとして區別す。腸外消化が起る臓器によりて雜多の臨牀的徴候が起る。皮膚なれば v. Pirquet 氏の皮反應 Cutanreaktion, 粘膜炎にては Calmette 氏の眼反應 Ophthalmoreaktion 及花粉過敏症、肺膨、氣管枝筋の痙攣、腸にては過敏症性腸炎 enteritis anaphylactica (Schittenhelm-Weichardt) が起る。肺、腸、皮膚及血液には好エオジン細胞の集合を見る。夫等の場合は細胞性過敏症なり。反復して不完形蛋白を靜脈内に注射すれば全身徴候が起る。神經中樞器も共に病むに到る。然る時は輸血の際に時に實驗する如く、甚しく重き徴候を起す。其の重徴を2型に分つを得。1. 昏睡に近き状態。體温降下、少量輸血の場合には體温上昇 2. 痙攣的現象、體温頓下、死。

#### 1. Pfeiffer 氏試験

臨牀診断には細菌溶解を利用す。之が Pfeiffer 氏の試験なり。此の試験は次の如くしてなす。非働性即ち攝氏の 56 度に加熱せる免疫血清を其の免疫血清を生ぜしめたる細菌と同種の細菌と共に海猿の腹腔内に注入す。腹腔液中には補體が既存するによりて此の補體が免疫血清の接合體を再び賦活して細菌溶解が起る。溶解せられたる細菌は最早繁殖し得ざるによりて動物體は感染に打勝つ。然るに對照動物には免疫血清の代りに正常血清又は異種免疫血清が注入せらるる爲に、此の動物は感染す。

試験動物に大量の細菌を注入すれば細菌は溶解せらるるとも大量の遊離毒素によりて動物は死す。

Pfeiffer 氏の試験は甚特殊にして、コレラの診断に特に大切なり。コレラの第1症例に臨み此の試験を試みて診断を確むる事は肝要なり。

#### 2. 補體結合方法 Komplementbindungsmethode (補體固定 Komplement-fixation, Bordet-Gengou 氏反應)

##### Wassermann 氏反應術式

Wassermann 氏反應は W. R. なる略字にて現はす。

試験番號	本試験			對 照								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
5倍稀釋患者血清又は腦脊髄液	0.2	0.1	0.05	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
生理的食鹽水	0.9	1.0	1.05	1.3	0.7	1.1	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0
補體 (10倍海猿血清)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	—
抗原	0.4	0.4	0.4	—	0.8	0.4	—	—	—	—	—	—
1時間攝氏 37 度の孵籠に入る												
溶血素 (溶血價の3倍)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
羊赤血球 (5%)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2時間攝氏 37 度の孵籠に入る												
成績	不溶 (+)	不溶 (+)	少溶 (+)	全溶 (-)	全溶 (-)	全溶 (-)	全溶 (-)	全溶 (-)	全溶 (-)	不全溶 (-)	少溶 (-)	不溶 (-)
	陽性			患者血清	抗原對照		補體對照					

患者血清(又は腦脊髄液) 成可く空腹時採血し、乾燥試験管に斜面に凝固して得たる血清を直に 56 度にて 30 分間加温し非働性となす。腦脊髄液には補體なき故に其のまま用ふ。



食鹽水 0.85% の食鹽水を 1 時間 100 度にて滅菌す。

補體製法 海猿の心臓、頸動脈又は耳靜脈より採血す。通常 3 頭以上より採血して混す。血清は食鹽水にて 10 倍に稀釋し 1 兎づつ用ふ。

抗原製法 海猿心臓 1 瓦に 96% アルコール 50 兎を容れ、よく磨碎し攝氏 60 度の水浴に入れてよく振盪しつつ 2 時間放置せる後、之を濾過して得たる透明液を用ふ。

抗原用量は溶血防止下量の半量を用ふ。例へば 0.6 にて補體を破壊して溶血起らざるも 0.4 にて溶血起れる時は其半量 0.2 を用ふ。此のアルコールエキスを稀釋するには食鹽水を徐々に加ふる方濁濁強くして可なり。

溶血素製法 脱纖維せる羊又は山羊赤血球を食鹽水にて 3 回洗滌したる後、之に食鹽水を加へて元の血量とせるもの 3—5 兎づつ 6 日置きに 3 回家兎耳靜脈内に注射し、第 3 回目の注射より 9 日目に少量採血し、溶血血價 1000 倍以上なれば大量の採血を行ひ、其の血清に 0.5% の割合に石炭酸を即ち血清 10 兎に對し 5% 石炭酸 1 兎を加ふれば半年乃至 1 年使用に堪ふ。而して溶血價の 3—4 倍を用ふ、用時 30 分間 56 度にて非働性とす。第 3 回注射は過敏症を避くるために腹腔内に注射す。

羊血球製法 5 兎の脱纖維羊赤血球又は山羊赤血球に生理的食鹽水を加へて 100 兎となせるもの。無数の小硝子球を入れエルレンマイエルコルペンに血液 5 兎を入れ、數分間振盪し脱纖維せる後遠心硝子管に入れ、生理的食鹽水を以て洗ひたる後生理的食鹽水を加へ 100 兎とす。

非感染者なれば(+)までは陰性とするも再檢す。

既感染者にして驅微療法後には(+)又は(±)なるとも陰性とす。

初期硬結發生後 1 ヶ月以内は概して陰性なり。血清陰性なるとも腦脊髄液は陽性なることあり。

村田氏反應 試験管に村田氏診斷液(1%ヒヨレス

テリン酒精溶液) 1 兎を容れ之に 10 兎の生理的食鹽水を試験管壁に沿ひ迅速に注加す。直徑約 0.6 ㎝の沈降反應用試験管に約 1.5 ㎝の高さに非働性可檢血清を加へ、之に略同量の上記試薬を重層す。室温に 40 分間置きて、液の接觸面を見る。

白輪全然見えざるものを陰性(-)とし、有無の決定し難き場合に(±)とし、微かに白輪を認め得ば陽性(+)とし、稍著明なる白輪を見れば強陽性(++)とし、白輪特に著明なれば最強陽性(+++)とす。

成績表示

陽 性	陰 性
不溶の者(卅)	弱沈澱 (+)
強沈澱の者(卅)	不全溶解 (±)
	完全溶解 (-)

### 3. 野口(英世)氏の Luetin 反應

之は後天性免疫性皮膚反應にして、殺せる微毒波菌を以て行ふなり。Luetin を皮内に注入す。此の反應は嚴として特殊なり。

### 4. Tuberculin 反應

成長者には皮下及皮内試験をなす。

**強反應** 結核感染によりて特殊物質の生じ居る型、再感反應 Allergie (臨牀的確定型)

**弱反應** 結核感染によりて特殊物質の生じ居る型、陽性無力 positive Anergie (臨牀的に良型)なるか、或は又、陰性無力 negative Anergie (臨牀的に悪性型)なるもの。

アレルギーとは病原體と生體との間の確存戰闘を意味す。positive Anergie は戰闘が生體に分合よきを示し、negative Anergie は戰闘が生體に分合悪しきをあらはす。アレルギーに就きては更に後段に記載す。

(イ) v. Pirquet 氏の皮反應 Cutanreaktion 本反應の本態は結核性小兒の皮膚に Tuberculin を接種 (Impfung) すれば、其の接種局部に赤色の炎術性 5—22 兎の直徑を有する丘疹を生ずるにあり。此の丘疹は接種後早くも 3 時間にして生ず。屢 24 時間後になりて漸く生ず。丘疹は圓形にして、腺病質の小兒 (skrofuröses Kind) にてはよく丘疹の周圍に小結節性濾胞腫脹を見る(腺病質性反應 skrofulöse Reaktion)。

**反應の實施** エーテルにて清掃せる皮膚上に 10 ㎝の間隔を置きて 2 箇所に濃厚 Alttuberculin の 1 滴を落す。次で先端の尖れる接種器にて先づ兩液滴間の中央に、次で兩液の局部に錐穿的亂刺術 bohrende Skarifikation を施す。(餘り出血するはよろしからず、唯單に軽く開裂すれば足れり)。10 分間放置す。繃帶の必要なし。

此の反應は哺乳兒及 2 歳までの小兒には特殊のものとしての價値あり。其れより長ぜる小兒にては此の反應は屢臨牀的に健康なる者にも起り、生長者にては 70% 以上の陽性率を示す。重症結核患者には此の反應は全く陰性なり。之は此場合には皮膚が抗體を生じ得ざるによるなり (negative Anergie)。

(ロ) 皮内試験 intracutane Probe Alttuberculin の稀釋液を皮内に注入す。陽性なれば穿刺反應は浸潤の形にて起る。其の浸潤竈は廣き發赤帯にて圍繞せらる (Kokarre-aktion)。尙注意すべきは起る局所反應、熱及其の他の全身反應なり。體温は 1 日 4 回檢す。

**價値** 此の反應が起らざるは皮下 Tuberculin 反應に似たる證左なり。

**操作** 各ツベルクリン稀釋には細き管を有する 1 兎可容注射器を用ふ。1:10000 の稀釋



度より初めて各8日間の間隔を置いて1:1000及1:100として0.1 兎だけを皮内に注入す。注射せる所には白き扁平疹が生ず。同時に生理的食鹽水にて對照注射をなすべし。注射の場所は上腿とす。刺反應の高潮點 Hohepunkt は36—60時間なり。浸潤は屢1週間も持存す。

舊ツベルクリンの500—1000倍液0.1 兎を前腕屈側皮内に注射して反應の陰陽を検することあり。疹直徑7—9 兎以上なれば陽性とす。之が即ちマンツー氏皮内反應 (Mantoux'sche Cutanreaktion) なり。

(ハ) Koch 氏の試験的ツベルクリン反應 (probatorische Tuberculinreaktion)。此の反應の本態は健康者にては皮下に與へられたる Tuberculin (Alttuberculin Koch) に對して病的症狀を呈せずして大量にさへ堪ふるに反し。結核に罹り居る者は極めて少量(0.1—1 兎) の Tuberculin にて著明なる徵候を以て反應するにあり。此の後者の場合に全身反應と局所反應(穿刺反應)とを區別す。

全身反應は熱、倦怠、頭痛、關節疼痛、心悸亢進なるが、體溫上昇が特に大切なり。

局所反應としては病める組織の急性炎衝を見る。肺結核を病める者にては屢肺にて病める所の濁音が増し、水泡音が増加し、咳嗽及喀痰が増加す。皮膚結核症例にては病める皮膚の局所に急性炎衝を起す。虹彩結核及咽頭結核の場合にも同様なり。

穿刺反應としては赤發、腫脹及穿刺部の疼痛をあぐべし。

此の反應を検するにあたりては特に患者の體溫に注意すべし。發熱患者は此の probatorische Tuberculininjektion をなすべからず。無熱なる事が缺く可らざら豫備條件なり。2日間は2時間毎に體溫を測定し、第3日に Tuberculin を肩胛間部の(胸背部)の皮膚に注射し、引續き2時間毎に體溫を測る。反應は注射前の最高體溫より0.5度上ればありとなす。5—8日の間隔を置いて注射す。1回注射0.01 兎 Alttuberculin。2回注射0.1 兎、3回注射1.0 兎、4回注射10 兎。ただ陰性反應の場合にのみ斯くの如く増量注射をなすなり。反應が疑はしくして體溫上昇が0.2—0.3度なる場合には、第1回注射量と同量を更に試に注射す可きなり。Tuberculin の稀釋は生理的食鹽水か、又は0.5% 石炭酸水にてなす。

大量注射後に反應が起らざれば被注射個人には活動性結核なきを知る。禁忌症 Kontraindikation は咯血直後、血尿直後及心臟竝に血管側よりの重き併發症等なり。

#### (二) 眼反應 Ophthalmoreaktion (Calmette, Wolff-Eisner)

新に製造せる Alttuberculin の2% の液を1滴だけ眼の内角に點眼す。結核患者なれば

12—24時間後に反應が起る。涙阜 Karunkel 及下眼瞼の内側が發赤し、眼球結膜も共に病みて遂に水泡性眼炎 Phlyktän を伴ふ化膿性結膜炎を起す。

眼を病む者には此の反應を検す可らず。

此の反應も診斷上に價値あり。1% の液にて反應する健康者は非常に稀なり。之に反し結核患者は其の80% までも此の反應に陽性なり。

#### 第4節 アレルギー性疾患

アレルギーとは人又は動物體が一定の疾患を経過するか又はアンチゲンが1度其の體内に輸入せられたる時其の生體は其の後該アンチゲンに對する反應能力の異常の亢進即ち過敏状態を意味することは既述によりて明かなり。

**アレルギー性疾患の診断** アレルギー状態の診断は適當なる試験法にて證明するか又はアレルギー性療法奏效によりて附す。臨牀上にアレルギー性疾患 (Allergose) と稱する異狀は催起的 Allergen には殆んど全く關係なくして徹頭徹尾皮膚、粘膜及血管等の體質的特有性によりて起る。

此のアレルギー性疾患の診断法。

1) 布片試験 (Läppchenprobe): 上皮を侵すアレルゲンを證明するには、疑はしき物をりんねるに浸して皮膚に貼用して、之を絆創膏にて24時間固定す。局所に炎衝起れば反應陽性とす。

2) 皮内試験 (Intrakutanprobe): 攻撃點は皮膚の血管にして、疑はしき物の1% 水溶液0.05 兎を皮内に注射し、20分後と20時間後とに反應を讀む。

3) 住宅アレルゲン (Wohnungsallergen): 之を證明するには患者に症狀なき時期に一定時間住宅、作業場に患者を試に停留せしむ。

4) 氣管支検査 (bronchiale Testung): 微量冷吸入器を用ひ微細噴霧を以て検査す。

5) 栄養實驗による腸検査 (食品に對する過敏症検査) (intestinale Testung): 最初純粹の糖食餌を用ひ、次で隔日に他の食品を添加して皮膚又は粘膜の當該症狀の出現するを俟つ。

次にアレルギー性疾患の臨牀診斷法中の大切なるものに就きて更に詳説せんに、一般には皮膚反應が應用せらる。皮膚反應を検するには次の2法あり。

1) 皮膚亂切法。2) 皮膚検査法。

是等皮膚反應を検するには普通アレルゲン・エキスを使用する。之を得るには Coca 及



Milford 兩氏法あるも此所には Frugoni, K. Hansen 氏等の方法を紹介す。氏等は抽出液として 12% アルコール液を使用す。即ち種々のアレルゲンとなる物質 10 瓦を細く碎き、之を 90 ㄔの 12% アルコールに入れて 1 晝夜抽出して之をザイツの細菌濾過器 (Seitz-Entkeimungs-Schichten) を以て濾過せる後、其の 50 ㄔに 2 滴の割合にメタクレゾールを加ふ(又は石炭酸溶液を 0.5% の割合に加へ)。之をアレルゲン原液としてアンプル中に封じ氷室中に保存す。

1) 皮膚亂切法 (Skarifikationsmethode): 之はアレルゲン、エキスを以て恰も種痘の技術と同様に行ふ皮膚反應にして、患者の前膊の屈曲又は上膊を酒精綿を以てよく消毒し、局部の皮膚が全く乾燥せる後に、種痘用亂切刀を以て數箇所長さ 0.5 ㄔ乃至 1.0 ㄔの出血せざる程度の亂切を行ふ。此の亂切の相互の間隔は少くとも 3 ㄔ以上とす。此の亂切部上にアレルゲンの適當に稀釋せるエキスを滴下してより 15 分間乃至 30 分間後に皮膚反應を検査す。

反應が陽性的の場合には 10 分間餘を経過すれば局所に著明の丘疹を生じ、其の周圍に著明なる紅暈を認む。丘疹著明なれば皮膚反應陽性とす。此の反應は短時間にて消失する事あるにより患者局部の注視を怠るべからず。丘疹の直径 0.5 ㄔ以下なれば皮膚反應陰性とす。而して丘疹の直径 0.5 ㄔ以上なれば皮膚反應陽性とす。丘疹の直径 2.0 ㄔ以上に達せば最強陽性(卅)とし、1.5—2.0 ㄔなれば中等強陽性(卅)とし、1.0—1.5 ㄔなれば強陽性(廿)とし、0.5—1.0 ㄔなれば弱陽性とす。

皮膚亂切法實施によりて不快なる全身症狀を發すること殆んどなし。

2) 皮内検査法 (intrakutane Prüfungen): 此の皮内検査法はマンツー氏皮内反應と同様にアレルゲンを患者の皮内に注射する方法なり。注射器には  $1/100$  ㄔの目盛あるツベルクリン注射器を使用す。即ち皮内注射法はアレルゲンのエキスを生理的食鹽水を以て適當に、例へば 100 倍乃至 300 倍等に稀釋して其の 0.1 ㄔを細き注射針を以て患者の背部皮内に注射す。注射部位に小なる丘疹を生ずるも、反應陰性なれば丘疹は 15 分乃至 30 分にて殆んど消失す。之に反して皮内反應が陽性なれば丘疹は生理的食鹽水注射部丘疹よりも遙に大きさを増し、長時間存続するのみならず、其の周圍に著明なる紅暈を生ず。

一般に此の皮内注射に對しては被檢者が過敏にして陽性率多く、アレルゲン、エキスの使用量に注意するも尙時に全身症狀を起し屢々重篤なるアレルギー症狀を起すことあり。依て本反應を検査するに當りてはアドレナリン又はエフェドリンを準備し置くべし。

アレルゲンとしては鶏卵、牛乳、鮭、鯖、鰯、鰹、鮪、牡蠣、蝦、蟹、蝦蛄、牛肉、豚

肉、馬肉、渡稜草、茄子、莓、筍、塵埃、絲狀菌等のエキスが屢々強陽性皮内反應を呈す(三澤敬義氏による)。

**アレルギー性疾患の栄養實驗** 栄養實驗或は食餌試驗を行ふには饑餓日を設く。次に三澤、小方兩氏のアレルギー性疾患の食餌試驗法の變法を紹介すべし。蕁麻疹、氣管枝喘息又は偏頭痛等が果してアレルギー性疾患なるや否やを診斷するには既往皮膚反應によりて知るも、之等が食餌性なるや否やを確定するには食餌試驗を行ふ。

第 1 日及び第 2 日の饑餓日には番茶とデキストロブーア又は砂糖、或は少量の食鹽を加へたる 3 分粥を朝晝夕食に 1 杯づつ與へて可。

第 3 日 普通粥食を 3 食共に 2—3 杯づつ與ふ。又馬鈴薯と大根、又は蕪等を味の素と砂糖、食鹽にて調理して與ふ。但し鰹節の使用を禁ず。

第 4 日 米飯を 3 食共に任意量だけ與ふ。其の他馬鈴薯、大根、白菜、球菜、里芋を味の素と砂糖、食鹽又は醬油等にて調理して與ふ。但し鰹節の使用を禁ず。

第 5 日 米飯を 3 食共に任意量だけ與ふ。上述の野菜の他に豆腐、渡稜草又は茄子、或は筍等をも與へ且朝夕に味噌汁を與ふ。但し鰹節の使用を禁じて味の素、醬油を以て調理す。

第 6 日 米飯と上述の野菜食の他に 3 食毎に鶏卵を 1 個づつ與ふ。

第 7 日 米飯と上述の野菜食の他に朝夕牛乳を 1 合づつ飲用せしむ。

第 8 日 米飯と野菜食の他に食事毎に鯛、比目魚、鰈、鯉等の白肉の魚肉を與ふ。

第 9 日 米飯と野菜食の他に 3 食毎に鰹、鯖、鮪、鮭等の魚肉を與ふ。此の魚肉を攝取するも異常なければ以後鰹節の使用を許可す。

第 10 日 米飯と野菜食の他に、鶏肉又は家鴨の肉を與ふ。

第 11 日 米飯と野菜食の他に、鶏肉又は家鴨の肉を與ふ。

第 12 日 米飯と野菜食の他に豚肉を與ふ。

若し是等の附加食餌を與へて喘息發作及其の他が起らば直に其の食餌の供給を中止して附加前の無害の食餌を與ふ。即ち此の場合には其の日新に附加せる食餌がアレルゲンなるを示す。故に食餌試驗の終了せる後に再び之を與へてアレルゲンなる事を再檢す。以上の食物の他にアレルゲンあるは勿論なり。

以上の如くして検査する時は蕁麻疹の場合には鶏卵、牛乳、蝦、蟹、牡蠣、鯖、鮪、豚肉、時として馬肉又は莓等がアレルゲンなる事多く、又氣管枝喘息の場合には以上の他に渡稜草、茄子、筍、鮭、豚肉等がアレルゲンなる事あり。



### 第5節 血清並に脳脊髄液の2—3の血清學的反應

此所には人血型に就きて記述し、*Wassermann* 氏反應に就きては既に記述せるを以て省略す。其の代補検査法としての *Sachs-Georgi* 氏反應に就て記述すべし。脳脊髄液の *Globulin* 反應及 *Kolloid* 反應も診断上價値あるものとして用ひらるるにより是等に就きて短簡に記述すべし。

#### 第1項 同種血球凝集現象

急性大量出血の場合に輸血が履行はる。此の輸血を行ふには被輸血者の赤血球を凝集せしめざる血液を以てせざる可らずして、人血型の決定は輸血實施に先立ちて必ずなざる可きものなり。

*Shattock* 及 *Landsteiner* が初めて正常同種血球凝集反應を發見し。之が生理的のものなる事の確診を與へたる者は *Landsteiner* 氏なり。本凝集に與かる凝集素は血液外の體液中にも認めらる。例へば此の凝集素は乳汁、脳脊髄液、濾出液及滲出液中にもあり。此の凝集素は耐久性を有し、無菌的に藏貯するか又は一定の消毒薬を加へて貯藏するを得。乾血中に於て凝集價の高きもの比較的長時間作用可能の状態に止まる。

#### 同種血球凝集反應の検査法

一般検査法としては顯微鏡検査法を選ぶべし。

5%の赤血球浮游液の極めて少量に比較的多量の血清を加へて暫時放置せば赤血球は凝集す。

凝集反應を起せるものにては顯微鏡下に不規則に集團せる赤血球を認むるを得。検査實施上の注意は 1. 検査時の室温は低きに過ぎざる様にする事なり。低きに過ぐれば寒性自家血球凝集現象が成績を濁濁す。2. 血球と血清の混合比例なるが、凝集素(血清中にあり)凝集原(赤血球が有するもの)の作用力には強弱の差あり。今假りに凝集素の力の弱き血清に多量の赤血球を加へたりとせば反應の判定が自然困難となる筈なり。故に成るべく少量の赤血球に可能的に多量の血清を作用せしむ。3. 操作は化學的に純なるを要す。銅の混在はこれのみにて赤血球の凝集反應を起す。故に銅製蒸溜器にて得たる蒸溜水より製せる生理的食鹽水を使用にあつ可らず。4. 凝集赤血球の團塊を綫錢狀赤血球結合と誤認せざる様にす(399 頁血液型の決定欄参照)。

### 第2項 血清及脳脊髄液の沈降法 (Præcipitationsmethoden)

#### *Sachs-Georgi* 氏の析出反應 (Ausflockungsreaktion)

造抗原は *Cholesterin* を加へたる牛心臓の酒精越幾斯に同量の生理的食鹽水を加へて振盪せる後に更に酒精越幾斯量の4倍量の生理的食鹽水を加へて製す。此の0.5 珇に豫め攝氏の55 度にて30 分間加温して非働性となせる被検査血清の10 倍の稀釋液を1.0 珇だけ加へ37 度の孵卵器中に2 時間置きて後にルーベにて反應を検す。微毒患者の血清ならば沈澱物を生ずるも、非微毒者の血清は沈澱物を生ぜず。本邦にては村田氏反應が廣く實地に應用せらる(本反應に就きては既に600 頁に記述せり)。

#### 第3項 脳脊髄液の *Globulin* 反應

1. *Nonne-Apelt-Schumm* 氏の方法 加熱飽和硫酸アンモン液 (35 瓦の *Ammonii sulf. purissimi neutralis* (Merck) に *Erlenmeyer* コルベ中にて100 珇の蒸溜水を注ぎ不溶解性分のなきまで煮沸す。次で冷却す。液は中性ならざる可らず。加熱飽和硫酸アンモン液にて半ば飽和せば *Globuline* 及 *Nuklealbumine* が析出す。之によりて *Albuminen* より區別せらる。 $\frac{1}{3}$ —1 珇の脳脊髄液に濃厚な試薬を加ふ。3 分間を經過せば痕跡オパール、オパール、輕濁、強濁及沈澱 (*Spur Opalescenz, Opalescenz, leichte Trübung, starke Trübung* 及 *Niederschlag*) 等を區別す。輕オパールは正常脳脊髄液にては起らず、故に疑はし。

2. *Pandy* 氏反應 結晶石炭酸 80—1000 を蒸溜水 1000 珇に加へてよく振盪せる後攝氏 37 度の孵卵器に數時間を置きて後數日間室温に置きて油狀石炭酸上に飽和せる石炭酸溶液を得。此の飽和石炭酸溶液の1 珇を時計硝子に入れ之に被検査脳脊髄液1 滴を邊緣より又は中央に入れ3 分間後に濁濁の有無に就きて觀察す。

少々青味を帯びて白色沈澱を生ぜば陽性とす。乳狀に濁濁せば(卅), 強度濁濁(卅), 濁濁(廿), 蛋白濁(+), 次第に淡陰翳を發生する時は(+)とす。

3. *Weissbrodt* 氏の昇汞反應 1:1000 の昇汞液 30.3 珇を脳脊髄液の0.7 珇に加へて振盪し投下線にて黒背壁に面して觀察すれば病的なる場合には液が濁濁す。

4. 高田、荒氏法: 264 頁肝臟機能診断欄参照。此の場合には血清の代に脳脊髄液を被検査液とす。



## 第2章 各傳染性疾患の診断

1. 血清病 Serumkrankheit は異種血清(實扶的里血清, 破傷風血清の如し)の注射後に起る。本症に直發反應 sofortige Reaktion, 速急反應 beschleunigte Reaktion 及固有の血清病とを區別す。

反應中の前兩者は實驗的過敏症に相當し, 患者が曾て1回同種動物(血清病を直接に起せる動物の血清)の血清を注射せられたる事ある場合に起る。此の状況下に感染の局部に局所徴候が速急に起る(疼痛性腫脹, 赤發, 蕁麻疹, 浮腫)及全徴候が起る(氣管枝痙攣によりて喘息型の呼吸困難, 血壓低下を伴へる心臟衰弱, 嘔氣, 嘔吐及下痢, 全身蕁麻疹, 關節疼痛等)。小兒にて特に血清を靜脈内に注入せる場合には時に生命の危険を醸す。斯かる事は成長者にては甚稀なり。何れにしても靜脈内には1時に大量の血清を注入すべからず。筋肉内か, 皮下ならば大量(比較的)の注射をなすもよし。

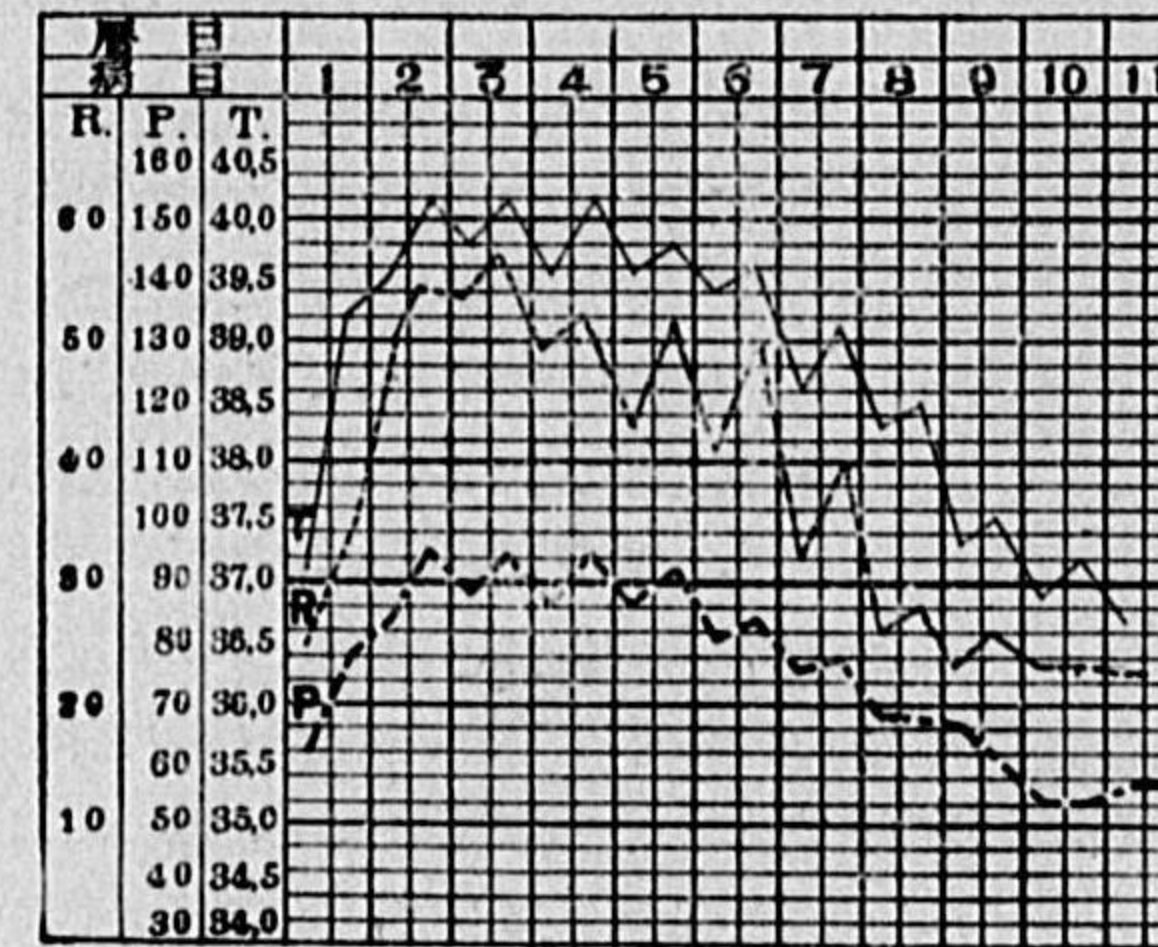
定形的の固有血清病は比較的稀なり。患者は多くは血清病徴候の2-3を呈するに過ぎず。最屢見るは體温上昇及發疹なり。體温上昇は輕度なる事又, 高熱(40度及夫れ以上なる事あり)を發する事あり。體温上昇は多くは迅速なり。多くは朝に緩解し, 數日間に互り上昇體温が稽留する事は稀なり。脈数は熱高に比例して増加す。解熱は多くは渙散的なり, 皮膚徴候は如何と云ふに, 規則として先づ注射部に手掌2倍廣の紅斑が現る。之に次で痒痒甚しき蕁麻疹が附加し來る。之は速かに消失して, 跡に丘疹を生ず。丘疹は胸腹兩部, 腕及脚に擴がり, 稀に顔面にも生ず。此の丘疹は2-3日にて消失す。猩紅熱様の又麻疹様の發疹を見る事あり。第3の顯發徴候は關節ロイマチスなり。之には高熱を伴ふ。全關節が罹る事あり又, 顎顎下顎關節も罹りて牙關緊急を起す。ロイマチスは發疹の出でたる後に來る。發疹の出生に數日間後れてロイマチスが起る事あり。ロイマチスは過性に於て1-5日より長延し事は先づなし。注射部に近く淋巴腺が腫脹する事は稀ならず。全身の淋巴腺が腫脹する場合もあり。此の場合には脾臓も腫脹し, 觸診可能となる。稀に浮腫が來る。注射部位又は手足に浮腫が來る。舌が腫脹し, 咽頭及喉頭に浮腫が來り, 結膜炎, 鼻加答兒, 氣管枝炎等が起る。嘔吐及下痢は例外的に來る。多少烈しき筋痛も起る。殊に四肢, 軀幹及背部の筋に疼痛あり。尿中に一過性に痕跡に蛋白を證明するも, 尿圓錐なし。白血球は増多し, 淋巴球は比較的増加す。好エオジン白血球減少せず。後には増多す。

血清病は少量の血清注射後には唯發し(disponierte)易き者にのみ來る。大量の注射後, 例へば赤痢治療の場合の如きには, 多くの患者に來る。局所の紅斑は多くは第4-5日に現れ, 蕁麻疹様の發疹は第6-7日目に生ず。然し斯かる徴候は第5-15日間に來り得る事を知り置くべし。血清病の期間は種々異なり, 多くは1-3日後には減退するも, 尙長く續く事あり。血清病は危険ならず。

2. 猩紅熱 Scharlach, Skarlatina. 潜伏期 Inkubationszeit は4-7日間。時に短く, 時に長く, 11日に及ぶ事あり。初めは氣分に變りなく, 前驅期 Prodromalzeit の後半には氣分が勝れず。前驅期は1-2日間にして, 惡寒及嘔吐の下に急速に熱を發して發症す。腫脹厚苔舌。睡眠皆無。譫妄。特異なるアンギナが生ず。第2病日に, 稀に第1日又は第3日に發疹が尙高熱の下(41度又は夫れ以上)に勃發す。淋巴腺腫脹を伴へる強アンギナ。發疹は多數の赤き密在性點よりなり, 此の赤點は濕漫性皮膚赤發によりて連結せらる。軀幹, 口唇を除きて全身の皮膚に此の發疹を見る。此の發疹の高潮期は第3病日なり(第353圖參照)。血液所見としては, 普通の白血球増多症あるか又は好エオジン白血球の増多を見る。發疹の消失後は診斷上に此の好エオジン白血

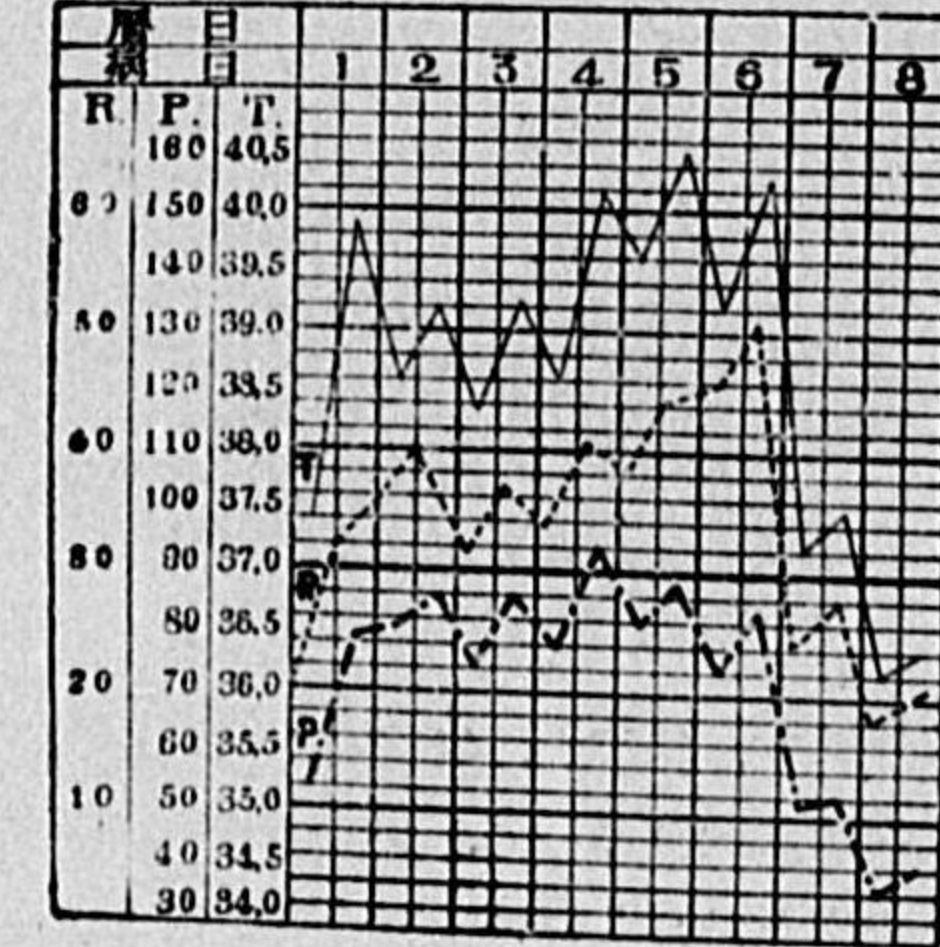
球の増多症が價值を有す。血液標本の白血球に Doehle 氏が記載せる包體 Einschlüsse が毎に而も多數にあり。第3-4病日に減退期 Defervescenz が始まり, 發疹は褪色し始む。舌苔が消失し, 舌は深紅に見え, 乳嚙突起は腫脹す(莓舌 Himbeerzunge)。熱は下降し, 3-6日以内に發疹は消退す。次で廣き膜様に皮膚の落屑が始まる。熱發期には尿中に Urobilinogen が強陽性なり。發疹著明なれば之が消退後皮膚は乾きて硬く其の面粗なり(著者)。

第 353 圖



猩紅熱

第 354 圖



麻疹

細線=熱, 點線=脈搏, 細點線=呼吸

併發症 Komplikationen 及後發症 Nachkrankheiten は壊死性アンギナ(猩紅熱實扶的里), 頸部淋巴腺の化膿, 心臟衰弱, 腦障礙, 肺炎患, 中耳炎, 急性ロイマチス性關節疾患, 心内膜炎等なり。併發症の來る場合には著明の白血球増多症ありて好エオジン白血球は消失す。特に恐る可きは第8週日頃に來る猩紅熱腎炎なりとす。多くは出血性腎炎なり。之が起るも, 初めの時期には浮腫ありて尿中には蛋白なし。

病原體は不明なり。人より人に直接に傳染す(傳染 Übertragung)。然し又器具, 例へば衣服の如きによりても感染す。本症は非常に傳染し易き疾患(kontagiöses Leiden)なり。屢連鎖狀球菌感染が隨伴(konkomitieren)す。

Doehle 氏は猩紅熱例の咽頭粘膜炎採物より猩紅熱溶血性連鎖狀球菌を分離し, 之を健康者の扁桃腺に塗布して猩紅熱を起し得たり。G.F. 及 G.H. Dick 氏は此の菌の培養の凝縮水より毒を採り出し之を筋肉に注射せるに短時間にして猩紅熱症候を發せしめ得たり。此の毒物を1000倍稀釋し皮内に注射する時は猩紅熱過敏の者ならば限局せる皮膚發赤を來す。18-22時間にて最強反應を呈す。此の反應を Dick 試験と稱し, 皮膚發赤部の直徑1.5釐なる時に陽性とす。

3. 麻疹 Masern (Morbilli) 潜伏期は10日間。前驅期は3-4日間。此の時期に熱は上り, 鼻汁流下 Nasenschnupfen, 結膜炎 Conjunktivitis 及犬吠様刺戟咳嗽 bellender Reizhusten 等あり。第2-4病日に弛張熱が出で, 第2日の終りに軟口蓋及硬口蓋に初期發疹 initialer Ausschlag がレンズ大の赤發の形にて又, Koplik 氏の斑として現る。此の斑を見るに帽針頭大の暗赤色帯の中央に白色の點あり。之は特に齒に向へる頬粘膜炎に生ず。第4病日には, 偶第3-5病日に, 再高熱の下に粗大斑狀の發疹が發生す(發疹 Eruption)。此の發疹は多くは先づ顔面に現れ小形にして淡紅色帯より圍繞せらるる結節 Knötchen なり。發疹後第2日に發疹は全身に擴がる。發疹



第 355 圖



麻疹。28 歳の患者より。(岩男内科原圖)

中には癒合するものもあるも、規則としては健康皮膚部が發疹間に残存す。尿のデアッオ反應は陽性なり。血液の好エオジン白血球は消失し、全白血球の減少症あり。第6—7病日に發疹が褪色して分利的に體溫の下降を見る。糠秕狀皮膚落屑あり。(第355圖參照)

併發症及後發症は強度の氣管枝炎、氣管枝肺炎、中耳炎、赤痢様腸炎。甚屢氣管枝淋巴腺の腫脹を見、肺結核又は粟粒結核が發症することあり。

病原體は不明なり。人より人に直接に傳染す。主として小兒期に感染す。

4. 風疹 Röteln, Rubesla 惡寒、頭痛、鼻加答兒、咽頭に於ける斑狀の赤色發疹、結膜炎、氣管炎、熱發(39度まで)。第2—3病日に全身に發疹を見る。初めは淡赤色、次で眞紅色にして、レンズ大の圓き又は橢圓形の高き斑となる。發疹は癒合せず。發疹間に健康皮膚を見るも時に癒合する事あり。血液の好エオジン白血球數は普通にして、白血球の増多症あり。3—5日後に發疹は消失す。偶輕微の落屑を見る。時に淋巴腺の腫脹をも見る。

病原體は不明なり。流行性の疾患にして成長者も本症に罹る事あり。本症は流行性 epidemisch に來る。

5. 第4病 vierte Krankheit 潜伏期は4—12日にして前驅期なく、熱發第2日に發疹す。發疹は猩紅熱のそれに似たり。

6. 流行性耳下腺炎 Parotitis epidemica (Mumps) 潜伏期は2—3週間。發熱を以て始まる(39度まで)。耳下腺は疼痛腫脹 schmerzhaft Anschwellung をなす。開口、談話及嚥下が困難なり。片側の耳下腺のみが侵さる事あり又、片側の腫脹に3—4日後れて他側が更に罹る事あり。稀に他の唾液腺及涙腺も侵さる。7—10日を経て漸次に治癒す。時に再發す。症例の1/3は成長男子なり。成長男子にては片側に、又は兩側の睾丸炎 Orchitis を起す。此の炎衝は初めの3—4日間は増悪し、次で輕快するも重要症例にては睾丸は萎縮す。併發症は稀なり。時に腦膜炎、腎炎、中耳炎、肺疾患を起し、譫妄を發す。

病原體は不明なり。流行性にして、偶散發性 sporadisch に來る。人より人に傳染性なり。

7. 天然痘 Pocken, Variola vera. 天然痘の潜伏期は10—14日間。潜伏期中は苦痛なし(beschwerdefrei)。時に潜伏期の終りに輕微の全身障礙、激頭痛及腰痛ある事あり。是等は發熱と共に増強す。前驅期は3—5日にして惡寒戰慄にて高熱を發す。第2病日に屢猩紅熱の發疹に似たる前驅發疹 Prodromalexanthem が脚3角 Schenkeldreieck, 上腿の内側、下半腹部、前上肢の伸側、腋窩等に生ず。之は1日以内に消失す。第3日に天然痘發疹 Pockenausschlag が赤色の輕度の高き斑として先づ顔面に生ず。第3—4日にて發疹後には體溫は分利的に微熱性體溫 subfebrile Temperatur まで下降す。第6病日に丘疹の中央に水様透明の内容を有する水疱疹が生ず。此の中央には中心凹 zentrale Delle (鑑別診斷上大切なり)あり。水疱疹は皮膚及粘膜に生ず。第9病日には水疱疹の内容は膿性となる。膿疱は膨脹して、之が赤き炎衝帯にて圍繞せらる。化膿と同

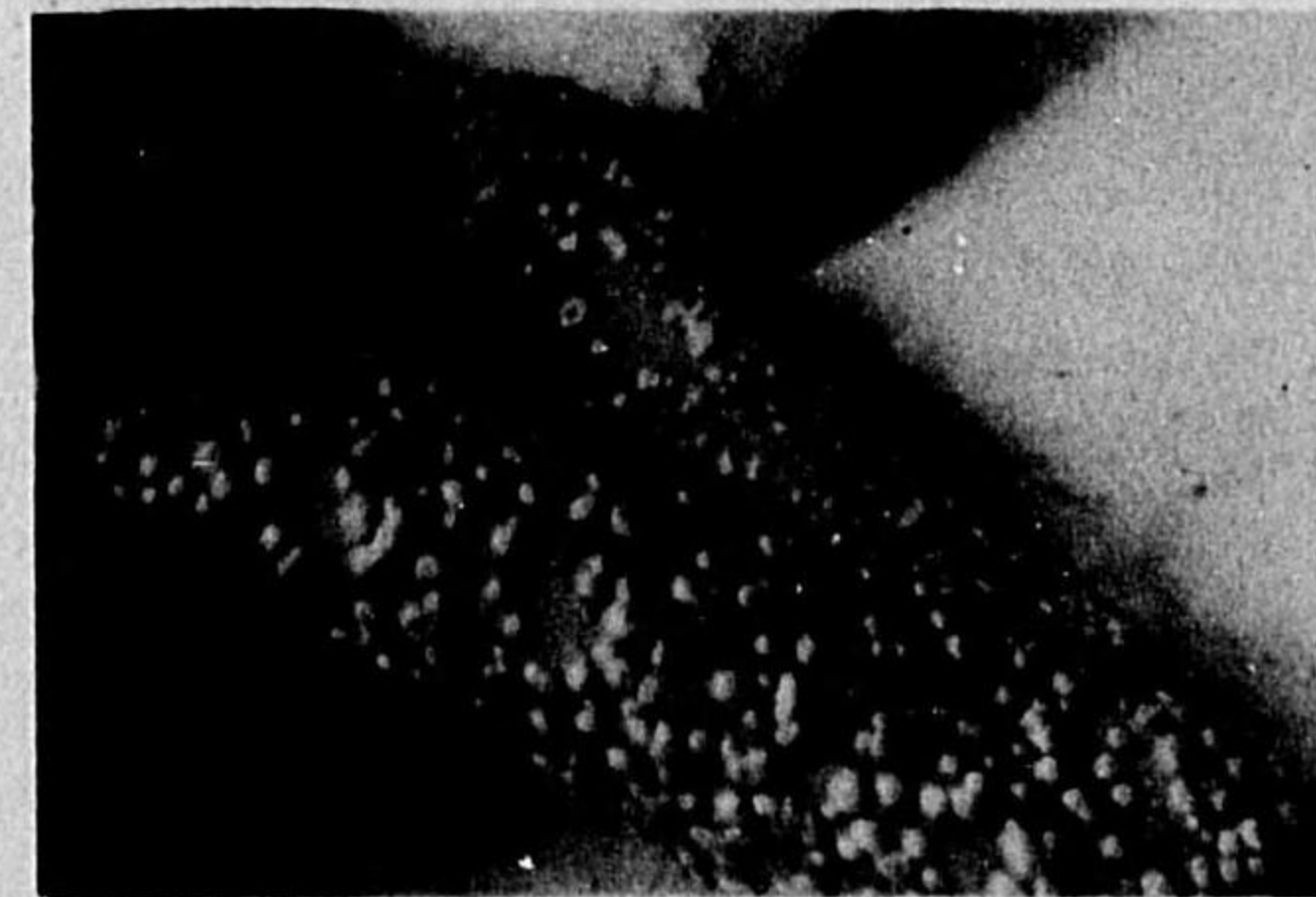
第 356 圖



痘疹例に於ける膿疱疹(京都病院藏)

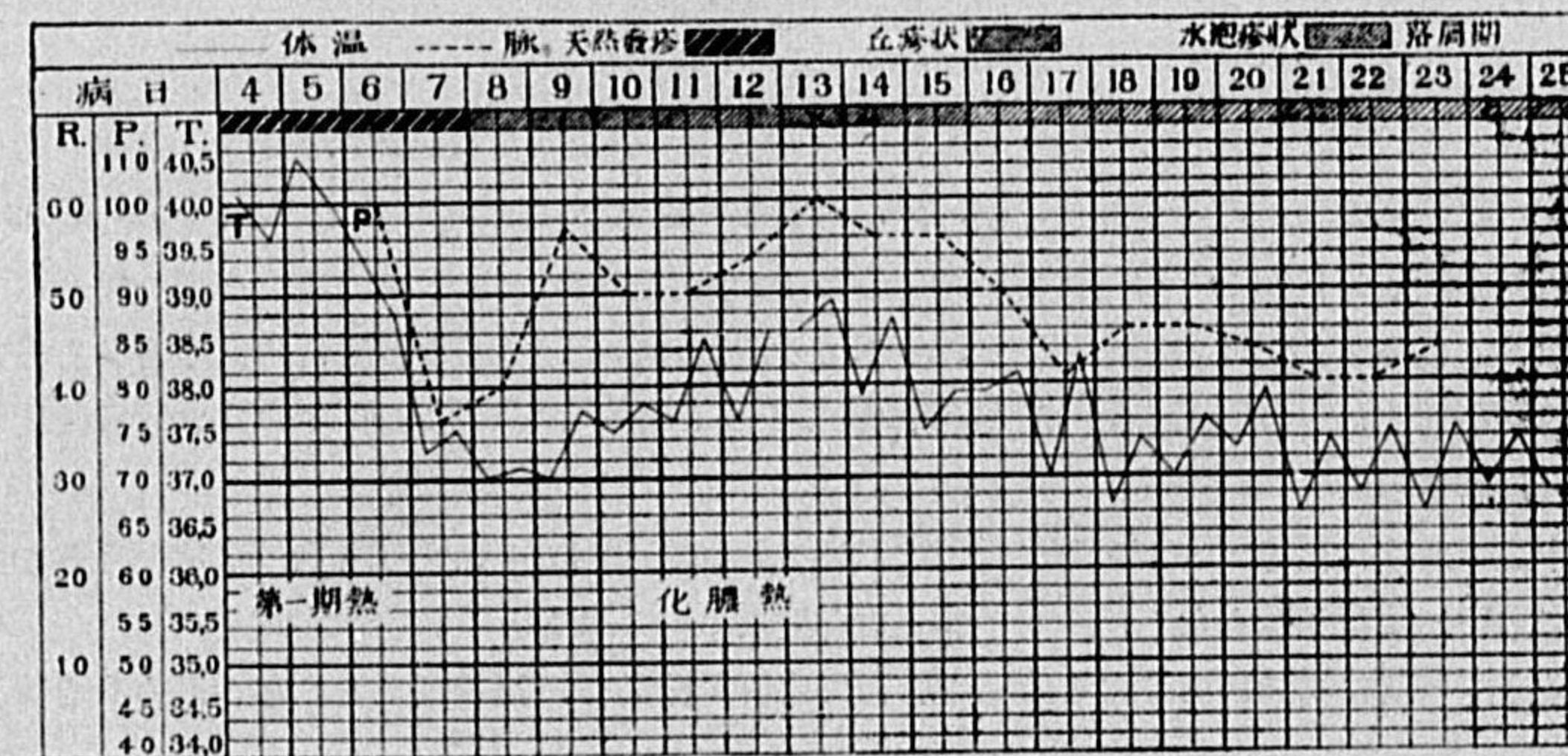
時に更に熱は高くなる(化膿期 Stadium suppurationis)。此の時期より熱は弛張す。第11及12病日には天然痘水疱疹の乾燥が始まる(乾燥期 Stadium exsiccationis, Desikkationsstadium)。而して渙散的に解熱す。第16日頃より結痂の剝落 Abstossung を見る(結痂落下期 Stadium decrustationis)。併發症は氣管枝肺炎、心内膜炎を伴ふ敗血症状態なり。診斷には Paschen 氏天然痘小體(Pockenkörperchen)の證明が大切なり。輕症の痘疹をアラストリム Pocken-Alastrim と稱す。病原體は不明なり。傳染は間接又は直接接觸によりて行はる。

第 357 圖



痘疹例に於ける膿疱疹。疹に中央臍窩を見る。(京都病院藏)

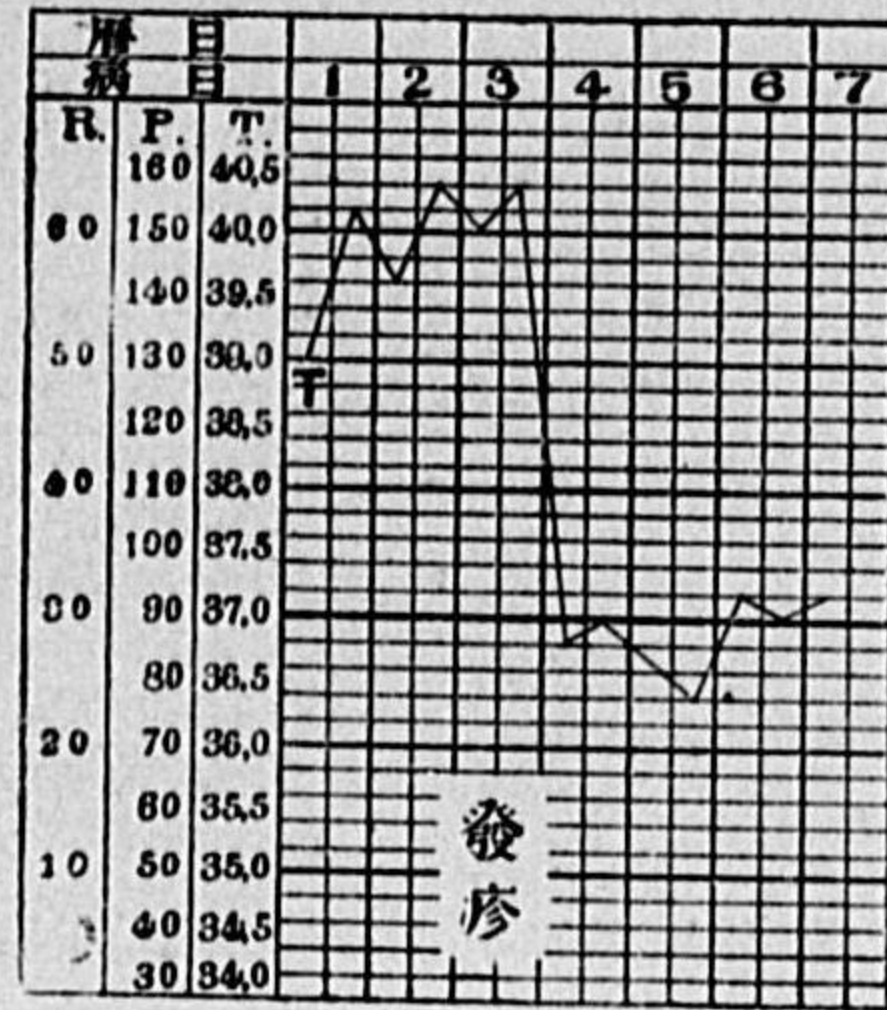
第 358 圖



眞性天然痘



第 359 圖



假 痘

道の加答兒性微候等あり。脾は打診的に腫大して屢觸診可能の程度に達す。症例の5%に口唇疔行疹 Herpes labialis を生ず。稽留熱は10—12日間續續す。恰も空扶斯状態 Status typhosus に一致す。第3—5日に發疹は漸進的 schubweis ならずして1氣に生ず。生じたるものは先づ薔薇疹として屢消可能 wegdrückbar なるも忽ち青色味を帯び、癒合斑となる。薔薇疹は淡青色の帯域を有す。疹を壓迫するも褪せせず(小出血に變れるなり)。屢特に中心部に出血を見る。皮下組織の血管は纖細紋様をなし透視するを得。發疹の形は不定なり。斑及點狀出血は時に點狀なる事あり。時に帽針頭大なる事あり。時には汚點狀をなし、時には少數の發疹が癒合す。斯く發疹像が甚しく互に異なるが本症に特異なり。後に小出血部は黄色を呈す。特に肩、頸、下腿、脛骨稜、足背に、別して手掌及足趾に發疹を生ず。之が大切な微候なり。血液所見としては好中性白血球の増多症あり。腸管障礙は稀なり。循環器障礙としては頻數脈、不整脈、小脈及第2週目に於ける血壓低下なり。此の血壓低下は恢復期までも續く。舌は苔を以て被はる。脾は漸次小さくなりて觸れ得ざるに到る。肝に壓痛あり。出血性腎炎を見る事は稀ならず。尿に強チアツオ反應及蛋白反應あり。神經症狀も強く、意識濁濁及譫妄あり。死は極度の體温上昇の下に來り又、解熱後に體力消盡 Erschöpfung によりても死は來る。良經過症例 günstige Fälle には第2週の終りに熱分利 Krise が來り、又2—4日間にて解熱す。可なりの糠粒狀落屑あり。併發症は氣管枝肺炎、纖維素性肺炎、耳下腺炎、指、趾、鼻翼等の壞疽 Gangraen, 褥瘡 Decubitus 等なり。

鑑別診斷的には別して腸室扶斯が問題となる。腸室扶斯にて點狀出血斑を生ずる場合はあるも稀なり。發疹室扶斯は急速に熱發し、早期より腦微が強く、糠粒狀落屑、白血球増多を伴ひ、發疹の状態及之が生ずる部位、全經過等に特徴あり。是等の微候によりて本症を腸室扶斯と鑑別す。尙腸室扶斯の微候經過は次述の如し。

本症の診断には毎に Weil-Felix 氏凝集試驗 (597 頁參照) をなすべきなり。有熱期例の血液を以て動物に接種試験をなし、リツケツチアを證明し得ることあり。

發疹室扶斯は衣虱によりても傳染す。從て完全に除虱し、虱の居らざる事が最も良き豫防法なり。

10. 腸室扶斯 Unterleibstypus, Typhus abdominalis 潜伏期は7—12日間。此の間に全身

假痘 Variolois 種痘國に見る輕症天然痘にして、水疱疹の内容の化膿は甚しからず。從て第2熱期は著明ならず。乾燥 Desikkation は第6—9病日に始まる。

8. 風痘 Windpocken, Varicellen 潜伏期は12—14日間。次で可なりの發熱(38—39度)の下に水疱疹が生ず。水疱疹は天然痘と異なり數度に生ず。3—4日後には既に水疱疹は乾燥す。從て發疹後間もなきものと乾燥せるものとの混在を見るべし。病原體は不明なり。

9. 發疹室扶斯 Flecktyphus, Fleckfieber, Typhus exanthematicus 潜伏期は12—14日間。稀に之より短し。長くも3週間なり。突發的に發症す。發症時に寒惡戰慄を伴ふ事あり。急速に體温は上昇す。2—4日中に稽留熱となる。此の體温上昇期にインフルエンザ様の微あり。即ち頭痛、腰痛、關節疼痛、結膜炎、氣

的に病感あり。前驅期中に病感は漸次増して1週間に熱發す。第1週には熱は階段狀に上昇し(増進期 Stadium incrementi), 頭痛、腰痛、眩暈、食思缺損、便秘等あり。第1週の終りに熱は上る可き高さに達す。(極期 Fastigium) 同時に脾腫を生じ、血液中の好エオジン白血球は消失して白血球減少症を起す。第7—10日に薔薇疹を生ず。之は扁平にして僅かに皮膚面より高く、薔薇赤色斑なり。依て之を壓せば消失す。尿のチアツオ反應は陽性なり。下痢を起すに到る事あるも本邦にては終始便秘する患者多し。熱に對する脈數の不1致 (Inkongruenz zwischen Temperatur und Puls) あり。即ち熱高きに比して脈數の増加は輕度なり。第2週は稽留期 Febris continua なるが、第3—4週までも熱が稽留する事あり。然し屢熱は第3週には弛張性となり、第4週には渙散的に下降す(減退期 Stadium decrementi)。而して病微は輕快す。併發症として腸出血(下痢患者に屢なり)及腸穿孔 Darmperforation が第4週に最屢來る。空扶斯肺炎。著者の經驗によるに空扶斯氣管枝炎患者には咯痰の咯出が殆んどなし(腸壁運動の低下或は不全麻痺と此の咯痰の咯出なき事實とを對比せば興味深し。腸室扶斯患者にては氣管枝筋に緊張低下を來し、氣管枝運動が起り難きにはあらざるか。空扶斯氣管枝炎は發症後數日間安靜を守らざりし患者に特に屢起る。心臓衰弱、腦障礙(譫妄)及再發等なり。

腸室扶斯肺炎とは空扶斯菌によりて起れる肺炎を云ふ。稀有なり。腸室扶斯例にアミノピリンを與ふれば當日發汗と一過性解熱を見、翌日はアミノピリンを與へずとも發汗解熱を見る事あり。然し翌々日より更に發熱す。第4週終り即ち熱が弛張を示す頃に至りて毎日頓服的にアミノピリンを與へ、之によりて發熱期を短縮し得ることあり(著者)。

バセドウ病例が腸チフスに罹れば豫後絶對不良とせられたるも、沃度劑例へばチヨードチロジンの如きを以て斯る場合を治癒に向はせ得ることあり。即ちバセドウ病例の心臓微候は腸チフスに罹ることによりて増悪するも、此の増悪をチヨードチロジンにて防ぎ得ることあり(著者、森戸、陳藍田、田中)。

豫防注射をなせる者の空扶斯の不全型經過 abortiver Verlauf 腸室扶斯の豫防注射を再3受けたる者の腸室扶斯は一般に輕く經過し、不全型が多きは事實なり。

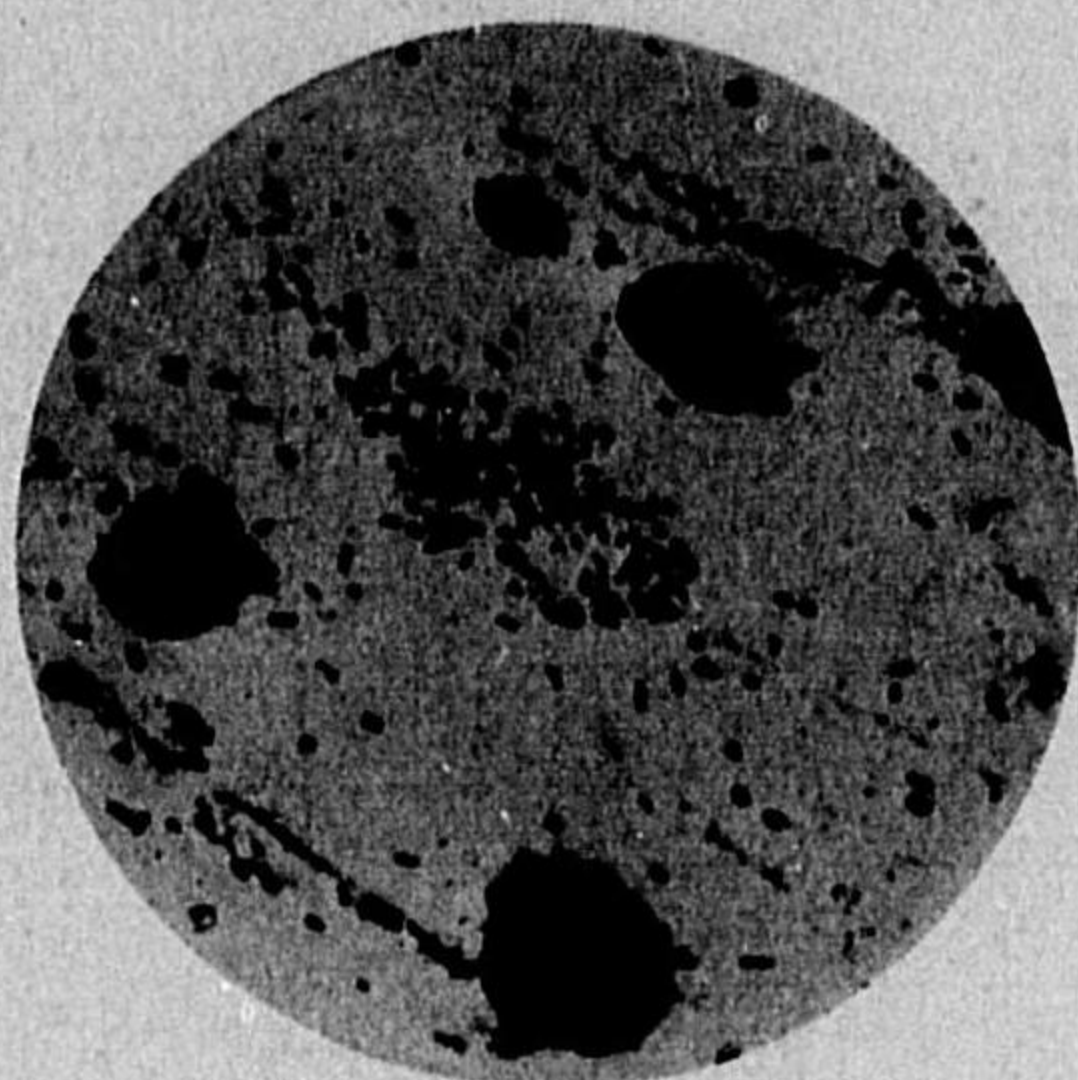
頭痛、腰痛、病感、食思缺損、便秘等と共に階段狀に熱は上る。熱は2—4日にして最高に達す。されど脈搏數は少なし。體温は著しく上昇する事はなく38度位までなり。脾腫は輕度なるか、又は脾腫脹の期間が短き爲か、著者の實驗にては脾腫を觸れ得ざりし場合の方が多し。薔薇疹の數は少なし。尿のチアツオ反應は稀に陽性なり。多くは便秘す。體温と脈數との不1致は此の場合にも特異なり。血液に白血球の減少症あり。熱の稽留期間は短縮するか、又は熱が稽留せざる場合が多し。症狀の輕快と共に熱は渙散的に下降す。又場合によりては急に解熱する事あり。

糞便並に血液中に於ける菌の證明は甚屢陰性に終り、稀に陽性なり。Mandelbaum 氏の菌絲形成試驗 Faderprobe を試みるか、又は Widal 氏凝集反應の増強を以て診斷す。

腸室扶斯の病原體は腸室扶斯菌 (Eberth-Gaffky) なり。短太桿菌にして活潑に運動す。此の固有運動 Eigenbewegung は多數の鞭毛によりて營まる。菌は Carbolfuchsin 又は Löffler 氏 Methyleneblau にて約5分間染色し、水にて洗ふ。グラム陰性なり。培養成績は次の如し。馬鈴薯上には24時間後に特異なる濕弱苔を生ず。本菌は牛乳を凝固せず(大腸菌は1—2時間にて牛乳を凝固す)。ブイオン及2%の葡萄糖ゲラチン中にて空扶斯菌は瓦斯を形成せず(大腸菌は毎に瓦斯を形成す)。遠藤氏培地上にて Fuchsin にて赤色に著色せざる纖弱透明の聚落を形成す(大腸菌は酸を形成するによりて Fuchsin にて赤く著色せる肥厚濁濁せる聚落を形成す)。著者の培地上にては空扶斯菌は紫色の薄き聚落を形成す(大腸菌は綠色の濁濁せる厚き聚落を形成す)。



第 364 圖



喀痰中のインフルエンザ菌

場合には 1/2-1 兎の 1% アドレナリン液を皮下に注射してマラリア寄生蟲を患者の脾臓より流血中に追ひ出す事を試みて検す。

マラリアの病原はマラリアプラスモヂウム Plasmodium malariae なり。傳染は蚊 (Anopheles) の刺穿によりてなされる。此の刺穿によりて最若發育形の孢子蟲 Sporozoen 所謂 Sporozoiten が血液中に達す。之は赤血球内に入り、其の内にて發育して非生殖性分裂 ungeschlechtliche Teilung (Schizogonie) をなす。而して各種のマラリアにて互に異なる時を要して芽胞 Sporen に發育す (熱發作)。此の芽胞が血中に出づ。而して再び更に上述の發育を遂ぐる爲に新血球中に入る。血液にある遊離性芽胞を裸芽胞 Gymnosporen 又は分子 Merozoiten と稱す。

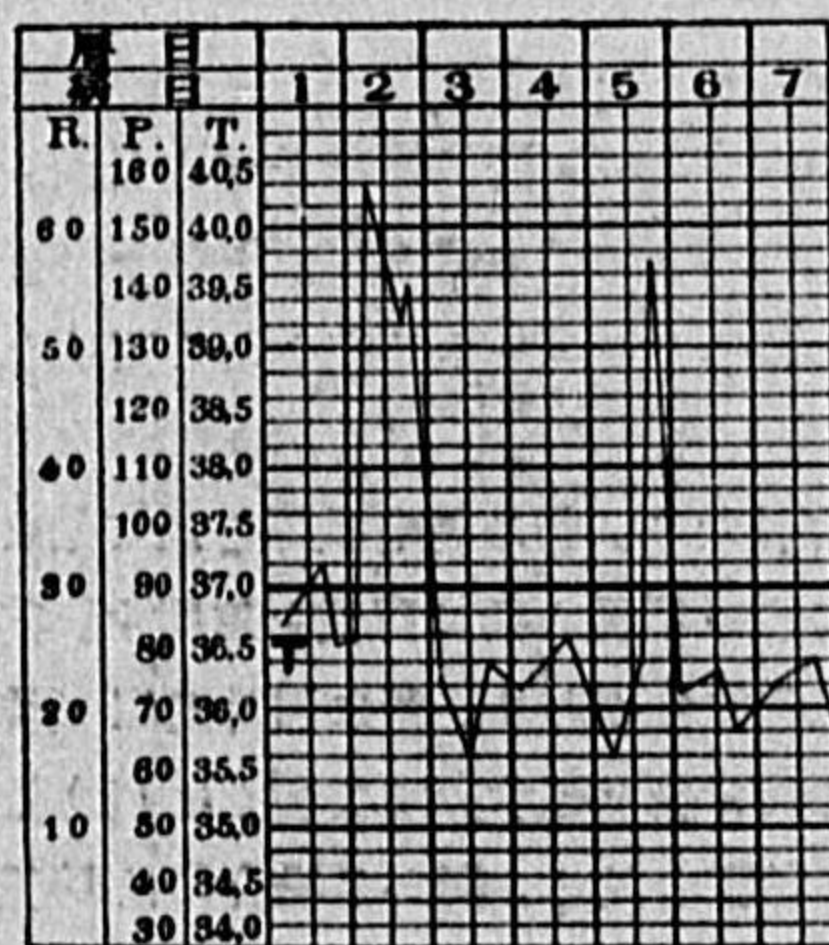
非生殖性分裂の他に生殖性發育 (Fortentwicklung) をなす。即ち少數の裸芽胞は大形なる雌

4 日熱 Quartana 之は熱型と血液標本にて 3 日熱と區別す。稀なり。熱帯マラリアは診斷に困難なり。屢惡寒戰慄なし。脾腫は前者よりも遙に後れて生ず。即ち數回の發熱發作を経て後に漸く脾腫を生ず。血液を検するも常にプラスモヂウムを發見し得るとは限らず。3 日熱の如く急には熱は上昇せず。臨牀的症候は 3 日熱よりも遙に重し。

黒水病 Schwarzwasserfieber 之は反復マラリアを病みて得たる後天性傾向にして、他の患者にては容易に堪ふる所の藥物によりて血色素尿症、發熱、黄疸及其他臓、心臟側よりの重き症狀を起すに到る。

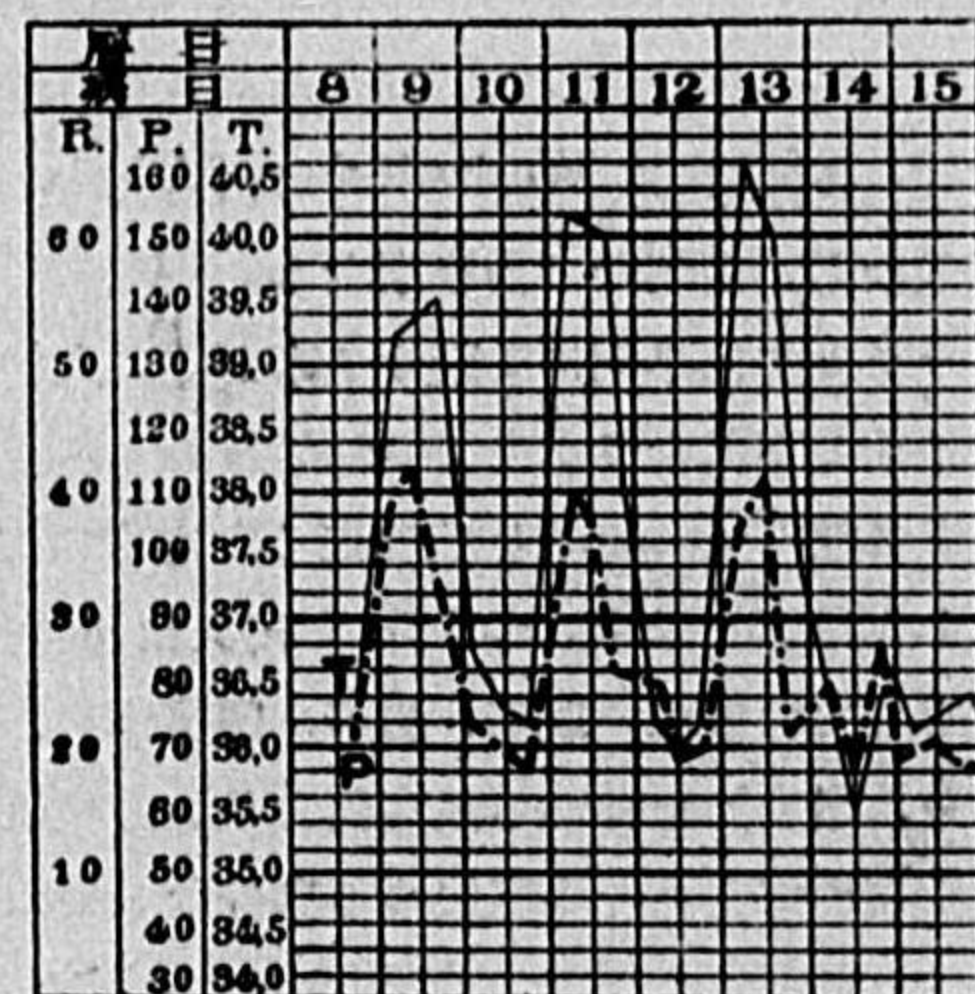
血液検査によるマラリアの診断 血液塗抹標本又は血液厚層標本を使用す。不明なる場

第 365 圖



マラリア 4 日熱

第 366 圖



マラリア 3 日熱

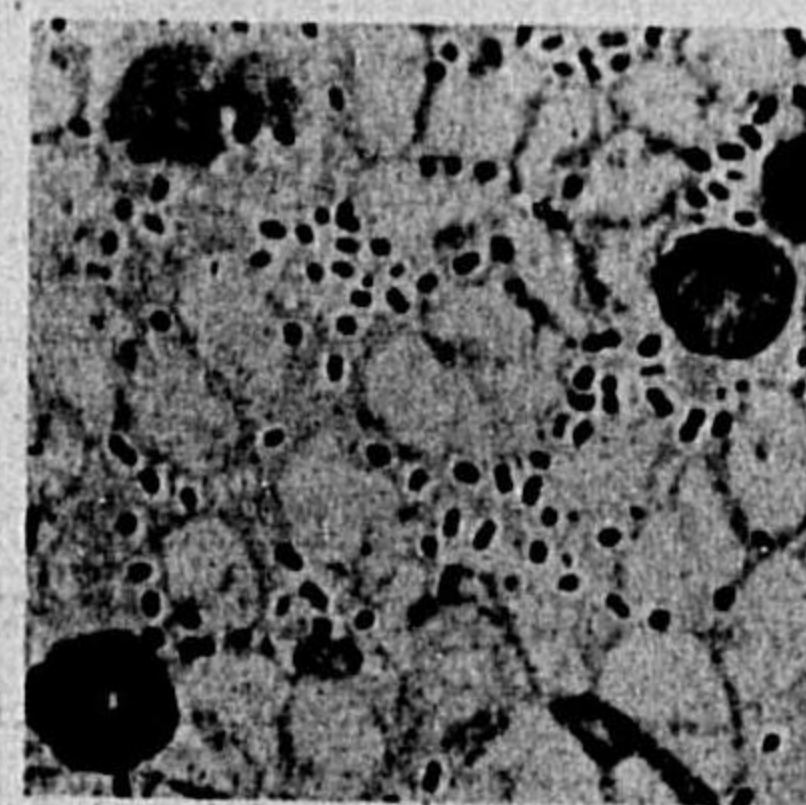
性型(大生殖體母細胞 Makrogametocyten), 而して他は雄性の小型なる小生殖體母細胞 Mikrogametocyten に發育す。此の小生殖體母細胞より 4-8 本の鞭毛を有する精蟲様の小生殖體 Mikrogameten が生ず。此の生殖體は保続形 Dauerform にしてシソントン Schizonten よりもキーンネに對しては抵抗強し。此の保続形は主として潜伏性マラリアに (Parasitenträger) 見出さる。雄と雌との交接作用及其の發育は唯アノフェレス蚊中にて營まる。マラリア寄生蟲に 3 種を區別す。1. 隔日原蟲 Plasmodium vivax (3 日熱寄生蟲) は 24 時間を要して分裂形に發育し (桑實形 Maulbeerform), 8-10 個の姉妹細胞に分裂す。從て 3 日毎に熱襲あり。2. マラリア原蟲 Plasmodium malariae (4 日熱原蟲) は 72 時間を要して分裂形に發育す (延命菌形 Gänseblümchenform)。之は 8-10 個の姉妹細胞 Tochterzellen に分裂す。3. Plasmodium immaculatum (熱帯形 Tropicaform) は不均等に 24-48 時間を要して分裂形に發育するも、末梢血液には出で來らずして内臓の毛細血管中にて分裂す(脾、骨髓、胸)。此の分裂せるものは非常に小さくして、光を屈折し、屢 2-3 個が血球中に發見せらる。

19. ババチ熱 Pappataciefieber 本症は地中海地方、印度及支那地方の地方病にして夏季にのみ發し、3 日間發熱し、ババチ蚊 Pappatacimücke にて媒介せらる。ウイルスは Berkéfeld の濾過器を通過す。39-40 度の發熱ありて烈しき背痛、腰痛及坐骨神經痛を伴ふ。外眼角より角膜に至る間にて結膜に赤線を見る。本徴を Pick 死徴と稱す。

20. デング熱 Denguefieber 本症は亞熱帯又は熱帯に流行し大なる死亡率を示す。病原體は不明なるも、ウイルスは血液中にあり。本症は蚊類によりて媒介せらる。

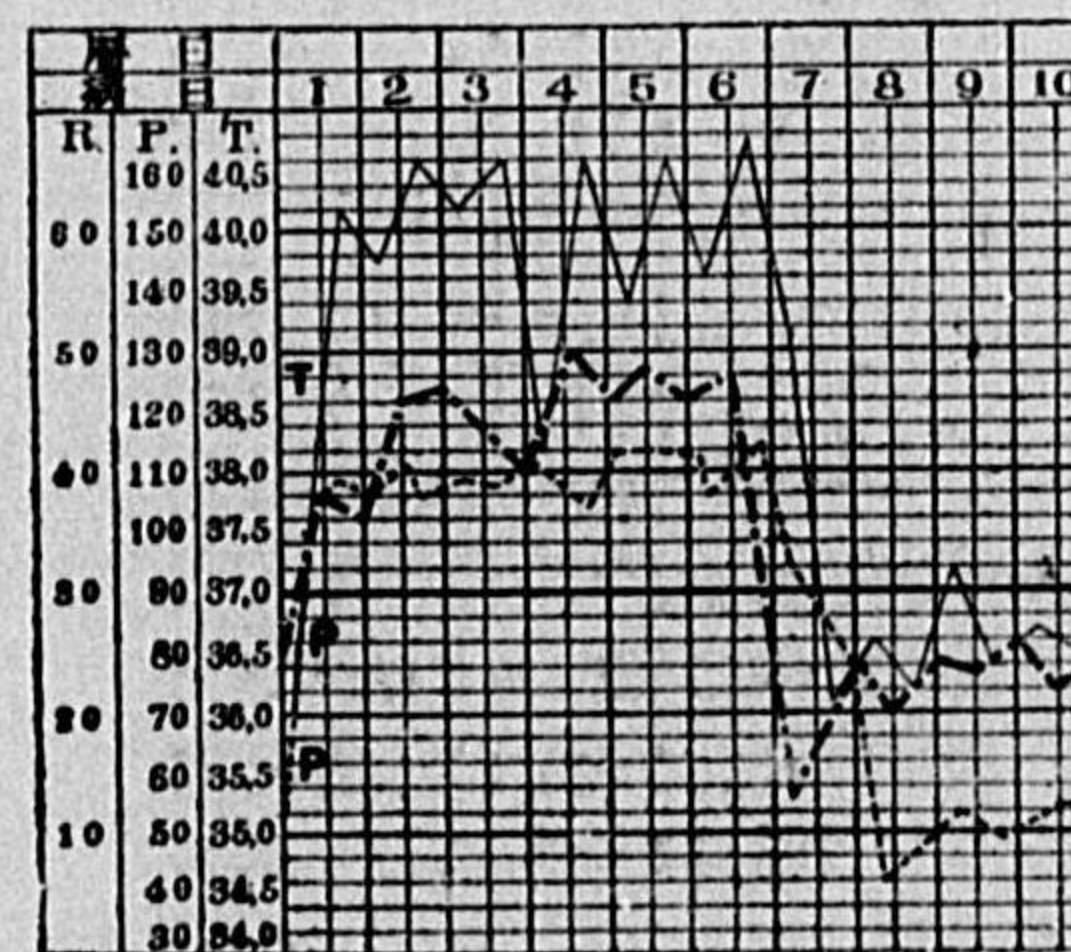
21. 肺炎 Lungenentzündung, 纖維素性肺炎 fibrinöse (格魯布性 kruppöse) Pneumonie. 惡寒戰慄にて體温は急に上昇す。即ち體温は僅かの時間中 39-40 度に達す。全身狀態 Berkéfeld-befinden が重く侵さる。胸側刺痛 Seitenstechen が起り、鐵鏽色粘稠喀痰 rostfarbenes, zähes Sputum を喀出する咳嗽も起る。呼吸並に脈搏も増加す(體温に比して脈数は多し)。第 3 病日には匍行疹が出づ。肺の所見としては肺胞に纖維素性滲出ありて全肺葉が肝様變をなすに到る。平均 1 週間は稽留熱を見る。第 7 日、或は又夫れよりも早く、第 5-6 日に、又夫れより後れて

第 367 圖



肺炎雙球菌 (標本鼠脾)

第 368 圖



格魯布性肺炎 細線=温度, 太線=脈搏, 點線=呼吸



2—3 週間後に、分利的に體温は 37 度以下に降下す。同時に呼吸數及脈數は減じて發汗す。體温のみが降下せば夫れは假性分利 Pseudokrise にして、此の場合には體温は次の 12 時間を要して再び舊高に趨す。假性分利は正規分利よりも 1—2 日間先行す。併發症には肋膜炎あり。之は多くは乾性纖維素性なり。然らずして漿性又は膿性(肺炎後發性膿胸 postpneumonisches Empyem) 心囊炎、心内膜炎、血行中に病原菌が侵入して膿膜炎を起す事あり。

病原體は Fränkel-Weichselbaum の肺炎球菌 (Diplococcus lanceolatus) なり。之は患者の喀痰中に、又膿血中に、肺炎後發性膿胸の膿中に發見せらる。球菌は個々にある事あり、又は 2 個共にあり。

血液より培養によりて分離する事を得。最適なるは 1% の葡萄糖寒天なり。之を血液平面培地(患者の血液を混じてなり)となす。

喀痰中には直接に肺炎菌を證明するを得。塗抹標本を焰上にて加温しながら稀釋 Carbol-fuchsin にて染色す(1—1½ 分間)。肺炎菌はグラム陽性なり。肺炎菌診斷法は既述せり。

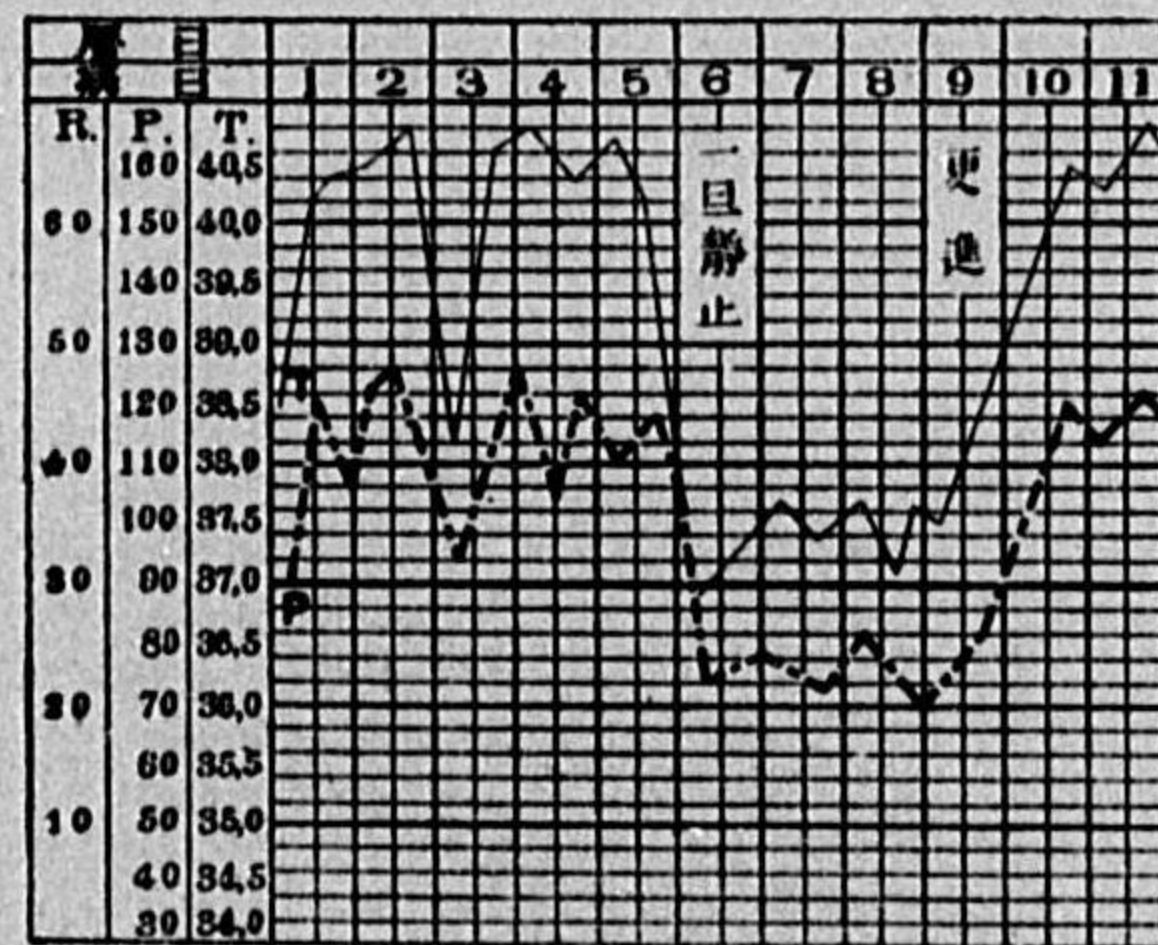
本肺炎菌は野鼠及若き家兎に特に病原となる。依て疑はしき症例の喀痰を注射器にて鼠の皮下に注射す。然る時は試験鼠は 24—48 時間以内に肺炎菌敗血症にて死す。此の鼠の血液中に球菌を容易に證明す。即ち血液の塗抹標本を酒精にて固定して稀釋 Carbol-fuchsin にて染色す。

肺炎にて其の病原が Friedländer 氏によりて發見せられたる肺炎桿菌 Pneumobacillen なる事あり。之は短く太き桿菌にして明瞭に皮包 Kapsel を有す。ゲラチン上に本菌は粘液を産生しながら増殖す。本菌は鼠に病原的に作用し、グラム陰性なり。

稀に肺炎の病原として Streptococcus mucosus が證明せらるる事あり。鼠に病原的に作用し、グラム陰性なり。チフス菌を病原とする肺炎をチフス肺炎と稱す。

最後にペスト菌が肺炎を起す事あり。往年滿洲に於てペスト肺炎の大流行を見たり。

第 369 圖



顔面丹毒

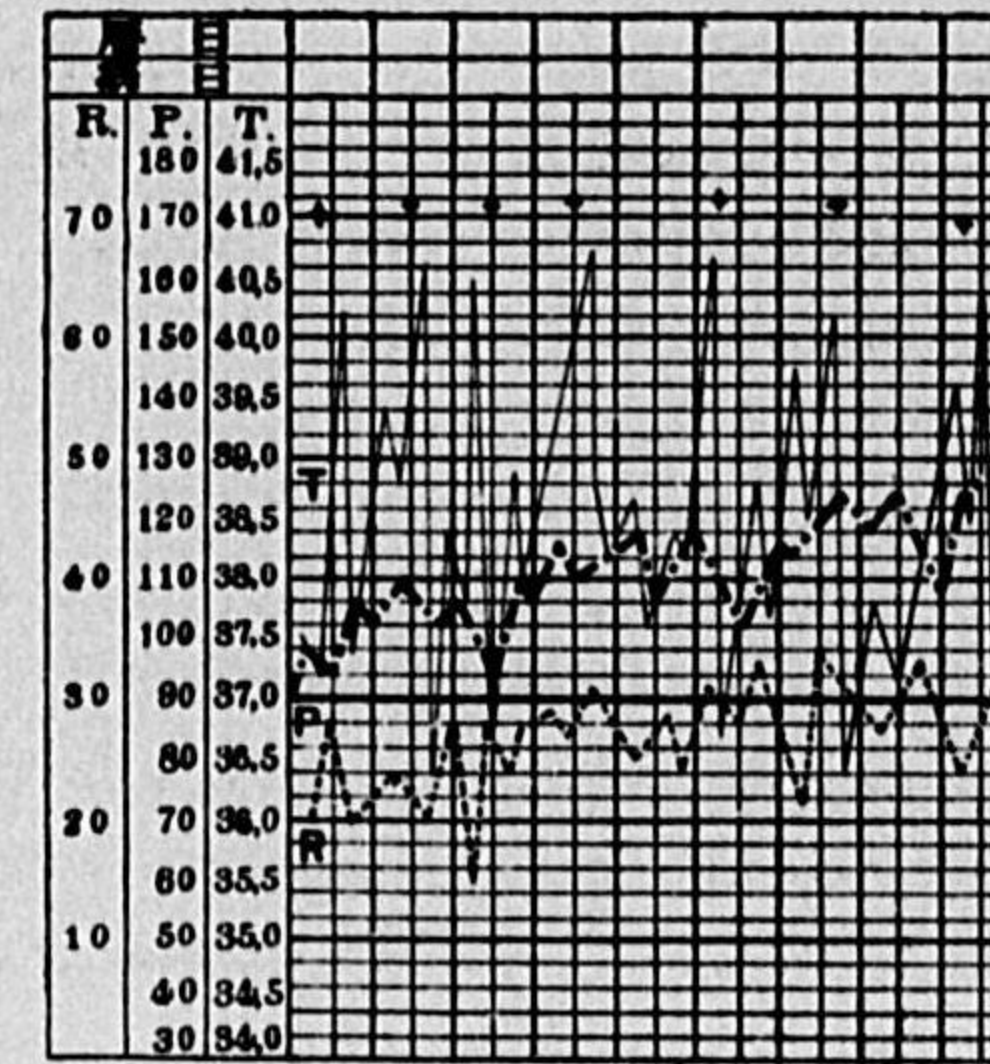
細線=體温, 太線=脈搏

病原體は化膿性連鎖球菌 Streptococcus pyogenes なり。

23. 血液中毒 Blutvergiftung, 敗血症 Septicämie 及膿毒症 Pyämie 潜伏期は 24 時間より數日間に及ぶ。徐々に上昇する熱を以て始まる。稀に悪寒戰慄にて始まる。全身状態は直ちに重

22. 丹毒 Rose, Erysipel 潜伏期は 1—3 日間。突急に悪寒及高體温(40 度又は夫れ以上)を以て發病す。激頭痛、意識濁濁、飲酒家にては譫妄を發す。2—3 時間後に、或は夫れより早く特異の皮膚變化が起る。局所の皮膚には焔狀發赤、腫脹を見且疼痛を局所に伴ふ。時に水疱形成を見る(Erysipelas bullosum)。此の皮膚徴候が擴がる間は熱は高し。擴がらずして靜止状態となれば熱は下降す。脾は腫脹して軟かし、丹毒は漸進的に擴がる。此の場合には熱は弛張性なり。併發症は膿瘍、中耳化膿、側鼻腔の化膿、化膿性膿膜炎、産褥期には子宮内膜炎、腹膜炎、淋巴管炎、敗血症、腎炎等なり。

第 370 圖



敗血症+は悪寒戰慄を現す

黒線=體温, 太線=脈搏

く侵さる。關節疼痛、心悸亢進、呼吸困難、嘔吐、下痢あり。熱は弛張す。熱はよく悪寒戰慄と發汗とを伴ひて甚しく弛張す。稽留熱にて經過する場合もあり。發熱と共に速脈、脾腫及白血球增多症あり。併發症は心内膜炎、心筋炎、皮膚血管の栓塞、肺、腎臓、肋膜、等の血管の栓塞、腎炎等なり。

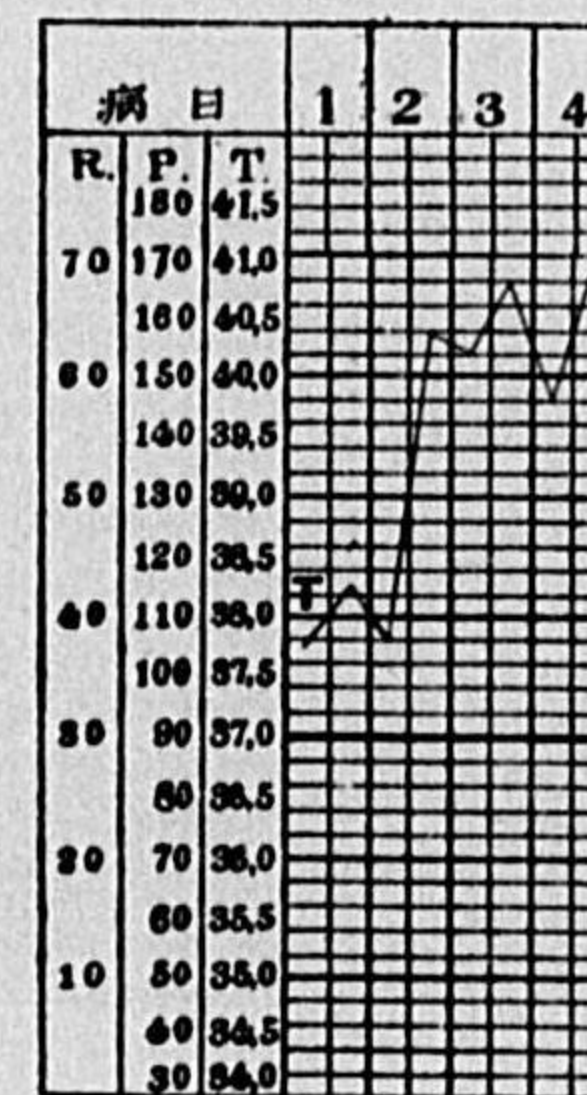
病原菌は總敗血症例の 75% に於ては Streptococcus pyogenes なり。稀に肺炎菌又は化膿性葡萄球菌にて起る事あり。

24. 破傷風 Starrkrampf, Tetanus 潜伏期は 2—3 日より 2—3 週間に互る。牙關緊急 Trismus を以て始まる。漸次強直は全身筋に及ぶ。痙攣顔貌 Risus sardonius あり。發作的に痙攣性強直は強くなり又緩解す。熱は弛張性にして 37.5 度より 39 度の間にあり。時に常温なるか、常下體温なる事あり。特に重症例にては死前に 43—44 度にも體温が上る。即ち過高温 Hyperpylexie を見る。全經過中絶えず發汗す。死は横隔膜痙攣又は呼吸麻痺にて來る。

病原菌は破傷風菌 Bacillus tetani Nicolaier なり。該菌は創傷中にて他菌の混在により常態酸素供給なくして發育増殖す。此の菌より出でたる溶解性毒物は神經に沿ひて中樞方に来る。此の破傷風菌毒は神經等に選擇的に作用す。

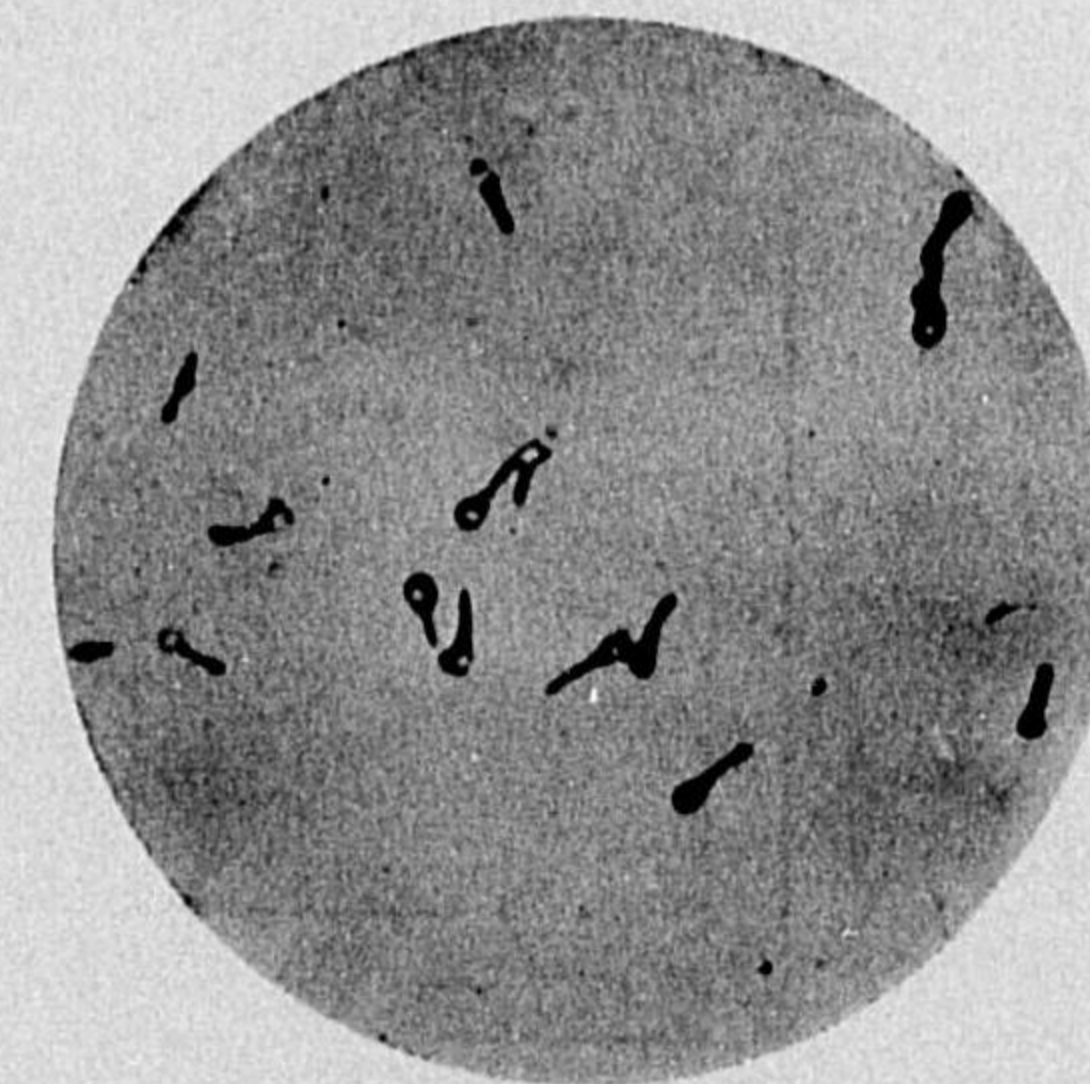
破傷風菌は運動性の細長き桿菌にして、菌端に占居する球狀の芽胞を有し又、多數の鞭毛をも

第 371 圖



破傷風

第 372 圖



破傷風菌, プイオン培養



有す。嫌気性菌なり。本菌は空氣を興へずして好氣性細菌と共存して増殖す。本菌は傷創膿中より、又土中より純粹培養するを得。

25. 結核 Tuberculose 本症の發病は多くは小兒期にあり。

第1期 初感染 Primäraffekt は原發竈なる結核性淋巴管炎 Lymphangitis、及結核性腺病よりなる。癢痕形成 Vernarbung 及石灰化 Verkalkung にて治癒するか、然らざれば此の病竈が周圍を侵し、病竈は血管及淋巴管に破る。

斯くして

第2期となる。淋巴管及血行によりて擴がれる結果として結核症は全般化によりて特異となる。大量が侵入すれば粟粒結核 Miliartuberculose となる。少量なれば轉移性臓器結核となる(腺病、關節病、泌尿器系病、胸膜病、漿液腔病等)。

第3期 肺又は關節、副腎、漿膜、泌尿器等の獨立臓器疾患によりて特異となる。2-3の臓器が共に病む場合あり。擴散は血行、淋巴行によるのみならず、管道を傳ひて擴がる。例へば肺にては氣管枝より、腎臓にては細尿管により、腸にては腸管により。

徴候は此所に記載する要なけん。

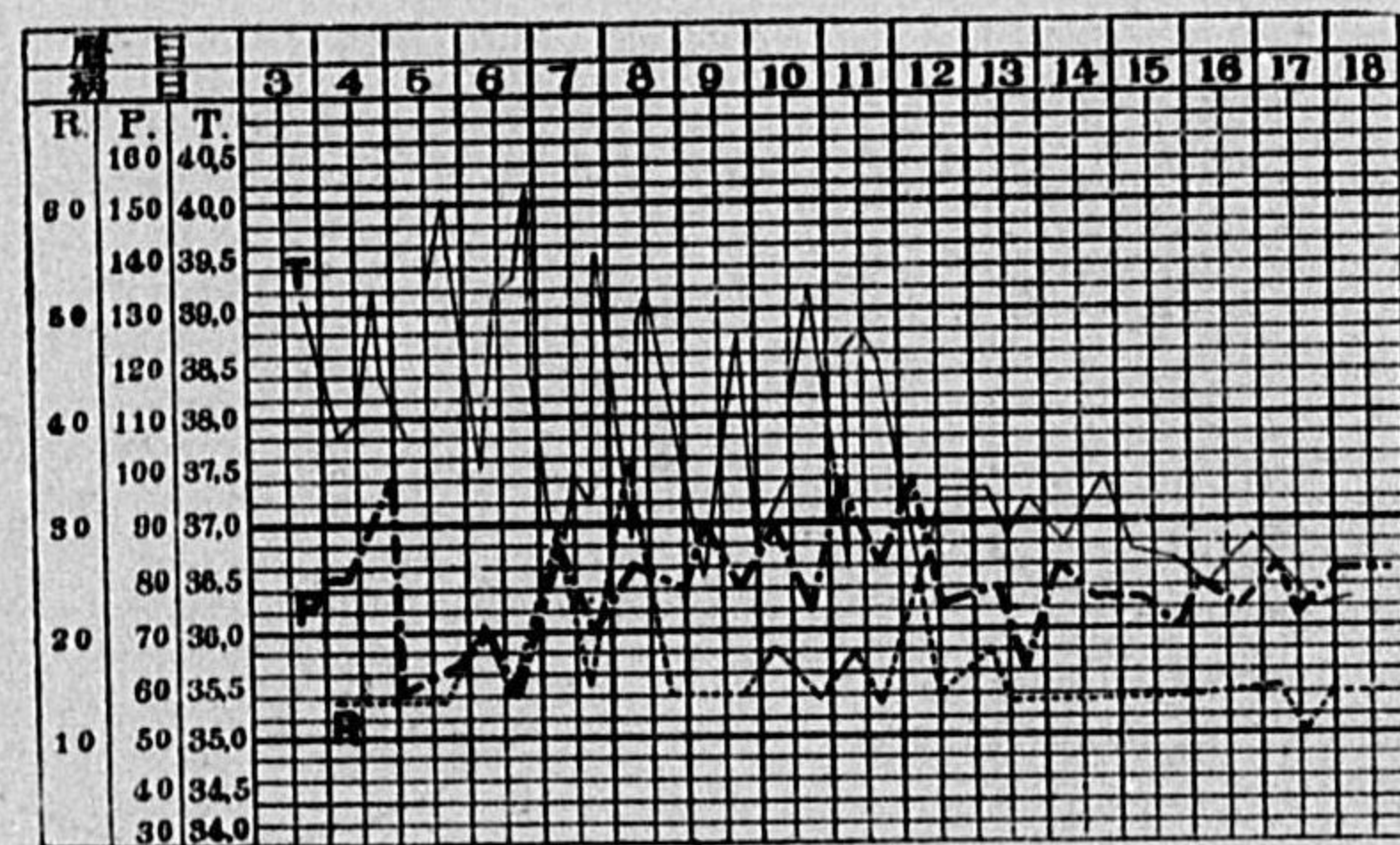
病原體は結核菌 Bacillus tuberculosis (Koch 1882) なり。細き桿菌にして種々の太きと長きとを有す。時に直く、時に曲がり、好んで集在す。培地としては特に血清が適合す。又グリセリン寒天(4%グリセリン)、グリセリン馬鈴薯にても培養するを得。發育は極めて徐々なり。

1. 動物試験 動物試験は徐々に進行するも、最も確實に目的が達せらる。動物としては海狸を選択す。注射物に他の細菌あらば Antiformin にて所置して後に注射す。注射は試験動物の皮下にするか、又は腹腔内にす。試験海狸は3-8週中に多くは死す。而して其の肝臓、脾臓及淋巴腺に多數の結核結節を見る。

26. 流行性腦脊髄膜炎 Meningitis cerebrospinalis epidemica (epidemische Genickstarre)

多くは惡寒の下に突急に發熱して發病す。稀に徐々に熱の上昇を見る。多くは直ちに腦症狀を見る。頭痛、嘔吐、知覺鈍麻、頸部強直 Nackenstarre、筋強直、反射の亢進、時に昏迷状態を呈す。譫妄、2-6病日間に匍行疹を生ず。熱は稽留形なる事あり又、弛張形なる事あり(38.5及

第 373 圖



腦 膜 炎  
細線—體温, 太線—脈搏, 點線—呼吸

40度の間にあり)。渙散的に熱は下降す。時に腦膜炎の敗血症的形にては出血性發疹を伴ふか又は漿性或は化膿性關節腫脹を見る。此の結果として聽神經及視神經が病める後に聽覺障礙及視覺障礙を來す。腦水腫 Hydrocephalus、稀に單獨痲痺をも見る。智力は低下す。癲癇病者となり又精神病者となる事あり。鼻腔分泌物より傳染す。

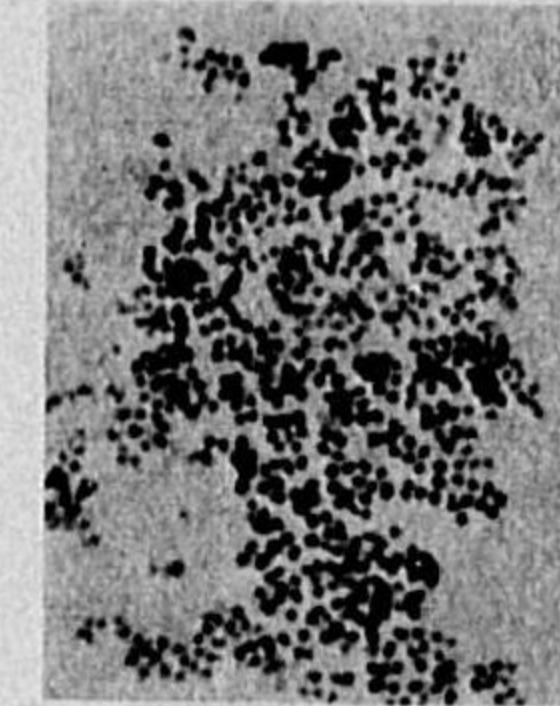
病原體は腦膜炎雙球菌 Diplococcus intracellularis meningitidis (Meningococcus intracellularis) von Weichselbaum なり。本菌は鼻咽頭腔の分泌物中にあり。本菌は患者の腦脊髄液中の白血球中に多數に證明せらるる事あり。培養は血液寒天にてなす。染色は Löffler 氏の Methylen-blau にてなす。鑑別にはグラムの染色をなす。本菌はグラム陰性なり。

27. 頸炎 Halsentzündung, アンギナ Angina 多くは突急に始まる。1日中にて熱は上り、同時に軟口蓋、口蓋弓、口蓋濾胞は發赤し腫脹す。此の際に炎性産物が腺の隙窩 Lakunen に溜まりて白黄色及黄色の栓状物となる(腺窩性扁桃腺炎 Angina lacunaris)。下顎腺も腫脹す。甚しく腫脹し炎衝が喉頭まで及ぶ事あり。2-3日後に扁桃腺の膿瘍が破る(蜂巣織炎性扁桃腺炎 Angina phlegmonosa)。多くは全身徴候(頭痛、嘔吐、倦怠)を伴ひ、一過性に蛋白尿を見る。併發症は腎炎、中耳炎、敗血症、心内膜炎、稀に盲腸炎を起す事あり。

病原體は葡萄狀球菌又は連鎖狀球菌なり。

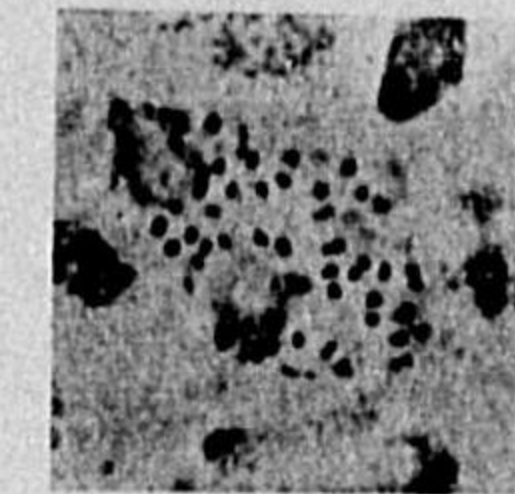
Plaut-Vincent 氏アンギナ (Angina ulcero-membranacea) にては扁桃腺は腫脹し、多くは片側にて灰白色の實扶的里様苔を見るか、又は深き潰瘍を見る。膜様物には波菌を多數に證明す。

第 374 圖



腦 膜 炎 菌

第 375 圖



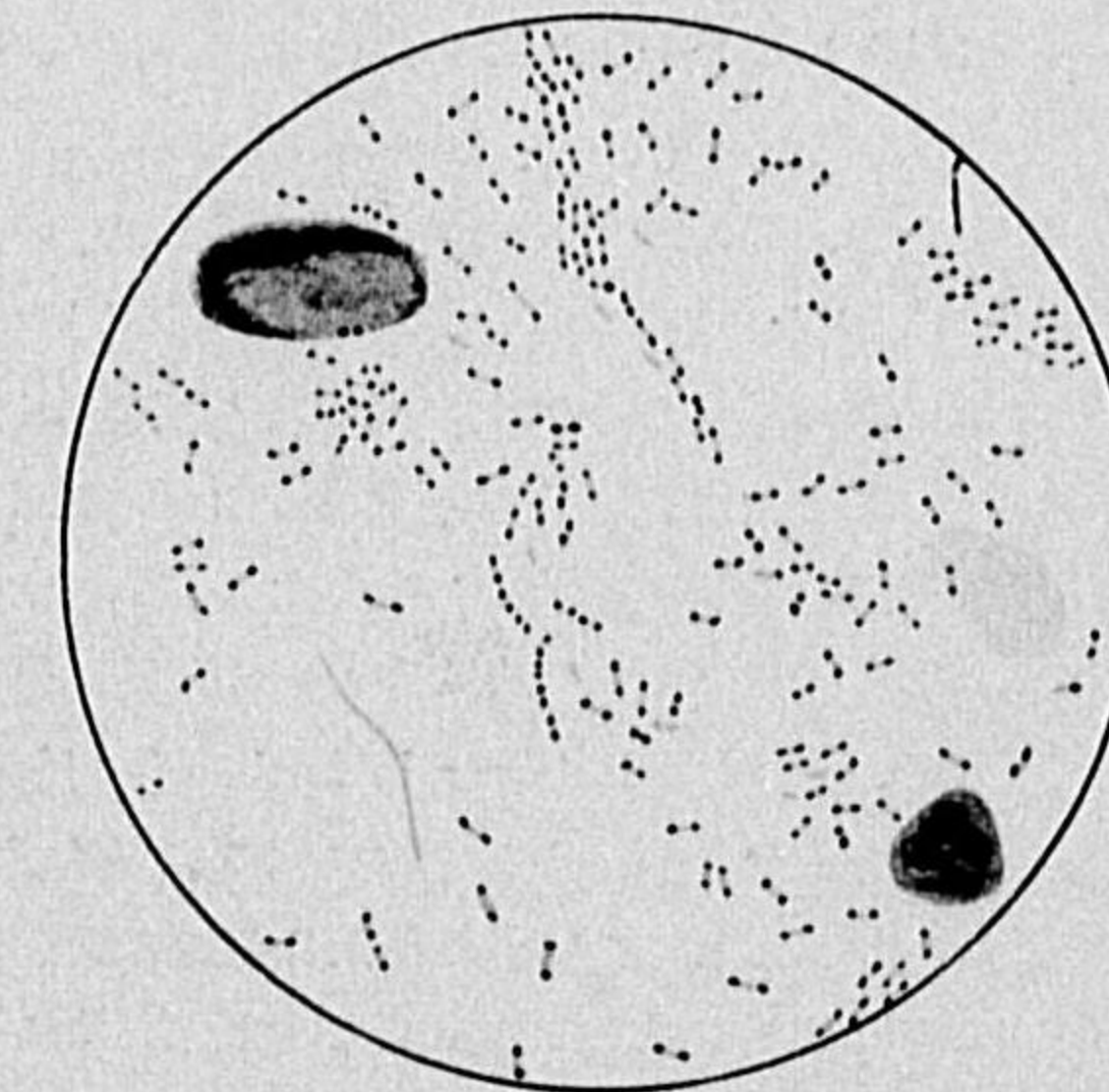
鼻汁中の腦膜炎菌

第 376 圖



限局性偽膜性咽喉デフテリー  
(Jochmann-Hegler 氏による)

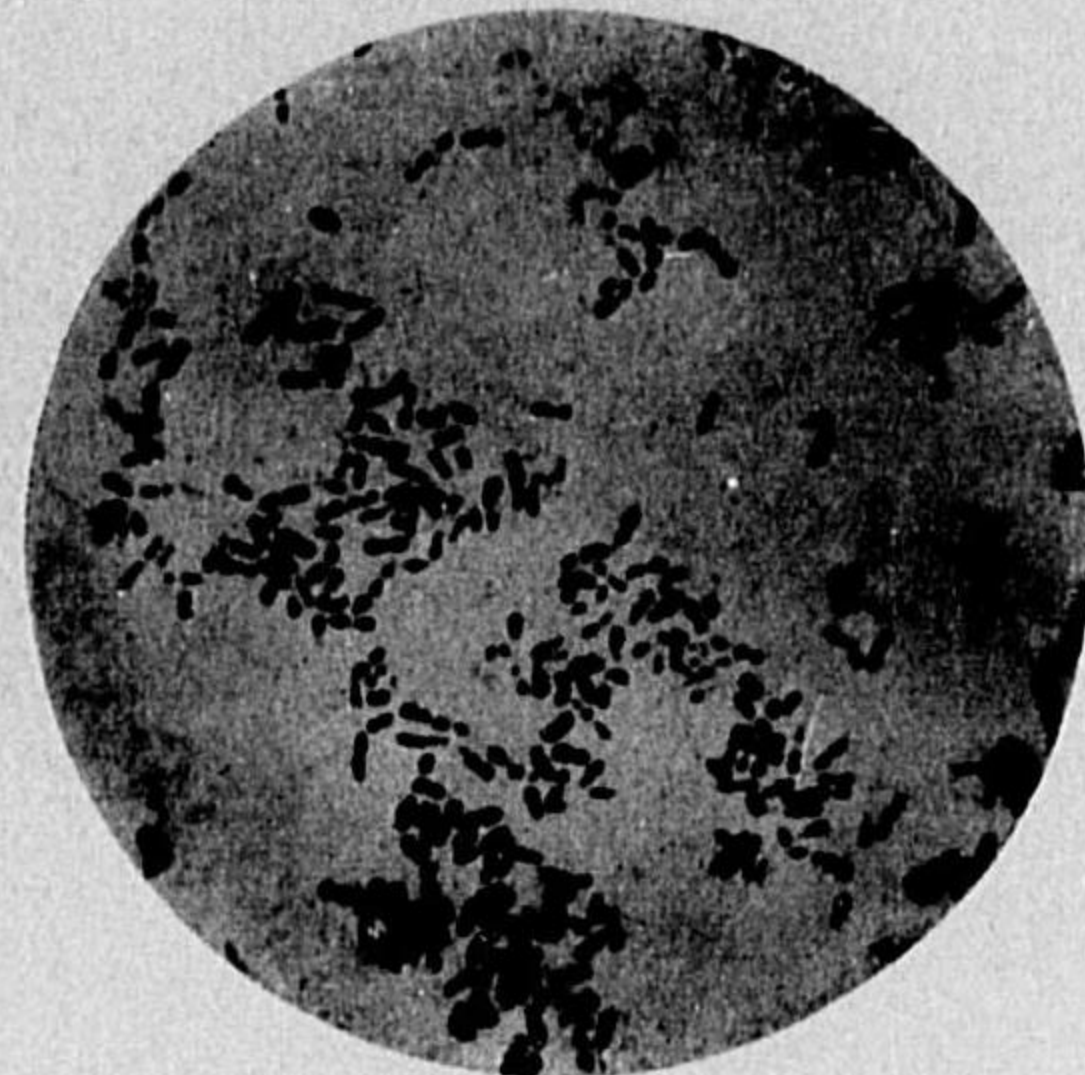
第 377 圖



デフテリー菌 (Neisser 氏極染色)  
(Krause 氏による)



第 378 圖



デフテリーレフレル菌

28. 實扶的里 Diphtherie 潜伏期は2-7日間。頸腫と同時に發熱するも、熱は39度までなり。可なり腫脹せる發赤扁桃腺を見、其の表面に白色の斑及絲狀物を見る、之は普通のアンギナに見る物と異なり、舌壓子の如きには除くを得ず。後には之が連続性の固著白色膜となる。此の膜が遂には懸壜垂、口蓋弓、全咽頭腔をも被ふに到る。徐々に又は急速に頸疾は退行す。進行性實扶的里にては弛張熱あり。重症例にて熱が低き事あり。膜様炎術が咽頭及喉頭迄も擴がり又鼻腔へも擴がる事あり。脈搏は多くの症例にて多し。脾は増大す。蛋白尿あり。悪性型にては迅速に炎術と膜成形とが擴がり、初期より患者は困しみ、非常に脈數が増加す。比較的高き弛張熱を發す。血管運動神經の麻痺にて脈緊張は微弱となる。併發症は急性心筋炎、

實扶的里後麻痺 postdiphtherische Lähmung (取分け口蓋帆麻痺を見る)、腎炎等。

病原體は實扶的里菌 *Bacillus diphtherie* (*Klebs, Löffler*) なり。炎術處及膜に本菌は證明せらる。菌は少しく曲がりて、1端は太くして棍棒狀を呈す。又然し中央が太くして紡錘狀を呈するものもあり。*Löffler* 氏血清に培養し得。本菌は *Anilin* 色素にて染色せらる。

實扶的里菌は純局所に繁殖し、其毒素が血液に入りて重き症狀を起すなり(外科的治療法としてオドワイヤー氏推管法あり)。

デフテリー過敏者の檢出:—*Schick-Test* 250瓦の海狸を殺す量の40-50倍デフテリー毒注射後1-2種の直徑の皮膚發赤及浸潤を24時間にて生ず。之を陽性 *Schick* 試験と稱す。陽性の者はデフテリーに罹り易し。單に蛋白過敏による赤發ならば6-18時間にて生じ、3日にて消失す。*Schick* 氏反應なれば24時間に現れ、3-5日にて最高度に達す。

29. 百日咳 *Keuchhusten* (*Pertussis*) 潜伏期は2-14日間なり。先づ加答兒性徴候が起る。結膜炎、鼻加答兒、咳嗽、嘔聲等あり。次で痙攣期 *Stadium convulsivum* (特異なる咳嗽發作を伴ふ)となる。其の發作は1/4-1分間も繼續す。發作の終りには口腔及咽頭を充たす。粘稠なる硝子様の粘液を咯出す。發作は屢舌壓子にて壓迫して起し得らる。遂に減退期 *Stadium decrementi* となり、發作は漸次稀となり、輕くもなる。發熱を見ず。併發症としては氣管枝炎、氣管枝肺炎、肺氣腫、粘膜炎出血等なり。

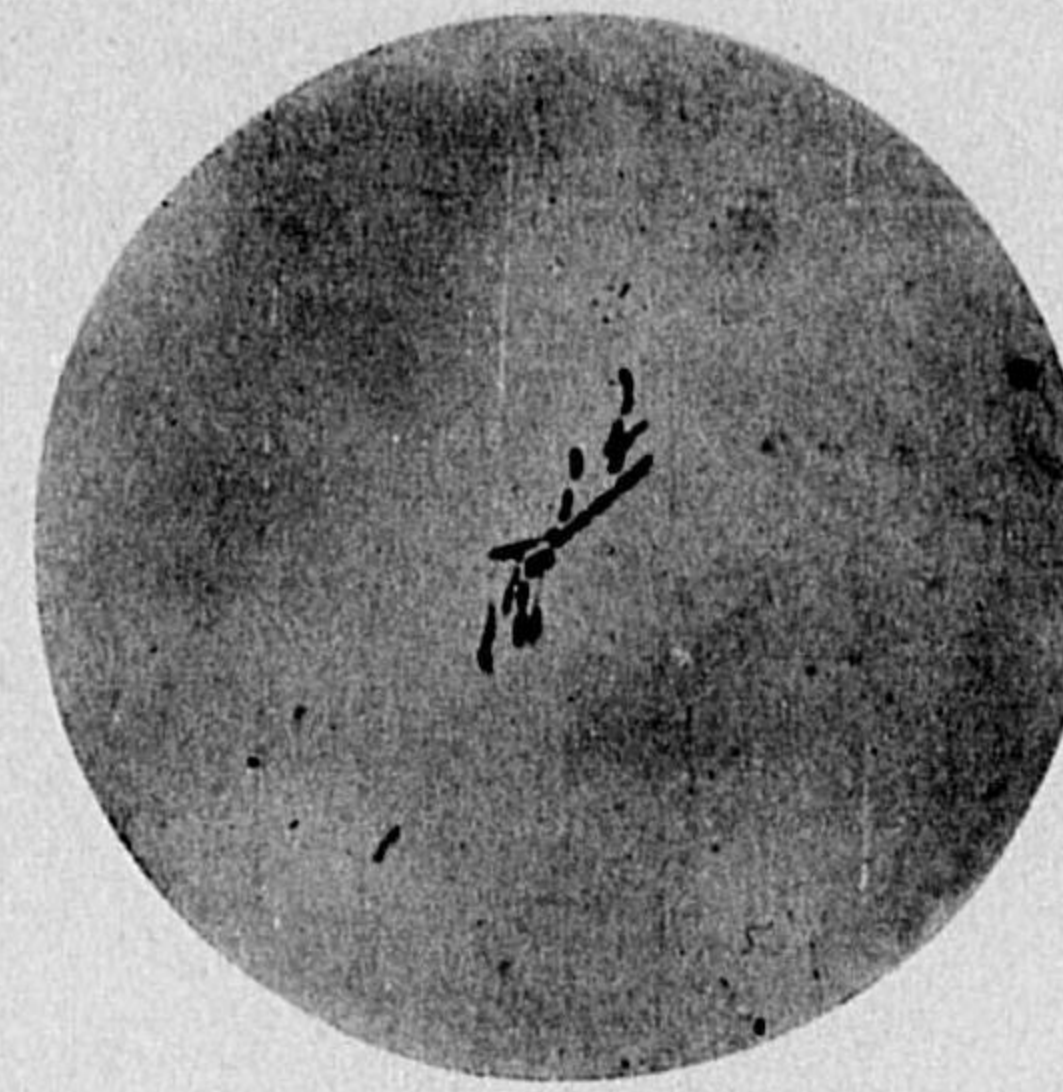
病原體は *Bordet* 及 *Gengou* の百日咳菌 *Keuchhustenbacillus* なり。

30. 脾脫疽 *Milzbrand* (*Anthrax*) 脾脫疽は動物傳染病 *Zoonosen* なり。人類は動物より脾脫疽菌を直接傳染せられ本症に罹る。潜伏期は2-3時間より約7日間なり。症型は色々なり。1. 皮膚感染にては菌の侵入せる所に脾脫疽疔 *Milzbrandkarbunkel* が生ず。之は治するか、然らざれば脾脫疽菌敗血症を起す。2. 肺に感染せば急激なる肺炎を起し、高熱及重き呼吸困難を伴ふ。血痰を出し、心臓衰弱にて死す。治する事は稀なり。3. 腸感染。

病原體は脾脫疽菌 *Bacillus anthracis* なり。何れの養基にも發育す。

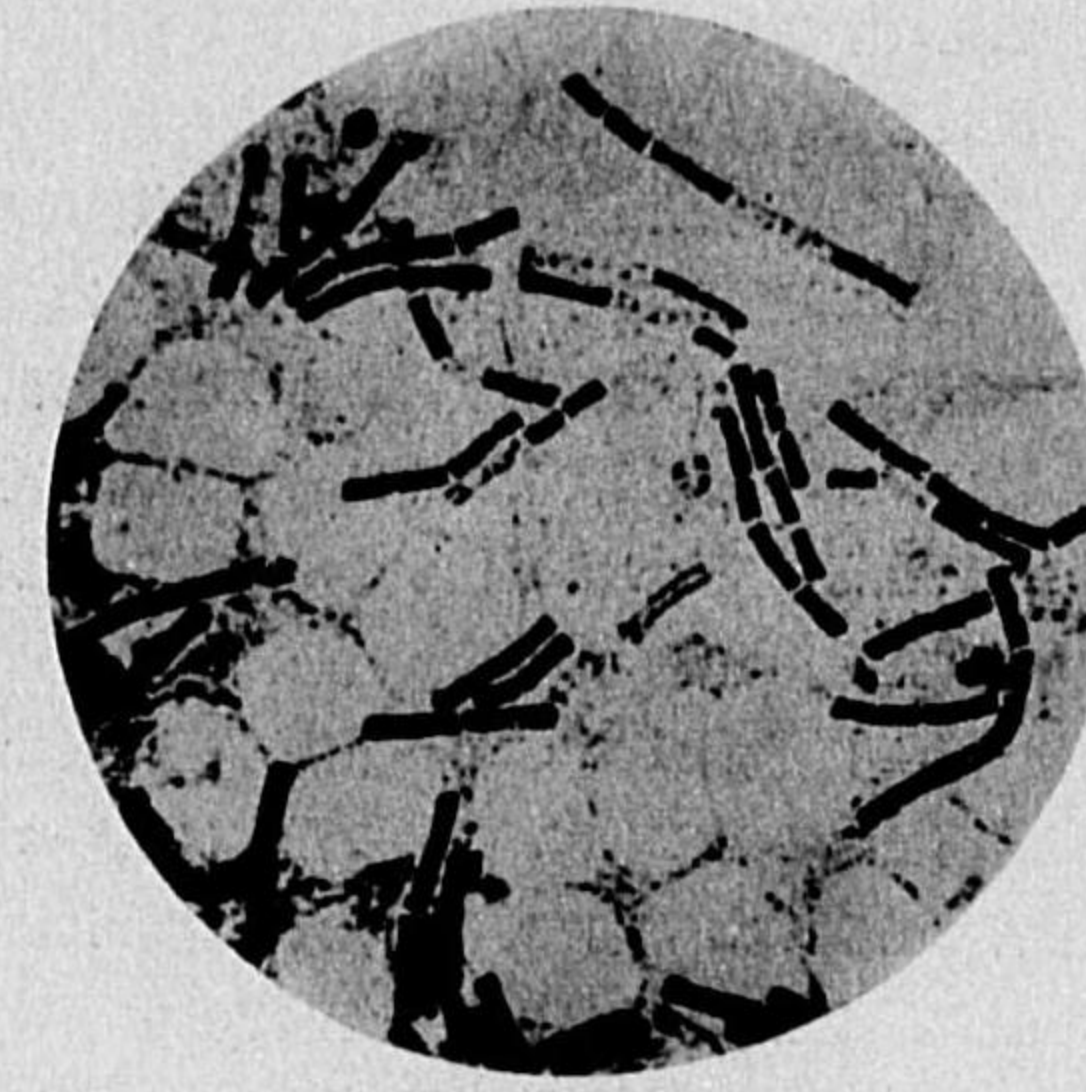
31. 狂犬病 *Wutkrankheit* (*Lyssa*) 潜伏期は3週間より3ヶ月の間なり。感染創口は治癒

第 379 圖



デフテリー菌(膜塗抹)

第 380 圖



脾脫疽(鼻脾)

す。輕熱を以て始まる。精神が不安となり、癢痕部に異常知覺 *Parästhesie* あり。3-8日間の前驅期が過ぎて狂犬病が發す。咽頭筋及呼吸筋の痙攣、高度の恐水 *Wasserscheu* を來し、水を1瞥するも直ちに痙攣が起る。痙攣は發作的に來り、窒息危險 *Erstickungsgefahr* を起すに到る事あるまでに増強す。熱は漸次上りて38, 40, 41度となる。死の直前には過高熱を見、脈搏は頻數となる。興奮期 *Erregungsstadium* は1/4-3日間續く。次で短期の麻痺期(2-10時間)となりて死す。

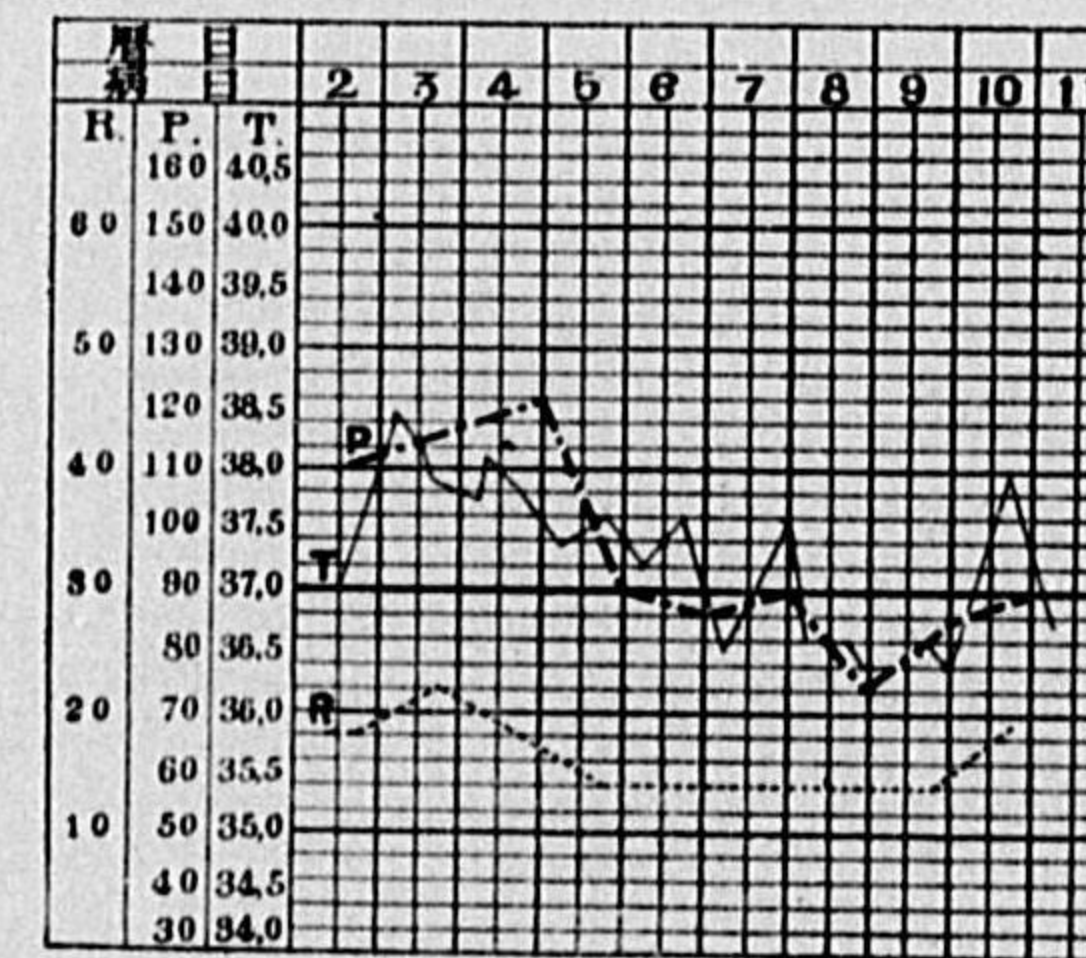
病原體は不明なり。病原體は徐々に神經路を傳はりて腦に達す(潜伏期)。腦の海馬角に *Negri* 氏小體が證明せらる。潜伏期に接種治療を行ふなり。

第 381 圖



リケツチア, オリエンターリス (長興氏等に據る)

第 382 圖



デフテリー 細線=體温, 太線=脈搏, 點線=呼吸



32. 恙蟲病 *Tsutsugamushikrankheit* 潜伏期は約7日間なり。全身倦怠、食慾不振等の前驅症狀を發し、次で悪寒を以て發熱す。熱型は室扶斯の夫れに似たり。2—3週間の経過にて熱は渙散的に下降す。第1週の終りに顔面、其の他の部分の皮膚に蕁麻疹様發疹を見る事あり。長興又郎、三田村篤四郎、田宮猛雄、佐藤清氏等は動物の眼房内病毒注射が恙蟲病々毒の繁殖法として極めて好適なるを發見し、殆んど全く限局性に注射眼房内にて病毒が活潑に培養せらるる事實を經驗し、而して眼組織内に於ける組織球が從來報告せられたるが如く特有小體を有するの外、特にデセメント氏膜内被細胞に無数の小體を發見せり。而して其の小體の性状を研究して以て其の小體を病原體なりと確信するに到れり、之に東洋リッケチア *Rickettsia Orientalis* u. sp. と命名せり。

33. 鸚鵡病 *Psittakose* 濾過性病原體なる *Levinthal-Cole* 氏原始體 *Elementarkörper* によりて本病は起るとせられ、病める鸚鵡に泉源せる小體を吸入するか又は食することによりて人類が本病に罹るとせらる。又人より人に傳染す。8—14日の潜伏期にて發病しグリッペに似たる症狀を呈す。發熱40度に達し肺炎徴を發す。14日位の経過の後熱は渙散的に下降するも20—40%の死亡率を示す。尿チアツオ反應は毎常にはあらざるも陽性なり。

マルタ熱 (*Maltafieber*, *Febris undulans*, *Mittelmeerfieber*) 本症はマルタ熱球菌 *Brucella melitensis* (*Mikrococcus melitensis Bruce*) にて起る傳染性疾患なり。之を有する山羊乳を生のままにて飲用すれば人類が本症に罹る。8—14日の潜伏期にて發病し、3—4日にて40—41度にも達す。而して1—2週後に下降し、此の熱波の反復を見る。朝は發熱度は緩解す。肝脾は腫脹す。白血球は減少し、淋巴白血球は比較的増加す。咬骨神經部に神經痛を起すが特有なり。経過は亜急性、亜慢性又は慢性なり。陽性凝集反應にて診斷す。患者血液中に於ける病原は少數なるが故に5耗以上の採血血液のブイオン培養をなす。

34. バング熱 *Bang-Fieber* バング波狀熱 *Febris undulans Bang* はバング氏流産桿菌 *Bacillus abortus Bang* 或はバング菌 *Brucella Bang* にて起る。此の菌はマルタ熱病原と同1類に屬す。此のウイルスを有する生牛乳を飲用して罹病す。然し又皮膚よりも侵入す。潜伏期は10—14日にして熱行は波狀を呈す。経過は亜慢性又は慢性なり。熱高は38—40度にも達す。肝脾腫を伴ふ。白血球減少症及淋巴白血球の比較的増加あり。熱高に比し一般状態は比較的良好なり。

35. 放線菌病 *Strahlenpilzkrankheit* (*Aktinomykose*) 1. 口腔粘膜及咽頭粘膜が感染すれば板狀硬の浸潤を局所に來し、軟化して外方に破る。顎は突出し、骨は融けて瘻管形成 *Fistelbildung* を見る。瘻管は濃き明黄色の膿を出だす。此の膿中に黄色の放線菌粒 *Aktinomyceskörner* が認識せらる。2. 腸性放線菌病 *intestinale Aktinomykose*。此の半数例は蟲様突起及盲腸より起る。此の場合には廻盲部に急性症狀なくして滲出液が生ず。多く癒著し、瘻管となりて皮膚を通じて又は腸腔内に病竈は破裂す。3. 肺放線菌病 *pulmonale Aktinomykose* は稀なり。菌を吸入して本症に罹るなり。局所は浸潤す。徐々に進行す。略瘻中に多數の脂肪結晶の他に放線菌粒を證明するに到る。

病原體は放線菌 *Aktinomyces* なり。之は黄灰色の砂粒狀疣 *sandkornartige Druse* をなす。約0.3—1耗の太さあり。之は放線狀に配列せる線 *Fäden* と棍棒状のものよりなる。一般の培地上に培養するを得。分けてもグリセリン寒天がよし。普通の *Anilin* 色素にて染色す。グラム陽性なり。

36. 赤痢 *Dysenterie* (*Ruhr*) 主徴候は頻回下痢なり。下痢便には血液、粘液及膿を混ぜ、1日中に20—50回の便通を見る場合あり。苦しき裏急後重 *Tenesmus* を伴ふ。之はよく痢痛様

第 383 圖



放線菌

第 384 圖



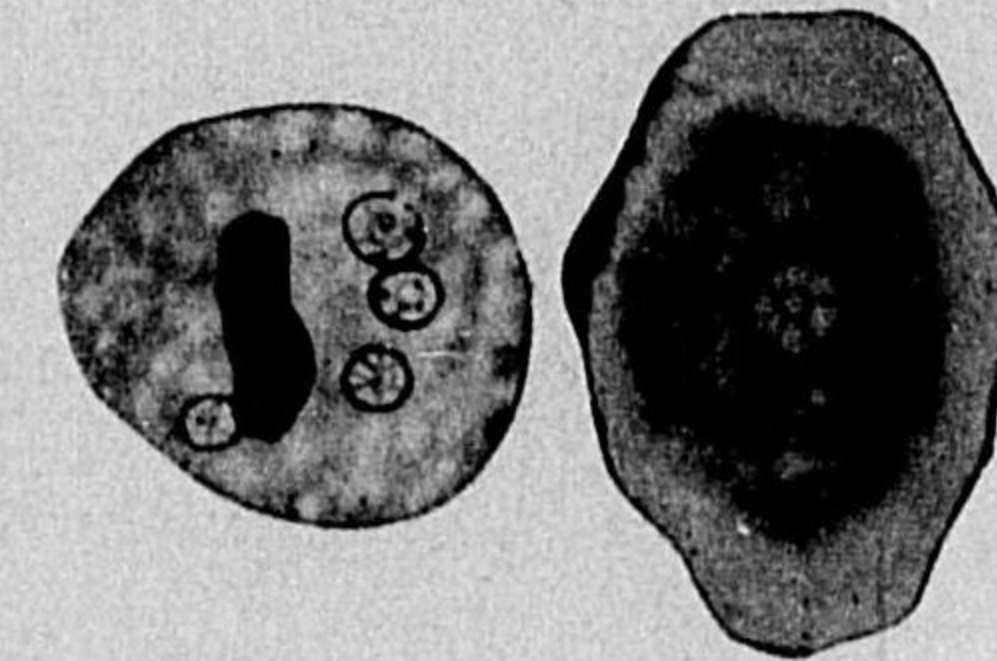
放線狀菌結節切片

激痛となる事あり。繁渴あり。熱は輕微なる事あり。又39—40度にも上る場合あり。悪急性に又慢性に経過するものあり。是等にては下痢と便秘とが交互に來る。

経過と豫後とは多様なり。*Kruse-Shiga* 菌によりて起れる赤痢にても経過は色々なり。

アミーバ赤痢 *Amoebendysenterie* 本症患者が甚しく羸瘦して衰弱が加はり、死の轉歸を取る事あり。又は患者は徐々に恢復す。鹽酸エメチンの皮下注射にて本症例の80%は著しく輕快するか、又は治癒す。併發症は肝臟腫瘍、肺膿瘍等なり。病原は *Entamoeba histolytica* (*Schaudinn-Kartulis*) なり。便の血性粘液性の部分より検査材料を探りて懸滴にて鏡檢す。動物試験には猫を使用す。猫の肛門より検査材料を挿入す。還元鐵は本症に有效なり(著者及陳彩麟)。

第 385 圖

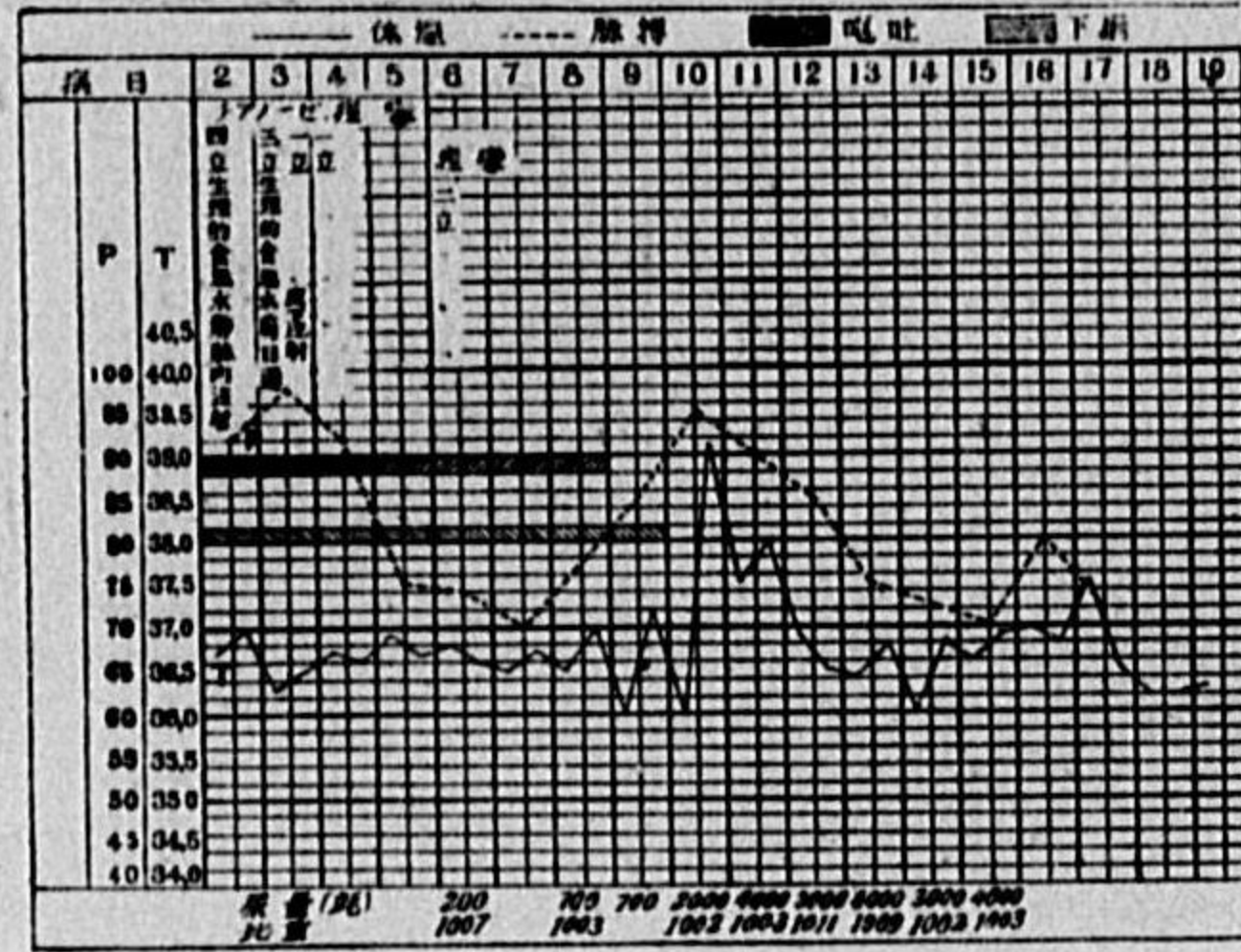


赤痢アミーバ

37. コレラ *Cholera* (*Cholera asiatica*) 潜伏期は3—5日間なり。3病期に分つ。1期、始導下痢 *einleitende Diarrhöe*、之が可なりの下痢なる事あり、前驅的下痢 *prämonitorische Diarrhöe* とも稱す。屢嘔吐し、頭痛あり、發熱なし。2期には大量下痢 *profuse Diarrhöe* あり。寒冷期 *Stadium algidum* 又は假死期 *Stadium asphycticum* と稱す。下痢は1日20—30行にも達す。糞便は初めは膽汁性なるも、後には灰白色となり、漿性アルカリ性液よりなりて粘膜片、顆粒狀收殘物を混ぜ(米泔汁様の性状 *reiswasserähnliche Beschaffenheit*)。多少の血液を糞便中に見る事あり。此の排泄物中には顯微鏡的に多數のコムマ菌 *Kommabacillen* を證明す。患者には絶えず嘔吐あり。裏急後重及疼痛はなし。舌は乾燥し、繁渴あり。腓腸部の疼痛。憔悴せる顔貌。眼窩は陥没し、皮膚は乾燥して、嘎聲(虎列拉嘎聲 *Vox cholericus*)、チアノーゼを呈せる4肢は冷し。體温下降ありて、多くは32—30度となる。尿は出でざるに到る。此の病期が數時間より1—2日間續きて多數の患者は死す。此の時期に耐過し得たる患者は次で3期の反應期に入る。下痢及嘔吐は輕快し、尿量は増加し、身體の水分量は増加す。チアノーゼは消えて、體温も上る。不全型コレラあり。

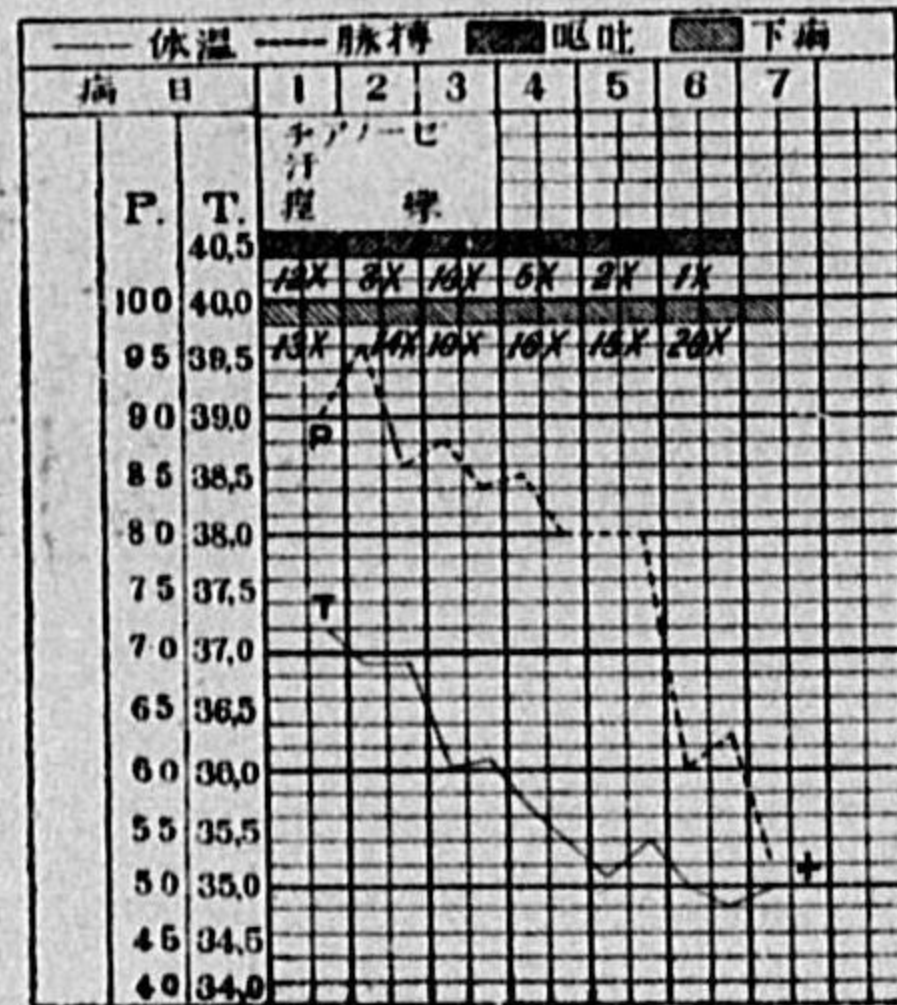


第 386 圖



亞細亞虎列刺

第 387 圖



亞細亞虎列刺

第 389 圖



虎列刺弧菌肉汁培養

コレラ血清を以て菌の凝集反応を検し又、Pfeiffer 氏反応を検して特性決定 Identifizierung をなす。

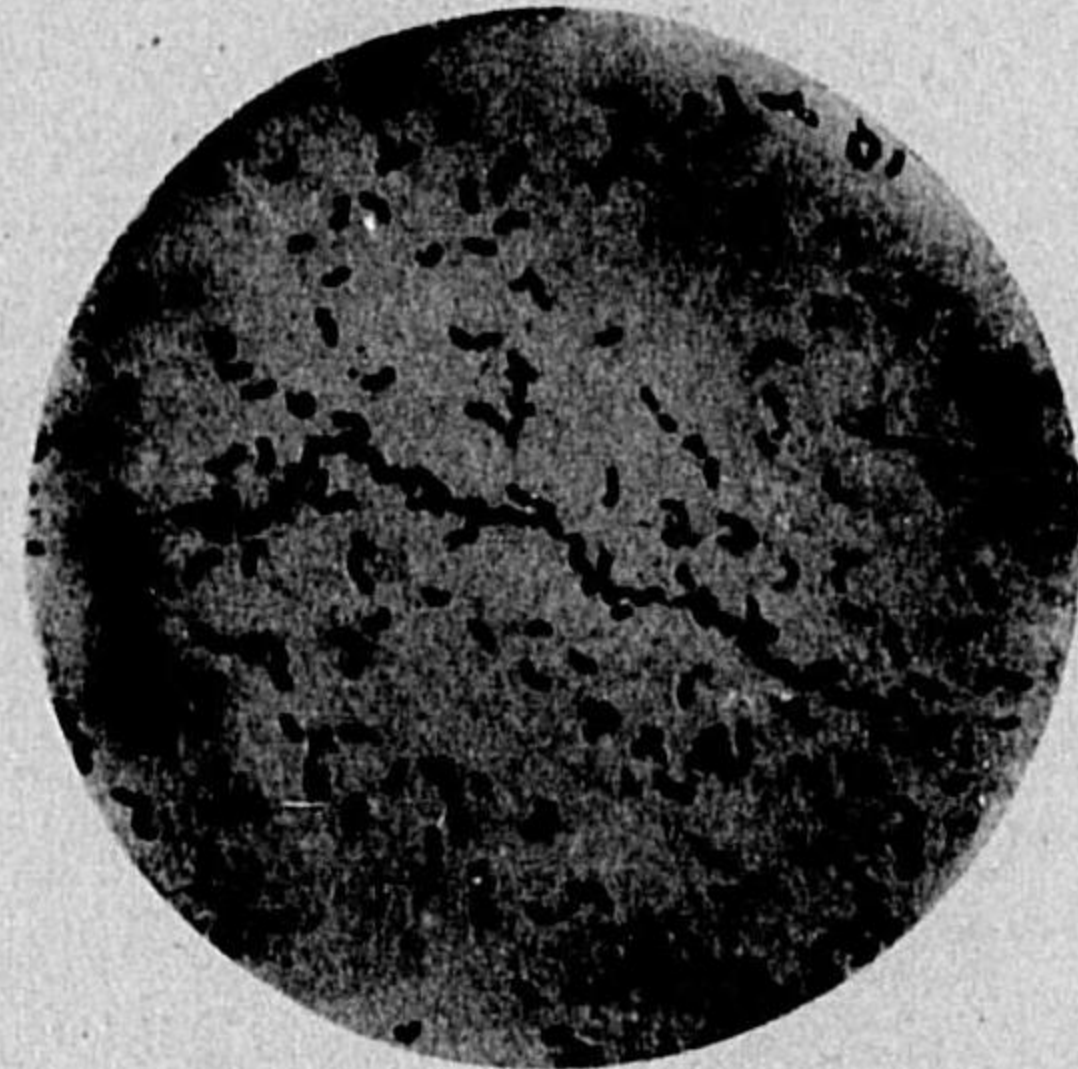
コレラ菌は腸管内及腸壁にて繁殖するも、腸壁を通して体内に侵入するにあらず。されど其の毒素は被感染生体に入りて抗体形成を促す。毒素が大量なれば其の主體を害す。多くのコレラ徴候は中毒症状なり。

38. 疫痢 本症は小兒の急性消化管疾患なり。之に小兒が罹れば急激

併發症は腎炎、心内膜炎、腸室扶斯、肺炎、及肋膜炎なり。

病原體はコレラ菌 *Vibrio cholerae asiaticae* なり。糞便よりなる小なる粘液狀浮游物を取りて塗抹標本を製す。其の標本を稀釋 Carbol-fuchsin にて染色す。又はペプトン水中に材料を加へて懸滴にて鏡檢す。然る時は特異なる短き活潑に運動する少しく曲れる桿菌を見る可し。之は菌絨に鞭毛を有す。培養はゲラチン上にてなし得。22 度にて 1/2—1 日後には小なる針刺孔狀聚落が生ず。ゲラチンを漸次溶かして漏斗を形成す。増殖には 12% の Witte ペプトン水がよし。

第 388 圖



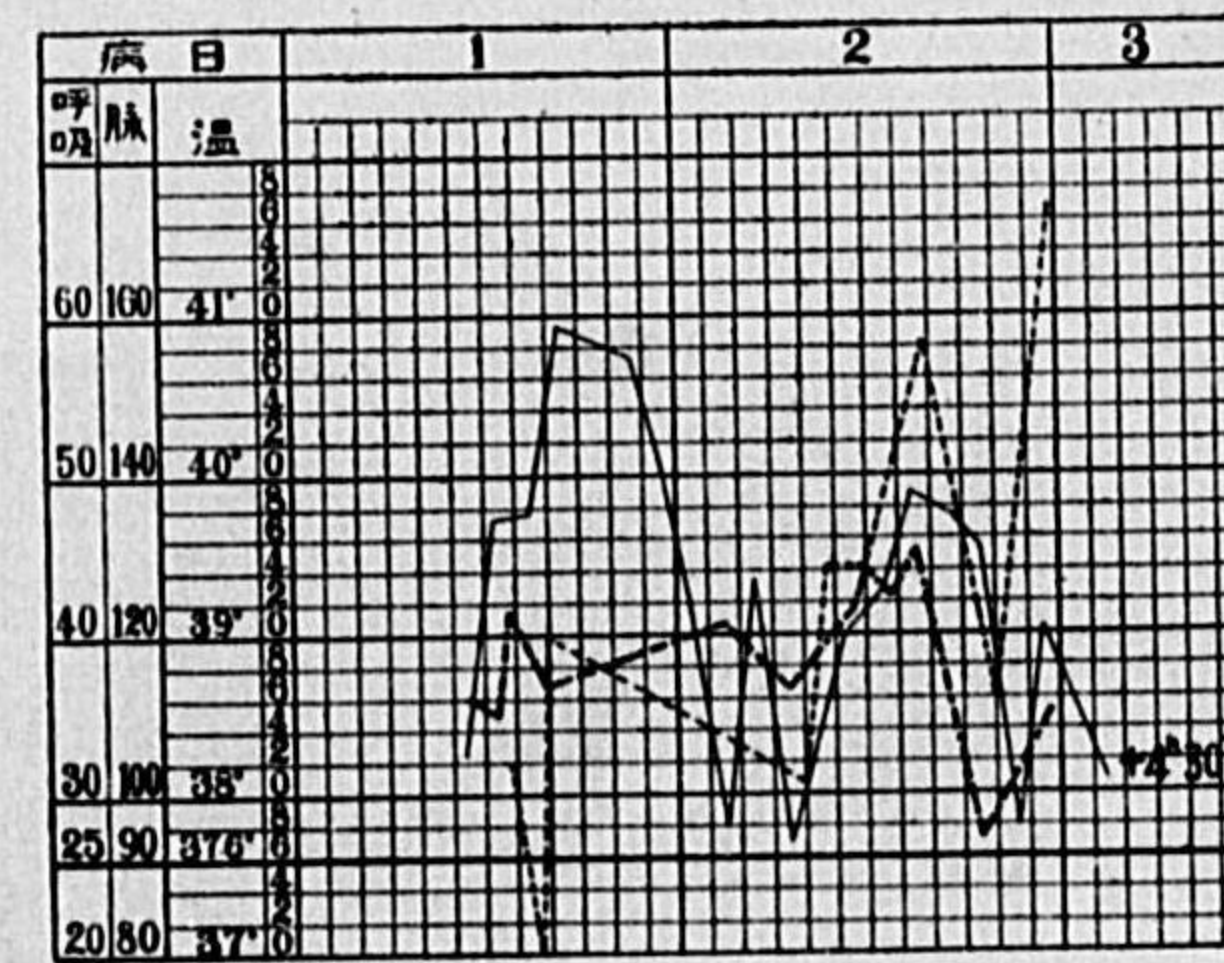
虎列刺弧菌(腸内容)

に元氣が衰へて發熱し、粘液便を漏らす。糞便又は普通血液を混ぜず又、裏急後重を排便時に伴はず。嘔吐、痙攣、昏睡、心臟衰弱を來し、1—3 日以内に死の轉歸をとる場合多し。死を免れたる場合には 1 乃至 2 週にして治す。

病原は赤痢菌に近似せる特殊の大腸菌なりと云ふ。

39. ペスト Pest 本症は種々の型にて起る。潜伏期は 2—10 日間なり。小ペスト *Pestis minor* (歩行性)は、發熱、鼠蹠腺腫脹、其の腺の化膿を來す。尿中及糞便中にペスト菌を證明す。速かに治癒す。ペスト症例の 77% は腺ペスト *Bubonenpest* なり。全身徴候を伴へる前驅期、3—4 日までに熱は徐々に上る。次で下降す。之に次ぎて 2 次的發熱あり。之には重き症状を伴ひ、患者は虚脱に陥りて死す。3—5 日に腺が腫脹す。別して鼠蹠腺 *Leistendrüsens* が腫脹す。次で之が化膿し、而して稀に壞疽様となる。非常に屢皮膚及粘膜に廣く點狀出血を見る。敗血症ペスト *septikämische Pest* (全症例の約 14%) には患者の血液中に多數のペスト菌あり。腺腫形成に先立ちて死す。ペスト肺炎 *Pestpneumonie* は肺炎の全症状を備ふ。喀痰中には多數のペスト菌あり。病期は短くして患者は死す。熱は弛張す。

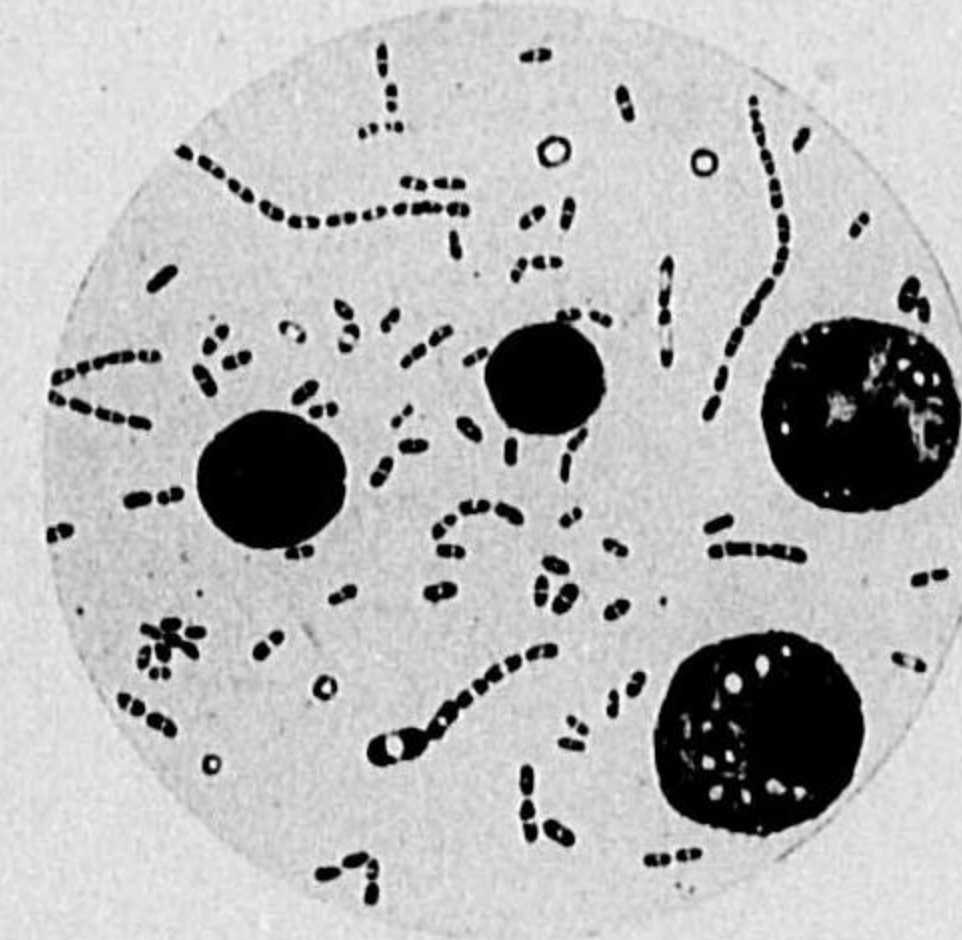
第 390 圖



肺ペスト

黒線—體温、太線—呼吸、點線—脈搏

第 391 圖



ペスト菌

病原體はペスト菌 *Bacillus pestis* (北里柴三郎氏發見。1904)短き太き兩端の丸き不動桿菌なり。*Methylenblau* 水溶液にて染色す。グラム陰性なり。

40. 癩病 *Lepra* 慢性傳染病にしし皮膚及粘膜に結節を生じ(結節癩 *Lepra tuberosa*)、神經變化にて(癱瘓菌 *Lepra anaesthetica*) 特異となる。

病原體は癩桿菌 *Bacillus leprae* (*Hansen* 1871) なり。本菌は結核菌に似たるも、少しく小にして纖細なり。結核菌染色及其他の方法にて染色せらる。

41. 馬鼻疽 *Rotz* (*Malleus*) 馬の疾患にして、人類には稀なり。急性馬鼻疽として起れば 8—10 日の経過中に熱、淋尿管炎、鼻に潰瘍を生じ、粘液膿性の汁出あり。皮膚に赤斑、膿疱疹及潰瘍を生ず。肺炎にて患者は死す。馬鼻疽桿菌培養より得る *Mallein* にて馬の炭疽病又は馬鼻疽病早期診断を行ふ。即ち *Mallein* 反應(ツベルクリン反應に類す)にて早期診断す。

病原體は馬鼻疽菌 *Rotzbacillus* (*Löffler*)。



42. 睡眠病 Trypanosomiasis (Schlafkrankheit) 慢性疾患にして熱、倦怠、羸瘦、腺腫、浮腫、長期の嗜眠 Schläfrigkeit、歩行障礙等あり。病期は 2—12 ヶ月間なり。病原體は Trypanosoma gambiense なり。Glossina palpalis と稱する刺蠅によりて傳染す。Trypanosomen は鞭毛類 Flagellaten なり。赤血球の 2—3 倍大にして活潑に運動す。前方は絲狀に突出す。

43. カラアザール Kala-Azar 本症は亞熱帯の疾患にして肝脾が増大す。其の他に貧血、惡液質、筋萎縮、腸加答兒及下痢あり。熱は弛張性なり。皮膚に出血、浮腫及穢き著色を見る。臨牀徴候は Banti 氏病に似たり。

病原體は Leishmania Donovanii (Leishmann 及 Donovan) なり。

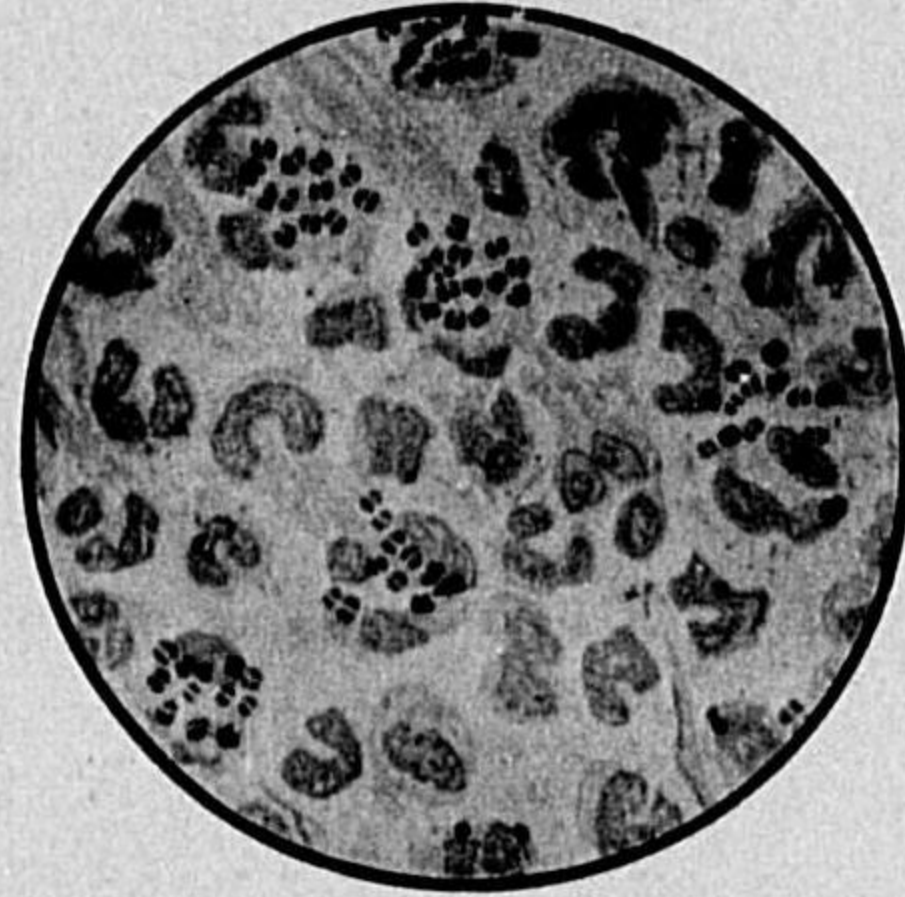
44. 黃熱病 Gelbes Fieber 急性の熱帯及亞熱帯の疾病にして激しき全身徴候を伴ひ、熱は高くして脈数は少なし。

45. 淋疾 Gonorrhöe 種々の型にて起る。尿器及生殖器が感染すれば淋菌性尿道炎、膀胱炎、喇叭管炎、子宮實質炎、子宮周圍炎、腹膜炎、攝護腺炎、尿道外膿瘍、Bartholin 氏腺の炎衝、膀胱炎、腎盂腎炎、腎炎、結膜炎等を起し、轉移性には淋菌性敗血症、心内膜炎、心囊炎、關節炎等を起す。

病原體は淋菌 Gonokokkus (Neisser 1879) なり。

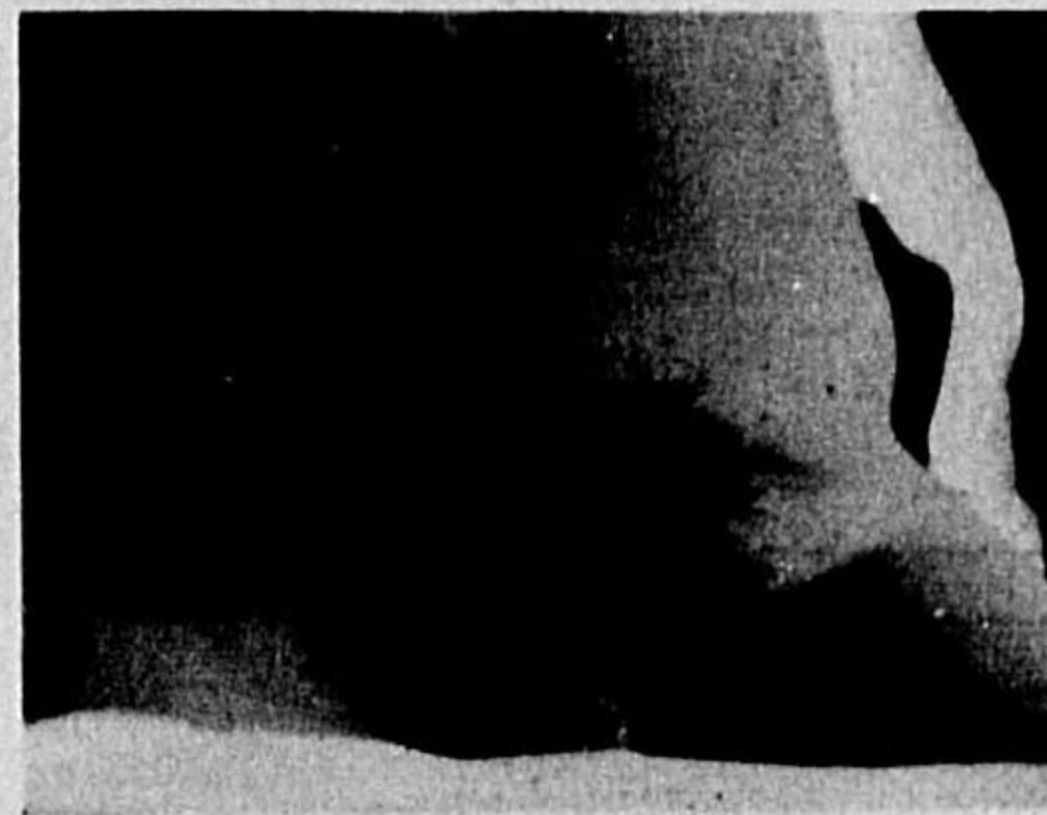
本菌は多くは 2 個合著す。本菌の染色は Löffler 氏の Methylenblau にてなし得。本菌は血液寒天上に培養せらる。

第 392 圖



淋菌、膿塗抹

第 393 圖



第 4 性病 (岩男内科原圖)

46. 軟性下疳 Ulcus molle 陰莖に於ける軟性下疳にして、化膿し腫脹して、膿窟は外方に破る。病原體は Streptobacillus ulceris mollis なり。

47. 梅毒 Syphilis 慢性の傳染病なり。先天性にも、後天性にも罹り得。後天性なる場合には初期感期は周圍の硬き小潰瘍にして(硬性下疳 harter Schanker)、第 2 期には熱は毎例にあらず。蕁癩又は斑狀の微毒疹 Syphilid を生ず。濕性コンヂローム Kondylome (腸、趾等)、脫毛 Haarausfall、粘膜症狀 (扁桃腺腫脹、口唇及口角に於ける裂創、口腔粘膜に於ける灰白色縁を有する腎臓形潰瘍等)、貧血、關節炎、虹彩炎、黃疸、脾腫、肝腫。第 3 期には皮膚症狀 (潰瘍性となる微毒疹、深部を破壊して瘡痕を貽して治癒す)、膿腫 Gumma (之は皮膚及臓器の到る所に生じ得)。アミロイド變性、腦及脊髓の變形微毒性疾患 (脊髓癱及癱瘓)。微毒性臓器疾患の徴は頗る多様なり。

病原體は Spirochaeta pallida (Schaudinn 1905) なり。

本菌は松拔の如く 6—14 の曲りを有し、端は細く鋭利なり。非常に活潑に運動す。

本症の血清學的診斷法は既に述べたり。

48. 鼠蹊部淋巴肉芽腫症 Lymphogranulomatosis inguinalis 又は第 4 性病 (Nicolas-Fuere 氏病) 獨立せる 1 性的傳染病にして病原は宮川氏小體なりと云ふ。感染機會より 1—2 週間の潛伏期を経て龜頭環狀溝又は包皮内面に於て輕微なる表皮剝脫乃至小潰瘍或は陰部疱疹に似たる小水泡を生じ、又丘疹として現はるることあり。淋巴肉芽腫性尿道炎を起し粘液血樣分泌物を洩すことあり。以上を原發疹と稱す。

感染機會後 3—4 週間、原發疹發現後 2—3 週間に於て鼠蹊部淋巴腺の腫脹を來す。多くは兩側同時に腫脹す。片側にのみ來ることあり。腫脹淋巴腺は化膿して膿瘍腔は容易に閉鎖せずして瘻管を作る。女子にては腸骨窩腺の腫脹を來すことあり。

全身症狀は第 1 に發熱にして 37—39 度に達し、夕暈型にして、肝脾の腫脹を來すことありて敗血症を疑はしむ。時に多形滲出性紅斑又は結節性紅斑に類する發疹を生ずることあり。

本症は以上の症狀によりて診斷し又、Frei 氏反應によりても決定す。自潰せざる淋巴腺を穿刺して膿汁を採り、これを間歇滅菌し 5—10 倍に稀釋して皮内に接種すれば炎衝性小丘疹を生ず。



## 附 録

### 特殊レ線写真

特殊レ線写真としてはレ線キモグラム Röntgenkymogramm とレ線断面写真 Röntgen-tomograph とをあぐべし。

#### 1. レ線キモグラム

レ線キモグラフィー Röntgenkymographie によりて心臓の各部運動を知るを得。

レ線キモグラム撮影はフィルム移動法又は細隙移動法による。

細隙移動法にては鉛製細隙板を使用す。各鉛板の幅員は實測にて 11.5 耗あり。而して各鉛板間の細隙即ち各鉛板の間隔は 0.5 耗あり。鉛製細隙板の移動時間は 3 秒にして結局 3 秒間に 12.0 耗だけ板を移動せしむ。

#### 心臓のレ線キモグラムの観察

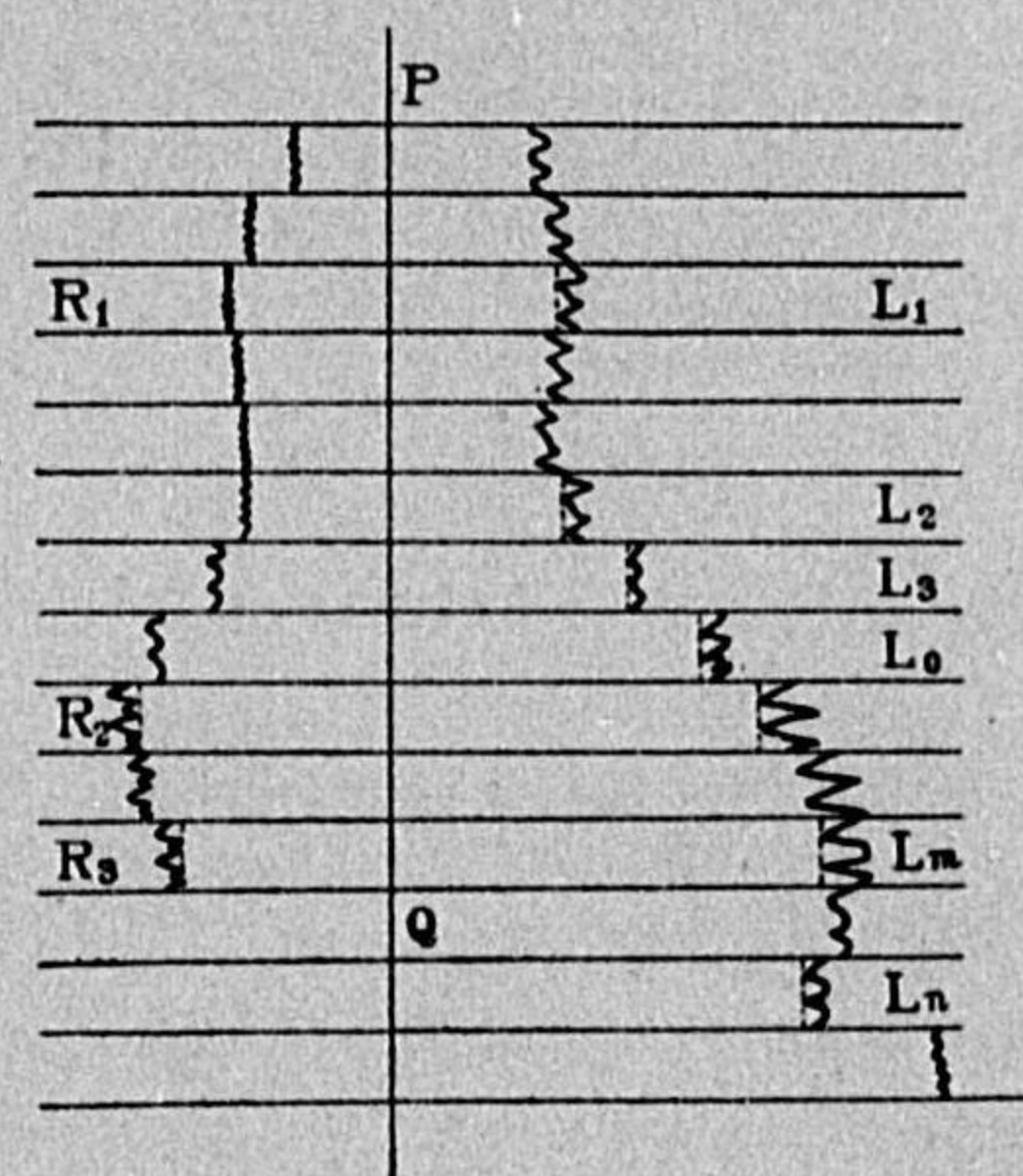
心臓のレ線キモグラムの横徑及振幅を測定すべき場所。フィルム移動法にて背腹矢状方向に撮影せるものに於ては正中線より心臓收縮期の極期に於ける心臓縁迄の距離、弛緩期及收縮期の各極期に於ける心臓縁へ運動距離の差を測定し、前者を收縮期横徑と稱し、後者を振幅と稱す。

略號	測定部位
L <sub>1</sub> . . . . .	左第 1 穹最大膨出部位
L <sub>2</sub> . . . . .	左第 2 穹最大膨出部位
L <sub>3</sub> . . . . .	左第 3 穹最大膨出部位
L <sub>0</sub> . . . . .	左第 4 穹最大上部位
L <sub>m</sub> . . . . .	左第 4 穹最大膨出部位
L <sub>n</sub> . . . . .	左第 4 穹横隔膜直上部位
R <sub>1</sub> . . . . .	右第 1 穹最大膨出部位
R <sub>2</sub> . . . . .	右第 2 穹最大膨出部位
R <sub>3</sub> . . . . .	右第 2 穹横隔膜直上部位

#### 波 型

- 1) 剪刀型 Scherenform
- 2) 鋸齒型 Hakenform

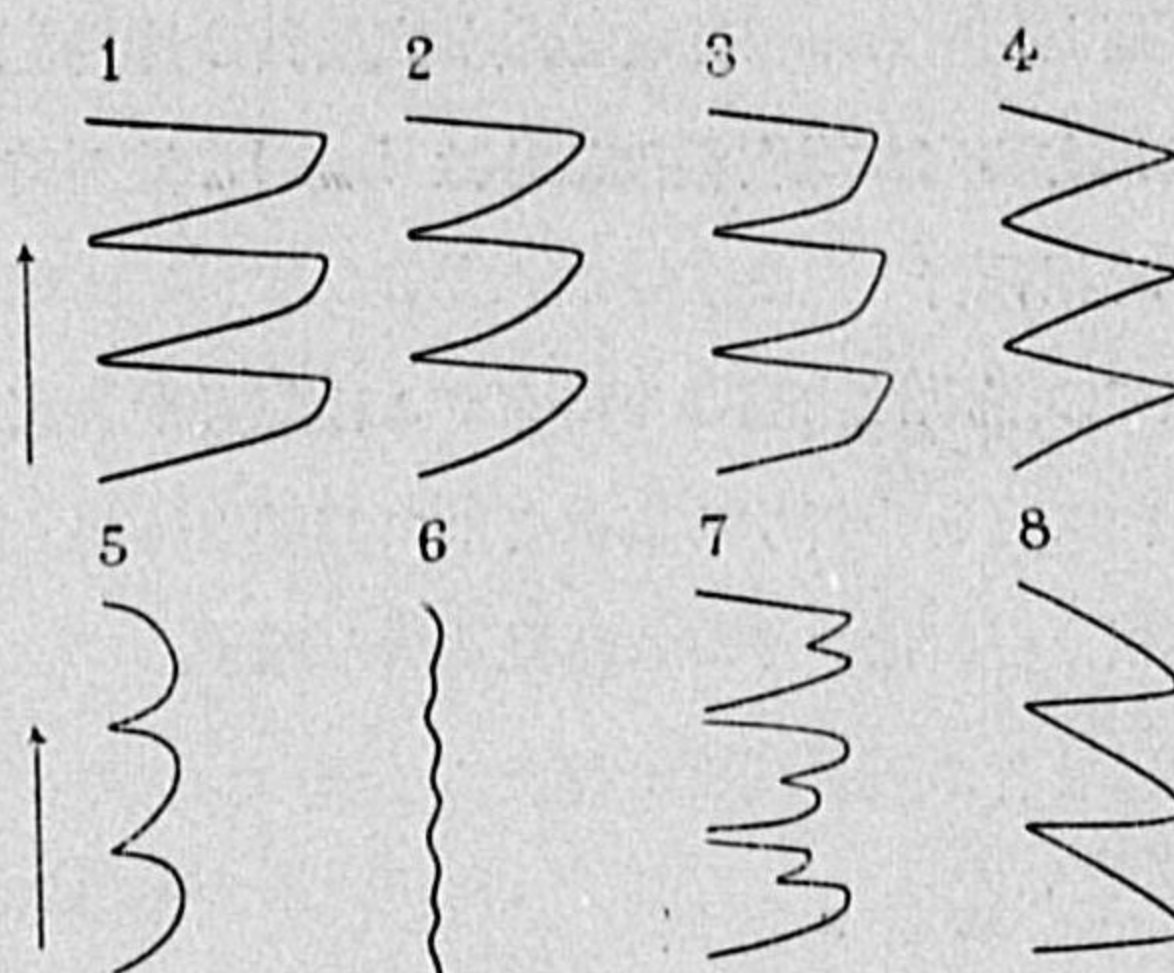
第 1 圖



フィルム移動法像に於ける横徑及振幅の測定部位

- 3) 曲邊型 Trapezform
- 4) 尖棘型 spitzige Form
- 5) 圓弧型 runde Form
- 6) 蠢動型 Wühlenform
- 7) 2 丘型 zweihöckrige Form
- 8) 血管型 vaskuläre Form

第 2 圖



基本 8 波型

剪刀型は主として正常心臓に見られ、鋸齒、曲邊、尖棘、2 丘、血管の各型は正常及病的心臓の何れにも來り、圓弧、蠢動の 2 型は専ら病的心臓に出現するものと做さる。

左第 1 穹 (L<sub>1</sub>) は大動脈穹及下行大動脈の與ふる影像にして殆んど例外なく第 8 型を示す。振幅は 3 ± 1.0 耗程度なり。

左第 2 穹 (L<sub>2</sub>) は肺動脈像にして左第 1 穹と同じく血管型を示す。振幅及波頂の尖銳度は前者に比して小なり。

左第 3 穹 (L<sub>3</sub>) は左心耳の與ふる影像にして大多數は第 7 型 2 丘型を示す。

左第 4 穹上部 (L<sub>0</sub>) は左心室上部縁の與ふる波にして水平細隙位にて撮影せる矢状方向像に於ては全心臓縁中最大の振幅 (7.6 ± 2.0 耗) を示し、此の部の波型は多くは第 1 型剪刀型にして擴張脚收縮脚共に大にして明瞭なる波頂を呈す。

左第 4 穹中部 (L<sub>m</sub>) は左心室縁最大膨隆部にして波型は曲邊型を最多とし、鋸齒型及剪刀型なる事もあり。

左第 4 穹下部 (L<sub>n</sub>) は左横隔膜直上部にして、L<sub>m</sub> 波同様曲邊型最も多く、鋸齒型之に亞ぐ。此の部には波脚の長き剪刀型を見る事殆んど無し。此の部は心尖に近く、水平方向の運動分子は小さく、他の運動分子即ち上下方向の運動分子が増大するによる。

右第 1 穹は (R<sub>1</sub>) 大静脈幹の與ふる影像にして右肺門部影像と重複して測定に困難を來す場合あり。本部位は正常對照例に於ては静脈なれば搏動の大いさ甚小さく平均 1.9 ± 1.0 耗にして明かなる波型を表はす事尠く、低減血管型、低減圓弧型を示し、殆んど蠢動型に類することあり。

右第 2 穹上中部 (R<sub>2</sub>) は右心房の與ふる影像にして搏動の大いさ比較的小さく 1.8 ± 0.5 耗にして、波型は 2 丘型最多なり。



右第2穹下部(R<sub>2</sub>)は右心房の與ふる影像なりとせられたるも、必ずしも然らずして横隔膜直上部にありては右心室が直接其の搏動を現はす事あり。本穹部の波型はR<sub>2</sub>部と同じく只右心室が縁在性なる時はL<sub>m</sub>, L<sub>n</sub>波と時相を等しくする單1波が出現す。

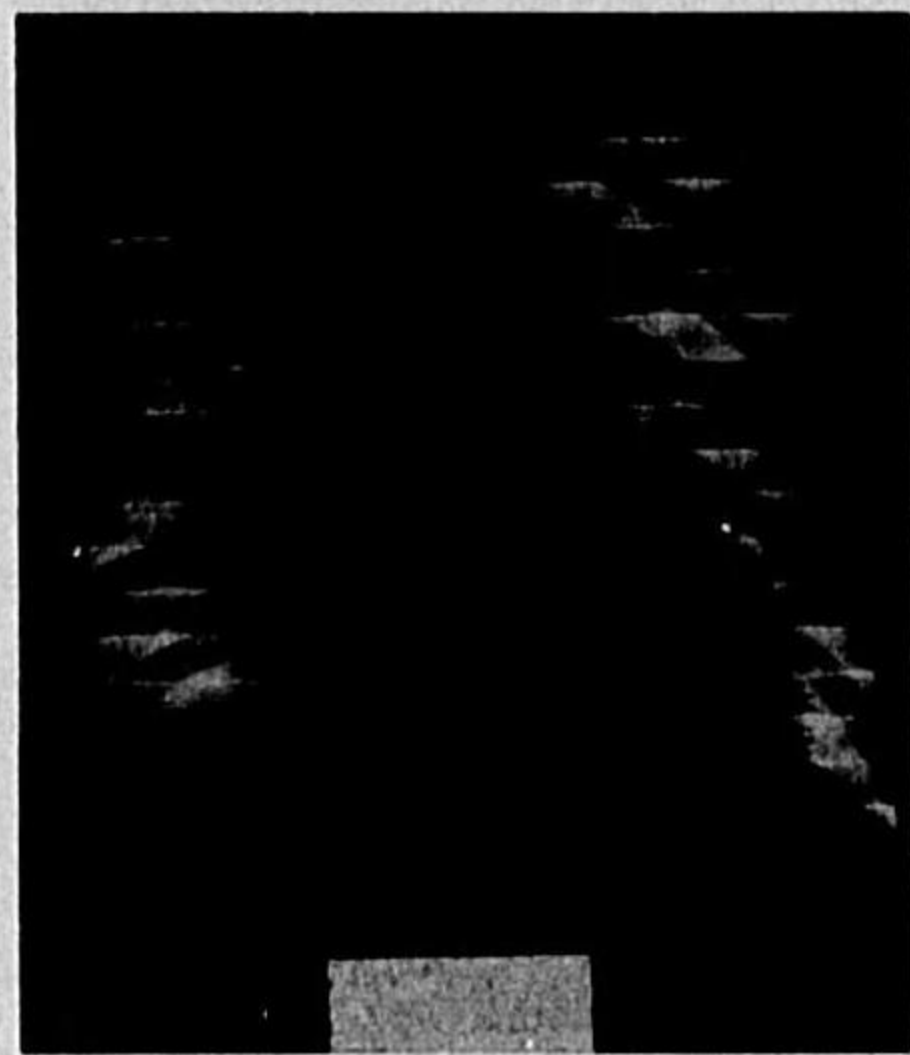
#### 時相分析

總ての運動性内臓のキモグラムは運動の時間的位相又は時相 Zeitphase を示す特徴を有す。従て之を分析する事によりて運動の時間的關係を明かにする事を得。

時相分析にはフィルム移動法像が適す。

次に著者の實驗例より得たる心臓のレ線キモグラムを提示せん。

第 3 圖



心臓のレ線キモグラム  
(岩男内科原圖)

#### 2. 斷層レ線寫眞

従來の方法によりて撮影せるレ線寫眞に於ては管球とフィルム間にある總ての像の相重なるものを現はし居るが故に所見の正確なる把握困難なり。肺臓の普通レ線寫眞に於ては肋骨が障礙し、心臓部に於ても同様なり。是等の障礙を少なくせんとして發案せられたるものが斷層レ線寫眞撮影法(斷面レ線寫眞撮影法) Tomographie (Grossmann) にしてフィルムと管球とを一定方向に動かしつつ撮影する事によりて生體の任意の深さに於ける斷層(斷面)を撮影す。即ち斯くして斷層より上下の部分の像を不明瞭にして不要を除き觀察に必要な部分のみの像を得。

斷層レ線寫眞撮影器 Tomograph は西曆 1921 年 A. E. M. Bocage 氏の創案にかかり、西曆 1935 年 Grossmann 及 Chboul 兩氏の考案せるものなり。

撮影器を見るに、撮影せんとする斷面の高さを軸とし、其の軸に垂直なる面にて支柱上端に取付けある管球が軸を中心とせる圓周上にて振り運動をなす様に装置しあり。本邦製のものにては管球は水平軌道上を滑走す。管球の運動時に其の運動方向と反對に運動するフィルム枠が撮影臺下側に裝備しあり。今レ線管球に送電して運動せしむれば廻轉軸面のみあるものが管球と反對の方向に動くフィルム上に投ずる陰影位は移動せずして、軸高を遠ざかれる所にあるもの程即ち廻轉軸面を上下に離れたる所にあるもの程其れがフィルムに投ずる陰影位は移動す。従て廻轉軸面に在るものみの陰影が最も鮮明なる陰影像をフィルムに結び得ることとなる。肺の斷層寫眞を撮影せんには如何にすべきかに就きて次

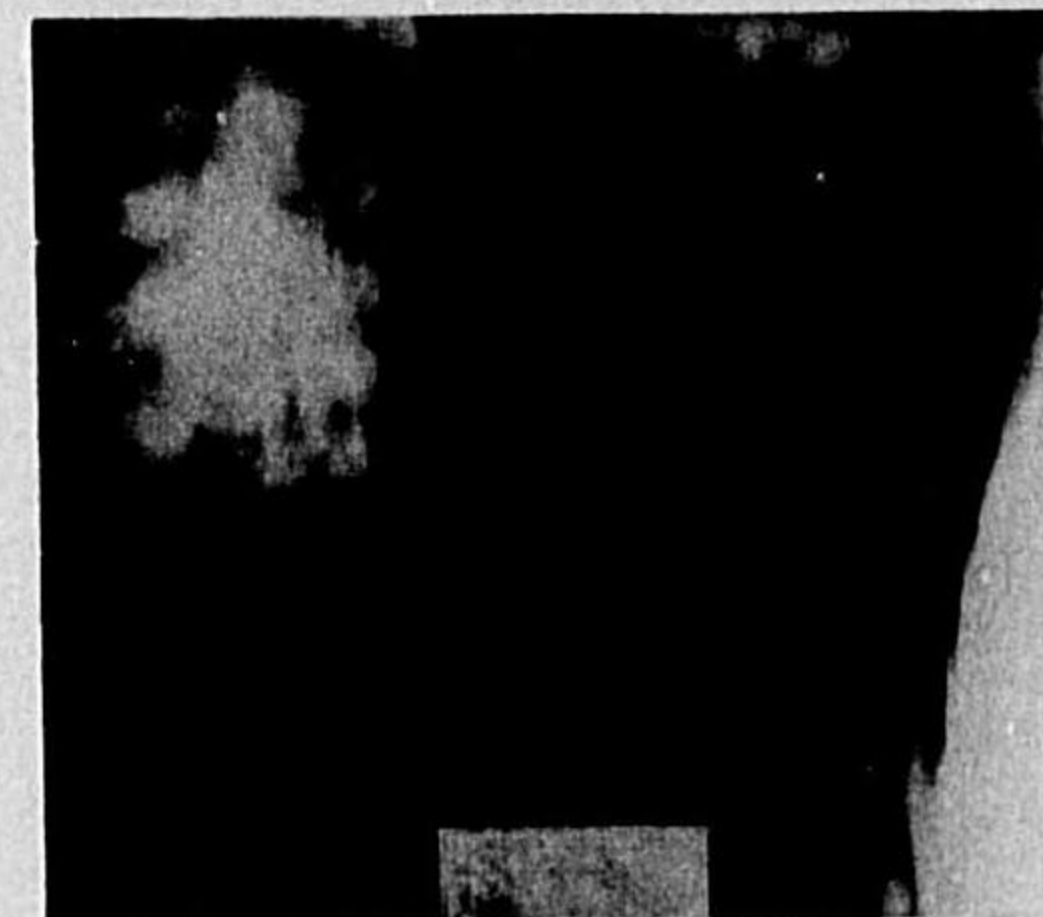
に單簡に記述し置くべし。

肺の斷層撮影は出來得るだけ薄く且數多く行ふが理想なれども、通常は3枚撮る。即ち第3肋骨の上縁が胸骨に接する高さにて胸の厚さを測り、其の中間層にて1枚、其の前後1層づつの層にて各1枚撮る。撮影時間は略1秒にして、管球の動く角度(Schnittwinkel)は30度にして、50度の時は撮影せらるる斷層の厚さは4耗なり。30度の時は8—10耗なり。

#### 斷層寫眞の有利なる諸點

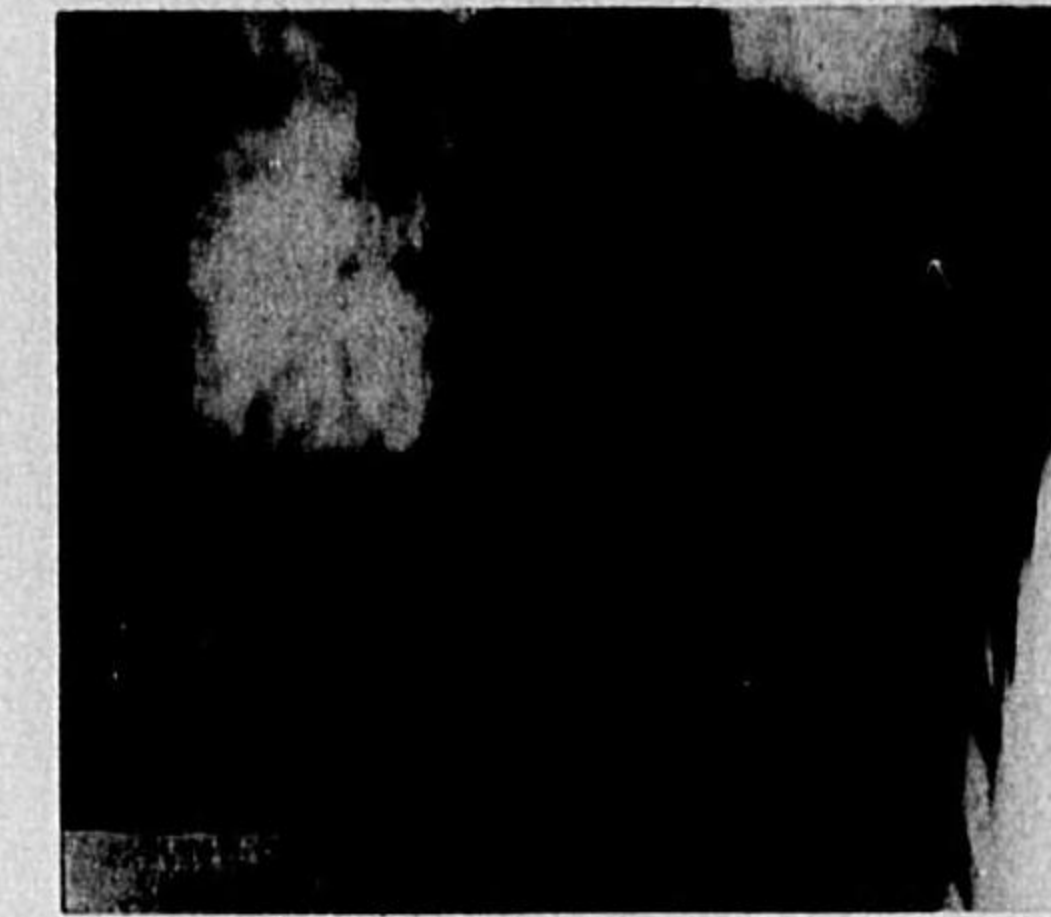
1. 肺域に於ける空洞が明瞭に現はる。
2. 正中陰影の背後の病變、殊に肺門部の状態を覗ふを得。
3. 氣管、氣管枝の屈曲、氣管枝腔の狹窄又は閉塞を見るを得。
4. 肋膜肥厚あるとも肺内部の病變を明かにするを得。次掲の斷層レ線寫眞 6-9 は著者教室森戸君の患者より得たるものなり。

第 4 圖



肺臓の斷層レ線寫眞。胸背面より3層前の所にて斷る。急性白血病例より。矢は浸潤陰像を指す。(岩男内科原圖)

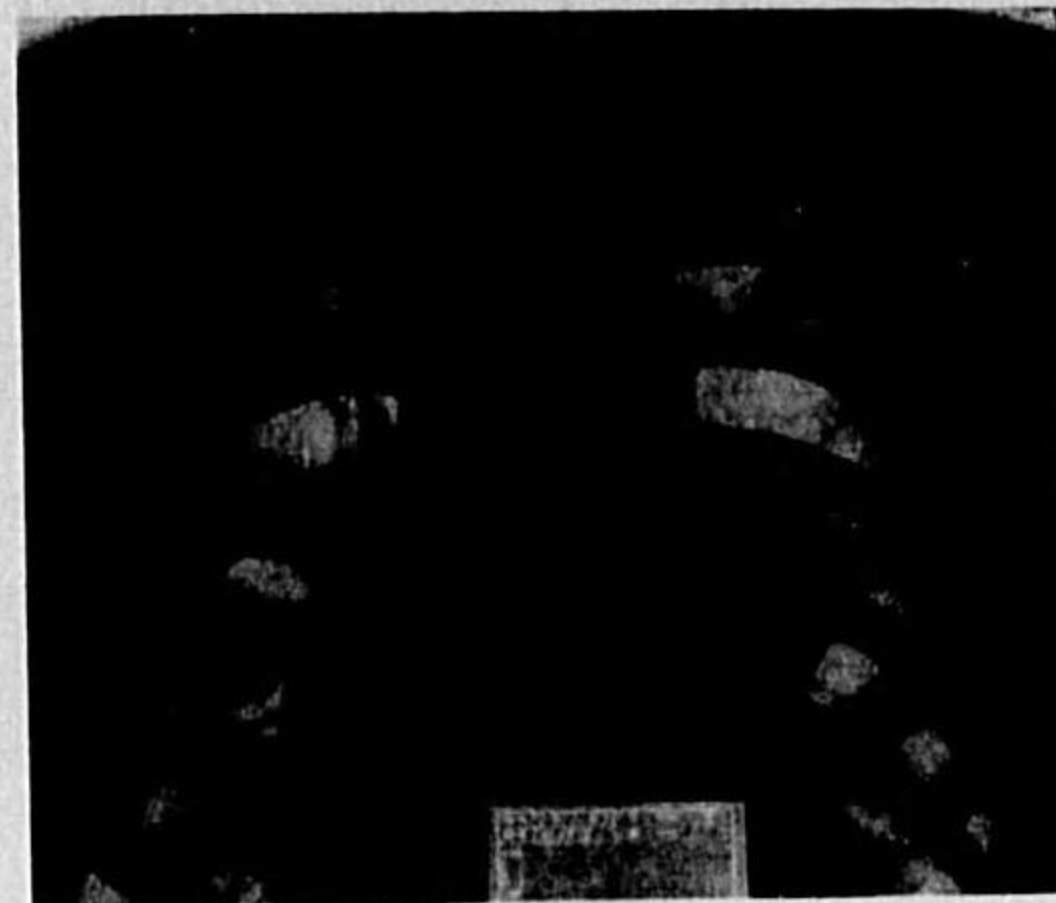
第 5 圖



第4圖を得たる例より。肺臓の斷面レ線寫眞。胸背面より5層前を斷る。浸潤陰像不明。(岩男内科原圖)

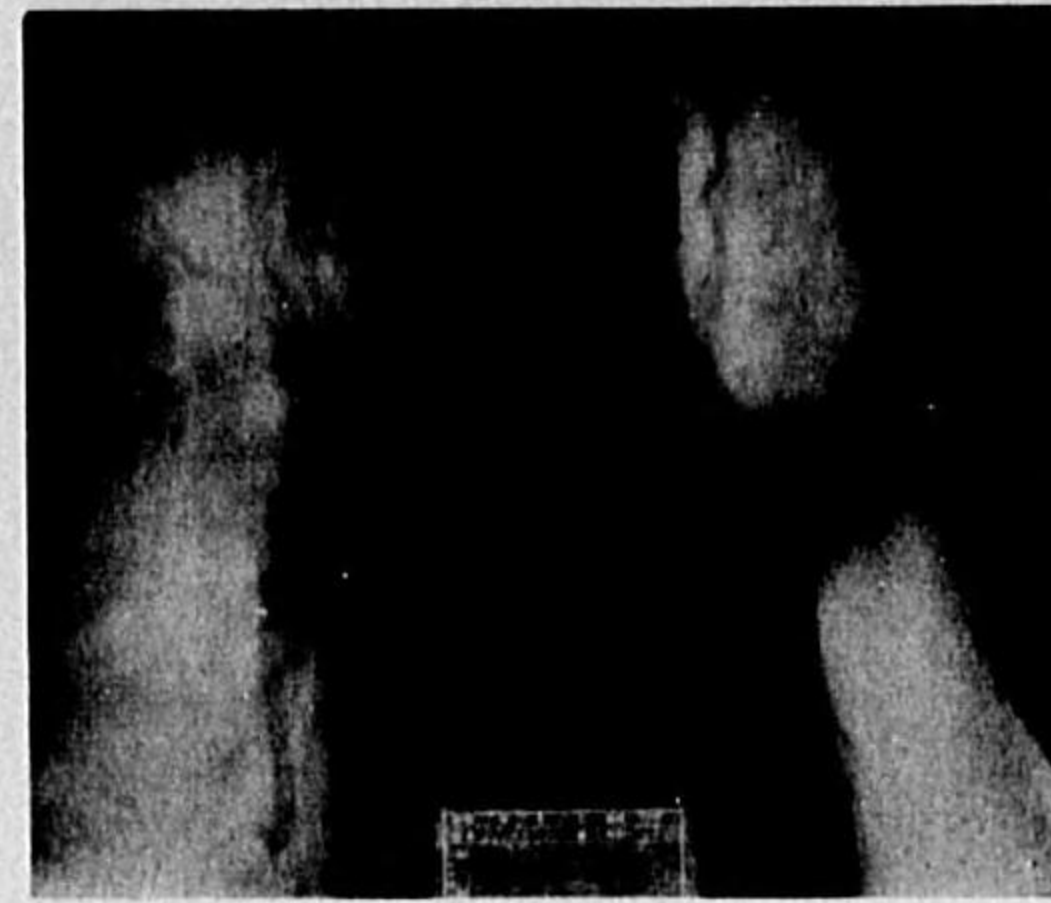


第 6 圖



左肺門に近く生ぜる肺腫瘍レ線寫眞。普通レ線寫眞。(岩男内科原圖)

第 7 圖



第6圖を得たる例より。胸背面より6種の所を斷る。(岩男内科原圖)

第 8 圖



前圖を得たる例より。胸背面より9種の所を斷る。(第7.8.9.圖は胸部斷層レ線寫眞)  
(岩男内科原圖)

第 9 圖



前圖を得たる例より。胸背面より11種の所を斷る。第8圖に於て縦隔竇腫瘍像最も明瞭なり。第9圖に於ては左右兩肺に於ける腫瘍像最も明瞭なり。

(岩男内科原圖)

### 臨床診斷的検査の道程 (*Brugsch* 氏著, 内科診斷學より)

Name: Alter: Stand: Datum der Untersuchung:

#### Anamnese.

##### 1. Äußere Verhältnisse:

Entwicklungsgang. Beruf. Allgemeine Lebensverhältnisse. Schädliche Lebensgewohnheiten (Exzesse in Baccho et Venere, in Tabak, in Sport, sonstige muskuläre Überanstrengungen etc.), Intoxikationen (Blei etc.).

##### 2. Heredität (in Ascendenz und Descendenz):

Konstitutionelle Verhältnisse (Habitus, Thoraxformen, exsudative Diathese in der Familie). Psychosen und Nervenkrankheiten. Lues. Tuberkulose. Stoffwechselkrankheiten (Diabetes, Gicht, Fettsucht). Wichtige sonstige Organerkrankungen (z. B. Herzaffektionen).

##### 3. Krankheiten der Kindheit:

Masern, Röteln, Diphtherie, Scharlach, Pocken, Anginen, Lymphdrüsenaffektion, Skrofulose, Rachitis etc.

##### 4. Spätere Erkrankungen:

##### 5. Jetzige Erkrankung: Ursache und Beginn. Prodromalerscheinungen.

Bisheriger Verlauf und Erscheinungen subjektiver Art und objektiver Art<sup>1)</sup> (Krankheitsgefühl, Muskelschwäche, Kopfschmerzen, Sensorium, Schmerzen sonstiger Art, Kurzluffigkeit), Gewichtsabnahme, Änderung des Aussehens. Schlaf, Fieber (Schüttelfröste), Nachtschweiß, Verhalten der Circulationsorgane (Herzklopfen, Anfälle von Angina pectoris, Brülure retrosternale, Unregelmäßigkeiten des Herzens), Verhalten der Respirationsorgane (Brustschmerzen, Husten, Auswurf, Anfälle von Kurzluffigkeit), Verhalten des Magens (Aufstoßen, Erbrechen, Magendruck, Magenschmerzen), Verhalten des Darmes (Leibschmerzen, Kolikschmerzen), Verdauungsstörungen und Verhalten des Stuhles, Urin und Urinentleerung, Störungen in der Sexualsphäre etc.

Bisherige Behandlung.

##### 6. Menstruation, Geburten, Puerperien:

Erste Menstruation. Dauer und Wiederkehr der Menstruationsperiode. Menstruationsstörungen (Schmerzen, Blutverluste). Geburten (Zahl, Reihenfolge, Verlauf, Störungen nach der Geburt). Wieviel Kinder leben, Gesundheit der Kinder (s.a.u.) Aborte. Frühgeburten. Klimakterium.

<sup>1)</sup> Zunächst laßt man den Patienten seine Krankheitsgeschichte erzählen, um sie erst später durch Fragen zu ergänzen.



**Status praesens.****I. Allgemeiner Teil.**

1. Lage des Patienten (aktive-passive Rückenlage, Haltung etc.)
2. Gesichtsausdruck — Blick (schmerzlicher, ängstlicher, imbeciller, „neuropathischer“) — Facies Hippocratica — Risus sardonicus — trüber, verschleierter, matter Blick — Glanzauge.
3. Sensorium.
4. Körperlänge und Körpermaße, Habitus, proportioneller Brustumfang.
5. Knochenbau, Thoraxformen; Elastizität, Starre des Thorax.
6. Muskulatur.
7. Fettpolster.
8. Haut (Farbe, Exantheme, Varicen, Narben, Decubitus, Turgor, Ödeme, Feuchtigkeitsgrad und Wärme der peripheren Extremitäten).
9. Untersuchung der sichtbaren Schleimhäute auf ihre Farbe hin (Conjunctival-, Lippen-Schleimhaut).
10. Lymphdrüsen der Haut (nuchale, supra- und infraclaviculäre, axillare, cubitale, inguinale).
11. Temperatur.

**II. Untersuchung der Zirkulationsorgane.**

1. Puls des Radialis und anderer der Palpation zugänglicher größerer und kleinerer Arterien (auf beiden Seiten). Qualitäten des Pulses (Spannung, Größe), Rhythmus; Frequenz, physikalische Beschaffenheit des Arterienrohres. Jugular-Venenpulse (eventuell Sphygmogramm, Venenpulscurve etc.).
2. Blutdruck (maximaler, minimaler, Pulsdruck).
3. Herz. Inspektion der Herzgegend (Vorwölbung der Brustwand, abnorme Pulsationen), Spitzentoß (Inspektion, Palpation, eventuell Kardiogramm). Herzgrenzen, perkussorische (absolute, relative). Auskultation, Röntgendurchleuchtung; Schattenbild, Verhalten der großen Gefäße, Orthodiagramm. Eventuell Elektrokardiogramm.

**III. Untersuchung der Respirationsorgane.**

1. Atmung:
 

Zahl der Atemzüge. Form der Atmung (costale, abdominale, dyspnoische, orthopnoische Atmung), Tiefe der Atemzüge, Spirometrie. Umfang des Thorax bei In- und Expiration.
2. Abnormes Verhalten einzelner Thoraxpartien:
 

Eingesunkene oder vorgewölbte Intercostalräume, Supra- und Infraclavicular-

gruben; Zurückbleiben einzelner Thoraxabschnitte bei der Atmung, Kollateralkreislauf am Thorax.

3. Husten.
4. Auswurf: Menge, Art (makroskopisch und mikroskopisch).
5. Lungengrenzen (untere und obere. Kroenigsche Schallfelder).
6. Perkussorischer Lungenbefund.
7. Auskultatorischer Lungenbefund.
8. Bronchophonie und Pectoralfremitus.
9. Röntgenologischer Lungenbefund. Hilusschatten, Lungenfelder, Zwerchfell (Stand und Bewegungserscheinungen).
10. Untersuchung der oberen Luftwege:
 

Nase, Kehlkopf, Stimme, Spiegelbefund, Trachea (tracheoskopischer Befund). Eventuell Bronchoskopie.

**IV. Untersuchung des Intestinaltractus und Abdomens.**

1. Untersuchung der Mundhöhle.
 

Inspektion von Lippen, Zungen, Zähnen, Gaumen, Rachen.  
Oesophagus: Sondierung, Auskultation (Schluckgeräusche), Röntgendurchleuchtung.
2. Abdomen:
 

Form (eingesunkenes oder aufgetriebenes Abdomen), Kollateralkreislauf am Abdomen, sonstiges Verhalten der Bauchdecken, Palpation (schmerzhafte Stellen, Bruchforten, Tumoren, Resistenz), Perkussion (Flüssigkeitserguß etc.). Défense musculaire.
3. Magen:
 

Form, Lage, Größe (eventuell Aufblähung mit Luft oder CO<sub>2</sub>, Perkussion, Röntgendurchleuchtung [Wismutfüllung]). Gastroskopie: Peristaltik (eventuell Röntgenbeobachtung) und Motilität (Nüchternheit etc.); Sekretion:
 

Probefrühstück	}	Menge und Aussehen des ausgeheberten Mageninhaltes, freie
Probemahlzeit		und gebundene HCl, Pepsin und Lab. Abnorme Bestandteile (Schleim, Blut, Milchsäure etc.).
4. Darm (eventuell sichtbare Peristaltik des Dünndarms, röntgenologische Beobachtung der luft- oder wismutgefüllten Dünn- und Dickdarms).
5. Rectum und Anus:
 

Inspektion, Recto-Romanoskopie, Palpation (Tumoren, Hämorrhoiden).
6. Faeces:
 

Stuhlentleerung. (Häufigkeit, Störungen). äußere Beschaffenheit des Stuhles,



mikroskopische und chemische Beschaffenheit, abnorme Beimengungen (Schleim etc.)

#### 7. Leber:

Perkussorisch (obere und untere Grenze);

palpatorisch (untere Grenze), Beschaffenheit des unteren Leberrandes und der Leberoberfläche;

röntgenologische (Zwerchfellstand als obere Grenze, untere nach Sauerstoffeinblasung in die Peritonealhöhle);

Funktionsprüfung (bei Erkrankungen der Leber); a) (bei Abschluß der Galle): Bestimmung der Resorptionsgröße der Nahrung b) alimentäre Lävulosurie.

#### 8. Pankreas:

Palpation (bei vergrößertem Pankreas);

Funktionsprüfung bei erkranktem Organ: a) Bestimmung der Resorptionsgröße der Nahrung, b) alimentäre Glykourie. c) Untersuchung auf Pankreasfermente.

#### 9. Milz: Perkussion. Palpation.

### V. Untersuchungen des Urogenitalapparates.

#### 1. Nieren:

Palpation (Ren mobilis I., II., III. Grade): *Eisler*-Hufeisenniere. Röntgenologischer Befund bei Verdacht auf Nierensteine etc.

#### 2. Blase: Palpation (Blasensteine, Blasentumoren), Perkussion (Stand der gefüllten Blase). Cystoskopie.

#### 3. Urethra: Ausfluß, Strikuren (Sondierung, eventuell Urethroskopie)

#### 4. Ureterenkatheterismus: Funktionelle Nierendiagnostik.

#### 5. Weibliches Genitale: Digitaluntersuchung, Speculumuntersuchung.

#### 6. Männliches Genitale: Potenz, Hoden-, Nebenhoden-, Prostatapalpation. Sperma, makroskopisch und mikroskopisch etc.

### VI. Urin.

24 stündige Menge, Entleerung (Harnstrahl), Aussehen, Farbe, Geruch, spezifisches Gewicht, pathologische chemische Bestandteile (Eiweiß, Zucker), morphologische Bestandteile (Cylinder, Epithelien, Leukocyten etc.).

### VII. Blut.

Hämoglobin, Zahl der Erythrocyten, Zahl der weißen Blutkörperchen, Färbindex, Verhältniß der weißen Blutkörperchen untereinander, Blutpräparat (gefärbt, ungefärbt), ev. spezifisches Gewicht (Blutgefrierpunkt und elektrische Leitfähigkeit), Trockensubstanz, Blutkörperchenvolumen.

Serologische und bakteriologische Blutuntersuchung.

### VIII. Nervensystem.

## 1. Gehirnnerven.

- I. Geruchsprüfung.
- II. Sehschärfe, Gesichtsfeld, Augenhintergrund, Pupillenreaktion.
- III., IV., VI. Bulbusbewegungen, Strabismus (Doppelbilder), Nystagmus.
- V. Sensibilität, Geschmack (cf. IX.). Kaumuskulatur (Trismus).
- VII. Mimik, Tränensekretion, Hyperacusis.
- VIII. Gehör, Vestibularfunktionen.
- IX. Gaumensegel, Geschmack, Anarthrin cf. V. und IX.
- X. Puls, Atmung, Kehlkopf (Recurrens).
- XI. Schulterbewegungen.
- XII. Zungenbewegungen.

## 2. Spinale Nerven.

### Motilität.

Reizerscheinungen (Krämpfe).

Lähmungen, elektrische Prüfung. Chronaxieprüfung.

### Sensibilität.

Reizerscheinungen (Schmerzen, Parästhesien).

Lähmungen (Vibrations-, Berührungs-, Spitz- und Stumpf-, Schmerz-, Temperatur-, Lage-, Druckempfindung).

### Kombination von motorischen und sensiblen Bahnen.

Koordination (Ataxie).

Reflexe (Pupillenreflex, Cornea-Conjunctival-, Würgreflex);

Schnenreflexe: Biceps, Triceps, Patellar, Achilles;

Hautreflexe: Bauchdecken, Cremaster, Babinski.

Blasen- und Mastdarmfunktionen.

Sexualfunktion.

## 3. Großhirnkombination.

Praxie (ideatorisch, motorisch).

Tastlähmung—Stereognosie—Optische und akustische Agnosie.

Sprache.

### IX. Erkrankungen der Knochen und Gelenke.

### X. Stoffwechseluntersuchung.

Hierzu bedient man sich zur Eintragung der Werte und um die Bilanz übersichtlich darzustellen, folgender Tafel.



Speise	Menge	Stickstoff		Fett		Kohlenhydrat		Calorien	
		Prozent	Menge	Prozent	Menge	Prozent	Menge	Prozent	Menge
Fleisch . . . . .	—	3.5	—	4.0	—	—	—	125	—
Zerelatwurst . . . . .	—	2.5	—	48.0	—	—	—	500	—
Speck . . . . .	—	0.25	—	90.0	—	—	—	840	—
Ein Ei (Gewicht = 53g) . . . . .	—	1.0g	—	5.0g	—	—	—	75	—
Käse . . . . .	—	4.5	—	8.0	—	—	—	180	—
Butter . . . . .	—	0.1	—	87.0	—	0.5	—	810	—
Milch . . . . .	—	0.5	—	3.0	—	4.5	—	50	—
Bouillon . . . . .	—	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—
Kaffee . . . . .	—	0.05	—	—	—	—	—	—	—
Suppe (Bouillon) . . . . .	—	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—
Eine Semmel (Gewicht=70g) . . . . .	—	0.7g	—	1.0g	—	44g	—	203	—
Brot . . . . .	—	1.0	—	—	—	5.5	—	250	—
Gemüse . . . . .	—	0.1-0.3	—	3.0-20	—	6.6	—	30	—

Eiweißcalorien: .....

Fettcalorien: .....

Kohlenhydratcalorien .....

Summa.....Calorien.

Netto-Calorienwert der Nahrung: .....Calorien.

pro Kilogramm Körpergewicht: .....Calorien.

## 参 考 自 己 論 著

- 急性白血病(急性淋巴性白血病)に就て 共著, 実験醫報 1年第13號
- 心臟瓣膜病細胞に就て 東京醫學會雜誌 第32卷第3號
- 肋膜炎の臨牀的觀察 実験醫報 第8年第94號及第95號
- 腸室扶斯の蔓延に就て 実験醫報 第8年第89號
- 治療成績より觀たる脚氣の本態に就て 実験醫報 第13年第150號
- 胃腸疾患に伴ふ血液疾患に就て 日本消化器病學會雜誌 第26卷第7號
- 發作状態に在る氣管枝喘息症例の咯痰内エオジン嗜好性細胞に就て 日本病理學會雜誌 第12年
- 肺に於けるエオジン嗜好白血球の形成に關する知見補遺 日本病理學會雜誌 第13年
- 微毒性貧血に就て 共著, 治療及處方 第50號
- 臨牀と剖檢との實驗小話 治療及處方 第83號
- 吐血 内外治療 第3年第1册第19號
- 假性脾臟囊腫に就て(1-2) 治療及處方 第90號及第91號
- 横膈膜肋膜炎の著者が招來する興味ある臨牀的徴候に就きて 共著 東京醫學會雜誌 第42卷第8號
- 血球の臨牀向染色法の秘傳 実験醫報 第14年, 第161號
- 慢性脾腫の診斷補遺 金子玄策氏報告追加 日本内科學會雜誌 第17卷第2號
- 白血病例の臨牀的檢索 共著 日本内科學會雜誌 第16卷第2號
- 十二指腸の觸診 日本消化器病學會雜誌 第27卷第5號
- 血球の顆粒に關する研究 日本内科學會雜誌 第18卷第2號
- 悪性貧血の研究 醫事公論 第967號
- 内科的一定疾患に對する沃度劑の治效 治療及處方 第130號
- 内科臨牀二十考 治療及處方 第131號(甲)
- 癌胃の觸診所見に就て 日本消化器病學會雜誌 第30卷第5號
- 癌胃に發症せる白血病悪性貧血の一例 日本消化器病學會雜誌 第30卷第7號
- 結核治療劑ヤトコニンの利效 共著 臨牀醫學 第19年第9號
- 白血病例の末梢血液の形態學的研究 共著 日新醫學 第21年第3號
- 藥籠中のもの數種 治療及處方 第144號
- パンチ氏病例の脾臟の組織學的研究 共著, 日新醫學 第21年第7號
- 結核肺の臨牀的研究 共著, 内科學會雜誌 第20卷第2號
- 慢性白血病性骨髓增殖症性脾腫の寫眞供覽 共著, 臨牀醫學寫眞圖譜 第9號第5號
- 人工氣胸の實施によりて縮小消失せる結核性空洞のレ線寫眞の供覽 共著, 臨牀醫學寫眞圖譜 第9卷第5號
- 肋膜炎の併發症の治療 現代之診療 第3輯
- 再び心臟瓣膜病細胞に就て 東京醫學會雜誌 第43卷第12號
- 悪性貧血の研究 東京醫學會雜誌 第43卷第12號
- 人體結核治療と結核性病竈に於ける石灰沈著との關係 共著, 東京醫學會雜誌 第44卷第12號



35. 肺胞音の發生機轉に關する臨牀的研究 日本內科醫學會雜誌 第21卷第2號
36. バウヒン氏瓣孔の盲腸内容逆行許容性に就て 共著, 實驗消化器病學 第8卷第5號
37. 四・五の優秀なる內科的新治療法 治療及處方 第156號
38. 肺炎診療の實際 治療及處方 第168號
39. 胃癌崩潰後に於ける胃の觸診所見並にレ線所見に就て 臨牀の日本 第2卷第2冊第10號
40. 人體結核治癒と結核病癒に於ける石灰沈著との關係に就て 共著, 東京醫學會雜誌 第45卷第12號
41. 脾臓の觸診 醫事公論 昭和6年8月
42. 稀有なる心臟病の診斷と治療 治療及處方 第178號
43. 對症的臨機應急處置 治療及處方 第180號
44. 肺結核病癒に於ける沈著石灰の移動に就て 共著, 治療及處方 第180號
45. 肺結核治療の實際 治療及處方 第180號
46. 結核性腹膜炎 共著 臨牀醫學 第23年第6號
47. 血液に關する新知見 治療及處方 第16卷第184, 185, 187號
48. 腹痛の時計的診斷法 醫界展望 第34號
49. 紫斑病の療法 醫界展望 第53號
50. 特に興味ある臨牀例の報告 東京醫學會雜誌 第49卷第12號
51. 余等考案の機械的刺戟に對する高齢者及內分泌腺病例の上膊動脈の反應 共著 東京醫學會雜誌 第47卷第12號
52. 肺炎に就て 共著 臨牀醫學 第24年第11號
53. 微毒性大動脈中膜炎 臨牀醫學第24年第5號
54. 熱の對症療法と注意すべき事ども 臨牀醫學 第25年第1號
55. 機械的刺戟に對する生人體動脈の反應 共著 日本內科醫學會雜誌 第22卷第5號
56. 機械的刺戟に對する生人體動脈の反應 第2報 本應的血壓亢進症例の上膊動脈緊張狀態に就て 共著 日本內科醫學會雜誌 第22卷第7號
57. 機械的刺戟に對する生人體動脈の反應 第3報 流血量の動搖に對する野球選手上膊動脈の反應 共著 日本內科醫學會雜誌 第22卷第8號
58. 機械的刺戟に對する生人體動脈の反應 第4報 上膊動脈の脈波に於ける所謂反衝隆起の出現機轉に就て 共著 日本內科醫學會雜誌 第22卷第9號
59. 脊髓横斷症 臨牀醫學第24卷第12號
60. 胃洗滌につき注意すべき事項 醫界展望 第94號
61. Basedow 病 大阪醫事新誌 第7號及第8號
62. 疾病の豫後斷定 治療及處方 第192號
63. ホルモン療法の実験小話 治療及處方 第192號
64. 胃癌 臨牀內科 第2卷第6號
65. 氣管憩室を伴へる汎蜂巢狀肺の一例報告より氣管枝蠕動運動に及ぶ 東西醫學 第12卷第1號
66. 珍奇の結腸 醫界展望 第113號
67. 胃及十二指腸潰瘍治療法の批判 臨牀內科 第3卷第2號
68. 鐵のヴェイタミンA類似作用 治療及處方 第200號

69. 胎生期胃腸門部血行障礙並に胃癌のレ線像に就て 關西醫事 第333號
70. 籠形二口蟲寄生による膽囊炎 臨牀醫學第25年第6號
71. チョードチロジンの威力 醫事公論 第1286號
72. Wilson 氏病に就て 共著 臨牀の日本 第5卷第4冊第42號
73. 蜘蛛膜下腔出血 臨牀研究 第9卷第6號
74. 胃癌の研究 日本醫事新報 第765號
75. 流行性腦炎考 臨牀內科第3卷第9號
76. パーキンソン様症狀 診療と經驗 第1卷第3冊第3號
77. 膽石症 大阪醫事新誌 第8卷第8號
78. 昭和十二年度に於ける腹部觸診上の余等の收穫 昭和12年12月13日 日本消化器病學會例會
79. 胃潰瘍例の診療餘録 臨牀醫學 第26年第1號
80. 巨大なるトルコ鞍を有し無事二十五ヶ年を経過せる肢端巨大症の一例 臨牀內科第4卷第1號
81. ワクチン療法的療法及ワクチン療法實施の經驗 治療及處方 第216號
82. 診療録拔萃 診療と經驗 第2卷第3冊第10號
83. 脊髓後索性歩行障礙と脊髓小腦側索性(又は小腦性)歩行障礙との一鑑別法 臨牀の日本 第6卷第3冊第53號
84. 滲出性肋膜炎の診斷と治療 臨牀醫學 第26年第3號
85. 呼吸運動及び體位の變換が心尖搏動に及ぼす影響に就て 共著 日本內科醫學會雜誌臨時號 昭和13年3月15日發行

## 參 考 自 著 書 籍

1. 內科臨牀講義集 第1—4輯
2. 腹部觸診の實際 第5版
3. 最新臨牀血液學 第2版
4. 新消化器病學提要 第2版



## 最新内科診断学索引

### い

- |  |   |
|--|---|
| <p>胃 Magen ..... 199</p> <p>胃位..... 199</p> <p>胃漏 Gastrosucorrhoe..... 203</p> <p>胃S 聯球菌 Sarcina ven-<br/>tricoli ..... 222</p> <p>一般受血者..... 399</p> <p>一般給血者..... 399</p> <p>一般的肺炎打診法..... 35</p> <p>Ivar Bang 滴定法..... 338</p> <p>遺尿症 Enuresis..... 280</p> <p>胃胞 Magenblase ..... 155</p> <p>胃道 Magenstrasse..... 160</p> <p>移動性盲腸 Coecum mo-<br/>bile ..... 162, 228</p> <p>莓舌 Himbeerzunge 192, 609</p> <p>胃弛緩症 Magenatonie...<br/>..... 201, 269</p> <p>維持蛋白 Erhaltungsei-<br/>weiss ..... 288</p> <p>IHED Röntgen-Einheit 577</p> <p>遺留尿 Residualharn ... 486</p> <p>胃管 Magenschall..... 29</p> <p>萎黄病 Chlorose..... 440</p> <p>胃擴張 Dilatatio ventri-<br/>culi ..... 269</p> <p>胃潰瘍 Magengeschwür 268</p> <p>胃下垂 Magenatonie,<br/>Gastroptose ..... 201, 270</p> <p>胃癌曲線 Magencarcinom-<br/>kurve ..... 213</p> <p>胃癌 Magenkrebs ..... 269</p> <p>胃癌の特別診断法..... 213</p> <p>逸指..... 529</p> <p>一酸化炭素中毒..... 572</p> <p>胃痛..... 202</p> <p>胃粘膜面撮影による胃癌<br/>診断法..... 219</p> <p>胃粘膜皺襞像 Magensch-<br/>leimhautfaltenrelief... 159</p> <p>胃内容の一般性状..... 204</p> <p>胃内容の反応..... 204</p> <p>胃ノイローゼ Magen-<br/>neurose ..... 270</p> | <p>胃性貧血..... 441</p> <p>胃の形, 大きさ及位置の<br/>決定..... 200</p> <p>胃の聴診..... 74</p> <p>胃のレ線検査..... 212</p> <p>胃の運動力の検査..... 202</p> <p>胃形..... 199</p> <p>移行骨髄球 Metamyelo-<br/>leukocyten ..... 434</p> <p>異物輸入による腎臓の機<br/>能検査..... 364</p> <p>異物作用 Fremdkörper-<br/>wirkung ..... 579</p> <p>胃部腫瘍..... 201</p> <p>胃分泌..... 200</p> <p>移行型 Übergangsform... 432</p> <p>移轉 Transfert ..... 562</p> <p>胃酸の證明..... 205</p> <p>胃酸減少症 Hyperacidi-<br/>tät ..... 205</p> <p>胃酸缺乏症 Achylia gas-<br/>trica ..... 205</p> <p>胃酸過多 Hyperacidität 205</p> <p>萎縮性胃炎 Gastritis at-<br/>rophicans ..... 211</p> <p>萎縮性脂肪症 Lipoma-<br/>tosis atrophicans ..... 296</p> <p>萎縮性麻痺..... 458</p> <p>萎縮 Atrophie..... 444</p> <p>萎縮性皮膚線状瘢痕<br/>Striae atrophicae ..... 8</p> <p>胃周囲炎 Perigastritis... 202</p> <p>異常知覚..... 476</p> <p>異常の主観的知覚..... 476</p> <p>異常大胸腺..... 390</p> <p>意識濁濁 Bewusstseins-<br/>trübungen ..... 490</p> <p>意識鮮明 Bewusstseins-<br/>klarheit ..... 490</p> <p>意識の障礙..... 490</p> <p>胃液の消化作用..... 200</p> <p>胃液中の細胞成分の鏡檢 212</p> <p>胃液の検査..... 203</p> <p>胃鹽酸の定性..... 205</p> <p>胃性磷酸鹽析出尿 gastr-<br/>ogene Phosphaturie... 347</p> <p>胃の打診..... 200</p> <p>インドフェノール青合成<br/>Indophenolblausynthese<br/>..... 410</p> <p>インヂカン含量 Indican-<br/>gehalt ..... 329</p> <p>インヂゴ Indigo ..... 359</p> <p>インヂカン尿症 Indikan-<br/>urie ..... 328</p> <p>インシュリン Insulin ... 288</p> <p>インシュリン過剰症<br/>Superinsulinismus ... 294</p> <p>インシュリン過剰分泌<br/>Hyperinsulinismus ... 390</p> <p>Insulinome..... 294</p> <p>咽頭..... 193</p> <p>Intermedin..... 386</p> <p>陰痿 Impotenz ..... 486</p> <p>陰性糖平衡..... 290</p> <p>陰性無力 negative Anergie<br/>..... 601</p> <p>飲水試験(水試験)<br/>Wasserversuch ..... 363</p> |
|--|---|

### ろ

- |   |
|---|
| <p>ロイマチス性結節..... 447</p> <p>ロイマチス性心筋炎..... 446</p> <p>ロイマチス性多發漿液膜炎<br/>Polyserositis rheumatica<br/>..... 446</p> <p>ロイマチス性心臓内膜炎 446</p> <p>ロイマチス性心嚢炎..... 446</p> <p>ロイマチス性紫斑病<br/>Purpura rheumatica... 442</p> <p>ロイチン Leucin ..... 359</p> <p>Leube-Riegel 氏の試験食 202</p> <p>濾胞腫脹..... 576</p> <p>Robert 氏の測定法..... 339</p> <p>漏斗胸 Trichterbrust ... 23</p> <p>顛頂葉..... 519</p> <p>Lohrlich 氏の Nilblau ... 24</p> <p>蠟燭圓錐 Wachseylinder<br/>..... 355</p> <p>聾感 Taubsein ..... 476</p> |
|---|



瘻管脊髄 Syringomyelie 553  
 Rossolimo 氏現象 ..... 479  
 狼瘡瘻痕 Lupusnarbe... 9  
 Rolando 氏蓋 ..... 511  
 Rhombert 氏徴候 ..... 552  
 Rhombert 氏検査 ..... 531  
 6時間残物Sechsstundenrest ..... 155  
 緑色腫 Chlorom ..... 442  
 肋膜炎性肺腫 Pleuraschwarte ..... 148  
 心嚢摩擦音 Pericardialreiben ..... 72  
 肋膜摩擦音 pleurales Reiben ..... 61  
 肋膜疾患の診断 ..... 186  
 肋膜穿刺術 ..... 126  
 肋膜腔の穿刺 ..... 126  
 肋膜腔に液體が溜溜する爲に起る濁音 ..... 39  
 濾出液 Transsudat ..... 132  
 濾出液と滲出液との差別 ..... 139  
 濾出液 Transsudat ..... 134  
 老人性振顫 Tremor senilis ..... 454  
 老人性股關節炎 Malum coxae senile ..... 555  
 勞役肥大 Arbeitshypertrophie ..... 166  
 Rosenbach 氏の變法 ..... 325  
 Rosset 氏潛血證明法 ..... 244  
 Rosenow 氏腦穿刺 ..... 438  
 癆瘵胸 phthisischer Thorax ..... 22

**は・ぼ・ば**

腓骨神經麻痺 ..... 547  
 背腹透射法 dorsoventrale Durchleuchtung ..... 139  
 背壓點 Dorsaldruckpunkt ..... 269  
 背壓點 dorsaler Druckpunkt ..... 202  
 廢用性萎縮 Inaktivitätsatrophie ..... 486  
 Hijmans van den Bergh ..... 262  
 Heine-Medin 氏病 ..... 550  
 ハイネメヂン氏病 Heine-Medinsche Krankheit 617

排尿訴 Miktionsbeschwerde ..... 280  
 肺陰影 ..... 146  
 肺上打響の變質 ..... 38  
 肺に鼓音を發する場所 ..... 40  
 肺胞刺戟 ..... 567  
 肺胞音 vesiculäres Atmen ..... 53  
 肺胞音の發生理論 ..... 54  
 肺胞音の生理的變化 ..... 54  
 肺胞音が低弱し又は消失する場合 ..... 56  
 肺胞音の病的變化 ..... 55  
 肺放腺菌病 pulmonale Aktinomykose ..... 626  
 肺動脈孔の狭窄 ..... 175  
 肺動脈瓣閉鎖不全 Pulmonalinsuffizienz ..... 175  
 肺デストマ病 Distomiasispulmonalis ..... 86  
 Hutchinson 氏齒 ..... 191  
 肺塵埃沈著症 Pneumoconiosen ..... 186  
 肺音 Lungenschall ..... 29  
 肺臓の病的變化 ..... 147  
 肺臓の腐片 ..... 123  
 肺臓の打診 ..... 34  
 肺臓の聽診 ..... 53  
 肺下垂充血 Lungenhypostase ..... 183  
 肺下界の病的移動 ..... 34  
 肺膿瘍 Lungenabscess ..... 184  
 肺の比較打診 vergleichende Perkussion der Lunge ..... 38  
 肺の放線状菌病 Aktinomykose der Lunge 186  
 肺の炎衝に際して起る打響の變質 ..... 38  
 肺の下界 ..... 34  
 肺の打響變換 Schallwechsel der Lunge ... 40  
 肺結核 Lungentuberculose ..... 184  
 肺梗状梗塞 Lungeninfarkt ..... 183  
 肺壞疽 Lungengangrän 184  
 肺炎菌敗血症 ..... 620  
 肺炎後發性膿胸 postpneumonisches Empyem 620

肺炎菌の決定法 ..... 597  
 肺炎桿菌 Pneumobacillen ..... 620  
 肺炎菌診斷法 ..... 620  
 肺氣腫 Lungenemphysem ..... 151  
 肺氣腫胸 emphysematöse Thorax ..... 22, 23  
 肺門像 ..... 146  
 肺尖結核 Lungenspitzen-tuberculose ..... 149  
 肺炎 Lungentzündung 619  
 肺炎打診 ..... 35  
 肺尖結核 ..... 185  
 肺尖峽 Lungenspitzensthmus ..... 36  
 肺氣腫 Lungenemphysem ..... 184  
 排便回数 ..... 232  
 排便困難型 Dyschezie ..... 232  
 排便及糞便 ..... 231  
 敗血症性ペスト septikämische Pest ..... 629  
 敗血症 Septicämie ..... 620  
 敗殘物 Detritus ..... 241  
 梅毒 Syphilis ..... 630  
 梅毒性動脈炎 Aortitis syphilitica ..... 178  
 梅毒性斑 syphilitische Plaques ..... 193  
 梅毒性口峽炎 Angina syphilitica ..... 93  
 梅毒瘻痕 Syphilisnarbe 9  
 梅毒ネフローゼ ..... 372  
 梅毒性白色腫瘍 Tumor albus syphiliticus ..... 448  
 梅毒疹 Syphilid ..... 630  
 梅毒性大動脈中膜炎 Mesaortitis syphilitica 144  
 培地 Nährboden ..... 592  
 培養 Züchtungsverfahen ..... 592  
 鳩胸 Hühnerbrust ..... 23  
 波動感 Undulationsgefühl ..... 196  
 波動 Fluktuation ..... 196  
 Barany 氏指示現象 ..... 531  
 波菌の染色 ..... 587  
 波菌の染色法 ..... 589  
 波状反應 ..... 576

波型 ..... 632  
 發育不良型 Kümmerform ..... 18  
 發疹期 Eruptionsstadium 584  
 發汗 Schweissausbruch ..... 10  
 發汗減少 Anhydrosis ..... 10  
 發汗 Schweissausbruch 583  
 發汗作用停止 ..... 527  
 發熱顔貌 Facies febrilis 5  
 發生期捻髮音 Krepitationindux ..... 183  
 發症 Krise ..... 552  
 酸酵法による尿中糖の定量 ..... 339  
 酸酵法 Gärungsprobe ..... 335  
 剝離 Excoriation ..... 10  
 剝離性胃炎 Gastritis erosiva ..... 211  
 白鼠治療試驗 ..... 378  
 爆鳴音 Knacken ..... 63  
 薄素 Fun. græcilis (Gol!) ..... 500  
 破壺音 Geräusch des gesprungenen Topfes ..... 32  
 白血球の中樞性調節 ..... 526  
 白血球出遊 Histiodiapese ..... 212  
 白血球 Leukocyten ..... 353  
 白血球圓環 Leukocyten-cylinder ..... 55  
 白血球の算定 ..... 417  
 白血球種の算定 ..... 419  
 白血球減少症 Hypoleukocytose (Leukopenie) ..... 435  
 白血球增多症 ..... 435  
 白血球の形態 ..... 431  
 白血病及其の類似狀態 ..... 441  
 白血病悪性貧血 Leukanämie ..... 442  
 白血病の分類 ..... 441  
 白血病裂溝 Hiatus leukämicus ..... 442  
 白色交通枝 Rami communicantes albi ..... 557  
 白色高血壓症 weisse Hypertonie ..... 180  
 白痴 Idiotie ..... 492  
 白金耳 Platinöse ..... 585  
 Hammschlag 氏法 ..... 335

バビンスキー氏徴 Babin-ski'sches Zeichen ..... 479  
 Hassall'sche Körperchen 330  
 Harrison 氏溝 ..... 20  
 Hagedorn-Jensen 氏血糖定量法 ..... 305  
 Hagedorn-Jensen 氏の糖定量表 ..... 308  
 Hunter 氏舌 ..... 193  
 Haser 氏指數 ..... 317  
 馬尾神經 Cauda equina 554  
 馬尿酸 Hippursäure ..... 327  
 馬步態歩行 Steppergang ..... 461, 547  
 馬鼻疽菌 Rotzbacillus ..... 629  
 馬鼻疽 Rotz (Malleus) 629  
 馬尿酸結晶 ..... 359  
 Hanot 氏肝硬變症 ..... 274  
 Pfeiffer 氏試驗 ..... 599  
 Pfeiffer 氏反應 ..... 628  
 Parathormone ..... 389  
 パラ空扶斯 Paratyphus 614  
 Pars intermedia ..... 386  
 Padutin ..... 390  
 パーキンソン様症狀 Parkinsonismus ..... 453, 525, 617  
 Partialantigene ..... 579  
 Paltuf 氏病 ..... 443  
 パパタチ熱 Pappatacifer ..... 619  
 パパタチ蚊 Pappatacismücke ..... 619  
 Pappenheim 染色 ..... 425  
 Paschen 氏小體 ..... 591  
 Paschen 氏天然痘小體 (Pockenkörperchen) ..... 611  
 パセドウ病 Morbus Basedow ..... 388, 559  
 破傷風 ..... 456  
 破傷風 Starrkrampf, Tetanus ..... 621  
 破傷風菌 Bacillus tetani Nicolaier ..... 621  
 破傷風抗毒素 Tetanusantitoxin ..... 578  
 破壺音 Geräusch des gesprungenen Topfes ..... 41  
 破壊性關節周圍炎 Periarthritis destruens ..... 447

Pandy 氏反應 ..... 607  
 斑 Macula (Flecke) ... 9  
 斑狀知覺麻痺域 Stigmata diaboli ..... 562  
 汎發性血管性甲状腺腫 Struma vascularis diffusa ..... 388  
 晩發性壞疽 Spätgangrän 573  
 晩發類官症 Spät-Eunuchoidismus ..... 392  
 晩發癲癇 Spätepilepsie ..... 549  
 晩發佝僂病 Rhachitis tarda ..... 449  
 晩發佝僂病 Spätrachitis 448  
 バング波状熱 Febris undulans Bang ..... 626  
 バング菌 Brucella Bang 626  
 バング熱 Bang-Fieber ..... 626  
 Banti 氏病 ..... 277  
 Huntington 氏舞踏病 ..... 556  
 反射熱 Reflexfieber ..... 581  
 反張膝 Genu recurvatum ..... 448, 451  
 反跳型 schnellende Form ..... 101  
 反射波 ..... 90  
 反射弓 Reflexbogen ..... 476  
 反射の消失 ..... 478  
 反射癲癇 Reflexepilepsie 456  
 反射の矛盾 ..... 478  
 反射的排尿 ..... 485  
 反射 ..... 476  
 反射性瞳孔不動症(一強直) reflektorische Pupillenstarre ..... 482, 552  
 反射的排尿 ..... 485  
 播種結核 ..... 149, 185  
 煩渴 Polydipsie ..... 377  
 反應期 ..... 627  
 半値時 Halbwertzeit ..... 267  
 半側不全麻痺 Hemi-paresis ..... 458  
 半側收縮 Hemisystolie ..... 83  
 半側交叉 Hemidecussatio ..... 481  
 半側交叉 Halbkreuzung (Hemidecussatio) ..... 504  
 半卵圓中樞 Centrum semiovale ..... 519, 520  
 半身不隨 Hemiplegie ..... 458



半身麻痺の経過…………… 453  
 半身アテトーゼ Hemi-  
 athetose …………… 458  
 半身知覚麻痺 Hemianäs-  
 thesie …………… 503  
 半身觸覚麻痺 Hemiäst-  
 ereognosis …………… 504  
 半視症性瞳孔反應 hemi-  
 optische Pupillenreak-  
 tion …………… 483  
 半影器の光學的構成………… 340  
 半盲症性瞳孔不動症  
 hemianoptische Pupil-  
 lenstarre …………… 483  
 半盲症性瞳孔反應  
 hemianoptische Pupil-  
 lenreaktion…………… 507  
 半盲症…………… 524  
 半盲症 Hemianopsie………… 507

**に**

日本住血吸蟲 Schistos-  
 osum japonicum …… 254  
 日本住血吸蟲病 Schisto-  
 somiasis japonicum … 275  
 ニトログリセリン中毒………… 569  
 ニトロ化合物中毒…………… 572  
 2 次性微候白赤血球過多  
 症…………… 441  
 尿崩症 Diabetes inepidus  
 …………… 314, 376, 387, 526  
 尿閉 Anurie …………… 314, 486  
 尿閉 Retentio urinae … 485  
 尿糖測定装置…………… 336  
 尿毒症 Uriämie…………… 370  
 尿道の上皮…………… 354  
 尿中血色素の證明…………… 324  
 尿中蛋白の定性…………… 321  
 尿中の Urobilinogen の  
 證明…………… 326  
 尿中蛋白の定量…………… 321  
 尿中アミノ酸の證明………… 330  
 尿中乳糖の證明…………… 343  
 尿中の葡萄糖の定量………… 335  
 尿中に於ける含水炭素………… 332  
 尿中の糖の定性…………… 334  
 尿中の藥劑及毒物の證明  
 …………… 350  
 尿中ポルフィリンの證明………… 326  
 尿中鹽化物の定性…………… 348

尿沈澱物の検査術式………… 352  
 尿量減少症 Oligurie………… 314  
 尿淋瀝 Harnträufeln 280, 485  
 尿減少症 Oligurie………… 313  
 尿滴排 Harnträufeln … 280  
 尿の比重…………… 316  
 尿の臭氣…………… 316  
 尿のアルカリ性變化検査………… 364  
 尿の鹽化物…………… 347  
 尿の化學的検査…………… 319  
 尿の反應…………… 319  
 尿の顯微鏡的検査…………… 352  
 尿酸鹽 Urat …………… 319  
 尿酸 Harnsäure … 345, 357  
 尿酸鹽…………… 357  
 尿酸マムモン…………… 357  
 尿酸血症 Urikämie …… 295  
 尿臭…………… 316  
 尿色 Harnfarbe…………… 314  
 尿圓錐 Harnzylinder … 355  
 尿失禁 unwillkürlicher  
 Urinabgang …………… 485

2 連脈 Pulsus bigeminus  
 …………… 81, 109  
 2 相性動作電流 dipha-  
 sischer Aktionstrom………… 104  
 肉芽腫様淋腺疾患…………… 443  
 2 丘型 zweihöckrige  
 Form …………… 633  
 Nickkrampf …………… 525  
 日差 Tagesdifferenz …… 583  
 日射病 Sonnenstich …… 574  
 日射病 Hitzschlag …… 580  
 Nylander 氏の變法 …… 334  
 乳糖尿 Laktosurie …… 342  
 乳糖排泄試験…………… 364  
 乳酸 Milchsäure …… 208  
 乳嚢腫 Papillom …… 280  
 乳線 Linea mammillaris 15  
 乳糜様滲出液 chylöse  
 Exsudat …………… 134  
 乳糜尿症 Chylurie…………… 331  
 肉中毒…………… 570  
 Nicolas-Farre 氏病…………… 631  
 Nissl 氏法式 …………… 137  
 妊娠時白血球增多 Grav-  
 iditätleukocytose …… 435  
 妊娠時貧血…………… 440  
 妊娠舞踏病 Chorea gravi-  
 darum …………… 552

妊娠タニー Materni-  
 tätstetanie …………… 389  
 認識缺如性障礙…………… 516

ほ・ほ・ほ

放尿障礙 Miktions-  
 störung …………… 280  
 包蟲 Cyticerus …………… 125  
 Poliomyelitis anterior  
 acuta …………… 617  
 Porphyrin の證明…………… 326  
 ポルフィリン尿症 Por-  
 phyrinurie …………… 77, 326  
 Porphyrie …………… 377  
 Porphyrinogen の證明………… 377  
 Porphyrin …………… 377  
 Horner 氏徴候群 484, 559, 564  
 Howell-Jolly 氏體 …… 429  
 ホルモン Hormon…………… 384  
 ホルモン產生系統…………… 384  
 Bordet Gengau 反應………… 599  
 Volvulus…………… 272  
 蜂巢織炎性扁桃腺炎  
 Angina phlegmonosa 623  
 ボタロ氏管の開存 Offen-  
 bleiben des Ductus  
 Botalli…………… 45, 143, 175  
 補體 Komplement …… 593  
 補體固定 Komplement-  
 fixation…………… 599  
 補體結合方法 Komple-  
 mentbindungsmethode 599  
 蒺藜草…………… 358  
 妄想觀念 Wahnvorstel-  
 lung…………… 492  
 保続形 Dauerform…………… 619  
 發作性睡眠 Narkolepsie 564  
 發作 Paroxysmen…………… 583  
 發作性血色素尿症 par-  
 oxysmale Hämoglo-  
 binurie …………… 324  
 發作性心搏頻數症 paro-  
 xysmale Tachycardie 76, 82  
 發疹 Eruption…………… 609  
 發疹瘧疾 Flecktyphus,  
 Fleckfieber, Typhus  
 exanthematicus…………… 612  
 Bock 氏赤血球直徑計測  
 器…………… 402  
 濃汁法…………… 589

類粘膜…………… 190  
 膀胱の排泄作用…………… 484  
 膀胱結石 Harnblasen-  
 stein…………… 280  
 膀胱腫瘍…………… 280  
 膀胱上皮…………… 271, 354  
 膀胱炎 Cystitis…………… 279  
 匍行疹…………… 619  
 匍行疹 Herpes …… 9  
 歩行障礙…………… 461  
 方向中樞 Richtungscen-  
 tren…………… 531  
 芳香性炭素化合物…………… 569  
 ボテン氏吸引器 Potain-  
 scher Aspirationsappa-  
 rat …………… 128  
 Boas 氏清血證明法 …… 244  
 防禦装置 Schutzvorrich-  
 tung…………… 578  
 蜂鳴音 Brummen…………… 59  
 房室性期外收縮 atrioven-  
 triculäre Extrasystole 80  
 房室不完全分離 partieller  
 Herzblock …………… 83  
 房室分離 Atrioventricu-  
 larblock …………… 83  
 房室性心室收縮頻數症  
 atrioventriculäre  
 Tachycardie …………… 112  
 房室完全分離 completter  
 Herzblock …………… 83  
 望診 Inspection…………… 4  
 孢子蟲 Sporozoen…………… 618  
 Büttger 氏の檢出法 …… 334  
 放線狀冠纖維 Stabkranz-  
 faser…………… 520  
 放線菌 Aktinomyces………… 626  
 放線菌粒 Aktinomyces-  
 körner…………… 626  
 放線菌病 Strahlenpilz-  
 krankheit (Aktinomy-  
 cose) …………… 626  
 抱水クロラール…………… 350  
 抱水クロラール中毒………… 568  
 奔馬調律 Galopphythmus 68  
 奔馬性肺結核 galoppier-  
 ende Lungentubercu-  
 lose …………… 185  
 本態的血壓亢進症 essen-  
 tielle Hypertonie …… 180

へ・べ・ぺ

平滑筋障礙…………… 526  
 米泔様便 Reiswasserstuhl 233  
 平衡器 Gleichgewichts-  
 apparat …………… 529  
 平衡障礙 Gleichgewichts-  
 störung …………… 461  
 閉鎖神經…………… 546  
 閉塞性動脈内膜炎…………… 573  
 Henoch 氏指結節…………… 447  
 Perniciosafleckung …… 429  
 ベルオキシダーゼ Per-  
 oxydase …………… 411  
 ベルオキシダーゼ穿刺………… 411, 438  
 β-Oxybuttersäure …… 291  
 Heller 氏試験…………… 321  
 Heller 氏の血色素檢出法………… 324  
 Head 氏帶狀域…………… 475  
 Benedict-Becher 氏の血糖  
 簡易定量法…………… 309  
 筧形吸蟲 Distomum  
 spatulatum…………… 253  
 筧形吸蟲病…………… 276  
 Pellagra…………… 381  
 ヘマトイデン結晶  
 Haematoidinkristalle  
 …………… 125, 242  
 ヘマトポルフィリン尿………… 568  
 Beckmann 氏器 …… 317, 396  
 Hegler 氏増殖法 (Anrei-  
 herungsverfahren) …… 589  
 B 型肺炎…………… 617  
 ペプチッド消化試験…………… 226  
 ペプシンの定量…………… 210  
 ペプシンの證明…………… 210  
 Hemichorea posthemi-  
 plegica…………… 454  
 ヘミン計 Hämometer …… 409  
 Paget 氏病…………… 449  
 ペスト Pest …………… 629  
 ペスト菌 Bacillus pestis 629  
 ペスト肺炎 Pestpneumo-  
 nie …………… 629  
 Heschl 氏廻轉…………… 509  
 Hess 血液粘稠度計 …… 401  
 偏寄骨疾患…………… 448  
 偏頭痛 Migräne (Hemi-  
 kranie)…………… 556, 562

偏頭痛發作 Migränean-  
 fall…………… 556  
 偏癱性歩行 hemiplegi-  
 scher Gang…………… 463  
 偏側舞踏病 Hemichorea 552  
 偏側聾 Hemianakusis … 524  
 鞭毛蟲類 Flagellaten … 255  
 鞭蟲 Trichocephalus dis-  
 par…………… 253  
 便秘 Verstopfung…………… 232  
 Henoch 氏紫斑病…………… 442  
 ベンチン中毒…………… 568  
 Bence-Jones 氏蛋白體 … 322  
 Benda 氏病…………… 443  
 ベンチヂン試験 Benzidin-  
 probe…………… 243  
 ベンツオール中毒…………… 572  
 變態呼吸音 metamorpho-  
 sierendes Atmen …… 58  
 變形菌…………… 597  
 變性神經性萎縮 degene-  
 rativ neurotische Atro-  
 phie…………… 486  
 變性萎縮 degenerative  
 Atrophie…………… 459  
 瓣裝氣胸 Ventilpneumo-  
 thorax…………… 189  
 Penzoldt-Dehio 氏胃検査………… 201  
 Pentose の證明…………… 342

**と・ど**

等イオン性 isoionie…………… 313  
 Thrombin…………… 394  
 Thrombokinas…………… 394  
 Thrombogen…………… 394  
 Trommer 氏の檢出法…………… 334  
 ドバ酸化酵素 Dopaoxy-  
 dase…………… 7  
 糖尿病 Zuckerkrankheit 288  
 糖尿病 Diabetes mellitus 288  
 糖尿病性酸毒症 diabeti-  
 sche Acidose…………… 289  
 糖尿病者の豫後判定…………… 291  
 糖尿病者餓死…………… 292  
 糖尿病性昏睡 Coma dia-  
 beticum…………… 289  
 糖尿病性尿の一般症狀………… 333  
 糖尿病性糖尿 diabetische  
 Glykosurie…………… 333  
 糖尿 Glykosurie…………… 332



等張性 isotonisch ..... 313  
*Drigalski* 及 *Conradi* 氏培地 ..... 592  
 Tryptophan ..... 329  
 トリオナル中毒 ..... 568  
 トリアチット染色 Tri-acidfärbung ..... 425  
 Trypanosomen ..... 595  
 Trypanosoma gambiense ..... 630  
*Tollen* 氏の Orcin による検出法 ..... 342  
 Torsionsspasmen ..... 525  
 動眼神経 Nervus oculomotorius ..... 540, 560  
 糖化力 diastatische kraft ..... 22  
 糖化酵素の證明 ..... 226  
 同感的對光反射 Konsensueller Lichtreflex ..... 482  
 導管法 Katheterismus ..... 281  
 東洋毛線蟲 Trichostrongylus orientalis ..... 253  
*Dohrendorf* 氏徴候 ..... 179  
 Drehkrampf ..... 525  
*Dresel* 氏 ..... 560  
 痘瘡癩痕 Pockennarbe ..... 8  
 同側性半色盲症 Hemidyschromatopsie (Hemidyschromatopsie) ..... 508  
 疼痛性半身知覺脱出 Hemianästhesia dolorosa ..... 525  
 疼痛性皮膚炎 ..... 574  
 疼痛性リポマトーシス Lipomatosis dolorosa ..... 296  
 突然心臓死 ..... 169  
 Tonophin ..... 385  
 トラウベ氏重複音 Traubische Doppeltöne ..... 73  
*Traube* 氏腔の打診 ..... 50  
 Tractus intermediolaterales ..... 557  
 Tractus paraventricularis cinereus ..... 334  
 糖の耐閾の決定 ..... 289  
 糖の測定 ..... 307  
 吐膿 ..... 221  
 吐糞症 Ileus ..... 220  
 特發性眼球振盪 ..... 530  
 特發性知覺 protopathische Sensibilität (Head) ..... 504

特發性一過性糖尿 spontane transitorische Glycosurie ..... 333  
 特殊レ線寫眞 ..... 632  
 特殊穿刺液 ..... 134  
 特性決定 Identifizierung ..... 628  
 毒素 Toxine ..... 578  
 毒物の局所作用 ..... 567  
 毒物の遠隔作用 ..... 567  
 特異體質 Idiosynkrasie ..... 565  
 獨樂音 Nonnensausen ..... 74  
 續發性皮膚疹 ..... 10  
 讀書不能症 ..... 516  
 竇性心機緩徐 Sinusbradycardie ..... 109  
*Thomsen* 氏病 ..... 486, 556  
*Thomsensche* Krankheit ..... 457  
*Thoma-Zeiss* 氏式計室 ..... 415  
*Thoma* 氏の混釋ビベット ..... 414  
 トーマス瘡疾患 Thomas-schlackenerkrankungen ..... 571  
 糖原質吸著症 Glykogenspeicherkrankheit ..... 294  
 糖原質吸著症 Glykogenose ..... 294  
 精計器 Saccarimeter ..... 340  
 凍結點降下測定術 ..... 317  
 動物毒 ..... 569  
 動物傳染病 Zoonosen ..... 624  
 瞳孔反射 ..... 481  
 瞳孔縮小 Miosis ..... 484  
 瞳孔散大 Mydriasis ..... 484  
 瞳孔不同症 Anisokorie ..... 484  
 瞳孔變動 Hippus ..... 484  
 瞳孔縮小核 ..... 506  
 瞳孔の廣さ ..... 484  
 瞳孔反射障礙 ..... 482  
 瞳孔散大神經 ..... 482  
 瞳孔反射の検査 ..... 482  
 働作性肥大 Aktivitätshypertrophie ..... 486  
 動作電流 Aktionsstrom ..... 104  
 同種血球凝集現象 ..... 606  
 倒錯知覺 perverse Empfindung ..... 473  
 同名側兩側半盲症 homonyme bilaterale Hemianopsie ..... 507  
 凍死 Kältetod ..... 573  
 凍傷 Erfrierung ..... 573

動脈波圖 ..... 77  
 動脈性高血壓 arterielle Hypertonie ..... 116  
 動脈疾患の診斷 ..... 177  
 動脈硬化症 Arteriosklerose ..... 177  
 動脈壁緊張度動搖波 ..... 90  
 動脈雜音 Arteriengeräusch ..... 73  
 動脈性低血壓症 arterielle Hypotonie ..... 116  
 動脈壁の性状 ..... 76  
 動脈圓錐 Conus arteriosus ..... 175  
 動脈血壓 Arterienblutdruck ..... 112  
 動脈音 ..... 73  
 動脈硬化症 ..... 549  
 動脈炎 Arteriitis ..... 180  
 動脈性低血壓症 arterielle Hypotonie ..... 180  
*Doehle* 氏包體 ..... 609  
*Doehle* 氏白血球包體 ..... 591  
 島失語症 (Liepmann) ..... 514  
 當症 Äquivalent ..... 564  
 吃 Stottern ..... 490  
 Tomographie ..... 189  
 等水性 Isohydrie ..... 313

ち・ぢ

*Ziehl-Neelsen* の方法 ..... 588  
*Ziel* 氏 Carbofuchsine 液 ..... 586  
 チロゲン含有尿 ..... 330  
 チロゲン Tyrosin ..... 359  
 チロキシン Thyroxin ..... 387  
 癡呆型 demente Form ..... 551  
 智能の障礙 ..... 491  
 Zirbeldrüse ..... 387  
 弛緩麻痺 ..... 451, 458  
 弛緩性變性麻痺 ..... 553  
 弛緩攣縮混合型 dyskinetisch-spastische Form ..... 232  
 弛張熱 Febris remittens ..... 583  
 知覺の充進 ..... 475  
 知覺單域鈍麻 sensible Monoparesen ..... 504  
 知覺神經交叉部 (カルフルサンズイテイ Carrefour sensitif) ..... 503  
 知覺後索路 ..... 535  
 知覺神經導路 ..... 592

知覺全麻痺 Anästhesie ..... 472  
 知覺鈍麻 Hypästhesie ..... 472  
 聽覺過敏 Hyperacusis ..... 541  
 聽覺導路 ..... 522  
 聽覺性失語症 ..... 512  
 聽覺性認識缺如 akustische Agnosie ..... 516  
 聽覺検査 ..... 488  
 聽覺障礙 ..... 509  
 聽診 Auskultation ..... 52  
 聽神經の走路 ..... 509  
 聽神經 Nervus acusticus ..... 543  
 聽診器 Stethoskop ..... 52  
 聽線 Striae acusticae ..... 509  
 聽放線 ..... 522  
 チョードチロチン Dijodtyrosin ..... 337  
 腸の望診 ..... 228  
 腸の分泌及吸收 ..... 231  
 腸の一般觸診法 ..... 228  
 腸の運動 ..... 230  
 腸の聽診 ..... 74  
 腸の憩室形成 ..... 273  
 腸ノイローゼ Darmneurose ..... 273  
 腸管閉塞症 Darmverschluss (Ileus) ..... 329  
 腸管の形、大いさ及位置 ..... 227  
 腸管強直 Darmsteifung ..... 230  
 腸管機能の検査 ..... 230  
 腸管腫瘍の觸診 ..... 228  
 腸閉塞 Ileus ..... 272  
 腸疊積症 Invagination ..... 272  
 腸狭窄 Darmstenose ..... 272  
 腸腫瘍 Darmgeschwulst ..... 272  
 腸潰瘍 Darmgeschwür ..... 272  
 腸炎 ..... 271  
 腸寄生蟲 Darmparasiten (Entelminthen) ..... 273  
 腸壁よりの混合物 ..... 241  
 腸捻轉 Achsendrehung des Darms ..... 272  
 腸外消化 parenterale Verdauung ..... 598  
 腸室扶斯 Unterleibstypus, Typhus abdominalis ..... 612  
 腸骨窩部 ..... 16  
 腸石 Darmstein ..... 246  
 腸結核 Darmtuberculose ..... 162

腸結核のツベルクリン線診斷 ..... 162  
 腸トリコモナス Trichomonas intestinalis ..... 255  
 腸メガストーマ (Megastoma entericum) ..... 255  
 腸ラムブリア Lamblia intestinalis ..... 255  
 腸寄生蟲 Darmparasiten ..... 246  
 腸性放線菌病 intestinale Aktinomykose ..... 626  
 腸粘膜皺襞像 ..... 162  
 直腸の望診 ..... 229  
 直腸S狀部検査鏡 Rectosomanoskop ..... 229  
 直腸の觸診 ..... 229  
 朝時粘液嘔吐 Vomitus matutinus ..... 268  
 超過排泄 Mehrausscheidung ..... 290  
 調律障礙時に於ける心臓電流曲線の變化 ..... 108  
 著者の eosinsaures Methylenblau 寒天培地 ..... 592  
 常習便秘 habituelle Obstipation ..... 273  
 超心室性心室收縮頻數症 supraventriculäre Tachycardie ..... 112  
 長連鎖 Strobila ..... 248  
 項部筋強直 ..... 452  
 項部強直 Nackenstarre ..... 550, 622  
 直接聽診法 direkte Auskultation ..... 52  
 直接打診 direkte Perkussion ..... 27  
 調節運動 Akkommodationsbewegung ..... 481  
 調節神經纖維 ..... 543  
 調律 Rhythmus ..... 76  
 直發反應 sofortige Reaktion ..... 608  
*Jolles* 氏検出法 ..... 330  
 上肩胛骨神經 ..... 545  
 除壓 Druckentlastung ..... 573  
 長胸神經 ..... 545  
 搐搦 Konvulsion ..... 455  
 著色度計量 Chromoskopie ..... 365

窒素の排泄 ..... 364  
 窒息性致死瓦斯 ..... 567  
 窒素平衡 Stickstoffbilanz ..... 288  
 腫及包皮の上皮 ..... 355  
 チック病 Tickkrankheit ..... 457  
 Tic, douloureux ..... 554  
 Tics ..... 525  
 ゼットリヒ氏栓子 ..... 124  
*Dittrich* 氏栓子 ..... 181  
 癡愚(低能) Inbeillität ..... 492  
 癡呆 Blödsinn ..... 491  
 癡鈍 Schwachsinn ..... 491  
 恥垢菌 Smegmabacillen ..... 588  
 Diplococcus lanceolatus ..... 620  
 質扶的里 Diphtherie ..... 624  
 質扶的里後麻痺 postdiphtherische Lähmung ..... 624  
 質扶的里菌 Bacillus diphtherie ..... 624  
 窒扶斯の豫防注射 ..... 596  
 ゼフテリー過敏者の検出 ..... 624  
 ゼフテリー治療血清 Diphtherieheilserum ..... 578  
 ゼフテリー後多發性神經炎 postdiphtherische Polyneuritis ..... 554  
 チフス肺炎 ..... 620  
 窒扶斯狀態 Status typhosus ..... 612  
 質質性甲状腺腫 Struma parenchymatosa ..... 388  
 チアイン, ストースク氏呼吸型 Cheyne-Stokescher Atemtypus ..... 119, 497, 548, 574  
 チアノーゼ Cyanose ..... 6  
*Jacksonsche* Epilepsie ..... 456  
 ゼアール ..... 568  
 チアン化合物中毒 ..... 569  
 蛇毒中毒 ..... 569  
 ゼギタリス中毒 ..... 569  
 蟲節 Progotriden ..... 248  
 蟲頭 Scolex ..... 248  
 蟲様突起炎 Appendicitis ..... 272  
 中間貧血 Zwischenanämie ..... 441  
 中脊者 mittelwüchsige Männer ..... 18  
 中性磷酸カルシウム ..... 359  
 中間宿主 Zwischenwirt ..... 248



中央陰影 Mittelschatten 140  
 中腹部 Regio mesogastrica ..... 16  
 中位性結節調律 mittlerer Knotenrythmus ..... 109  
 中等強打診 mittelstarke Perkussion ..... 28  
 中等熱 mässiges Fieber ..... 582  
 中等大泡性 mittelgrossblasig ..... 60  
 中心腔灰白質 zentrale Höhlengrau ..... 481  
 中心神経節 Centralganglien ..... 524  
 中心廻轉 ..... 520  
 中心性胸室縁灰白質 centrale Höhlengrau 558  
 中心脈搏 Zentralpuls ..... 78  
 中心凹 zentrale Delle ..... 610  
 中心空洞灰白質 Zentrale Höhlengrau ..... 527  
 中枢性知覚 ..... 499  
 中枢嘔吐 Zentrales Erbrechen ..... 219  
 中枢神経系統の腫瘍 Tumoren des ZNS ..... 549  
 デメチールパラフェニーレンジアミンパーゼ (Dimethylparaphenylen-diamin) ..... 410  
 重複像 ..... 540  
 重量減秤 Gewichtsunterschätzung ..... 532  
 循環障礙腎臓 ..... 374  
 Duke 氏法による出血時間決定 ..... 398  
 純酸素 ..... 573  
 需求熱量 Kalorienbedarf ..... 286  
 緻密化骨炎 Ostitis condensans ..... 449  
 遅脈 Pulsus tardus ..... 77  
 遅徐知覚 verlangsamte Empfindung ..... 472  
 Zenker 氏脱出性憩室 ..... 195  
 Tschermak 氏壓迫試験 ..... 84  
 チスチン Cystin ..... 359  
 チスチン尿 Cystinurie ..... 327  
 地圖舌 Lingua geographica ..... 193

腫トリコモナス Trichomonas vaginalis ..... 255  
 沈澱蛋白よりする蛋白含量の秤定 ..... 322  
 沈黙 Mutismus ..... 490  
 沈降法 Praecipitationsmethoden ..... 607  
 枕 Pulvinar ..... 525  
 沈置屈折計 Eintauchrefraktometer ..... 406

り

Lieben 氏のアセトン検出法 344  
 Rivalta 法 ..... 133  
 兩心臓曲線 Bicardiogramm ..... 107  
 兩側性相配眼筋麻痺 ..... 528  
 利用時 (Nutzzeit) ..... 469  
 立體知覚麻痺 Stereoaenästhesie ..... 525  
 立體知覚 Raumsinn ..... 516  
 立體識別力 Stereognostisches Erkennen ..... 516  
 立體覺 Raumsinn ..... 472, 501  
 流行性感冒 Influenza, Grippe ..... 616  
 流行性耳下腺炎 Parotitis epidemica (Mumps) 610  
 流行性胸脊髄膜炎 Meningitis cerebrospinalis epidemica ..... 622  
 流行性吃逆 Singultus epidemicus ..... 617  
 流行性脳炎後硬直症 ..... 564  
 硫化炭素中毒 ..... 572  
 硫化水素による疾患 ..... 572  
 硫化砒結晶 ..... 242  
 流産桿菌 Bacillus abortus Bang ..... 626  
 硫酸カルシウム ..... 359  
 流涎 Salivation ..... 191, 569  
 瘤腫 Knollen (Phyma) 9  
 リッケツチア ..... 612  
 Liepmann 氏言語模型 ..... 511  
 利己主義 Egoismus ..... 562  
 Riedel 氏葉 ..... 165, 261  
 裏急後重 Thenesmus ..... 198, 233, 626  
 リピオドール Lipiodol ..... 152, 550

Lichtheim 氏病 ..... 514  
 淋線 Tripperfaden ..... 356  
 淋疾 Gonorrhöe ..... 630  
 淋菌 Gonokokkus ..... 630  
 淋菌性多發性關節炎 Polyarthritus gonorrhoeica ..... 447  
 淋巴球增多症 ..... 136  
 淋巴肉芽腫性尿道炎 ..... 631  
 淋巴肉芽腫 ..... 443  
 淋巴球 Lympholeukocyten ..... 431  
 淋巴肉腫症 ..... 443  
 淋巴白血球白血病 Lympholeukocytenleukämie ..... 442  
 磷酸アンモニアマグネシア Phosphorsäureammoniakmagnesia ..... 320, 359  
 磷酸鹽過多症 ..... 345  
 磷酸鹽折出尿症 Phosphaturie ..... 346  
 磷酸土類 Erdphosphat ..... 319  
 磷酸土類及炭酸土類 ..... 358  
 磷中毒 Phosphorvergiftung ..... 571  
 鱗屑 Schuppen ..... 10  
 輪狀核(車核) Radkern ..... 428  
 Linzenmeier 氏式 ..... 403

ぬ

糠枇狀落屑 Desquamatio furfuracea ..... 10  
 Nucleus supraopticus ..... 334

る

類圓嚙 Zylindroid ..... 356  
 Rumpe!-Leede 氏鬱血現象 398  
 Rumpe!-Leede 氏反應 ..... 442  
 Lumbago ..... 444  
 Luetin 反應 ..... 601

お・を

Obermayer 氏試薬 ..... 330  
 Obermeier 氏波菌 ..... 614  
 オパール Opalescenz ..... 135  
 Oppenheim 氏徴候 ..... 479  
 嘔吐反射 Würgreflex ..... 480  
 嘔吐の原因 ..... 219

嘔吐物の検査 ..... 219  
 嘔吐及嘔吐物 Erbrechen u. erbrochene Masse ..... 219  
 嘔吐物の顯微鏡的検査 ..... 221  
 オドワイヤー氏推管法 ..... 624  
 Otrial Müller の痙攣性解剖性現象 ..... 563  
 オリバー, カルダレリー Oliver-Cardarelli 氏徴候 ..... 101, 179  
 Oligoalbuminurie ..... 317  
 横隔膜肋膜炎 Pleuritis diaphragmatica ..... 186  
 横隔膜呼吸 Zwerchfellatmung ..... 118  
 横隔膜奇動 ..... 145  
 横隔膜ヘルニア Zwerchfellhernia ..... 145, 276  
 横隔膜神経 N. Phrenicus 544  
 横隔膜線 Zwerchfelllinie 145  
 横隔膜肋骨角 Phrenicocostalwinkel ..... 145  
 横隔膜下膿胸 Subphrenischer Abscess ..... 189  
 惡寒感 Frostgefühl ..... 476  
 惡寒戰慄 Schüttelfrost ..... 581, 583  
 凹窩狀態 Status lacunaris 549  
 黃疸 Icterus ..... 262  
 黃疸出血性スピロヘータ病 Spirochaetosis ictero-haemorrhagica 615  
 横斷脊髄炎 Querschnittsmyelitis (Myelitis transversa) ..... 552  
 オプソニン検査 ..... 597  
 オプソニン Opsonine ..... 578, 597  
 オプソニン係數 Opsoninindex ..... 598  
 温點 ..... 473  
 O 型 ..... 399  
 Orasthin ..... 385  
 鸚鵡病 Psittakose ..... 626  
 O 脚 O-Beine ..... 20, 448  
 Oxytonin ..... 385  
 オキシダーゼの本態 ..... 412  
 蓆酸 Oxalsäure ..... 358  
 Osteopatyrosis idiopathica ..... 449

Ostwald 氏ビベット ..... 301  
 温度覺鈍麻 Thermo-hypästhesie ..... 473  
 温度覺過敏 Thermo-hyperästhesie ..... 473  
 温度的實驗 ..... 529  
 温度覺 Temperaturempfindung ..... 473  
 温度覺麻痺 Thermoanästhesie ..... 473  
 温湯洗滌 ..... 529  
 温刺 Wärmestich ..... 581  
 音聲了解力 ..... 515

わ

矮小條蟲 Taenia nana 249  
 Weil-Felix 氏の凝集試験 597  
 Weil 氏病 ..... 615  
 矮小赤血球 Mikroerythrocyt ..... 429  
 Weissbrodt 氏の昇承反應 607  
 クラー氏退行變性 ..... 471  
 Valleix 氏壓痛 ..... 554  
 鴛爪手 Krallenhand ..... 553  
 鴛爪狀足 Krallenfussstellung ..... 547  
 鴛爪手姿勢 Krallenhandstellung ..... 458  
 Wassermann 氏反應 ..... 599  
 W. R. ..... 599

か・が

外因性刺戟胃炎 exogene Reizgastritis ..... 211  
 外因性呼吸障礙 ..... 119  
 外毒素 Ektotoxine ..... 577  
 外開 Abduktionsbewegung ..... 546  
 外眼筋麻痺 Ophthalmoplegia externa ..... 544  
 外言語 Äussere Sprache 489  
 外側蹄係 laterale Schleife 509  
 外腦水腫 Hydrocephalus externus ..... 493  
 外傷性ノイローゼ traumatische Neurose ..... 562  
 外傷性ショック traumaticher Schock ..... 168  
 外旋神經 Nervus abducens ..... 541

蛔蟲 Ascaris lumbricoides 250  
 廻轉試驗 Drehprüfung ..... 530  
 廻轉性眼球振盪 rotierender Nystagmus ..... 453, 530  
 廻歸神經 Nervus recurrens ..... 543  
 廻盲鳩鳴 Ileocaecalgurren ..... 74  
 階段形 Treppenform ..... 46  
 灰白結節 Tuber cinereum 384  
 灰白側胸室系 Nucleus paraventricularis ..... 384  
 壞血病 ..... 381  
 恢復期 Rekonvaleszenz 579  
 Keith-Flack 氏筋 ..... 96  
 潰瘍形成性畸形關節疾患 ulzerierende deformierende Arthrosen ..... 447  
 潰瘍壁龕 Ulcusnische ..... 159  
 咳嗽 Husten ..... 121  
 Gaisböck 型 ..... 441  
 下位性結節調律 unterer Knotenrythmus ..... 109  
 解離性知覚麻痺 ..... 553  
 解離性視野縮小 partielle Gesichtsfeldverengung ..... 489  
 開路 Bahnung ..... 477  
 Carotin ..... 378  
 Cabot 氏環 ..... 429  
 芽胞 ..... 621  
 貨幣音 Münzenklirren ..... 33  
 假痘 Variolois ..... 612  
 果糖尿 Fruktosurie ..... 341  
 顆粒圓嚙 granulierter Cylinder ..... 355  
 顆粒形成 Höckerung ..... 212  
 顆粒狀纖維 Substantia granulofilamentosa ..... 426  
 顆粒白血球白血病 Granuloleukocytenleukämie ..... 442  
 Kallikrein ..... 390  
 カルモチン中毒 ..... 568  
 カールプライス法 ..... 378  
 牙關緊急 Trismus ..... 456, 621  
 裸芽胞 Gymnosporien ..... 618  
 化學的體温調節 ..... 287  
 加答兒性肺炎 Pneumonia katarrhalis ..... 183



カタトニー現象…………… 491  
 Kahler 氏病…………… 443  
 過熱 Überhitzung…………… 288  
 ガラクトーゼ負荷試験…………… 264  
 カラザール Kala-Azar…………… 630  
 Gowers 氏索…………… 500  
 化膿性門脈炎…………… 276  
 化膿性肺炎…………… 270  
 化膿期 Stadium suppurationis…………… 611  
 化膿性結膜炎…………… 603  
 化膿性連鎖球菌 Streptococcus pyogenes…………… 620  
 咯痰 Sputum (Sputa)…………… 122  
 咯痰の蛋白量…………… 123  
 咯痰の著色…………… 123  
 咯痰の肉眼的觀察…………… 122  
 咯痰の臭氣…………… 123  
 咯痰の顯微鏡的検査…………… 124  
 咯血 Haemoptoe…………… 122  
 擴張前期雜音 diastolisches Geräusch…………… 69  
 擴張前期前方投擲 protodiastolischer Schleuderton…………… 101  
 擴張期壓 diastolischer Druck…………… 115  
 擴張期雜音 diastolischer Schleuderton…………… 177  
 顎骨壞死…………… 571  
 脚氣浮腫 Kakkeoedem…………… 11, 368  
 脚氣心臟 Kakkeherz…………… 174  
 脚氣圓錐 Kakkeeylinder…………… 356  
 核麻痺 nukleäre Lähmung…………… 459  
 核下麻痺 infranukleäre Lähmung…………… 459  
 核上麻痺 supranukleäre Lähmung…………… 459  
 核小腦索 Tr. nucleocerebellaris…………… 502  
 隔日原蟲 Plasmodium vivax…………… 619  
 過血糖狀態 Hyperglycämie…………… 288  
 踝浮腫 Knöchelödem…………… 167  
 下腹部 Hypogastrium…………… 16  
 下腹部 Regio hypogastica…………… 16

過高熱型關節ロイマチス hyperpyretischer Gelenkrheumatismus…………… 447  
 Unterschenkelgeschwürnarbe 下腿潰瘍性癩痕…………… 8  
 下肩胛神經…………… 545  
 下行結腸部 Colondescendenssteil…………… 16  
 化骨不全症 Osteogenesis imperfecta…………… 449  
 化骨性筋炎 Myositis ossificans…………… 444  
 過高熱體溫 hyperpyretische Temperatur…………… 582  
 過高溫 Hyperpylexie…………… 621  
 下腎神經…………… 547  
 下替代性半身不隨 Hemiplegia alternans inferior…………… 528  
 夏季水疱症 Hydroa aestivale…………… 377  
 過緊張症 Hypertonie…………… 524  
 假面性マラリアlarviale Malaria…………… 617  
 假死期 Stadium asphycticum…………… 627  
 下肢運動神經導路…………… 522  
 火傷…………… 574  
 火傷癩痕…………… 8  
 過食脂肪症 Überkostfett-sucht…………… 295  
 寡少壞死精蟲症 Oligonekrospermie…………… 576  
 過剰使用量 Überdosierung…………… 577  
 Cushing 氏病…………… 386  
 カシン・ベック氏病…………… 388  
 假性硬化症 Pseudosklerosen…………… 556  
 假性狭心症 Pseudostenocardie…………… 176  
 假性硬性浮腫…………… 11  
 假性肝硬變症 Pseudo-lebercirrhose…………… 77  
 假性延髓麻痺 Pseudobulbärparalyse…………… 549  
 假性肥大 Pseudohypertrophie…………… 556  
 假性脊髓癆 Pseudotabes…………… 553  
 假性肥大型麻痺…………… 458

假性白血病 Pseudoleukämie…………… 442  
 假性麻痺性惡性筋無力症 Myasthenia gravis pseudoparalytica…………… 556  
 假性肥大 Pseudohypertrophie…………… 486  
 假性分利 Pseudokrise…………… 620  
 Gasser 氏神經節 540, 551, 554  
 痂皮 Krusta…………… 10  
 過敏症 Überempfindlichkeit…………… 598  
 過敏症性關節炎衝 anaphylaktische Gelenkentzündungen…………… 447  
 過敏症性ショック anaphylaktischer Schock (Shock)…………… 168  
 過敏性 Überempfindlichkeit…………… 579  
 過敏症性腸炎 Enteritis anaphylactica…………… 598  
 過酸化酵素作用 Superoxydasenreaktion…………… 243  
 滑車神經 Nervus trochlearis…………… 540  
 滑走觸診法 Gleitpalpation…………… 228  
 瓦斯過飽和…………… 573  
 下垂肝臓 Hepatoptose…………… 261  
 眼反應 Ophthalmoreaktion…………… 593, 602  
 眼球振盪 Nystagmus…………… 452, 530  
 眼球突出症 Exophthalmus…………… 388  
 眼筋麻痺 Augenmuskellähmung…………… 544  
 眼匝現象 orbitales Phänomen…………… 483  
 眼性偏頭痛 ophthalmische Migräne…………… 556  
 間代性痙攣 klonische Krämpfe…………… 455  
 間腦 Zwischenhirn…………… 505, 524  
 間腦底…………… 558  
 間歇性出血 intermittierende Blutung…………… 353  
 間歇性跛行 intermittierendes Hinken (Claudication intermittente)…………… 463

間歇性關節水腫 Hydrops articulorum intermittens…………… 447  
 間歇脈 Pulsus intermittens…………… 81  
 間歇熱 Febris intermittens…………… 583  
 間代性痙攣…………… 569  
 間質性肺氣腫 interstitielle Lungenemphysem…………… 184  
 間接聽診法 indirekte Auskultation…………… 52  
 間接打診 indirekte Perkussion…………… 27  
 關節知覺の検査…………… 474  
 關節疾患…………… 445  
 關節疾患の診断…………… 445  
 關節失調 Gliedatarie…………… 461  
 寒冷假死 Kältescheintod…………… 573  
 寒冷血色素尿症 Kältehaemoglobinurie…………… 443  
 肝臓膿瘍 Leberabscess…………… 275  
 肝臓梅毒 Lebersyphilis…………… 275  
 肝臓ダストマ Distomiasis der Leber…………… 276  
 肝臓の位置異常…………… 276  
 肝臓胞蟲病 Echinokokkose der Leber…………… 275  
 肝臓癌 Leberkrebs…………… 275  
 肝臓の望診…………… 259  
 肝臓の觸診…………… 260  
 肝臓の打診…………… 259  
 肝臓機能検査法…………… 263  
 肝臓濁音界の下方移動…………… 49  
 肝臓の打診…………… 48  
 肝臓の診察…………… 258  
 肝臓濁音界の擴大…………… 49  
 肝臓搏動 Leberpulsation…………… 101  
 肝靜脈搏 Lebervenepulsation…………… 174  
 肝線變…………… 619  
 肝硬變症 Lebercirrhose…………… 273  
 肝變期 Hepatisationszeit…………… 183  
 感觸 Empfindungschwelle…………… 474  
 感覺性失語症 sensorische Aphasie…………… 520  
 感受性實體感缺損症 perceptive Astereognosis…………… 516

感染創口…………… 624  
 感染的作用…………… 578  
 乾燥食試験…………… 363  
 乾燥殘物の定量…………… 406  
 乾燥標本の製作法…………… 421  
 乾燥期 Stadium exsiccationis…………… 611  
 乾酪性肺炎…………… 185  
 乾酪性肺炎 käsige Pneumonie…………… 151  
 乾性囉音 trockene Rasseln…………… 59  
 乾性肋膜炎 Pleuritis sicca…………… 186  
 乾性潰瘍性關節炎 Arthritis ulcerosa sicca…………… 447  
 乾性心囊炎 Pericarditis sicca…………… 176  
 乾性咳嗽 trockener Husten…………… 121  
 乾性加答兒 Katarrhalis sicca (Catarrhe sec)…………… 181  
 完全感覺性失語症…………… 512  
 完全瞳孔不動症 totaler Pupillenstarre…………… 483  
 完全運動性失語症…………… 512  
 完全電氣變質反應 komplette Entartungsreaktion…………… 467  
 完全房室分離 kompletter Herzblock…………… 109  
 還元性無鐵ヘマチン…………… 324  
 棺蓋形結晶 sargdeckelförmige Krystalle…………… 346  
 汗疹 Schweißfriesel, Miliaria od. Sudamina…………… 10  
 冠狀動脈線 Coronallinie…………… 106  
 冠狀動脈硬化症より起る肝臓性心筋炎…………… 176  
 含水炭素 Kohlenhydrat…………… 245  
 顔面運動神經導路…………… 522  
 顔面神經 Nervus facialis…………… 541  
 顔面痙攣 Tic convulsif…………… 457  
 顔貌 Gesichtszüge…………… 5  
 渙散 Lysis…………… 584  
 渙散的 lytisch…………… 584  
 緩解 Remission…………… 583  
 緩衝力 Pufferungsvermögen…………… 305  
 寒冷期 Stadium algidum…………… 627

寒覺…………… 473  
 含水炭素調節中樞…………… 526  
 含水炭素代謝障礙…………… 526  
 觀念性行爲不能症 ident-orische Apraxie…………… 517  
 甘汞中毒…………… 568

よ

餘言語 Wortrest…………… 514  
 陽波 positive Welle…………… 88  
 沃度及臭素…………… 350  
 沃度新陳代謝…………… 387  
 沃度による檢出法…………… 326  
 ヨードテトラグノスト Jodtetragnost…………… 162  
 沃度カリウム排泄…………… 364  
 Jodipin…………… 550  
 4日熱 Quartana…………… 618  
 腰椎穿刺 Lumbalpunktion…………… 130  
 腰椎穿刺術…………… 130  
 腰痛 Hexenschuss…………… 554  
 腰痛 Lumbago…………… 554  
 幼年性磷酸鹽析出尿 juvenile Phosphaturie…………… 347  
 幼年性筋萎 juvenile Muskelatrophie…………… 454, 486  
 幼年者脂肪症…………… 296  
 抑制除去現象 Enthemmungserscheinung…………… 504  
 抑制纖維…………… 543  
 溶血血價…………… 600  
 横川メタゴニウム Metagonimus Yokogawai…………… 254  
 腰部筋痛 Lumbalmyalgie…………… 444  
 壅塞性狭窄 Obturationsstenose…………… 195  
 搖振的 erschütternd…………… 100  
 幼兒不整脈 infantile Arrhythmie…………… 84  
 幼兒性粘液浮腫…………… 388  
 陽性糖平衡 positive Zuckerbilanz…………… 290  
 陽性無力 positive Anergie…………… 601  
 陽性 Schick 試験…………… 624

た・だ

耐閾 Toleranzgrenze…………… 290



耐病力 Durchseuchungs-widerstand ..... 579  
 体温調節 ..... 526  
 体温測定 の 操作 ..... 581  
 体温急降 Temperatursturz ..... 581  
 体温測定 Temperaturmessung (Thermometrie) 580  
 體質 Habitus ..... 18  
 體質性溶血性貧血 ..... 440  
 體質的遺傳性血小板無力症 konstitutionell vererbare Thrombasthenie Glanzmann ..... 442  
 體質性精神病 konstitutionelle Psychopathie 561  
 體質性脂肪症 konstitutionelle Fettsucht ..... 295  
 體位 ..... 4  
 大動脈孔の狭窄 Aortenstenose ..... 73  
 大動脈瓣の閉鎖不全 Aorteninsuffizienz ..... 173  
 大動脈心臓 Aortenherz ..... 142  
 大動脈疼痛 Aortenschmerz ..... 178  
 大動脈瓣閉鎖不全例より得たる著者等の研究成績 ..... 90  
 大動脈瘤 Aneurysma Aortae ..... 101  
 大便失禁 ..... 485  
 大單核球粒類の染色 ..... 426  
 大舞踏病 Chorea major ..... 454  
 體動時白血球增多 Arbeitsleukocytose ..... 435  
 大理石樣骨硬化症 (Marmorierkrankung) ..... 140  
 第1斜透射法 erste schräge Durchleuchtung ..... 140  
 第2斜透射法 zweite schräge Durchleuchtung ..... 631  
 第4性病 ..... 631  
 第4病 vierte Krankheit 610  
 第3灰白角 ..... 557  
 大泡性 grossbläsig ..... 60  
 大脈 Pulsus magnus ..... 76  
 大水痘疹 ..... 10

大腸アメーバ Amoeba coli ..... 258  
 太鼓桴狀指 Trommerschlagelfinger ..... 175  
 大腔穿刺 Cysternapunktion ..... 131  
 大胸圍者 breitbrüstige Männer ..... 18  
 大脚及4丘 ..... 527  
 大腸兩半球 ..... 5  
 大赤血球 Makroerythrocyt ..... 429  
 大生殖體母細胞 Makrogametocyten ..... 619  
 代償不能 Dekompensation ..... 167  
 代償アナーミー ..... 305  
 代償性擴張 kompensatorische Dilatation ..... 166  
 代償期間 kompensatorische Pause ..... 79  
 代償不能 Dekompensation ..... 171  
 怠惰脂肪症 Trägheitfett-sucht ..... 295  
 帶狀匍行疹 Herpes zoster ..... 10, 550  
 多發性紅斑 ..... 9  
 多發性神經炎 Polyneuritiden ..... 553  
 多發性神經炎性精神病 polyneuritische Psychose ..... 554  
 多發性硬化症 multiple Sklerose ..... 540, 551  
 多發性内分泌腺硬化 multiple Blutdrüsen-sklerose ..... 392  
 多發性神經炎 ..... 381  
 多發性筋炎 Polymyositiden ..... 444  
 多尿 Polyurie ..... 314  
 多發型 ..... 101  
 多發體 Corpus trapezoid-eus ..... 509  
 對立位 Oppositionsstellung ..... 545  
 Tallquist の 血色素表 ..... 409  
 高田・荒兩氏法 ..... 264  
 多價尿 Polyvalurie ..... 317

多核球增多症 Polynukleose ..... 136  
 多汗症 Hyperhidrosis 10, 563  
 對側瘰癧 symmetrische Gangrän, Raynaud氏病 487  
 對光反應 Lichtreaktion 481  
 打響の性狀 ..... 29  
 打響の強弱 (laut u. leise) 29  
 打響の高低 (hoch u. tief) 31  
 多血症 Erythraemie ..... 386  
 多血症 Vollblütigkeit ..... 386  
 多形滲出性紅斑 ..... 631  
 竹内氏改良法 ..... 331  
 打叩の深達力 (Tiefenwirkung) ..... 33  
 打叩時の抵抗感 (Resistenzgefühl) ..... 33  
 脫氣 ..... 573  
 瀧肺 Wasserfallunge ..... 186  
 唾液腺 Speicheldrüse ..... 190  
 唾液分泌の異狀 ..... 191  
 唾液 Speichel ..... 190  
 打診 Perkussion ..... 25  
 打診操作 ..... 27  
 打診槌 Perkussionshammer ..... 27  
 代補性肺氣腫 ..... 184  
 體重の秤量 ..... 364  
 ダモアゾー氏線 Damoise-ausche Linie ..... 39  
 多染性 Polychromatophilie ..... 429  
 多腺性機能不全 pluriglanduläre Inaffizienz ..... 392  
 膽囊造影法 ..... 162  
 膽囊腫 Gallenblasentumor ..... 261  
 膽色素負荷試験 ..... 263-264  
 膽汁色素 Gallenfarbstoff ..... 315, 325  
 膽汁色素 ..... 323  
 膽汁色素量 ..... 263  
 膽汁色素の證明 ..... 325  
 膽汁色素 Bilirubin ..... 245  
 膽汁酸 Gallensäure ..... 325  
 膽汁酸の證明 ..... 327  
 膽汁間接證明法 ..... 263  
 膽汁尿 Cholorie ..... 325  
 膽汁減少症 ..... 325  
 膽汁缺乏症 ..... 325

膽石症 ..... 274  
 膽石 Gallenstein ..... 237, 246  
 蛋白 Eiweiss ..... 245  
 蛋白尿 Albuminurie 313, 320  
 蛋白代謝障礙 ..... 526  
 蛋白消化酵素の證明 ..... 225  
 蛋白皮 Eiweisschülle ..... 250  
 蛋白節約者 Eiweissparer 288  
 探問事項 ..... 1  
 單獨麻痺 Monoplegie ..... 458  
 單核白血球 Monoleukocyt ..... 432  
 單核白血球白血病 Monoleukocytenleukämie ..... 442  
 單核球增多症 Mononukleose ..... 136  
 單純性紫斑病 Purpura simplex ..... 442  
 單純性水銀中毒性口内炎 572  
 單純性黃疸 Icterus simplex ..... 274  
 斷層レ線寫眞 ..... 634  
 斷面レ線寫眞撮影法 Tomographie ..... 634  
 弾力性浮腫 ..... 574  
 炭末沈著肺 Anthracosis pulmonum ..... 186  
 丹毒 Rose, Erysipel ..... 620  
 タンニン ..... 351  
 炭酸カルシウム ..... 359  
 炭酸瓦斯による胃の擴張 201  
 炭化水素 ..... 568  
 炭素化合物 ..... 568  
 炭疽病 ..... 629  
 斷綴性言語 skandierende Sprache ..... 490  
 淡蒼球 Globus pallidus 498

れ

冷水洗滌 ..... 529  
 冷淡 Teilnahmslosigkeit 491  
 Lebeau 氏の構條溝爪 ..... 389  
 Read 公式 ..... 388  
 Read-Barnett 兩氏法 ..... 293  
 Ledlub-Obersteiner 氏緣域 ..... 500, 551  
 Legal 氏の Aceton 檢出法 ..... 344  
 レゾルチン試験法 Resorcinprobe ..... 21

裂頭條蟲 Bothriocephalus latus ..... 249  
 レノー (Raynaud) 氏病 ..... 180, 562  
 Laewi 氏試驗 ..... 560  
 Laewi 氏アドレナリン試験法 ..... 227  
 レプロローゼ負荷試験 Livulosebelastungsprobe 264  
 reflektäre Phase ..... 79  
 Löffler 氏アルカリ性 Methyleneblau 液 ..... 423, 586  
 Löffler 氏血清 ..... 624  
 Recklinghausen 氏病 449, 550  
 軋音 Giemen (Rhonchisibilantes) ..... 59  
 Lexenthal Cole 氏原始體 ..... 626  
 靈盲症 Seelenblindheit (optische Aphase) ..... 508  
 レ線による診斷 ..... 138  
 レ線併賦 Röntgenschwiele ..... 576  
 レ線手 Röntgenhand ..... 576  
 レ線の性狀 ..... 139  
 レ線の發生原理 ..... 138  
 レ線の發生原理 Röntgenstomatitis ..... 576  
 レ線宿醉 Röntgenkater 576  
 レ線キモグラム Röntgenkymogramm ..... 632  
 連合纖維 Commissuren-faser ..... 496  
 連續性陰莖勃起 Priapismus ..... 486  
 連續拮抗運動不能症 Adiadochokinesis ..... 532  
 レンズ核 ..... 524  
 レンズ狀物 Linse ..... 124  
 Sedimentum lateritum ..... 357  
 煉瓦色沈澱 ..... 357  
 煉瓦粉沈澱 Ziegelmehlsediment ..... 319

そ・ぞ

相配性眼筋麻痺 konjugierte Blicklähmung ..... 528  
 早發尙癩病 Frührachitis ..... 448  
 早發癡呆 Dementia praecox ..... 561

早發思春 Pubertas praecox ..... 387  
 早期紅斑 Früherythem 576  
 早發性身體生殖器巨大發育 Makrogenitosoma praecox ..... 387  
 僧帽形心臓 mitralkonfiguliertes Herz ..... 172  
 僧帽孔狹窄 Mitralstenose 172  
 僧帽瓣異常心臓 ..... 142  
 僧帽瓣の閉鎖不全 Mitralinsuffizienz ..... 171  
 僧帽形心臓 ..... 143  
 瘻癢感 Kitzelgefühl ..... 476  
 總冠 Haube ..... 527  
 插間域 Zwischenstück ..... 106  
 相對的瓣膜閉鎖不全 relative Klappeninsuffizienz ..... 71  
 粗烈不純肺胞音 ..... 55  
 増悪 Exacerbation ..... 583  
 粟粒結核 Miliartuberculose ..... 149, 622  
 粟粒疹 Miliaria ..... 10  
 續發性意識濁濁 ..... 491  
 續發性萎縮腎 sekundäre Schrumpfnieren ..... 373  
 速脈 Pulsus celer ..... 77  
 速急反應 beschleunigte Reaktion ..... 608  
 側胸室神經節 ..... 384  
 促迫呼吸 ..... 119  
 粟粒結核 ..... 185  
 足搐搦 Fussklonus ..... 478  
 足趾反射 Fusssohlenreflex ..... 478  
 鼠蹊部 Inguinalgegend ..... 16  
 鼠蹊部淋巴肉芽腫症 Lymphogranulomatosis inguinalis ..... 631  
 造血器の腫瘍 ..... 443  
 層形成 Schichtenbildung 233  
 總分解の大きさ ..... 286  
 造抗原 Antigene ..... 578, 598  
 鼠咬症 Rattenbisskrankheit (Spirochaetosis morsus muris) ..... 616  
 綜合纖維 Assoziations-faser ..... 496  
 躁狂樣興奮 ..... 569



増強電気心動描畫器…… 106  
 臓器浮腫 Organoedem… 12  
 早期浸潤 Frühinfiltrat  
 …… 150, 185  
 早期浸潤 …… 185  
 組織球出遊 Histiodia-  
 pedese …… 212  
 組織球 Histiocyt …… 432  
 組織構變症性關節疾患  
 ochronotische Arthro-  
 sen …… 448  
 組織性沈澱物 organi-  
 sierte Sedimente …… 352  
 増進期 Stadium incre-  
 menti …… 583  
 桑實形 Maulbeerform… 619  
 雙耳聽診器 …… 52  
 蒼鉛中毒 …… 568  
 増殖型 produktive Form 150  
 總酸度の測定 …… 206  
 總酸度 Gesamtacidität… 205

つ・づ

槌板打診法 Hammerpres-  
 simeter-Perkussion … 27  
 Tunnicliffe 氏法 …… 413  
 Duchenne-Erb 氏麻痺 … 545  
 Tuberculin 反應 …… 601  
 Trousseau'sches Phänomen  
 …… 389, 457  
 頭蓋軟化症 Kraniotabes 448  
 頭蓋内性眼球振盪 …… 530  
 痛覺鈍麻 Hypalgesie… 473  
 痛覺 Schmerzempfin-  
 dung …… 473  
 痛覺過敏 Hyperalgesie… 473  
 恙蟲病 Tsutsugamushi-  
 krankheit …… 626  
 頭痛 …… 476  
 Traube 氏重複音 …… 173  
 痛覺麻痺 Analgesie …… 473  
 Zuckungsgesetz …… 465  
 痛風 Gicht …… 295

ね

N. communicantes grisei 557  
 熱 Fieber …… 578  
 熱量計 Karorimeter… 285  
 熱帯形 Tropiciform… 619  
 熱帯マラリア …… 618

熱型 Fiebertypen… 583  
 熱固定 Hitzefixation… 422  
 熱射病 Hitzschlag… 574  
 熱性體温上昇 fieberhafte  
 Temperatursteigerung 582  
 熱性匍行疹 Herpes febril-  
 lis …… 9  
 Nelatonkatheter …… 281  
 Negri 氏小體 …… 625  
 ネフローゼ Nephrose… 371  
 ネフローゼ 2-3 型… 372  
 ネフローゼ的腎臟疾患… 372  
 捻髮音 Krepitation  
 (Knisterrasseln) …60, 183  
 捻髮音性水泡音Krepitie-  
 rende Rasseln ……60  
 粘液浮腫 Myxoedem…11, 338  
 粘膿性喀痰 schleimig-  
 eitrige sputa …… 122  
 粘液絲 Schleimfäden… 124  
 粘液痙攣 …… 560  
 液粘性嘔吐物 …… 220  
 液粘性加答兒 …… 181  
 粘液 Schleim ……242, 245  
 粘膜炎 …… 480

な

内因性呼吸障礙 …… 119  
 内翻馬足 Pes equinovarus 458  
 内毒素 Endotoxine… 578  
 内眼筋麻痺 Ophthalmop-  
 legia interna…483, 544  
 内臟神經 Nervus splan-  
 chnicus …… 557  
 内分泌器官 Einson-  
 derungsorgane …… 559  
 内分泌疾患時の貧血… 440  
 内囊内に於ける諸導路… 521  
 内囊 …… 522  
 内寄 Adduktionsbewegung  
 …… 546  
 内水晶體囊 …… 521  
 内性交叉性半身不隨 Hemi-  
 plegia alternans intima 499  
 Neisser 氏淋菌感染 …… 278  
 鉛 Blei …… 350  
 内皮細胞増多症 Endo-  
 theliose …… 136  
 内被腫 Endotheliom … 549  
 内的血行性重感染… 184

ナフタリン Naphthalin 351  
 梨子形胸 Thorax piri-  
 formis …… 22  
 軟化 Erweichung …… 549  
 軟脈 Pulsus mollis …… 77  
 軟性下疳 Ulcus molle… 630  
 軟線 weiche Strahlen… 139

ら

囉音 Rasseln ……58  
 ライヒマン氏病 Reich-  
 mannsche Krankheit… 203  
 癩病 Lepra… 629  
 癩桿菌 Bacillus leprae… 629  
 ライチヒ氏間質細胞  
 Leydig'sche Zwischen-  
 zellen …… 391  
 Leishmania Donovanii… 630  
 reiswasserähnliche Be-  
 schaffenheit …… 627  
 Radiusperiostreflex …… 478  
 ラチオ過敏性 Radiosensi-  
 bilität …… 577  
 ラツセル …… 58  
 Lackmusnitrose 寒天培  
 地 …… 592  
 ラクトフラグイン… 379  
 Laennec 氏肝硬變症 …… 274  
 Landouzy-Dejerine 型… 556  
 Landry 氏麻痺 …… 554  
 Langley 氏 …… 557  
 Lasèque 氏徴 ……452, 555  
 卵巣囊腫 Ovarialeyste… 134  
 卵巣性脂肪症 …… 296  
 卵巣痛 Ovarie …… 562  
 卵巣檢證法 Brüttschrank-  
 probe …… 245  
 卵圓孔の開存 …… 175

む

無胃性貧血 agastrische  
 Anämie …… 441  
 無意識 Bewusstlosigkeit 490  
 無發汗症 Anhidrosis… 563  
 無尿 Anurie …… 314  
 multiple Blutdüsensk-  
 lerose …… 392  
 無感覺症 Apathie …… 491  
 無痛脂肪症 Lipomatosis  
 indolens …… 296

無痛性痛風結節腫 indo-  
 lenter Tophus …… 295  
 無熱 Apyrexien …… 583  
 村田氏反應 …… 600  
 無鉤條蟲 Taenia medio-  
 kanellata… 248  
 無記憶力症 …… 492  
 無記憶 Amnesie …… 572  
 無機性毒 …… 567  
 無脈波心臟收縮 frustrane  
 Herzkontraktion …… 80  
 無酸素血症 Anoxämie 573  
 無酸素血症性型 Anoxyä-  
 mische Form… 169

う・ご

Wilson 氏進行性レンズ  
 核變性… 453  
 Wilson 氏病 ……525, 556  
 Widal 氏の凝集試驗… 595  
 Widal 氏反應 …… 596  
 Witte ベプトン水 …… 628  
 右位心臟 Dexiocardie … 99  
 Vigouroux 氏徴 …… 338  
 Willis 氏腦底動脈輪 …… 493  
 Williamsche Symptome 146  
 Winternitz 氏沃度脂酸  
 消化試驗 …… 223  
 Wintrich 氏打響變換  
 (Schallwechsel) …… 41  
 Uroporphyrin …… 377  
 Wismarter Bürger 氏病… 180  
 ウロトロピン Urotropin 352  
 Urobilin の證明 …… 326  
 ウロビリリン Urobilin … 244  
 ウロビリノーゲン證明法 263  
 ウロビリノーゲン尿  
 Urobilinogenurie …… 325  
 Urobilinogen …… 609  
 瓜實條蟲 Taenia cucu-  
 merina …… 249  
 Worm-Müller 氏變法… 334  
 Weir-Mitchell 氏… 563  
 鬱滯性黄疸 Stauungsik-  
 terus …… 7  
 Uhlenhut 氏 Antiformin  
 法 …… 589  
 右側性脚分離 …… 108  
 Wright 氏の診斷法 …… 597  
 ヴイタミン Vitamin… 285

ヴイタミンA …… 378  
 ヴイタミンA の定量法… 378  
 ヴイタミンA 缺乏症… 379  
 ヴイタミンB …… 378  
 ヴイタミンB<sub>1</sub> 缺乏症… 380  
 ヴイタミンB<sub>1</sub> 缺乏胃曲線 215  
 ヴイタミンB<sub>2</sub> …… 379  
 ヴイタミンB<sub>2</sub> 缺乏症… 381  
 ヴイタミンC …… 379  
 ヴイタミンC の定量法… 379  
 ヴイタミンC の減少症… 381  
 ヴイタミン缺乏症  
 Avitaminose …… 382  
 ヴイタミンD …… 379  
 ヴイタミンE …… 379  
 ヴイタミンE 缺乏症… 383  
 鬱血乳頭 Stauungspapille 488  
 鬱血腎 Stauungsniere … 374  
 鬱血性浮腫 Stauungs-  
 oedem …… 366  
 鬱血肝 Stauungsleber… 273  
 鬱血肝加答兒 Stauungs-  
 katarrh …… 181  
 鬱血擴張 Stauungsdila-  
 tation ……167, 172  
 鬱血性浮腫 Stauungs-  
 oedem …… 11  
 Uffelmann 氏檢出法… 209  
 Uffelmann 氏法の變法… 209  
 右轉位心臟 …… 108  
 ウエストフェール氏瞳孔  
 現象 Westphalsches  
 Pupillenphänomen … 483  
 Westphalsches Zeichen… 477  
 Westphal-Strümpell 氏の  
 假性硬化症… 524  
 Wenckebach 氏周期 …… 83  
 Wenckebach 氏周期第 1 型 109  
 Weber 氏清血證明法… 244  
 Weber 氏 Tastzirkel… 473  
 Westergren 氏式… 403  
 Wernicke 氏徴候 …… 507  
 Wernicke 氏皮質下性讀書  
 不能症… 516  
 Wernicke 氏言語模型… 514  
 Wernicke 氏皮質性感覺性  
 失語症… 512  
 Wellmann Barren 氏法… 299  
 Verdeck 氏體質係數… 18  
 ヴエロナール Veronal… 352

Valsalva 氏試驗… 175  
 van Slyke 氏法 …… 300  
 van Deen 氏の血色素檢  
 出法… 324  
 右心室形 Rechtstypus… 107  
 右心室電流曲線 Dkg … 107  
 右心室の肥大擴張… 142  
 運動性失調症 lokomo-  
 torische Ataxie… 460  
 運動性行爲不能症 mo-  
 torische Apraxie …… 517  
 動運神經の走路… 497  
 運動低下性筋強剛徴候  
 akinetisch-hypertoni-  
 sches Syndrom …… 556  
 運動低下型 hypokineti-  
 sche Form …… 232  
 運動性維體路… 535  
 運動性疾患 Kinetosen… 573

の

腦溢血 Haemorrhagia  
 cerebri… 548  
 腦溢血發作 apoplekti-  
 scher Insult …… 548  
 腦溢血體質 apoplekti-  
 scher Habitus …… 22  
 Neurohypophyse …… 384  
 Neubauer 及 Fischer 氏法 216  
 腦ロイマチス Zerebral-  
 rheumatismus …… 447  
 腦徴毒 Lues cerebri  
 (Gehirnsyphilis) …… 551  
 囊胞腎 Cystenniere …… 134  
 能働性痙攣性拘攣 aktive  
 spastische Kontraktur  
 …… 451, 452  
 能働的體位 aktive Lage 4  
 膿毒症 Pyämie …… 620  
 Nodi digitorum… 447  
 normale Zuckungsgesetz 465  
 腦下垂體糖尿… 526  
 腦下垂體系統… 526  
 腦下垂體惡液質… 387  
 腦下垂體性侏儒 hyphophy-  
 särer Zwergwuchs… 386  
 腦下垂體腫瘍… 549  
 腦幹神經節 Stammgan-  
 glien …… 549  
 腦膿瘍 Hirnabscess …… 550



腦膜斑 Taches cérébrales 452  
 腦膜炎雙球菌 Diplococcus intracellularis meningitidis ..... 623  
 野口英世氏の Luetin 反應 ..... 601  
 腦橋 ..... 528  
 腦脚足 Hirnschenkelfuss 527  
 濃縮力 Konzentrationsfähigkeit ..... 363  
 濃縮試験 ..... 363  
 腦腫瘍 Pustel ..... 10  
 腦腫瘍 Tumor cerebri (Hirntumor) ..... 549  
 腦神經 ..... 539  
 腦神経系疾患の診断 ..... 548  
 腦室撮影法 Encephalographie ..... 164  
 腦炎繼發尿崩症 ..... 526  
 腦皮質言語中樞外性失語症 ..... 514  
 Nomogramm ..... 296  
 腦脊髄液の細胞學的診断 ..... 136  
 腦脊髄液 Cerebrospinalflüssigkeit ..... 130  
 腦脊髄のレ線の検査 ..... 164  
 腦脊髄液の理化學的性狀 ..... 134  
 膿性氣管枝炎 Bronchitis putrida ..... 181  
 膿性滲出液 eitrige Exsudat ..... 133  
 腦性偏癱 ..... 548  
 腦水腫 Hydrocephalus ..... 12  
 腦前額斷 ..... 521  
 Nonne-Apelt 氏 ..... 135  
 Nonne-Apelt-Schumm 氏方法 ..... 607

く・ぐ

クロナキシー Chronaxie 468  
 クロナキシーの大きさ ..... 469  
 クロール瓦斯 ..... 567  
 クロールの定量 ..... 310  
 クローム化合物 ..... 568  
 クローム親和系統 Chromaffines System ..... 390  
 Grocco-Rauchfuss 氏脊柱側 3 角形 ..... 39  
 Grocco-Rauchfuss の脊柱側 3 角形濁音界 ..... 188

Gross 氏 3 角部 ..... 16  
 Gross 氏十二指腸液採取法 ..... 224  
 Globulin 反應 ..... 607  
 クロロフォルム ..... 350  
 Glossina palpalis ..... 630  
 偶發性心臓雜音 akzidentelles Herzgeräusch ..... 71  
 偶發副雜音 aczidentelles Nebengeräusch ..... 63  
 偶發非腎性蛋白尿 akzidentelle unechte Albuminurie ..... 320  
 偶發蛋白尿 aczidentelle Albuminurie ..... 320  
 Chvostek'sches Phänomen ..... 389, 457  
 空洞浮腫 Hydrops cavernosus ..... 12  
 空中模索 Flockenlesen ..... 550  
 クリソファン酸 Chrysophan'säure ..... 351  
 グリオーム Gliom ..... 549  
 佝僂病頭蓋 ..... 19  
 佝僂病 Rhachitis ..... 382, 448  
 佝僂念珠 rachitischer Rosenkranz ..... 448  
 格魯布性肺炎 Croupöse Pneumonie ..... 182, 619  
 クルシユマン旋狀體 Cruschmansche Spiralen ..... 124, 184  
 Kruse-Shiga 菌 ..... 627  
 Klumpke 氏麻痺 ..... 545  
 グルタチオン Glutation 413  
 グワヤク反應 Guajackreaktion ..... 409  
 空嚔呼吸音 amphorisches Atmen ..... 58  
 Krönig 氏肺尖打診法 ..... 35  
 Krönig 氏響野 ..... 36  
 Krönig 氏階段 ..... 168  
 Kreatinin 検出 ..... 331  
 クレチン病 Kretinismus ..... 388, 492  
 Graefe 氏徵候 ..... 483  
 Klett's Bioclorimeter ..... 267  
 グラム陽性 grampositiv 587  
 グラム陰性細菌 ..... 587  
 グラム陽性細菌 ..... 587

Gram 氏染色 ..... 587  
 Clarke 氏柱 ..... 500  
 Grande Hysterie ..... 456  
 Krause-Uthoff 氏徵候 ..... 219  
 Grafes 氏胃癌診断法 ..... 219  
 Gratiolet 氏視放線 ..... 506  
 Glandula pinealis ..... 387  
 靴匠胸 Schusterbrust ..... 23  
 Quinke 氏浮腫 ..... 447, 560, 563  
 嘔瓦斯 ..... 567  
 クサントプロテイン反應 Xanthoproteinreaktion 363  
 空氣病 Luftkrankheit ..... 573  
 空氣餓 ..... 573  
 空氣栓塞 ..... 127  
 空氣擴張 Luftaufblähung 201  
 Gmelin 氏檢出法 ..... 325  
 組合せ文字 Monogramme 512  
 狗兒絛蟲 Taenia echinococcus ..... 250  
 首下り病 (Ger'sche Krankheit) ..... 544  
 蜘蛛組織 Spinnengewebe 550  
 蜘蛛膜下出血 Subarachnoidalblutung ..... 135, 549  
 蜘蛛膜下腔 Subarachnoidalraum ..... 130  
 屈折計數 Refraktometerwert ..... 265  
 Kussmaul 氏大呼吸 ..... 119, 292  
 Kundrat 氏病 ..... 443

や

矢尾板氏集卵法 ..... 247  
 夜間癲癇 Epilepsia nocturna ..... 564  
 夜間遺尿症 Enuresis nocturna ..... 280, 485  
 夜間多尿症 Nykturie ..... 314  
 藥物發疹 Arzneiexanthem ..... 9  
 Jackson 氏癲癇 ..... 499  
 Jaeke 氏複寫機 ..... 94  
 Jagik 氏式肺尖打診法 ..... 37  
 矢狀腹背透射法 sagittale ventrodorsale Durchleuchtung ..... 140

ま

May-Giemsa 重複染色 ..... 425

May-Grünwald-Lösung による血球染色法 ..... 423  
 マルタ熱 (Maltafieber, Febris undulans Mittelmeerfieber) ..... 626  
 マルタ熱球菌 Brucella melitensis ..... 626  
 膜様落屑 Desquamatio lamellosa ..... 10  
 膜様の皮膚落屑 ..... 610  
 Mac-Burney 氏點 ..... 198  
 Mallein 反應 ..... 629  
 Maltoe 尿 ..... 343  
 マラリア プラスモヂウム Plasmodium malariae 618  
 マラリア Wechselfieber, Malaria (Febris intermittens) ..... 617  
 マラリアの診断 ..... 618  
 マラリア プラスモヂウムの染色法 ..... 589  
 摩擦音と水泡音との鑑別 ..... 62  
 末梢性嘔吐 peripherisches Erbrechen ..... 219  
 末梢ノイロン peripheres Neuron ..... 495  
 末梢神經 ..... 539  
 末梢神經の腫瘍 ..... 550  
 末梢性失調症 periphere Ataxie ..... 461  
 麻痺胸 paralytischer Thorax ..... 21  
 麻疹 Masern, (Morbilli) 609  
 麻痺性瞳孔縮小 Miosis paralytica ..... 482  
 麻痺感 Eingeschlagensein ..... 476  
 麻痺性眼球突出症 Exophthalmus paralyticus 540  
 麻痺性癱瘓 progressive Paralyse ..... 551  
 麻痺狂性發作 paralytischer Anfall ..... 551  
 麻痺癩 Lepra anestetica 629  
 麻痺の原因 ..... 459  
 麻痺 Lähmung ..... 458  
 慢性肺炎 ..... 183  
 慢性肺癆 ..... 151, 185  
 慢性胃炎 Gastritis Chronica ..... 268

慢性胃炎の診断法 ..... 210  
 慢性便秘 chronische Obstipation ..... 273  
 慢性燐中毒 ..... 571  
 慢性關節痛風 chronische Gelenkgicht (Arthritis uratica chronica) ..... 447  
 慢性關節ロイマチス (Polyarthritis rheumatica chronica) 447  
 慢性假性尿毒症 ..... 370  
 慢性結腸炎 Colitis chronica ..... 272  
 慢性氣管枝炎 ..... 181  
 慢性畸形性動脈内膜炎 Endarteriitis chronica deformans ..... 177  
 慢性腹膜炎 Peritonitis chronica ..... 277  
 慢性被害 ..... 576  
 慢性皮膚被害 ..... 576  
 慢性心臓衰弱 ..... 169  
 慢性出血性貧血 Chronische Blutungsanaemie 439  
 慢性心筋炎 Myocarditis chronica ..... 176  
 慢性潛原性ネフローゼ ..... 372  
 慢性脾臓炎 ..... 270  
 マンガン中毒 ..... 572  
 Mandelbaum 氏の菌絲反應 ..... 594  
 蹠蹠 Watscheln ..... 556

け・げ

輕熱 leichtes Fieber ..... 582  
 螢光試験 Fluoreszenzprobe ..... 326  
 頸靜脈波圖 ..... 97  
 頸炎 Halsentzündung ..... 623  
 輕氣球病 Ballonkrankheit ..... 573  
 頸神經叢 ..... 544  
 頸骨神經の麻痺 ..... 547  
 稽留熱 ..... 619  
 瘧疾期 Stadium convulsivum ..... 624  
 瘧疾性瞳孔散大 Mydriasis spastica ..... 482  
 瘧疾性脊髄麻痺 spastische Spinalparalyse ..... 553

瘧疾性不全麻痺性歩行 spastisch-paretischer Gang ..... 461  
 瘧縮性麻痺 ..... 458  
 瘧笑 Risus sardonicus ..... 5, 456, 621  
 瘧搐(震顫) Schüttelkrampf ..... 452  
 愈室症 Divertikulosis ..... 162  
 愈室形成 ..... 273  
 硅沈著肺(肺石粉病) ..... 186  
 ケービスと糖尿病性昏睡とに就て ..... 292  
 稽留熱 Febris continua 583  
 下痢 Diarrhoea ..... 233  
 Gerhardt 氏打響變換 ..... 41  
 Gerhardt 氏のアセト醋酸の證明法 ..... 345  
 ケルニツヒ氏徵候 Kernnigsches Zeichen ..... 452, 550, 555  
 楔 Cuneus ..... 506  
 楔狀索 Fun. cuneatus (Burdach) ..... 500  
 結核性腦膜炎 Meningitis tuberculosa ..... 550  
 結核菌の培養證明 ..... 593  
 結核菌の絶對的確定 ..... 588  
 結核 Tuberculose ..... 622  
 結核肺のレ線像 ..... 148  
 結核性膿性滲出液 ..... 133  
 結核性腹膜炎 tuberculöse Peritonitis ..... 277  
 結核水腫 Hydrops tuberculosus ..... 448  
 結合鹽酸 gebundene Salzsäure ..... 205  
 結合線 Verbindungslinie 106  
 結腸炎 Colitis ..... 271  
 結痂落下期 Stadium decrustationis ..... 611  
 結節癩 Lepra tuberosa ..... 629  
 結節性紅斑 ..... 631  
 結節性動脈周圍炎 Periarteriitis nodosa ..... 180  
 結石の分析 ..... 246  
 結節 Tuberculum ..... 9  
 結節形成 Höckerung ..... 212  
 結節性ロイマチス Rheumatismus nodosus ..... 446



Geburtshelferstellung 389  
 結締織性游走細胞游出  
 Histiodiapese ..... 125  
 血尿 Hämaturie ..... 353  
 血餅の緊縮 ..... 399  
 血餅 Blutkuchen ..... 394  
 血糖の定量法(簡便法) ..... 307  
 血中尿酸の定量 ..... 299  
 血中残餘窒素定量 ..... 297  
 血管運動神經麻痺 ..... 573  
 血管型 vaskuläre Form ..... 633  
 血管帶 Enge des Gefäßbandes ..... 142  
 血管痙攣性間歇性歩行困難症 Dysbasia intermittens angiospastica 180  
 血管雜音 Gefäßgeräusch 72  
 血管音 Gefäßton ..... 72  
 血管の聽診 ..... 72  
 血管運動性營養性ノイローゼ ..... 562  
 血管運動障礙 ..... 562  
 血管性紫斑病 ..... 442  
 血管神經性浮腫 Angi-neurotisches Oedem ..... 447  
 血痰 blutige Sputa ..... 122  
 血行性肺結核 ..... 149, 184  
 血壓 ..... 526  
 血壓測定の方法 ..... 115  
 血壓幅 Blutdruckamplitude ..... 116  
 血壓亢進性慢性腎炎 ..... 373  
 血球の染色 ..... 420  
 血球容積の測定 ..... 401  
 血球の染色法 ..... 423  
 血球の神經支配 ..... 433  
 血球芽細胞 Haemocytoblast ..... 435, 439  
 血友病時慢性關節疾患 ..... 448  
 血友病關節 Blutergelenk 442  
 血友病 Hämophilie ..... 442  
 血小板 Blutplättchen ..... 435  
 血小板の算定 ..... 418  
 血小板減少性出血性紫斑病 (Werthof 氏紫斑病) 441  
 血小板異常 ..... 442  
 血色素減少症 Oligochromämie ..... 428  
 血色素含量の測定 ..... 407  
 血色素 Hämoglobin

(Bluthämoglobin) 323, 408  
 血色素の變化 ..... 428  
 血色素含量 Hämoglobin-gehalt ..... 409, 428  
 血色素性變性 hämoglobinämische Degeneration Ehrlichs ..... 429  
 血色素尿症 ..... 443  
 血色素低下性貧血 hypochrome Anämie ..... 441  
 血色素係數 Färbeindex (Hämoglobinindex) 428  
 血液培養 Blutkultur ..... 592  
 血液中毒 Blutvergiftung 620  
 血液厚層標本 ..... 618  
 血液型の決定 ..... 399  
 血液中残餘窒素の測定 ..... 361  
 血液インヂカン反應 ..... 362  
 血液像 ..... 526  
 血液毒 ..... 568  
 血液炭酸瓦斯定量 ..... 300  
 血液豫備アルカリ定量法 300  
 血液凝固 Blutgerinnung 396  
 血液の粘稠度測定 ..... 400  
 血液滴映像判定法 Gutta-diaphot ..... 404  
 血液塗抹標本の製法 ..... 421  
 血液塗抹標本を作る方法 422  
 血液塗抹標本の固定法 ..... 422  
 血液のカタラーゼ (Katalase) ..... 412  
 血液毒による貧血 ..... 439  
 血清病 Serumkrankheit ..... 593, 608  
 血清蛋白尿 ..... 390  
 血清中ウロビリノーゲンの證明法 ..... 263  
 血性滲出液 hämorrhagische Exsudat ..... 134  
 血清 Blutserum ..... 394  
 血清蛋白濃度の測定 ..... 406  
 血清色の検査 ..... 407  
 血性軟化 ..... 548  
 激憤型 agitierte Form 551  
 牽引性憩室 Traktionsdivertikel ..... 195  
 健忘性失語症 amnestische Aphasie ..... 515, 520  
 原發性筋萎縮 ..... 486  
 原發性錐體路變性 ..... 553

原發性アテトーゼ ..... 454  
 幻覺 Halluzination ..... 456  
 犬吠様咳嗽 bellendes Husten ..... 121  
 腱反射の亢進 ..... 478  
 減退期 Defervescenz ..... 584  
 減退期 Stadium dekrementi ..... 584  
 懸滴検査 ..... 585  
 懸滴検査(Untersuchung-im hängenden Tropfen ..... 584  
 原始小體 Elementarkörperchen ..... 591  
 原發性皮膚疹 ..... 9  
 原蟲類 Protozoen ..... 255  
 限界皺襞 Grenzfaule ..... 160  
 限局性脂肪症 ..... 296  
 言語不能症 Wortstumm 512  
 言語 ..... 512  
 言語學 Worttaubheit ..... 512  
 言語形成 Sprachformung ..... 489  
 言語模型 Sprachschema ..... 510  
 言語的機能の種類 ..... 511  
 言語區域 Sprachregion ..... 511  
 言辭 Lautwort ..... 510  
 眩暈 Schwindel (Vertigo) ..... 491  
 鎌狀細胞貧血 Sichelzellenanaemie ..... 443  
 現症 Status praesens ..... 2  
 肩胛腺 Skapularlinie ..... 15  
 蜂窩織炎性口峽炎 Angina phlegmonosa 193  
 ふ・ぶ  
 Phosgen ..... 567  
 Forille 氏徴候 ..... 528  
 フォルムアルデヒド ..... 352  
 部位覺 Lokalisationsvermögen ..... 501  
 Fibrinogen ..... 394  
 フィブリン減少性假性血友病 ..... 443  
 Froin 氏徴候 ..... 549  
 Broet 氏型運動性失語症 512  
 プロムラール ..... 568  
 Prothrombin ..... 394  
 Provitamin ..... 378

Prolan A ..... 385  
 Prolan B ..... 384  
 protodiastolisches Vorschleudern ..... 101  
 腐敗性滲出液 jauchige Exsudat ..... 134  
 布片試験 Lippchenprobe 603  
 Huppert 氏の検出法 ..... 326  
 浮動肋骨 Costa decima fluktuaus ..... 22  
 不整脈 inaequaler Puls (Pulsus differens) ..... 84  
 葡萄糖の濃度表 ..... 336  
 葡萄糖尿症 Glykosurie ..... 332  
 封筒様結晶 ..... 347  
 舞踏病様運動 choreatische Bewegung ..... 454  
 舞踏病性運動 ..... 525  
 舞踏病 Chorea ..... 454  
 Friedreich 氏失調症 461, 556  
 Friedreich 氏呼吸性打響變換 ..... 41  
 Friedländer 氏 ..... 620  
 プリン鹽基 Purinbase ..... 345  
 Funehidentypus ..... 392  
 Brulure retrosternale ..... 176  
 Burri 氏墨汁法 ..... 589  
 Brudzinsky 氏徴候 ..... 452  
 Burdach 氏素 ..... 535  
 Fulfrieh 氏の沈置屈折計 406  
 分裂球 Furchungskugel ..... 253  
 不感期 frustrane Kontraktion ..... 79  
 不完全房室分離 partieller Herzblock ..... 109  
 不完全電氣變質反應 partielle EaR ..... 467  
 Fränkel-Weichebaum 肺炎球菌 ..... 620  
 Fraenkel-Gabbet 氏方法 ..... 588  
 Flechsig 氏素 ..... 500  
 Plesch 氏指態 ..... 28, 43  
 Plesch 氏の血色素計 ..... 409  
 フレミンスマン, カテー ル Fremissent cataire 172  
 物理的體温調節 ..... 287  
 Frei 氏反應 ..... 631  
 プラズマ細胞 Plasmazellen (Türksche Reizungsform) ..... 435

Plaut-Vincent 氏アングナ 623  
 Plasmodium immaculatum ..... 619  
 Frank 氏の鏡法 ..... 102  
 Brown-Séquard 氏麻痺 ..... 475, 539  
 Brown-Séquard 氏半側麻痺 ..... 552  
 Frankenhäuser 氏神經叢 565  
 Franke 氏の Schnapper ..... 414  
 Bracht-Romberg'sches Phä-nomen ..... 461  
 Blausäure ..... 568  
 Vesuvium ..... 587  
 腹部膨隆の減少 ..... 195  
 腹部紫斑病 ..... 442  
 腹部打診及聽診 ..... 199  
 腹部觸診 Bauchpalpation 197  
 腹部打診 Bauchpercussion ..... 50  
 腹部膨隆の増加 ..... 196  
 腹壁反射 Bauchdeckenreflex ..... 480  
 腹壁が弛緩する場合 ..... 197  
 腹腔穿刺 Bauchpunktion 129  
 腹背透射法 ventrodorsale Durchleuchtung ..... 139  
 腹膜腫瘍 Peritonealtumor ..... 277  
 複寫機 Polygraph ..... 94  
 複視 Doppelsehen ..... 617  
 腹式呼吸 abdominelle Atmung ..... 118  
 腹水症 Ascites (Bauchwassersucht) ..... 21, 129  
 腹水 ..... 129  
 副音 Nebengeräusche ..... 58  
 副血行 Kollateralkreisläufe ..... 13  
 副胸骨線 Parasternallinie 15  
 副神經 Nervus accessorius ..... 543  
 Fuchs 氏血清清化學反應 217  
 Fuchs-Rosenthal 氏計室 ..... 137  
 河豚毒中毒 ..... 570  
 輻輳反應 Konvergenzreaktion ..... 481  
 輻射能性線 ..... 577  
 輻射能性線 radioaktive Strahlen ..... 577

部分的(分割的)知覺麻痺 partielle Empfindungslähmung ..... 473, 475  
 Pufferungsvermögen ..... 305  
 不定呼吸音 unbestimmtes Atmen ..... 58  
 Fallopio 氏管 ..... 541  
 不規則緩徐脈 ..... 569  
 浮腫の來る所 ..... 12  
 浮腫の鑑別 ..... 12  
 浮腫病 Oedemkrankheit 11  
 浮腫 Oedem ..... 366  
 風疹 Röteln, Rubeola ..... 610  
 Foetor ex ore ..... 190  
 フェナチエチン ..... 351  
 フェノールフタレイン試験 Phenolphthaleinprobe ..... 365  
 フェノールフタリンによる潜血證明法 ..... 244  
 不整脈 Pulsus irregularis ..... 76, 78  
 不整心室機能 ..... 108  
 不全感 Insuffizienzgefühl 561  
 不全麻痺 partielle Hemiplegie ..... 458  
 不全型コレラ ..... 627  
 不全麻痺性歩行障礙 paretische Gangstörung ..... 461  
 不全麻痺 Paresis ..... 458  
 不全型經過 abortiver Verlauf ..... 613  
 不全骨折 Infraction ..... 20  
 不全截癱 Paraparesis ..... 458  
 不隨意排便 Inkontinencia alvi ..... 232  
 分割的胃液吸上法 fraktionierte Magensaftausheberung ..... 207  
 分解的知覺麻痺 ..... 475  
 糞塊性下痢 Stercoral-diarrhoea ..... 232  
 糞便中に於ける食物成分 233  
 糞便中の粘液 ..... 236  
 糞便越幾斯 Faecosex-trakt ..... 225  
 糞便の色 ..... 235  
 糞便内膿 ..... 237  
 糞便内血液 ..... 237



糞便内酵素の検出法..... 225  
 糞便内粗大食物残渣..... 235  
 糞便内血液の化学的證明 242  
 糞便の組成と量..... 233  
 糞便ポルフィリン Koproporphyrin ..... 571  
 糞便の臭氣..... 235  
 糞便の顯微鏡的検査..... 238  
 糞便の肉眼的検査..... 233  
 糞便の化学的検査..... 242  
 糞臭嘔吐 *faeculentos Erbrechen* ..... 220  
 糞石 *Kotstein* ..... 237  
 フングス *Fungus* ..... 448  
 分利 *Krisis* ..... 584  
 分利的 *kritisch*..... 584  
 分利期前變動 *Perturbatio critica* ..... 584  
 分利的 ..... 620  
 分離黃疸 *dissoziierter Ikterus* ..... 325  
 分光鏡による尿中血色素證明..... 324  
 分裂球..... 251  
 分裂心音 *gespaltene Herztöne* ..... 67  
 部分的視野縮小..... 489  
 分仔 *Merozoiten* ..... 618  
 分枝分離 *Verzweigungsblock* ..... 108  
 分泌障礙..... 527

二・二

行爲不能症の原因..... 518  
 行爲不能性障礙..... 517  
*Goitre exophthalmique* 388  
 鼓音 *Schenkelschall*..... 29  
 鼓音 *tympanitischer Schall* ..... 30  
 コバイババルサム..... 351  
 紅斑 *Erythema*..... 9  
 後醱酵 *Nachgärung* ..... 246  
*Koch* 氏 *probatorische Tuberculinreaktion* ... 602  
*Cowper* 氏腺 ..... 278  
 硬變性肺結核..... 185  
 硬變性肺結核 *Phthisis fibrosa diffusa* ..... 149  
 後頭下穿刺法 *Suboccipitalpunktion*..... 31

後頭、頰類、腦橋導路... 522  
 後頭葉..... 520  
 口頭忘失症 *verbale Amnesie* ..... 515  
 抗毒素 *Antitoxin* ... 578, 596  
 後中央線 *hintere Medianlinie*..... 15  
 孤立性結核結節 *Solitärer Tuberkel*..... 549  
 黃磷中毒..... 568  
*Goll* 氏索..... 535  
*Goldscheider* 氏式肺尖打診法..... 37  
*Goldscheider* の把柄..... 44  
 鐘音 *Metallklang* ..... 31, 41  
 構音障礙 *Dysarthrie*..... 489  
 構音障礙..... 524  
 構音不能症 *Anarthrie* ..... 489, 524  
 口蓋反射 *Gaumenreflex* 480  
 口蓋帆麻痺 *Gaumensegellähmung* 544, 554, 624  
 コカイン中毒..... 569  
 5 官器障礙..... 504  
 硬化骨疾患..... 448  
 抗體 *Antikörper* ..... 578  
 後退性健忘症 *retrograde Amnesie* ..... 492  
 硬體透過性能..... 577  
 誇大型 *expansive Form* 551  
 光澤眼 *Glanzauge*..... 561  
 5 炭糖尿 *Pentosurie*..... 342  
 後瀉 *Nachtriüfen* ..... 486  
 拘攣 *Kontraktur* ... 451, 459  
 高齢者より得たる著者等の研究成績..... 90  
 コレラ様の症候..... 572  
 虎列拉 *Cholera*..... 372  
 コレラ嘔聲 *Vox cholericus* 627  
 コレラ菌 *Vibrio Cholerae asiatica* ..... 628  
 コレラ *Cholera (Cholera asiatica)*..... 627  
 CO へモグロビン *Kohlenoxydhämoglobin* ... 572  
*Kohlenoxydhämoglobin* 408  
*Kohlenoxyd* ..... 408  
 コレステリン *Cholesterin* ..... 350, 391  
 コレステリンエステル... 391

酵素の證明..... 209  
 骨鬆粗症 *Osteoporose* ..... 448, 449  
 骨脾骨盤 *Kartenbecken* 449  
 骨知覺 *Knoehensensibilität* ..... 474  
 骨及關節の榮養..... 480  
 紅痛症 *Erythromelalgie* 563  
 骨壞疽..... 576  
 骨軟化症 *Osteomalacie* 20, 449  
 骨解構機轉..... 448  
 骨硬化性貧血 *Osteosklerotische Anämie* ... 441  
 骨の充進換構..... 448  
 骨の不足石灰化..... 448  
 骨の過剩緻密化..... 448  
 骨の不足新成..... 448  
 骨髓内癌轉移..... 443  
 骨髓癆 *Panmyelophthise* 440  
 骨髓赤血球 *Myeloerythrocyt* ..... 428  
 骨髓芽細胞 *Myeloleukoblasten* ..... 434  
 骨髓球 *Myeloleukocyten* 434  
 骨疾患..... 448  
 骨生殖器萎縮症 *Dystrophia osteogenitalis* ... 383  
 黃熱病 *Gelbes Fieber* ... 30  
 高熱 *hohes Fieber*..... 582  
 口内惡臭 *Foetor ex ore*... 190  
 護膜腫 *Gumma*..... 630  
 黒内障..... 569  
 黒水病 *Schwarzwasserfieber* ..... 618  
 黒質 *Substantia nigra*... 498  
 黒毛舌..... 192  
 口腔及咽頭検査..... 190  
 極期 *Aeme*..... 584  
 極期 *Fastigium* ..... 584  
 小前脚付 *Pfötchenstellung*..... 457  
 鐘響性水泡音 *metallklingende Rasseln*..... 61  
 鐘響呼吸音 *metallisches Atmen*..... 58  
 鐘響咳嗽 *metallklinder Husten* ..... 121  
*Koproporphyrin* ..... 377  
 コフェイン試験的飲用 *Koffeinprobetrunk* ... 212

興奮波 *Erregungswelle*... 106  
 興奮機亢進 *Erethismus* 572  
 コプリック氏斑 *Koplik-sche Flecke* ..... 90, 609  
 後根損傷の結果..... 499  
 混合呼吸音 *gemischte Atmung* ..... 58  
 固定性脊椎關節炎 *Spondyloarthritis ankylopoetica* ..... 448  
 後天性溶血性貧血..... 440  
 後天性心臟瓣膜病..... 171  
 呼吸麻痺..... 572  
 呼吸性不整 *Pulsus irregularis respiratorius*... 84  
 呼吸困難諸型..... 120  
 呼吸数の増加..... 119  
 呼吸困難 *Dyspnoe* ..... 119  
 呼吸型の病的變化..... 118  
 呼吸頻度..... 118  
 呼吸型 *Athemtypus* ..... 118  
 呼吸音の聴診..... 53  
 呼吸音の發生理論..... 53  
 呼吸性囉音..... 59  
 呼吸型呼吸困難..... 120  
 抗筋動搖..... 524  
 後弓反張 (*Arc de cerele*) 456  
 恒久性不整 *Pulsus irregularis perpetuus* ..... 81  
 後期動搖 *Nachschwankung* ..... 106  
 抗筋振顫..... 524  
 口峽炎 (*アングナ*) *Angina* ..... 623  
 交叉性半身知覺麻痺..... 524  
 交叉性溫度覺麻痺 *gekreuzte Thermanästhesie* 501  
 交叉性半身不隨 *Hemiplegia alternans* ..... 499  
 交叉性痛覺麻痺 *gekreuzte Analgesie* ..... 501  
 交叉性偏癱 *Hemiplegia cruciata* ..... 458  
 絞榨感 *Gürtelgefühl* 476, 500  
 絞榨肝臟 *Schnürleber* ... 261  
 固有運動 *Eigenbewegung* 577  
 固有水腫性滲出液..... 136  
 甲狀腺顔貌 *thyreogene Züge* ..... 296  
 甲狀腺親和ホルモン

*tyreotropes Hormon*... 335  
 甲狀腺剔出後惡液質 *Kachexia strumipriva* 338  
 咬傷..... 192  
 亢進緊張..... 451  
 口唇 *Lippe*..... 190  
 口臭..... 190  
 口周知覺異常..... 570  
 膠質性汎發性甲狀腺腫 *Struma diffusa colloidosa* ..... 338  
 硬脈 *Pulsus durus* ..... 77  
 小舞踏病 *Chorea minor* 454  
 股神經..... 546  
 後神經節纖維..... 557  
 亢進被暗示性 *gesteigerte Suggestibilität* ..... 562  
 口唇皸行疹 *Herpes labialis* ..... 612  
 行進血色素尿症 *Marschhämoglobinurie* ... 443  
 個人診断 *Individualdiagnose* ..... 3  
 酵母 *Hefe* ..... 222  
 好中性白血球性白血病 *Neutroleukocytenleukämie* ..... 442  
 好中性多葉核白血球 *neutrophile polymorphkernige (polynucleäre) Leukocyten* ..... 433  
 好中性白血球系芽細胞 *Neutroleukoblast* ..... 439  
 好エオジン多葉核白血球 *eosinophile polymorphkernige Leukocyten* 433  
 好エオジン白血球白血病 *Eosinoleukocytenleukämie* ..... 442  
 好鹽基性打點 *basophile Punktierung* ..... 429  
 好鹽基顆粒の染色..... 426  
 好鹽基白血球性白血病 *Basoleukocytenleukämie* ..... 442  
 後腋窩線 *hintere Axillarlinie* ..... 15  
 糠狀狀落屑..... 610, 612  
 抗貧血性物質..... 205  
 小人 *Kümmerform* ..... 18

厚標本 *dickes Präparat*  
 交接反射 *Sexualreflexe* 486  
 硬線 *harte Strahlen*..... 139  
 光線障礙..... 574  
 硬性下疳 *harter Schanker* 630  
 高脊者 *hochwüchsige Männer* ..... 18  
 ゴーセー氏脾腫 *Gauscher-scher Milztumor* ..... 277  
 黃染 *Xanthochromie* ... 549  
 コンゴロート係數 *Kongorotindex* ..... 267  
 コンマ菌 *Kommabacillen* ..... 627  
 コンゴ赤紙 *Kongorotpapier* ..... 205  
 根足蟲類 *Rhizopoden* ... 258  
 混合型呼吸困難..... 120  
 濁瀉 *Trübung* ..... 135  
 昏瞢 *Sopor*..... 490  
 昏睡 *Coma*..... 490  
 昏迷 *Benommenheit* ... 491  
 根性知覺麻痺..... 499  
 根性知覺刺戟..... 499  
 絛囊狀 *Geldrollenform*... 414  
 痕跡オパール *Spuropallescenz* ..... 135

元・及

永續被害..... 577  
 榮養實驗による腸検査... 603  
 榮養障礙性浮腫..... 366  
 榮養障礙..... 486, 562  
 榮養狀態 *Ernährungszustand* ..... 18  
 銳化吸氣音 *verschärftes Inspirium* ..... 55  
 銳化肺胞音 *verschärftes Vesiculäratmen* ..... 55  
*Ätioporphyrin III* ..... 377  
 エチールアルコール... 351  
*Eddinger-Westphal* 氏核... 506  
*Ellis* 氏線 ..... 39  
*Ellinger* 氏滴定敏速法... 304  
*Erysipelas bullosum*..... 620  
*Ehrlich* 氏尿チアツオ反應 348  
*Ehrlich* 氏 *Triacidfärbung* 425  
 エーリッヒ形大單核球 *grosse mononucleäre Zelle Ehrlichs*..... 432



Erb 氏型..... 556  
 Erbsches Phänomen..... 389  
 Erbsches Symptom..... 468  
 Erb-Hoffmansches Phänomen..... 457  
 Eosin 染色..... 423  
 eosinsaures Methyleneblau 染色..... 423  
 Eosinoleukocyt..... 433  
 Elementarkörper..... 626  
 Ekg..... 104  
 Ewald-Boas 氏の試験朝食 203  
 Ecomono 型肺炎..... 616, 617  
 Edelmann 氏式機..... 106  
 疫痢..... 628  
 腋窩神経..... 545  
 腋窩線 Axillarlinie..... 15  
 液状培地 flüssiger Nährboden..... 592  
 X脚..... 448  
 壊死性ネフローゼ..... 571  
 壊死性アンギーナ..... 609  
 Epiphänreaktion..... 578  
 epidemische Genickstarre 622  
 Epiphyse..... 387  
 Esbach 氏蛋白計量器..... 392  
 圓蟲類 Nematoden (Spulwürmer)..... 250  
 嚥下雑音 Schluckgeräusch..... 74, 195  
 嚥下反射 Würgreflex..... 562  
 延長呼吸音を伴へる肺胞音..... 55  
 延髄..... 532  
 遠藤氏フクシン寒天培地 592  
 Ear..... 467  
 鉛中毒 Bleivergiftung..... 571  
 鉛中毒性貧血..... 439  
 鉛毒性脳疾患 Encephalopathia saturnina..... 571  
 鉛毒性痛痛 Bleicolik..... 196  
 鉛毒性齒齦縁 (Bleisaum) 121  
 鉛痛痛 Bleicolik..... 571  
 鉛縁 Bleisaum..... 571  
 鹽素酸カリウム..... 350, 567  
 鹽素..... 567  
 鹽素瓦斯..... 567  
 エントアミーバ, テトラゲーチ Entamoeba tetragena..... 258

Entamoeba histolytica..... 627  
 鹽類飢饉 Salzhunger..... 284  
 鹽基性磷酸 マグネシア..... 359  
 鹽化アンモン霧 Salmiaknebel..... 319  
 鹽酸..... 568  
 Jenner-Leisman 染色..... 425  
 猿手姿勢 Affenhandstellung..... 458  
 遠達作用..... 577

て・で

提辜筋反射 Cremasterreflex..... 480  
 低下緊張 Hypotonie..... 501  
 低血壓例より得たる著者等の研究成績..... 90  
 低着者 kleinwüchsige Männer..... 18  
 定期性四肢麻痺 periodische Extremitätenlähmung..... 389  
 定時不整脈 Allorhythmien 81  
 Dkg..... 107  
 Detritus..... 241  
 Dercum 氏病..... 296  
 テタニー Tetanie..... 389, 457  
 デュロヂュー氏重複雑音 Durosiesches Doppelgeräusch..... 178  
 デューラフオイ Dieulafoy 氏scher Apparat..... 128  
 Determann 氏の粘稠度計 400  
 鐵末沈著肺 Siderosis pulmonum..... 186  
 鐵鏽色粘稠喀痰 rostfarbenes, zähes Sputum..... 629  
 轉移性臓器結核..... 622  
 顛倒型 Typus inversus..... 583  
 顛倒反應 Fallreaktion..... 531  
 天然痘水疱疹..... 611  
 天然痘 Poeken, Variola vera..... 610  
 デング熱 Denguefieber..... 619  
 電氣性假死 elektrischer Scheintod..... 574  
 電氣傷害 elektrischer Unfall..... 574  
 電氣變質反應の意義..... 467  
 電氣興奮性の量的變化..... 465

電氣性變質反應 elektrische Entartungsreaktion..... 467  
 電氣診斷法の實施..... 464  
 電氣診斷 Elektrodiagnostik..... 463  
 電氣心働圖描寫..... 103  
 電氣心働圖 Elektrokardiogramm..... 104  
 電擊疼痛 lanzinierender Schmerz..... 476, 500, 552  
 電擊斑 Strommarken..... 574  
 電擊 Blitzschlag..... 574  
 電擊的舞蹈病 Chorea electrica..... 454  
 傳導障礙 Überleitungsstörung..... 83  
 傳導周期 Leitungsperiode 83  
 傳染病時の貧血..... 440  
 癲癇性前驅症 epileptische Aura..... 456  
 癲癇様發作..... 572  
 癲癇性舌咬 epileptischer Zungenbiss..... 456  
 癲癇頻發狀態 Status epilepticus..... 564  
 癲癇性痙攣發作 epileptische Krampfanfälle..... 456  
 澱粉破碎 Amylorrhaxis 204  
 澱粉標本 Stärkepräparat..... 238  
 澱粉..... 241  
 澱粉質消化 Amylolyse..... 204  
 展開性水泡音 Entfaltungsrasseln..... 61  
 點狀出血 Petechien..... 8  
 滴蟲類 Infusorien..... 258  
 的動(目的運動)困難症 Dysmetrie..... 461  
 滴下音 Geräusch des fallenden Tropfens..... 61  
 滴定法 Titrationsmethode..... 335  
 笛聲 Pfeifen..... 59  
 滴狀心臟 Tropfenherz..... 141  
 Desikkationsstadium..... 611

あ

Ainhoven の弦線電流計 106  
 壓迫過敏..... 198

壓迫雑音..... 73, 74  
 壓迫音..... 73  
 A B 型..... 399  
 Apoplexia sanguina..... 548  
 アニソン中毒..... 569  
 Anilinwasser 染色法..... 587  
 Adler 及 F. Reimann 比色検査法..... 267  
 アドレナリン..... 560  
 アトファン..... 351  
 アヂソン氏病 Morbus Addisonii..... 391, 559  
 アチドーゼの病的生理..... 293  
 アルコール性多發性神経炎 Polyneuritis alcoholica..... 554  
 アルファアナーナフトール (αNaphthol)..... 410  
 Arne'th 氏の現象..... 433  
 Albers-Schönberg 氏病..... 449  
 Alkaptonurie..... 323  
 アルカプトン尿症..... 328  
 アルカリ不變..... 305  
 アルカリ貯藏量 Alkalidepot..... 292  
 アルカリ性尿..... 319  
 アルカプトン尿..... 315  
 Aortenschmerz..... 178  
 アーガイル・ロバートソン (Argyll-Robertson) 徴..... 483, 551  
 壓覺Drucksinn..... 474  
 壓潰標本..... 238  
 アレルギー性皮膚炎..... 560  
 アレルギー性腸疾患..... 560  
 アレルギー性喘息..... 560  
 アレルギー Allergie..... 559  
 アレルギー性疾患..... 603  
 アレルギー性疾患の栄養實驗..... 605  
 壓痛..... 198  
 アラストリム Alastrim 611  
 Anaphylaxie..... 598  
 Auenbrugger 氏方法..... 27  
 Auenrieth 氏の比色計..... 409  
 aufgesetzte Herzdämpfung..... 172  
 Anopheles..... 618  
 握力計 Dynamometer..... 459  
 悪性肉芽腫..... 443

悪性貧血 perniziöse Anaemie..... 440  
 悪性腫瘍性貧血..... 440  
 悪液質性外觀..... 5  
 A 型..... 399  
 A 型肺炎..... 617  
 アテトーゼ様運動 athetische Bewegung 454, 525  
 Adenohypophyse..... 384  
 Aschner 氏 Bulbusdruckphänomen..... 84  
 Aschner 氏眼球壓迫試験 560  
 Aschheim-Zondek 氏の妊娠證明..... 385  
 壓迫雑音..... 195  
 アミーバ赤痢 Amoebendysenterie..... 627  
 アミド化合物..... 572  
 アミノピリン..... 352  
 アミノピリンによる潜血證明法..... 244  
 アミノ酸..... 327  
 アスコルビン酸 Ascorbinsäure..... 379  
 asphyxie locale symétrique des extrémités..... 562  
 アヒレス腱反射 Achillessehnenreflex..... 477  
 アンチフェブリン..... 351  
 アンチピリン..... 350  
 Antiformin 法..... 589  
 Angina ulcero-membranacea..... 623

さ・ざ

差閾 Unterschiedschwelle 474  
 細胞診斷法 Cytodiagnostik..... 135  
 細胞機能とオキシダーゼ 411  
 細胞検査の操作..... 135  
 細胞増多症 Pleocytose..... 136  
 再發 Rückfall (Rezidiv) 580  
 催涙瓦斯 (Chlorpikrin) 567  
 再感反應 Allergie..... 601  
 災害ヒステリー Unfallhysterie..... 562  
 採血操作..... 413  
 最高血壓 maximaler Blutdruck..... 115  
 最強點 Punctum maximum..... 69

再歸熱 Febris recurrens 583  
 再歸熱 Rückfallfieber Febris recurrens..... 614  
 細菌毒 Bakteriengifte..... 577  
 細菌尿症 Bakteriurie..... 279  
 再生不能性貧血 aplastische Anaemie..... 440  
 Seitz-Entkeimungsschichten..... 604  
 截癱 Paraplegie..... 458  
 臍部 Regio umbilicalis 16  
 Sa'omon 氏胃癌診斷法..... 216  
 Sa'omon 氏腹膜穿刺器..... 129  
 ザロール試験 Salolprobe 203  
 ザロール Salol..... 350  
 蹠跛言語 Silbenstolpern..... 490, 551  
 佐藤彰氏法..... 411  
 佐藤・關谷ベルオキシダーゼ反應..... 438  
 Sahli 氏表部濁音..... 30  
 Sahli 氏深部濁音..... 30  
 Sahli 氏ゲルトイード消化痰試驗..... 223  
 Sahli 氏のヘミン計..... 409  
 サリチール酸..... 350  
 Salmiaknebel..... 319  
 作用不能的障礙..... 522  
 左側性脚分離 linksseitiger Schenkelblock..... 108  
 雑音と心臓機能時期..... 69  
 殺菌物質..... 598  
 Sachs-Georgi 氏の析出反應..... 607  
 醋酸黄色血濾液試驗..... 321  
 醋酸..... 209  
 錯讀症 Paralexie..... 513  
 錯語症 Paraphasie..... 513  
 坐骨神經麻痺..... 547  
 坐骨神經痛 Ischias..... 554  
 鎖骨中央線 Medioclaviculärlinie..... 15  
 sagittale ventrodorsale Durchleuchtung..... 140  
 坐葉濁音界..... 172  
 左心室の肥大擴張..... 142  
 左心室形..... 107  
 左心室電流曲線..... 107  
 詐病 Simulation..... 280



滲濾雨液の特性…………… 133  
 酸化炭素…………… 567  
 酸化酵素反應  
   Oxydasenreaktion…………… 409  
 山嶽病 Bergkrankheit… 573  
 3 半規管性眼球振盪…………… 530  
 3 連脈 Pulsus trigeminus 109  
 3 又神經 Nervus trigeminus …… 540  
 3 又神經の運動部の麻痺 541  
 3 又神經の知覚部の麻痺 541  
 3 又神經の末梢性損傷… 541  
 3 又神經痛 Trigemineuralgie …… 554  
 3 又神經の中心路…………… 502  
 3 尖瓣の閉鎖不全…………… 174  
 3 尖瓣孔の狭窄…………… 174  
 サントニン中毒…………… 569  
 サントニン Santonin …… 351  
 3 頭膊筋麻痺…………… 545  
 殘餘窒素 Reststickstoff 297  
 替代性偏癱…………… 458  
 山羊聲 Ägophonie …… 63  
 酸素血症性型 oxyämische Form …… 169  
  
**き・ぎ**  
 奇異尿閉 Ischuria paradoxa …… 485  
 奇異横隔膜運動…………… 145  
 記録系統 Merksystem… 517  
 揮發性脂肪酸…………… 209  
 キニーネ…………… 350  
 企働振頭 Intentionzittern …… 452, 554, 461  
 企働強直 Intentionssrigidität…………… 457  
 起立性失調症 statische Ataxie…………… 460  
 起立性虚脱 Orthostatische Kollaps …… 168  
 起立性蛋白尿 Orthostatische Albuminurie…………… 320  
 キヌレン…………… 348  
 既往史 Anamnese…………… 1  
 基幹神経節 Stammganglien …… 498  
 氣管支検査 (bronchiale Testung) …… 603  
 氣管神経枝…………… 543

氣管枝喘息…………… 564  
 氣管枝喘息 Asthma bronchiale …… 184  
 氣管枝擴張症 Bronchiektasie…………… 182  
 氣管枝疾患の診断…………… 180  
 氣管枝膿漏 Bronchoblenorrhö …… 181  
 氣管枝及肺の悪性新生物 186  
 氣管枝狭窄 Bronchostenose…………… 182  
 氣管枝木 Bronchialbäume …… 123, 181  
 氣管枝肺炎 Bronchopneumonie…………… 183  
 氣管狭窄…………… 182  
 氣管枝音が病的に聴ゆる場所…………… 57  
 氣管枝填充物 Bronchialergüsse …… 123  
 氣管枝音 Bronchialatmen 56  
 氣管枝音の病的發生理論 56  
 氣管枝音の生理的發生… 56  
 氣餓 Lufthunger …… 119  
 氣管枝聲 Bronchophonie 62  
 期外收縮の診断…………… 81  
 期外收縮性不整 extrasystolische Unregelmäßigkeit…………… 79  
 期外收縮性周期的不整脈 109  
 機械的刺戟に對する動脈の反應…………… 85  
 胸骨部濁音…………… 47  
 胸骨線 Sternallinie …… 14  
 胸骨背野 retrosternales Feld …… 141  
 胸式呼吸 costale Atmung 118  
 胸振盪 Pectoralfremitus 83  
 胸鎖關節…………… 49  
 胸鎖乳頭筋の麻痺…………… 544  
 胸廓計 Kyrtometer …… 21  
 胸廓の左右半不同症…………… 23  
 胸廓 Thorax …… 20  
 胸腺 Thymusdrüse …… 390  
 胸腺淋巴腺體質 Status thymicolymphaticus …… 390  
 胸腺性喘息 Asthna thymicum …… 390  
 恐怖拘攣 Fruchtkontraktur…………… 444

恐怖狀態 Angstzustände 491  
 記憶綜合性障礙…………… 509  
 記憶力衰弱 Gedächtnisschwäche …… 492  
 協働中樞…………… 502  
 協働障礙…………… 460  
 共同偏視 konjugierte Deviation …… 520  
 共伴運動 Mitbewegung (Muskelsynergien) …… 455  
 強迫觀念 Zwangsvorstellung …… 492  
 強迫體位 Zwangshaltung 532  
 強迫運動 Zwangsbewegung …… 455, 532  
 強迫泣涕 Zwangswainen 455  
 強迫笑 Zwangslachen …… 455, 525  
 強直性痙攣 tonische Krämpfe…………… 455  
 強陽性淋巴球增多症 stark positive Lympholeucocytose …… 137  
 強打診 starke Perkussion 28  
 強剛 Rigidität …… 451, 524  
 強擧的 hebend …… 100  
 強直性不全麻痺性 spastisch paretisch …… 552  
 強直 Rigor…………… 451  
 硬直 Starrheit …… 451  
 強直性カタレプシー kataleptische Starre (Flexibilitas cerea) …… 452  
 虚脱 Kollaps…………… 76, 569  
 虚脱體温 Kollapstemperatur …… 582  
 極小抵抗力…………… 406  
 極大抵抗力…………… 406  
 極染色 Polfärbung …… 585  
 鋸齒狀核 Nucleus dentatus …… 498  
 鋸齒型 Hakenform …… 632  
 局所的筋炎 lokale Myositiden…………… 444  
 局所凍傷…………… 573  
 局所性絲絨體腎炎…………… 374  
 局所性腎炎 locale Nephritis …… 374  
 局所打診 Orthopercussion …… 34

局所微候…………… 579  
 局所性立體的線作用…………… 577  
 局部皮膚の黃疸的著色… 6  
 曲邊型 Trapezform …… 633  
 曲折方式 Meandermethode …… 420  
 狂犬病 Wutkrankheit (Lyssa) …… 624  
 響鳴性水泡音…………… 61  
 蟻蟲 Oxyuris vermicularis…………… 251  
 橈骨動脈波圖…………… 77  
 凝集反應 Agglutination 596  
 凝集素 Agglutinine 578, 596  
 凝集鏡 Agglutinoskop… 596  
 凝集試驗 Agglutinationsprobe …… 595  
 凝固性尿蛋白…………… 320  
 凝乳酵素…………… 209  
 橈屈性導管の挿管術… 281  
 橈骨神經 N. radialis …… 545  
 凝固時間測定…………… 396  
 恐水 Wasserscheu…………… 625  
 狹胸者 engbrüstige Männer …… 18  
 狭心症 Stenocardie …… 564  
 狭心症 Angina pectoris 176  
 狭心後心囊炎 postanginöse Pericarditis …… 176  
 臥狭心 Angina pectoris 167  
 巨人 Riesenwuchs …… 386  
 蟻走感 Kribbeln od. Ameisenlaufen (Formicatio) …… 476  
 基礎新陳代謝測定法…………… 296  
 基礎代謝曲線 Grundumsatzkurve …… 297  
 氣胸 Pneumothorax 148, 188  
 巨大性脂肪症 Lipomatosis gigantica 296  
 巨大有核赤血球 Megalerythroblast …… 428, 429  
 巨體發育型 Riesenwuchsform …… 18  
 巨人 Riesenwuchs…………… 18  
 魚骨消息子 Fischbeinsonde …… 194  
 境素 Grenzstrang …… 557  
 境界打診 Schwellenwertpercussion …… 28

基電流 Reobase…………… 469  
 基底線 Grundlinie…………… 106  
 逆蠕動 antiperistaltische Bewegung …… 201  
 Giemsa 染色…………… 424  
 Giemsa 染色法…………… 586  
 氣腹 Pneumoperitonäum 165  
 脚3角 Schenkeldreieck 610  
 脚分離 Schenkelblock… 108  
 ギャーランド氏3角形 Garlandsche Dreieck 39  
 偽膜性腸炎…………… 233  
 畸形性脊椎關節炎 Spondylarthrosis deformans …… 448  
 畸形骨關節炎 Osteoarthritis deformans …… 447  
 畸形性骨炎 Ostitis deformans …… 449  
 氣壓低下による疾患… 573  
 稀釋試驗…………… 363  
 稀釋力 Verdünnungsfähigkeit …… 363  
 器質的心雜音 organische Herzgeräusche …… 69  
 キサンチン Xanthin …… 357  
 奇癖 Pulsus paradoxus 84  
 稀脈 Bradycardie, Pulsus rarus …… 76  
 急性出血性貧血 acute Blutungsanaemie …… 439  
 急性多發性脊髄前角炎… 550  
 急性砒素中毒…………… 572  
 急性昇汞中毒…………… 571  
 急性磷中毒…………… 571  
 急性胸貧血 Anaemia cerebri acuta …… 549  
 急性多發性脊髄後角炎… 550  
 急性被害…………… 576  
 急性腸管閉塞 acuter Ileus …… 230  
 急性褥瘡 akuter Decubitus …… 487  
 急性膀胱炎 acute Pankreatitis …… 270  
 急性黃色肝萎縮 acute gelbe Leberatrophie… 274  
 急性腹膜炎 acute Peritonitis…………… 277  
 急性中毒の診断…………… 565

急性胃炎 Gastritis acuta 268  
 急性脊髓性小兒麻痺… 553  
 急性真正肺炎 acute genuine Pneumonitis… 182  
 急性氣管氣管枝炎…………… 180  
 急性感染性滲出液…………… 136  
 急性心筋炎 acute Myocarditis …… 175  
 急性假性尿毒症…………… 370  
 急性性紫斑病 Purpura fulminans …… 442  
 急性多發性關節ロイマチス…………… 446  
 Günther 氏病…………… 377  
 Günsburg 氏試薬…………… 205  
 Külz 氏圓嚙…………… 356  
 丘疹 Papel…………… 9  
 球狀心臟 Kugelherz… 142  
 求心性視野縮小 Konzentrische Gesichtsfeldverengerung …… 489  
 吸氣形呼吸困難 inspiratorische Dyspnoe… 120  
 吸氣性囉音 inspiratorische Rasseln …… 59  
 吸引法 Aspirationsmethode…………… 128  
 吸蟲類 Distoma…………… 253  
 弓分離 Bogenteilung …… 145  
 牛膽汁…………… 593  
 牛酪酸 Buttersäure …… 209  
 牛酪便 Butterstuhl …… 233  
 寄生蟲卵の證明法…………… 247  
 寄生蟲貧血…………… 440  
 寄生蟲性筋炎 parasitäre Myositis…………… 444  
 筋肉纖維 Muskelfaser …… 239  
 筋硬化症 Myogelose… 444  
 筋肉疾患…………… 444  
 筋覺 Muskelsinn …… 474  
 筋硬 Muskelhärte…………… 444  
 筋波 Muskelwogen …… 468  
 筋無力症性反應 myasthenische Reaktion …… 468  
 筋強直反應 myotonische Reaktion (Erb)…………… 468  
 筋自發性隆起 idiomuskulärer Wulst …… 457  
 筋性不全 musculäre Insuffizienz…………… 71



筋無力反應 myasthenische Reaktion ..... 556  
 筋皮神經 ..... 545  
 筋の低下緊張 ..... 451  
 筋の過緊張 ..... 451  
 筋萎縮性側索硬化症 amyotrophische Lateralsklerose ..... 552  
 筋靜系統 myostatisches System ..... 524  
 筋病性拘攣 myopatische Kontraktur ..... 451  
 筋強剛 ..... 525  
 筋隆起 Muskelwulst ..... 457  
 筋痛 Myalgien ..... 444  
 筋非靜的徵候群 Myasthasie ..... 524  
 筋力性錐體路 myodynamische Pyramidenbahn ..... 524  
 禽距裂溝 Fissura Calcarrina ..... 506  
 金屬性種痘針 Metaltupper ..... 595  
 金屬性導管の送込 ..... 281  
 金屬音樣聲 ..... 63  
 菌絲反應 Fadenreaktion ..... 594  
 菌蕈類中毒 ..... 569

ゆ

Yperite ..... 567  
 輸尿管の検査 ..... 282  
 油朝食 Oelfrühstück ..... 223  
 癒著性縦隔膜心囊炎 mediastinopericarditis adhaesiva ..... 177  
 癒著性漿液性膜炎 adhäsive seröse Meningitis ..... 549  
 遊離鹽酸 freie Salzsäure ..... 205  
 遊離尿酸 ..... 357  
 遊離鹽酸の定量 ..... 206  
 融解期 Resolutionsstadium ..... 183  
 游走肝 Wanderleber ..... 261  
 游走腎 Ren mobilis ..... 283, 376  
 有核赤血球 ..... 429  
 憂鬱型 depressive Form ..... 551  
 有鉤條蟲 Taenia solium ..... 248

め

迷走神經緊張症 Vagotomie ..... 84  
 迷走神經 Nervus vagus ..... 543  
 迷走神經麻痺 ..... 543  
 迷走神經不安症 ..... 560

め

Meningococcus intraculularis ..... 623  
 メニンギスムス Meningismus ..... 447  
 Mell氏法 ..... 210  
 Methylenblau 染色 ..... 423  
 Methylenazur ..... 424  
 メルシエーカテーテル Mercierkatheter ..... 281  
 メゾーサ頭 Caput Medusae ..... 13  
 Mellanin 尿 ..... 331  
 メランジュール Mélangeur ..... 416  
 メラニン含有尿 ..... 331  
 Müller-Barlow氏症 ..... 382, 442  
 眼の焼灼感 ..... 572  
 Mendel-Bechterew氏現象 ..... 479  
 免疫性 Immunität ..... 579, 596  
 綿馬エキス中毒 ..... 569

み

Myoklonische Zuckung ..... 525  
 3日熱 Tertiania ..... 617  
 3日熱寄生蟲 ..... 619  
 味覺障礙 Geschmacksstörung ..... 541  
 脈搏數 ..... 75  
 宮川氏小體 ..... 631  
 脈搏の重複 ..... 78  
 脈搏の觸診 ..... 75  
 脈搏の重複性 Dikrotie des Pulses ..... 78  
 脈搏の緊張度 ..... 77  
 脈搏過程の速さ ..... 76  
 脈波の描畫 ..... 77  
 脈波に現はるる期外收縮 ..... 80  
 脈高 Pulshöhe ..... 76  
 Mikrococcus melitensis Bruce ..... 626  
 脈幅 Pulsamplitude ..... 116  
 ミユセー氏徵候 Musselsches Zeichen ..... 173

Müller氏筋 ..... 483, 559  
 Müller-Schlecht 兩氏法 ..... 225  
 Mörner-Boas 氏法 ..... 206  
 Myelitis transversa ..... 552  
 Mintz-Fleiner 氏法 ..... 206

しじ

Siderosis pulmonum ..... 186  
 Sylvius 氏高動脈 ..... 493  
 Schick-Test ..... 624  
 Schizogonie ..... 618  
 Schichtenbildung ..... 233  
 Schistosomum haematobium japonicum ..... 254  
 時值 ..... 468  
 自發轉倒 ..... 531  
 視覺検査 ..... 488  
 視覺障礙 Sehstörung ..... 504  
 視覺導路の走路 ..... 504  
 視覺觀念中樞 optische Vorstellungscentren ..... 507  
 視覺的記憶像 optische Erinnerungsbild ..... 509  
 視覺性觸覺性失語症 optisch-taktile Aphasie ..... 515  
 視覺性認識缺如 optische Agnosie ..... 516  
 視覺導路(視放線) ..... 522  
 視放線 Radiatio optica ..... 506  
 視野 Gesichtsfeld ..... 488  
 視野計測器 Perimeter ..... 489  
 視野幻覺 Gesichtsfeldhallucination ..... 509  
 視紅素 ..... 380  
 視丘下域 Regio hypothalamica ..... 384  
 視丘 Thalamus ..... 498  
 視丘下體 Corpus subthalamicum (Luys) ..... 498  
 視丘下部 ..... 525  
 視丘 Thalamus opticus ..... 525  
 視神經萎縮 Sehnervenatrophie ..... 488, 551  
 視神經 ..... 504  
 視神經核 ..... 506  
 視神經牀下部 ..... 525, 558  
 視神經の不完全萎縮 ..... 540  
 視神經 Nervus opticus ..... 540  
 4丘背髓導路 Tractus tectospinalis ..... 498

指板打診法 Finger-Plessimeterpercussion ..... 27  
 指指打診 Fingerfingerpercussion ..... 27  
 脂肪尿 Lipurie ..... 331  
 脂肪消化酵素の證明法 ..... 227  
 脂肪標本 ..... 238  
 脂肪顆粒圓嚙 Fettkörnchenzylinder ..... 355  
 脂肪 Fett ..... 360  
 脂肪及リポイド ..... 354  
 脂肪性收斂物 ..... 125  
 脂肪代謝 ..... 526  
 脂肪症性生殖器萎縮 Dystrophia adiposogenitalis ..... 296  
 脂肪生殖器萎縮 ..... 527  
 脂肪症 Korpulenz ..... 295  
 脂肪肝 Fettleber ..... 273  
 脂肪生殖器性榮養障礙 ..... 386  
 シドナム氏舞蹈病 Sydenhamsche Chorea ..... 556  
 自家融解 Autolyse ..... 133  
 自家反射 Eigenreflex ..... 501  
 肢端巨大症 Akromegalie ..... 549  
 肢端異常知覺症 Akroparästhesie ..... 561, 563  
 濕性咳嗽 ..... 121  
 濕性喘息 Asthma humidum ..... 181  
 濕性羅音feuchte Rasseln ..... 60  
 實驗的轉倒 ..... 531  
 實驗的指示試驗 ..... 531  
 實驗的眼球振盪 ..... 550  
 刺戟累加 Summation der Reize ..... 472  
 刺戟閾 Reizschwelle ..... 474  
 紙匣音 Schachtelton ..... 181  
 紙匣響音 ..... 184  
 絲球體腎炎の慢性型 ..... 373  
 絲球體腎炎 Glomerulonephritis ..... 373  
 嗜眠病 Lethargie ..... 490  
 嗜眠状態 Somnolenz ..... 490  
 嗜眠症 Schlaftrunkenheit ..... 491  
 嗜眠性腦炎 Encephalitis lethargica ..... 616  
 指示錯誤 Vorbeizeigen ..... 529  
 指示試驗法 Zeigepfung ..... 531

指鼻試驗 Finger-Nasenversuch ..... 461  
 紫斑病症狀的 ..... 572  
 使用極量 Dosisgrenze ..... 577  
 Signum mali ominis ..... 181  
 始導下痢 einleitende Diarrhöe ..... 627  
 死相 Facies Hippocratica ..... 5  
 刺絡 Aderlass ..... 393  
 疾病診斷 ..... 3  
 4肢 Vierextremitäten ..... 20  
 姿勢 Stellung ..... 4  
 齒 ..... 191  
 齒齦 Zahnfleisch ..... 191  
 齒形形成 Zähnerung ..... 160  
 子痲性尿毒症 ..... 370  
 舌 Zunge ..... 191  
 失調症 ..... 460  
 失調性歩行 ataktischer Gang ..... 462  
 失調症の發起 ..... 461  
 失語症的障礙 ..... 509  
 失讀症 Alexie ..... 509  
 膝外翻 Genu varum ..... 20, 448  
 膝内翻 Genu valgum ..... 20, 448  
 膝踵重載法 Knehakenversuch ..... 460  
 膝蓋搖擗 Patellarklonus ..... 477  
 實質性肺氣腫 ..... 184  
 實質性腹部臓器のレ線透射觀察 ..... 165  
 子宮褐色斑 Cloasma uterinum ..... 8  
 趾皮反射 Zehenhautreflex ..... 478  
 色素形成細胞 Pigmentblasten ..... 7  
 色素癌 Pigmentearcinom ..... 331  
 色素期 Pigmentstadium ..... 576  
 色素新陳代謝 ..... 386  
 4角頭蓋 Caput quadratum ..... 448  
 Siereking 氏 Ästhesiometer ..... 473  
 自發的體溫調節 ..... 581  
 時相分析 ..... 634  
 書 Schriftzeichen ..... 510  
 書字了解 ..... 512  
 書字不能症 Agraphie ..... 516  
 書字失調 literale Ataxie ..... 551

書癩 Schreibkrampf ..... 562  
 消耗性顔貌 Facies hectica ..... 5  
 消退期捻髮音 Krepitatio dekrementi ..... 183  
 消盡型 Erschöpfungsformen ..... 561  
 消息子透入術式 ..... 194  
 硝子標圓嚙 hyaline Zylinder ..... 355  
 硝酸中毒 ..... 568  
 昇汞ネフローゼ ..... 372  
 條蟲 Bandwurm ..... 248  
 徐脈 Bradykardie ..... 560  
 常大有核赤血球 Normoerythroblast ..... 428  
 昇汞中毒 ..... 568  
 猩紅熱腎炎 ..... 373  
 猩紅熱 Scharlach, Skalatina ..... 608  
 猩紅熱血性連鎖狀球菌 ..... 609  
 猩紅熱實扶的里 ..... 609  
 職業ノイローゼ Beschäftigungsnervose ..... 562  
 職業疾患 ..... 571  
 食道の聽診 ..... 74, 195  
 食道検査 ..... 193  
 植物神經系統 ..... 557  
 植物性神經系統の病理 ..... 557  
 植物質毒 ..... 569  
 食菌現象 Phagocytose ..... 578  
 食菌數 phagocytäre Zahl ..... 597  
 食餌性糖尿 alimentäre Glykosurie ..... 227, 332  
 食餌性磷酸鹽析出尿 ..... 6  
 食餌性糖尿の實驗法 ..... 333  
 食物 ..... 284  
 食物の燃焼熱 ..... 285  
 食物脂肪症 Mastfetsucht ..... 295  
 食鹽試驗 ..... 363  
 食鹽計 Chloridmeter ..... 364  
 食品 Nahrungsmittel ..... 284  
 食品に對する過敏症検査 ..... 603  
 小兒型呼吸音 pueriles Atmen ..... 55  
 小兒貧血 ..... 440  
 小兒期佝僂病 infantile Rachitis ..... 448  
 少尿 Oligurie ..... 314  
 小泡性 kleinblasig ..... 60



小發作 petit mal ..... 564  
 小腸炎 Dünndarmstuhl 233  
 小腸炎 Dünndarmkatar-  
 rh ..... 271  
 小咳 Hüsteln ..... 121  
 少價尿 ..... 317  
 小腦性失調症 cerebellare  
 Ataxie ..... 461, 556  
 小腦性失調性歩行 cere-  
 bellarataktischer Gang 462  
 小腦 ..... 528  
 小腦橋脚腫瘍 ..... 530  
 小腦微候 ..... 532  
 小腦橋角腫瘍 Kleinhirn-  
 brückenwinkeltumor 549  
 小腦延髓槽 Cisterna  
 cerebello-medullaris ... 549  
 小腦性失調性症狀 ..... 572  
 小舞踏病 Chorea minor 552  
 小脈 Pulsus parvus ..... 76  
 小ベスト Pestis minor 629  
 小生殖體 Mikrogameten 619  
 小生殖體母細胞  
 Mikrogametocyten ... 619  
 上位性結節調律 ..... 109  
 上膊神經叢 ..... 544  
 消化管の聴診 ..... 74  
 消化吸収度検査 ..... 223  
 消化時白血球增多 Verd-  
 auungsleukocytose ... 455  
 上腿反射 Femoralreflex  
 (Remak) ..... 480  
 觸反射 Berührungsreflex  
 ..... 480  
 觸打診法 ..... 44  
 觸覺打診 Taatpercussion  
 ..... 28, 33  
 觸覺 Tastsinn ..... 472  
 觸覺性認識缺如 taktile  
 Agnosie ..... 516  
 上腹部 Epigastrium ..... 16  
 上腹部 ..... 16  
 上腹角 epigastrischer  
 Winkel ..... 21  
 上腹搏動 Epigastrialpu-  
 lsation ..... 101, 168  
 上腹壓點 epigastrischer  
 Druckpunkt ..... 202, 269  
 上行結腸部 .....  
 Ascendensteil ..... 16

上行性急性多發神經炎... 554  
 上行型 Ascendentypus 232  
 上替代性半身不隨  
 Hemiplegia alternans  
 superior ..... 528  
 上臂神經 ..... 547  
 上肢運動神經導路 ..... 522  
 上皮圓窩 Epithelcylinder 355  
 上皮細胞 ..... 241  
 上皮性腎疾患 Nephrose 371  
 上皮性腎疾患と血管性腎  
 疾患との鑑別目標 ..... 366  
 初感染 Primäraffect 148, 622  
 初期發疹 initialer  
 Ausschlag ..... 609  
 初期病變 ..... 184  
 初期動搖 Anfangssch-  
 wankung ..... 106  
 靜脈音 Venenton ..... 74  
 靜脈陷凹 Venenkollaps 77  
 靜脈脈波圖  
 Venenpulskurve ..... 94  
 靜脈血壓  
 Venenblutdruck ..... 116  
 靜脈穿刺 Venenpunktion 394  
 漿性喀痰 ..... 122  
 漿性滲出液 seröse  
 Exsudat ..... 133  
 漿性膿性氣胸 sero-  
 pyopneumothorax ... 189  
 漿纖維性結核性滲出液  
 serofibrinöse Exsudat 136  
 漿液性氣管枝漏 ..... 181  
 常下體溫 subnormale  
 Temperatur ..... 584  
 常體溫 ..... 582  
 常態最高血糖量 ..... 288  
 常態筋肉の緊張度 ..... 451  
 所覺誤謬 Lokalisations-  
 fehler ..... 472  
 所覺 (Lokalisation des  
 Tasteindrucks) ..... 472  
 燒灼疼痛 brennender  
 Schmerz ..... 176  
 踵位歩行 Hackengang... 548  
 助産姿勢 Geburtshelfer-  
 stellung ..... 457  
 照射野 ..... 577  
 ショック Shock ..... 574  
 松果腺 Epiphyse ..... 387

Schizonten ..... 619  
 斜方透射 schräge  
 Durchleuchtung ..... 141  
 斜方觸診法 schräge  
 Palpation ..... 197  
 斜頸 Torticollis ..... 444  
 シヤルコーライデン氏結  
 晶 Sharcot-Leydensche  
 Krystalle ..... 125  
 煮沸試験 Kochprobe ... 321  
 弱打診 ..... 28  
 弱オパール Schwach  
 Opaleszenz ..... 135  
 弱陽性淋巴球增多症 ..... 137  
 尺骨神經 N. ulnaris ... 546  
 遮光眼臉反射  
 Blendungslidreflex ... 480  
 射精中樞 ..... 486  
 重複攝影法  
 Polysographie ..... 159  
 重複感染  
 Doppeltinfektion ..... 617  
 集積被害 Kummulations-  
 schäden ..... 576  
 受動的免疫 passive  
 Immunisierung ..... 578  
 住宅アレルゲン  
 (Wohnungsallegen) 603  
 出血後貧血 posthaemor-  
 rhagische Anämie ..... 439  
 蠢動型 Wühlenform ... 633  
 春情風發症 ..... 527  
 銹斑 Locus caeruleus ... 502  
 十二指腸ポンプによる  
 Einhorn 氏法 ..... 224  
 十二指腸炎 Duodenitis 271  
 十二指腸潰瘍  
 Duodenalgeschwür ... 269  
 十二指腸鞘影  
 Duodenalkappe ..... 155  
 十二指腸蟲 Ankylostoma 251  
 手中樞 Handcentrum ... 510  
 手伸展筋弱 ..... 571  
 縱隔竇腫瘍 Mediastinal-  
 tumor ..... 186  
 縱隔竇疾患 ..... 186  
 縱隔竇心囊炎 Mediastin-  
 opericarditis ..... 101  
 嗅感幻覺 ..... 488  
 嗅覺検査 ..... 488

嗅覺脫出 Anosmie ..... 539  
 嗅神經 Nervus olfactorius 539  
 腫瘍狀の發育を替む白血  
 病 ..... 442  
 種痘癍痕 Impfnarbe ..... 8  
 自動性免疫 aktive  
 Immunisierung ..... 578  
 終纖維 Conus terminalis 131  
 重複心音 verdoppelte  
 Herztöne ..... 67  
 重症假性筋弛緩症  
 Myasthenia gravis  
 pseudo paralytica ..... 468  
 重合含炭素 polymer-  
 isierte Kohlenhydrat 332  
 腫脹加答兒  
 Schwellungskatarrh ... 211  
 充實係數 Index der  
 Körperfülle ..... 18  
 充滿波 Füllungswelle ... 97  
 充實缺損 Füllungsdefekt 159  
 充血期 Stadium der  
 Anschoppung ..... 183  
 蓆酸 Oxalsäure ..... 358  
 蓆酸尿 ..... 347  
 侏儒 Zwergwuchs ..... 18  
 Schmidt 氏昇承證明法 ... 245  
 Schmidt 氏 Sudan III ... 241  
 Schmidt-柏戸氏法 ..... 223  
 Schmidt-Strasburger 氏試  
 驗食 ..... 239, 246  
 Schwache positive Lym-  
 phocytose ..... 137  
 Schulze 氏の新變法 ..... 410  
 Schweissfriesel ..... 10  
 Schüffnertüpfelung ..... 429  
 週期4肢麻痺 periodische  
 Lähmung ..... 556  
 收縮性吹奏性雜音  
 systolisches blasendes  
 Geräusch ..... 171  
 收縮期性震動  
 systolisches Schwirren 173  
 收縮性陷凹 ..... 97  
 收縮期陷凹 systolische  
 Einziehung ..... 100, 177  
 收縮期前驅雜音 präsy-  
 stolisches Geräusch ... 67  
 收縮期前驅音 Praesysto-  
 lischer Ton ..... 67

收縮期先驅雜音 ..... 69  
 收縮期橫徑 ..... 632  
 收縮先驅波 praesystoli-  
 sche Welle ..... 96  
 純清心音 reine Herztöne 65  
 純聽覺性失語症 ..... 514  
 循環期的蛋白尿 Cykli-  
 sche Albuminurie ..... 320  
 Seherer 氏法 ..... 322  
 心搏頻數症 Tachycardie 76  
 心房鼓動 Vorhofflattern  
 ..... 82, 102, 112  
 心房性期外收縮 ..... 80  
 心房フリムメルン  
 Vorhofflimmern  
 ..... 81, 108, 112  
 心房頻搏症 ..... 82  
 心房波 Vorhofwelle ..... 96  
 心房栓寒症 Vorhofpro-  
 pfung ..... 93  
 心房性心室收縮頻數症... 112  
 心房期外收縮  
 Vorhofextrasystole ... 109  
 心室性不整  
 Sinusarythmien ..... 83  
 心突動 Herzstoss ..... 99  
 心突動の位置の決定 ..... 99  
 心音の聴診 ..... 64  
 心音の源泉 ..... 64  
 心音の聴診部位 ..... 65  
 心臓のレ線キモグラム ..... 632  
 心臓抑制纖維 ..... 543  
 心臓の打診 ..... 41  
 心臓の境界打診法 ..... 44  
 心臓雜音發生の理論 ..... 68  
 心臓雜音の診斷 ..... 69  
 心臓電流曲線 elektrische  
 Herzstromkurve ... 103, 106  
 心臓近接部に於ける心臓  
 收縮期搏動 ..... 101  
 心臓内腔性雜音 endocar-  
 diales Herzgeräusch... 68  
 心臓に異常なくして起る  
 心音の衰弱 ..... 65  
 心臓内腔炎  
 Endocarditis ..... 169  
 心臓濁音界の生理的變化 44  
 心臓濁音界の病的變化... 45  
 心臓の聴診 ..... 64  
 心臓背野 ..... 141

心臓に異常なくして起る  
 心音の増強 ..... 65  
 心臓電流曲線分解要項... 107  
 心臓肝脈 Herzschiele 176  
 心臓に於ける刺戟走程と  
 電流曲線とに就て ..... 106  
 心臓腎性喘息  
 Cardiorenale Asthma 374  
 心臓性喘息 Asthma  
 cardiale ..... 120, 167  
 心臓横隔膜角 Herzzer-  
 chfellwinkel ..... 145  
 心臓横隔膜角 ..... 140  
 心臓ノイローゼ  
 Herzneurose ..... 169  
 心臓の瓣膜病 ..... 170  
 心臓瓣膜病細胞  
 Herzfehlerzellen ..... 125  
 心臓電流曲線の梗概 ..... 103  
 心囊摩擦音 ..... 72  
 心囊水腫 Hydropericard  
 ..... 12  
 心囊外摩擦音 ..... 72  
 心囊穿刺 ..... 128  
 心囊炎心囊 ..... 144  
 心囊炎 ..... 176  
 心囊摩擦音  
 Pericardialreiben ..... 176  
 心囊癒著 ..... 177  
 心囊氣腫 Pneumoperi-  
 card ..... 177  
 心室性期外收縮 ..... 80  
 心室收縮回數減少症  
 Bradycardie ..... 109  
 心室搏動頻數症  
 Tachycardie ..... 109  
 心室自働 Kammerauto-  
 matie ..... 83  
 宦官様型 Eunuchoiden-  
 typus ..... 391  
 宦官 Eunuchen ..... 391  
 心尖突動の廣袤 ..... 100  
 心尖突動描畫 ..... 101  
 心尖突動線 Herzspitzen-  
 stosslinie ..... 99  
 心尖突動 Herzspitzen-  
 stoss ..... 99  
 心尖突動の強さ ..... 100  
 神經性磷酸鹽析出尿 ..... 347  
 神經性血管障礙 ..... 180



神経痛 Neuralgien ..... 554  
 神経纖維腫症  
   Neurofibromatosis ..... 550  
 神経衰弱 Neurasthenie  
   (Psychoasthenie) ..... 561  
 神経性膀胱疾患 ..... 280  
 神経病性骨鬆粗症 neur-  
   opatische Osteoporose 448  
 神経症状再發 Neurore-  
   zidiv ..... 551  
 神経病性關節疾患 ..... 448  
 神経筋炎 Neuromyositis 444  
 腎臓結石 Nierenstein 376  
 腎臓疾患時の眼底變化 369  
 腎臓の機能検査 ..... 361  
 腎臓疾患貧血 ..... 440  
 腎臓の觸診 ..... 283  
 腎臓周囲結締織炎 ..... 376  
 腎臓腫瘍 ..... 376  
 腎臓水腫 Hydronephrose 376  
 腎臓梗状梗塞 Nierenin-  
   farkt ..... 375  
 腎性糖尿 renales  
   Glykosurie ..... 292  
 腎性浮腫 renales Oedem  
   ..... 7, 366  
 腎盂腎炎 Pyelonephritis 376  
 腎盂炎 Pyelitis ..... 376  
 腎硬化 Nephrosklerose 373  
 腎結石症 Nephrolithiasis  
   ..... 346  
 腎腫腫 ..... 376  
 腎上皮 ..... 354  
 腎疾患の2-3の成果状態  
   に就て ..... 366  
 深達觸診法 Tiefenpalpa-  
   tion ..... 197  
 深在知覚の検査 ..... 474  
 深在知覚 Tiefensensi-  
   bilität ..... 474  
 深部心臓濁音界 tiefe  
   Herzdämpfung ..... 43  
 深部被害 Tiefenschäden  
   ..... 576  
 振幅 ..... 632  
 振顫 Zittern (Tremor) 452  
 振顫麻痺 Paralysis  
   agitans ..... 452, 453  
 振顫譫妄 Delirium  
   tremens ..... 554

振水音 Plütschern ..... 74  
 振顫歩行 zitternder  
   Gang ..... 463  
 滲出液 Exsudat ..... 132  
 滲出性心囊炎 Pericard-  
   itis exsudativa ..... 176  
 滲出性肋膜炎 Pleuritis  
   exsudativa ..... 186  
 眞性腎性蛋白尿 ..... 320  
 眞正癲癇 genuine  
   Epilepsie ..... 564  
 眞性狼瘡 Lupus vulgaris  
   ..... 9  
 眞正赤血球過多症  
   Polycytämia vera ..... 441  
 眞性骨髓腫 ..... 443  
 眞性慢性尿管毒症 echte  
   chronische Urämie ... 370  
 人類チエルコモナス  
   Cercomonas hominis 255  
 人格分裂症  
   Schizophrenie ..... 561  
 人體調節装置 ..... 580  
 蕁麻疹 ..... 560  
 尋常赤血球 Normo-  
   erythrocyt ..... 428  
 尋常胃運動 ..... 200  
 尋常胸圍者 normalbrüs-  
   tige Männer ..... 8  
 蕁麻疹 Urtica ..... 9  
 尋常胸のレ線映像 ..... 140  
 尋常脈波圖の説明 ..... 78  
 尋常動脈音 ..... 73  
 尋常胸形 ..... 20  
 進行性麻痺 Paralysis  
   progressiva ..... 551  
 進行性球麻痺 progressive  
   Bulbärparalyse ..... 551  
 進行性レンズ核變性 ..... 525  
 進行性筋萎縮症  
   Dystrophia muscularis  
   progressiva ..... 555  
 伸展疼痛  
   Dehnungsschmerz ..... 555  
 伸展性水泡音  
   Entfaltungsrasseln ... 183  
 伸展痙攣 Streckkrampf 456  
 新陳代謝障礙 ..... 526  
 新生液溜液 ..... 136  
 身體表面の局所線被害 ..... 577

ひ・び

Biff-Brocks 氏血液凝固  
   計 ..... 397  
 Pick 死徴 ..... 619  
 ビロカルピン ..... 561  
 皮反應 Cutanreaktion ... 593  
 肥胖症 Fettsucht ..... 295  
 肥胖細胞 Mastleukoeyten  
   (Basoleukoeyten) ..... 434  
 ヒボクラテス震水音 Suc-  
   cussio Hippocratis 61, 189  
 ヒボクラテス顔貌 Facies  
   hippocratica ..... 5  
 Hypophysin ..... 385  
 hypophysärer Zwerg-  
   wuchs ..... 386  
 皮包 Kapsel ..... 620  
 被動的體位 passive Lage 4  
 被動性拘攣 passive  
   Kontraktur ..... 451  
 被動性の検査 ..... 451  
 非等調液に對する赤血球  
   の抵抗力の測定 ..... 405  
 非調節型 dyskinetisch-  
   spastische Form ..... 232  
 Pirquet 氏皮反應 ..... 601  
 Hirschsprungische  
   Krankheit ..... 273  
 Bürker 氏計室 ..... 417  
 Biermer 氏打響變換 ..... 41  
 比較濁音 relative  
   Dämpfung ..... 30  
 比較打診 vergleichende  
   Percussion ..... 34  
 比較心臓濁音界 relative  
   Herzdämpfung ..... 43  
 非觀血法による測定法 ..... 115  
 被殻 Putamen ..... 493  
 皮下淋巴腺 ..... 13  
 病的ケトーシス Patho-  
   logische Ketosis ..... 294  
 病的排尿 ..... 485  
 病的に肝臓の濁音界が狭  
   小となる場合 ..... 48  
 病的期外收縮 ..... 80  
 病的横隔膜運動 ..... 145  
 病的欲望 krankhafte  
   Triebe ..... 492  
 病的動脈音 ..... 73

病的呼吸性不整 ..... 84  
 病原試驗 Pathogenitäts-  
   versuch ..... 594  
 氷點降下 Gefrierpun-  
   kterniedrigung ..... 317  
 氷點上昇尿  
   Hypersthenurie ..... 317  
 氷點降下尿 Hypostenurie 317  
 表情硬化症 mimische  
   Starre ..... 525  
 表在知覺 Oberflächen-  
   sensibilität ..... 472  
 表部心臓濁音界 Oberflä-  
   chlichendämpfung ... 42  
 標準血清 ..... 400  
 猫喘音 ..... 172  
 病勢再進 Rekrudescenz 579  
 Chondrodystrophie ..... 386  
 肥天性汎發性甲状腺腫  
   Struma diffusa  
   hyperplastica ..... 333  
 脾脱疽 Milzbrand  
   (Anthrax) ..... 624  
 脾脱疽菌敗血症 ..... 624  
 脾脱疽疔 Milzbrandkar-  
   bunkel ..... 624  
 比例胸圍 proportioneller  
   Brustumfang ..... 18  
 砒素 Arsen ..... 350  
 砒素麻痺 ..... 572  
 砒素神經炎 Arsenneuritis  
   ..... 572  
 砒素中毒 ..... 563  
 非組織性沈澱物よりなる  
   圓嚢 ..... 356  
 脾臓の診察 ..... 265  
 脾臓の機能検査法 ..... 266  
 脾臓破裂 Milzruptur ... 277  
 脾臓の打診 ..... 49  
 泌尿器結核 Urogenital-  
   tuberculose ..... 279  
 Pituitrin ..... 385  
 Pituglandol ..... 385  
 筆談(書) Schriftsprache  
   ..... 510, 515  
 筆談障礙 ..... 515  
 微熱 subfebrile Tempe-  
   ratur ..... 582  
 皮内検査 intrakutane  
   Prüfungen ..... 604

皮内試験 intracutane  
   Probe ..... 601, 603  
 糜爛 Erosionen ..... 10  
 ビクノメータ ..... 395  
 ビヤノ演奏痙攣 ..... 562  
 百日咳菌 Keuchhusten-  
   bacillus ..... 624  
 百日咳 Keuchhusten  
   (Pertusis) ..... 624  
 彌散加速 Diffusions-  
   beschleunigung ..... 578  
 非血壓亢進性腎炎 ..... 373  
 脾梗状梗塞 Milzinfarkt 277  
 皮膚裂瘡 Rhagade ..... 10  
 皮膚の痲痕 Hautnarbe ... 8  
 皮膚單位量 Hautein-  
   heitsdosis (HED) ..... 577  
 皮膚硬化症 Sklerodermie 563  
 皮膚に於ける異常色素の  
   沈著 ..... 7  
 皮膚電覺 elektrocutane  
   Sensibilität ..... 473  
 皮膚亂切法 Skarifika-  
   tionsmethode ..... 604  
 皮膚の濕度 Feuchtigkeit  
   der Haut ..... 10  
 皮膚及皮下組織の氣腫 ..... 12  
 皮膚の異常發赤 ..... 6  
 皮膚の充張及彈力 ..... 11  
 皮膚の黃疽的著色 ..... 6  
 皮膚の蒼白 Blässe der  
   Haut ..... 5  
 皮膚の望診 ..... 5  
 皮膚及皮下組織の浮腫 ..... 11  
 皮膚糜爛性瓦斯 ..... 567  
 皮膚紋畫症 Dermogra-  
   phismus ..... 560  
 皮膚出血 Hautblutung 8  
 非鎮響性咳嗽 ..... 121  
 飛行病 Fliegerkrankheit 573  
 非鼓音 atympanischer  
   Schall ..... 30  
 肥厚性胃炎 Gastritis  
   hypertrophicans ..... 211  
 非器質的心臓障礙 ..... 169  
 皮筋炎 Dermatomyositis 444  
 非凝固性ビュレット反應  
   與性蛋白 ..... 323  
 非組織性沈澱物 nichtor-  
   ganisierte Sedimente 352

非響鳴性水泡音  
   klanglose Rasseln ..... 61  
 ビュレット反應 Biuret-  
   reaktion ..... 321  
 皮盲症 Rindenblindheit 508  
 Chymosin の證明 ..... 210  
 非生殖性分裂 ungeschle-  
   chtliche Teilung ..... 618  
 比色定量法 kolorimetri-  
   sche Bestimmung ..... 339  
 比色定量法 ..... 378  
 尾狀核 Nucl. caudatus ... 498  
 非自家反射 Fremdreflex 501  
 皮疹 Exanthema  
   (Eflorescenz) ..... 9  
 脾腫 ..... 617  
 脾周囲炎 Perisplenitis ... 277  
 皮質中樞外失語症 trans-  
   corticale Aphasien ... 515  
 皮質下性純運動性失語症  
   ..... 514  
 皮質延髓導路 ..... 522  
 皮質性失明症 ..... 508  
 皮質性耳聾  
   Rindentaubheit ..... 509  
 皮質性知覺障礙 ..... 504  
 皮質性眼瞼麻痺 corticale  
   Ophthalmoplegie ..... 520  
 皮質痙攣 Rindenkrämpfe  
   ..... 456, 498  
 皮質脊髓導路 ..... 522  
 飛箭音 Schnurren ..... 59  
 ヒステリー性拘攣 ..... 452  
 ヒステリー球 Globus  
   hystericus ..... 562  
 ヒステリー性標徴  
   hysterische Stigmen ... 562  
 ヒステリー Hysterie 475, 562  
 ヒスタミン Histamin ... 208  
 Bismarkbraun ..... 587  
 頻數脈 Pulsus frequens 76  
 貧血 Anämie ..... 439

も

Moore 氏檢出法 ..... 334  
 Morbus Gravesii ..... 388  
 Morgagni-Adams-Stokes  
   sche Krankheit ..... 83  
 Morgagni-Adams-Stokes 氏  
   發作 ..... 169



モルガグニー・アダムス  
 ストークス氏病 ..... 83  
 モルフキン中毒 ..... 569  
 毛様神経節 Ganglion  
 ciliare ..... 481  
 毛様體脊髄中樞 Centrum  
 ciliospinale ..... 482  
 毛管ピクノメータ ..... 395  
 Mossosche Ergograph ..... 459  
 Monocyten ..... 432  
 網狀物 Substantia  
 reticulosa ..... 426  
 網狀織内被細胞系の機能  
 検査 ..... 267  
 毛細血管脈搏 ..... 98  
 毛細血管の麻痺 ..... 572  
 毛細血管脈搏 ..... 98  
 毛細管中毒症 ..... 442  
 毛細気管枝炎 kapilläre  
 Bronchitis ..... 181  
 毛細管脈搏 Kapillarpuls 173  
 模寫 Abschreiben ..... 512  
 毛皮感 Pelzigsein ..... 476  
*Monro-Richter* 氏線 ..... 129

せ・せ

成熟白血球の呼稱 ..... 419  
 成果器官 Erfolgs-  
 organe ..... 557  
 生人動脈の反應 ..... 85  
 成人型 adulte Form ..... 556  
 聲音震頭 Stimmfremitus 63  
 聲音震頭の衰弱する場合 63  
 聲音震頭が強くなる場合 63  
 聲音の衰弱 ..... 62  
 聲音の聴診 ..... 62  
 聲音の増強 ..... 62  
 整正脈 Pulsus regularis 76  
 精蟲 Sperma ..... 356  
 生理的ケトーシス ..... 294  
 生理的使用果 physiologi-  
 scher Nutzeffekt ..... 286  
 生理的蛋白尿 physiologi-  
 sche Albuminurie ..... 320  
 正常心臓電流曲線 ..... 107  
 正常赤血球 ..... 427  
 正常調律に於ける心臓電  
 流曲線の諸變化 ..... 107  
 正中神経 ..... 545  
 正中腋窩線 Axillarlinie 15

生殖器別出脂肪症  
 Eunuchenfettsucht ..... 296  
 青色病 Morbus caeruleus 175  
 精神薄弱 Debilität ..... 492  
 精神反射 Psychoreflex ..... 482  
 青酸 Cyanwasserstoff-  
 säure HCN ..... 569  
 青酸カリ (KCN) ..... 569  
 生活機能抑制的 ..... 577  
 生活破壊的 ..... 577  
 精蟲缺如 Azoospermie ..... 576  
 西洋椛蓋形 ..... 320  
 世古口氏解脈波描器 ..... 94  
 世代交替 Generations-  
 wechsel ..... 617  
 舌運動障礙 ..... 570  
 舌運動神経導路 ..... 592  
 舌下神経 Nervus hypo-  
 glossus ..... 544  
 舌咽神経 Nervus glosso-  
 pharyngeus ..... 543  
 接合体 Amboceptor 578, 598  
 頰類側脱色 temporale  
 Abblassung ..... 489  
 頰類葉 ..... 520  
 攝護腺肥大症 Prostata-  
 hypertrophie ..... 278  
 接觸作用 katalytische  
 Wirkung ..... 243  
 切々肺胞音 saccadiertes  
 Atmen ..... 55  
 絶對濁音 absolute  
 Dämpfung ..... 30  
 絶縁現象 Isolierungs-  
 erscheinung ..... 504  
 絶對心臓濁音界 absolute  
 Herzdämpfung ..... 42  
 節狀知覚配置 segmentale  
 Sensibilitätsverteilung 499  
 節狀知覚 ..... 499  
 切々肺胞音 sakkadier-  
 tes Vesikuläratmen ..... 55  
 雪片肺 Schneeflocken-  
 lunge ..... 186  
*Seliwanoff* 氏の尿中果糖  
 の證明 ..... 342  
 舌壓子 Zungenspatel ..... 190  
 舌苔 Zungenbelag ..... 193  
*Schönlein* 氏紫斑病 ..... 442  
 Cercaria ..... 255

siegend ..... 69  
 石灰痛風 Kalkgicht ..... 445  
 石灰沈著肺 Chalicosis  
 pulmonum ..... 186  
 石灰板 Kalkplatte ..... 178  
 石灰過多尿 Kalkariurie  
 ..... 345, 347  
 石炭酸 ..... 351  
 石炭酸中毒 ..... 569  
 石棉沈著肺 Asbestose  
 der Lunge ..... 186  
 赤色高血圧症  
 rote Hypertonie ..... 180  
 脊柱側彎症 Skoliose ..... 19  
 脊柱前彎症 Lordose ..... 19  
 脊柱線 Vertebrallinie ..... 15  
 脊柱 Wirbelsäule ..... 19  
 脊柱後彎症 Kyphose  
 (*Pottsscher Bucker*) ..... 19  
 脊椎炎 Spondylitis ..... 448  
 脊髓半側截斷  
 Halbseitenläsion des  
 Rückenmarks ..... 500  
 脊髓横断面に於ける知覚  
 路 ..... 500  
 脊髓視丘導路 ..... 501  
 脊髓性失調症 spinale  
 Ataxie ..... 501  
 脊髓小脳索 Tr. spinocoe-  
 rebellaris ..... 500  
 脊髓反射弓 ..... 500  
 脊髓癆 ..... 475  
 脊髓毒性排尿障礙 ..... 486  
 脊髓性筋萎縮 spinale  
 Muskelatrophie ..... 454  
 脊髓性アタキシー ..... 556  
 脊髓後角症 ..... 553  
 脊髓前角灰白質炎 Polio-  
 myelitis anterior acuta 553  
 脊髓性進行性筋萎縮症  
 spinale progressive  
 Muskelatrophie ..... 552  
 脊髓癆 Tabes dorsalis ..... 552  
 脊髓空洞症  
 Syringomyelie ..... 539, 553  
 脊髓節診断 Segmentdia-  
 gnose des Rücken-  
 marks ..... 539  
 脊髓膠様變性症 Gliosis  
 spinalis ..... 539

脊髓神經 ..... 544  
 脊髓炎 Myelitis ..... 552  
 脊髓分離 spinaler Block 549  
 脊髓神經節 Ganglion  
 spinale ..... 534  
 脊髓錐 Conus terminalis 534  
 脊髓 ..... 534  
 脊髓液腔撮影  
 Myelographie ..... 164  
 脊髓圓錐 Conus medul-  
 laris ..... 131  
 赤血球の直径測定 ..... 402  
 赤血球沈降速度の測定 ..... 402  
 赤血球芽細胞 Erythro-  
 cytoblast ..... 428  
 赤血球の大きさの變化 ..... 429  
 赤血球染色性の變化 ..... 429  
 赤血球變形症 Poikilo-  
 erythrocytose ..... 429  
 赤血球数の變化 ..... 428  
 赤血球減少症 Oligo-  
 erythrocythämie ..... 428  
 赤血球過多症 Polycy-  
 tämie (*Erythrämie-Hir-  
 schfeld*) ..... 441  
 赤血球増多症 Erythro-  
 cytose (Polyglobulia) 428  
 赤血球大小症 Anisoery-  
 throcytose ..... 429  
 赤血球 Erythrocyten ..... 353  
 赤血球の算定 ..... 414  
 赤血球圓錐 Erythro-  
 cytenzylinder ..... 355  
 赤血球増多症 Polyery-  
 throcytämie ..... 136  
 赤核 Nucl. ruber ..... 498  
 赤核脊髄導路 Tractus  
 rubrospinalis ..... 498  
 赤痢性假性ロイマチス  
 tuberculöser Pseudo-  
 rheumatismus ..... 447  
 赤痢 Dysenterie (Ruhr) 626  
 赤痢アミーバ Amoeba  
 dysenteriae ..... 258  
 析出反應 Ausflockungs-  
 reaktion ..... 607  
 纖維痙攣 fibrilläre  
 Zuckungen ..... 454  
 纖維性骨炎 Ostitis  
 fibrosa ..... 449

纖維索性痙攣 fasciculäre  
 Zuckungen ..... 454  
 纖維索性肺炎 fibrinöse  
 Pneumonie ..... 619  
 纖維脫血液 defibrinier-  
 tes Blut ..... 394  
 纖維索性氣管枝炎  
 fibrinöse Bronchitis 181  
 纖維索性肺炎 fibrinöse  
 Pneumonie ..... 182  
 前頭腦性失調症 Stirn-  
 hirnataxie ..... 549  
 前頭腦 ..... 549  
 前頭腦橋導路 ..... 522  
 前頭視丘導路 ..... 522  
 前驅的下痢 Prämoni-  
 torische Diarrhöe ..... 627  
 前驅期 Prodromalsta-  
 dium ..... 584  
 前驅期 Stadium prodro-  
 marum ..... 579  
 前驅期 Vorstadium ..... 579  
 前驅發疹 Prodromalex-  
 anthem ..... 610  
 前庭脊髄導路 Tractus  
 vestibulospinalis ..... 498  
 前庭性痙攣 Epilepsia  
 procursiva ..... 564  
 前腋窩線 Linea axillaris  
 anterior ..... 15  
 前側索 Vorderseiten-  
 strang ..... 501  
 前神經纖維 ..... 557  
 前正中線 Linea mediana  
 anterior ..... 14  
 前形骨髓球 Promyelo-  
 leukocyten ..... 434  
 前庭脊髄路 Vestibulosp-  
 nale Bahn (*Deitersche  
 Bahn*) ..... 535  
 前額透射法 frontale  
 Durchleuchtung ..... 140  
 尖端巨大症性頭蓋 akro-  
 megalischer Schädel ..... 19  
 尖端巨大症 Akromegalie  
 ..... 386, 487  
 尖端チアノーゼ  
 Akrocyanose ..... 5  
 尖端知覚異常 Akroparä-  
 sthesie ..... 487

先端矮小症 Akromikrie 386  
 尖型心臓 Spitzherz ..... 141  
 尖椎 Vertebra prominens  
 ..... 14  
 尖足 Spitzenfuss ..... 547  
 尖棘型 spitziige Form ..... 633  
 先天性心臓障礙 angebor-  
 ener Herzfehler ..... 143  
 先天性心臓病 ..... 175  
 先天性筋強直症 Myoto-  
 nia congenita ..... 457, 556  
 先行反應 Vorreaktion ..... 576  
 潜伏期 Inkubationssta-  
 dium ..... 584  
 潛血證明 ..... 242  
 潜水夫病 Taucher-  
 krankheit ..... 573  
 潛原性尿崩症 ..... 377  
 全身浮腫 Hydrops  
 anasarca ..... 12  
 全身黃疸 ..... 7  
 全身石灰化症 Calcinosis  
 universalis ..... 444  
 全身徵候 ..... 579  
 全偏癱 totale Hemiplegie 458  
 全般被害 ..... 577  
 全側搏動 allseitige  
 Pulsation ..... 101  
 全眼筋麻痺 Ophthalmo-  
 plegia totalis ..... 544  
 全失語症 totale Aphasie 514  
 全半盲症 totale  
 Hemianopsie ..... 507  
 染色乾燥標本の検査 ..... 585  
 薦骨神經叢 ..... 547  
 薦骨癒合 Sakralisation ..... 448  
 栓塞性軟化 ..... 548  
 栓塞性局所性腎炎 ..... 374  
 線蟲類 Nematoden  
 (Spulwürmer) ..... 250  
 線狀體 Striatum ..... 498  
 線狀體血液症候 ..... 411  
 線狀原因性 ..... 525  
 線狀域 Area striata ..... 506  
 線狀出血 Vibices ..... 8  
 腺病質性反應 skrofulöse  
 Reaktion ..... 601  
 腺窩性口炎 Angina  
 lacunaris ..... 93  
 腺ベスト Bubonensest ..... 629



腺窩性扁桃腺炎 Angina  
incunaris..... 623  
 穿刺液 Punktata ..... 132  
 穿刺具..... 126  
 穿刺操作..... 126  
 穿刺用小管 Punktions-  
kanüle..... 394  
 穿烈臭氣 penetrierender  
Geruch ..... 123  
 苔蘚 Lichen ..... 9  
 剪刀型 Scherenform..... 632  
 旋毛蟲 Trichina ..... 253  
 選擇體位 aktive Lage... 4  
 疝痛 Colikschmerzen ... 193  
 蠕動缺損 Peristaltikde-  
fekt ..... 159  
 舟狀胸 Kahnthorax ..... 23  
 戰爭瓦斯 Kampfgase ... 567  
 船暈 Seekrankheit ..... 573  
 閃光性暗點症 Flimmer-  
skotom (Scotoma scin-  
tillans) ..... 556  
 Jendrassik 氏 Kunstgriff  
..... 477  
 譫妄 Delirium ..... 491

す・ず

隨意排便 willkürliche  
Kotentleerung ..... 232  
 垂直性眼球振盪 vertikal-  
aler Nystagmus..... 530  
 錐體路外運動系統  
extrapyramidal moto-  
risches System ..... 498  
 錐體側索路..... 535  
 錐體前索路..... 535  
 脾臓の内分秘障礙の證明  
法..... 227  
 脾臓溢血 Pankreasapopl-  
exie ..... 270

脾臓糖尿病 Pankreatog-  
ene Diabetes ..... 390  
 脾臓硬變症 Pankreas-  
sklerose ..... 271  
 脾臓囊腫 Pankreascyste  
..... 134, 271  
 脾臓癌 Pankreaskrebs... 271  
 脾臓膿瘍..... 270  
 脾臓壞疽 Pankreasne-  
krose ..... 270  
 脾臓の機能検査..... 222  
 脾石 Pankreasstein .....  
..... 237, 246, 271  
 脾性糖尿 Pankreatogene  
Glykosurie ..... 292  
 脾液及腸液の酵素の證明 223  
 脾液..... 200  
 睡眠..... 527  
 睡眠病 Trypanosomiasis  
(Schlafkrankheit)..... 630  
 睡眠病原體染色..... 587  
 水泡性紅斑  
Erythema bullosum... 576  
 水泡性眼炎 Phlyktän ... 603  
 水泡疹 Bläschen  
(Vesicula) ..... 9  
 水泡潰瘍形成瓦斯..... 567  
 水泡音 Rasselgeräusche  
(Rasseln) ..... 58  
 水平性眼球振盪..... 530  
 水痘 Windpocken  
(Varicellen) ..... 612  
 水溶性毒素..... 577  
 水笛音 Wasserpfeifen-  
geräusch..... 61  
 吸上排水法  
Heberdrainage ..... 128  
 水銀中毒症 Merkurialis-  
mus ..... 572  
 水銀中毒..... 571

水銀震顫..... 572  
 水銀性口内炎..... 571  
 水銀..... 350  
 水腎 Hydronephrose ... 371  
 水腫脊髓 Hydromyelus 553  
 水胸 Hydrothorax ...12, 188  
 錐穿的亂刺術 bohrende  
Skarifikation ..... 601  
 錐體路..... 522  
 Sporozoitien ..... 618  
 須藤氏法..... 335  
 ストリヒニン中毒..... 569  
 Struma vascularis diffusa  
..... 388  
 Streptococcus mucosus... 620  
 Streptobacillus ulceris  
mollis ..... 630  
 Strauss 氏の尿の鹽化  
物定量計..... 348  
 Strauss氏法 ..... 209  
 Strasburger 氏集菌法..... 589  
 Stintzing 氏常價..... 465  
 Still 氏病 ..... 447  
 ズルフォナール中毒..... 568  
 ズルフォサリチール酸  
Sulfosalicylsäure ..... 321  
 頭蓋の形狀..... 19  
 頭蓋の試験穿刺..... 131  
 スカトール臭  
Skatolgeruch ..... 123  
 Staub-Effect ..... 291  
 S-E. .... 291  
 水素イオン濃度測定法... 303  
 水素イオン濃度 Wasser-  
stoffionen-konzentra-  
tion ..... 302  
 Sternberg 氏巨大細胞 ... 443  
 Spirochaeta pallida ..... 631  
 スピロヘータ染色法..... 589  
 鈴木氏結核菌培地..... 593

昭和四年九月十五日 第一版發行  
 昭和七年十月廿五日 第二版發行  
 昭和九年九月五日 第三版發行  
 昭和十三年六月廿五日 第四版印刷  
 昭和十三年六月廿八日 第四版發行

最新内科診斷學  
 不許複製  
 正價金拾圓



著者 岩 男 督  
 發行者 鈴木 幹 太  
 東京市本郷區龍岡町36番地  
 印刷者 加 藤 晴 吉  
 東京市本郷區湯島切通坂町15番地  
 印刷所 合資會社正文舎  
 東京市本郷區湯島切通坂町15番地

東京市本郷區龍岡町 31 番地  
 發行所 南山堂書店  
 電話小石川 423-4757-4771番 振替東京 6338番



492.1-1957



1200500743924

195

終